

平成 30 年度
市民意識調査報告書

平成 30 年 12 月
東松山市

はじめに

東松山市では、「第五次東松山市総合計画」に掲げた将来像「住みたい、働きたい、訪れたい 元気と希望に出会えるまち 東松山」の実現に向けて、まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組を積極的に進めるとともに、子どもから高齢者まで全ての市民の皆様が、元気で希望を持ち、心豊かに暮らせる「9万市民総活躍」のまちづくりを展開しております。



本調査は、市民の皆様が抱く市の印象や市の取組に対するご意見・ご要望を的確に把握するために実施するものです。今後の東松山市のまちづくりの基礎資料として有効に活用することで、引き続き、積極的かつ戦略的な市政運営に取り組んでまいりますので、関係の皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本調査にご協力いただきました市民の皆様へ、心よりお礼申し上げます。

平成30年12月

東松山市長 **森田 光一**

■目 次

I 調査の概要

調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象者及び調査方法等	1
3 回収結果	1
4 回収率の推移	1
5 本報告書の見方について	2
6 標本誤差について	2
回答者の属性	3

II 結果の概要

結果の概要	7
-------	---

III 調査の結果

1 まち全体の印象について	11
1-1 東松山市への愛着	11
1-2 東松山市の住みよさ	13
1-3 定住意向	15
1-4 東松山市の印象	17
2 健康や医療・福祉について	32
2-1 最初にかかる医療機関	32
2-2 最初にかかる医療機関の種類	33
2-3 健康づくりのために心がけていること	34
2-4 子育て環境の整備	37
2-5 子育て環境が整っていない理由	38
3 環境について	40
3-1 環境配慮状況	40
3-2 環境配慮のために心がけていること	41
3-3 環境問題の深刻度・重要度	44
3-4 省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況	51

4	防災・防犯・交通について	60
4-1	災害に備えて行っていること	60
4-2	防犯のために必要なこと	63
4-3	主に利用している交通手段	66
4-4	市内循環バスの利用状況	68
4-5	市内循環バスを利用した理由	69
4-6	市内循環バスを利用したことがない理由	71
4-7	デマンドタクシーの利用状況	73
4-8	デマンドタクシーを利用した理由	74
4-9	デマンドタクシーを利用したことがない理由	76
5	市民生活について	78
5-1	インターネットの利用状況	78
5-2	学習や趣味などの活動状況	80
5-3	生涯学習等の活動を行っている目的	82
5-4	運動(スポーツなど)を行う頻度	85
5-5	運動(スポーツなど)を1回に行う時間	87
5-6	日本スリーデーマーチの参加状況	89
5-7	日本スリーデーマーチに参加した理由	91
5-8	地域活動への参加状況	93
5-9	ボランティア活動への参加状況	95
5-10	活動している分野	97
6	人権・男女平等について	98
6-1	人権の意識について	98
6-2	男女の地位の平等感	100
6-3	男女役割分担意識	105
7	購買行動について	106
7-1	商品の購入状況	106
7-2	日用品の買物での利便性	109
7-3	買物で不便を感じる理由	110
8	市政情報について	112
8-1	知りたいと思う市政情報	112
8-2	市政情報の入手方法	114
8-3	市政情報の取得状況	118
9	市政について	119
9-1	東松山市の職員について	119
9-2	東松山市の将来像	125

9-3 よくなってきた事業／重点的に取り組むべき事業	128
10 地域資源について	136
10-1 東松山市の地域資源	136
IV 自由意見	
分野別分類	137
市民の声	138
V 資料	
単純集計結果	153
アンケート調査票	185

I 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

東松山市では、施策や事業の基本的な方針を定める第五次東松山市総合計画を策定し、この計画に基づく施策を平成 28 年から 10 か年で推進しております。市民の市政についての意見や要望を幅広く調査し、これからの「まちづくり」に役立てていくために、このアンケートを実施しました。

2 調査対象者及び調査方法等

調査地域	東松山市全域
調査対象	市内に居住する満 18 歳以上の男女
標本数	2,000
抽出法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成 30 年 7 月 23 日（月）～8 月 10 日（金）

3 回収結果

配布数	2,000
有効回収数	1,221
有効回収率	61.05%

4 回収率の推移

	平成 19 年度	平成 21 年度	平成 23 年度	平成 25 年度	平成 28 年度	平成 30 年度
配布数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
有効回収数	1,130	1,202	1,280	1,233	1,292	1,221
有効回収率	56.50%	60.10%	64.00%	61.65%	64.60%	61.05%

社会調査の回収率は一般に「調査主体の信頼性」「サンプリング方法」「調査目的」「対象者の調査への関心」が影響します。また、近年では個人情報保護に対する意識が影響していると考えられます。本調査では、調査主体は東松山市であり、住民基本台帳による無作為抽出を行い、今後の市政のための基礎資料とすることを明示しています。上記表にみられるように、平成 21 年度以降は 60% 台で推移しており、今回の調査でも 61.05% と 60% 台を堅持しています。

5 本報告書の見方について

- (1) 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって合計が100%を上下する場合があります。
- (2) 基数となるべき実数（回収者数）は、“全体（〇〇人）”として掲載し、各比率は回答者数を100%として算出しました。
- (3) 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。また、図表内の経年を表す「平成〇年」は「平成〇年度調査」を短縮・簡略化したものです。
- (5) 設問によっては過去の調査と選択肢を変更しているものがあります。この場合、経年変化の分析は参考程度にとどめています。
- (6) 「」は一つの選択肢を、“ ”は複数の選択肢を合わせた表現を示しています。〈 〉は調査項目を表します。『 』は設問中の「」の文言を表します。
- (7) 平成30年度調査では、「1つ選ぶ」への複数回答を有効とし、案分で集計しました。このため「V 資料編」の単純集計に小数点の値があります。

6 標本誤差について

今回の調査は、調査対象となる母集団（調査対象）から一部を抽出した標本（サンプル）の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」です。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがあります。

標本誤差は、次の式で統計学的に得られ、母集団（N）、比率算出の基数（n）、回答の比率（P）によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

例：問1全体で「愛着がある」との回答は、全体で36.2%です。この値を上記の式に代入すると、±0.026 となり、今回の調査で東松山市におけるこの回答の真の値は 0.362 ±0.027（33.5%～38.9%）の範囲であると考えられます。

N=76,973

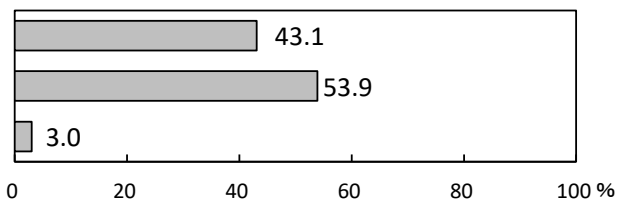
n=1,221

P=0.362

回答者の属性

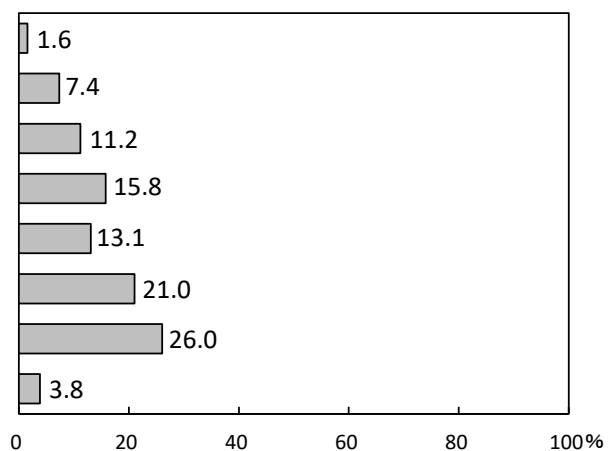
■性別

	回答数	比率(%)
男性	526	43.1
女性	658	53.9
無回答	37	3.0
全体	1,221	100.0



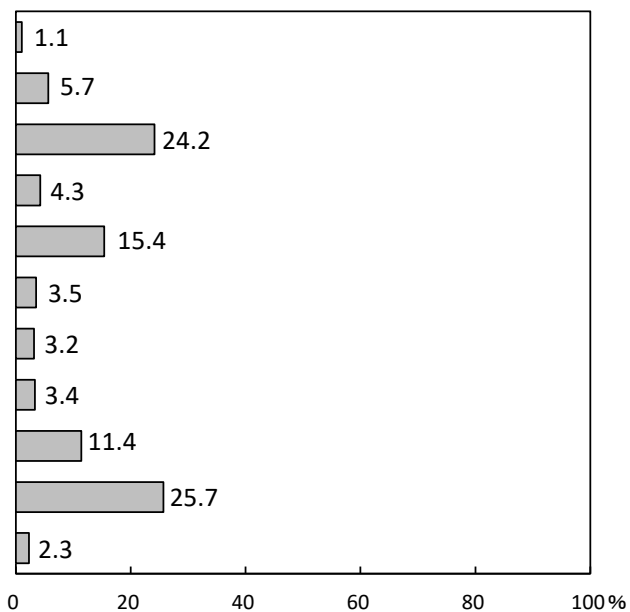
■年齢

	回答数	比率(%)
18歳・19歳	19	1.6
20歳代	90	7.4
30歳代	137	11.2
40歳代	193	15.8
50歳代	160	13.1
60歳代	257	21.0
70歳以上	318	26.0
無回答	47	3.8
全体	1,221	100.0



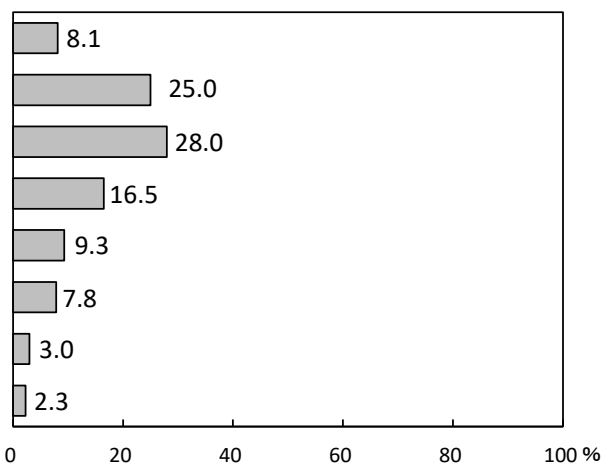
■職業

	回答数	比率(%)
農林業	13	1.1
自営業	69	5.7
会社員	295	24.2
公務員	52	4.3
パート・アルバイト	188	15.4
契約社員・派遣社員	43	3.5
学生	39	3.2
その他	41	3.4
家事・育児・介護	139	11.4
無職	314	25.7
無回答	28	2.3
全体	1,221	100.0



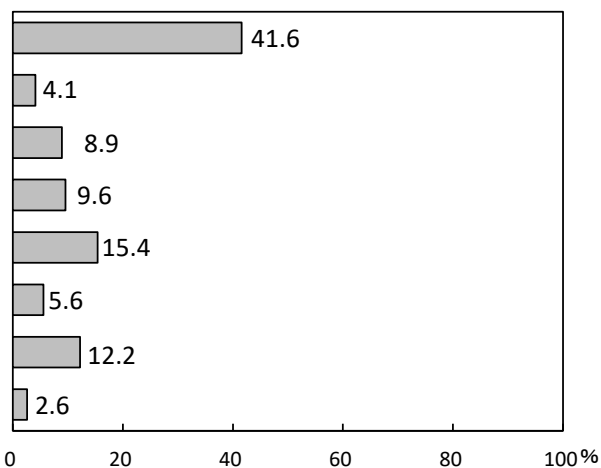
■通勤時間

	回答数	比率(%)
0分（自宅勤務）	60	8.1
15分未満	185	25.0
15分以上30分未満	207	28.0
30分以上60分未満	122	16.5
60分以上90分未満	69	9.3
90分以上120分未満	58	7.8
120分以上	22	3.0
無回答	17	2.3
全体	740	100.0



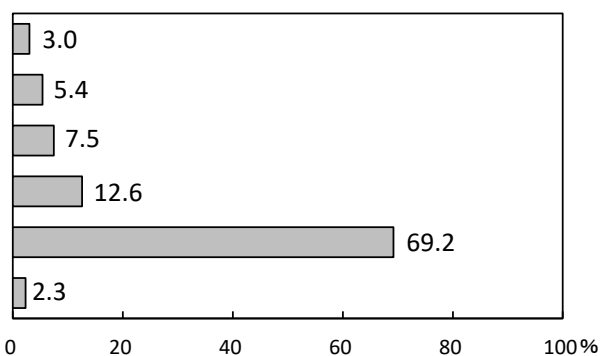
■お住まいの行政区

	回答数	比率(%)
松山地区	508	41.6
大岡地区	50	4.1
平野地区	109	8.9
唐子地区	117	9.6
高坂地区	188	15.4
高坂丘陵地区	68	5.6
野本地区	149	12.2
無回答	32	2.6
全体	1,221	100.0



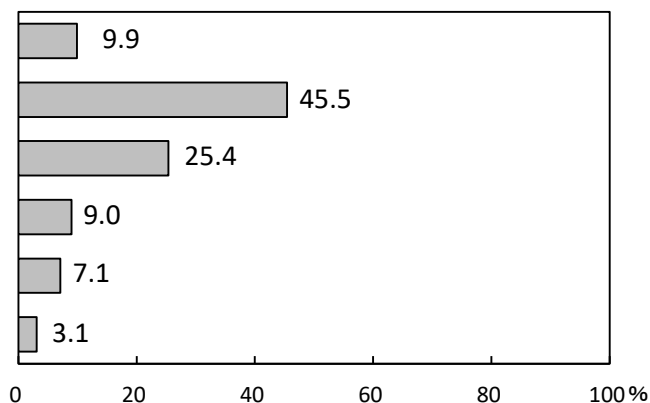
■居住年数

	回答数	比率(%)
2年未満	37	3.0
2年以上5年未満	66	5.4
5年以上10年未満	91	7.5
10年以上20年未満	154	12.6
20年以上	845	69.2
無回答	28	2.3
全体	1,221	100.0



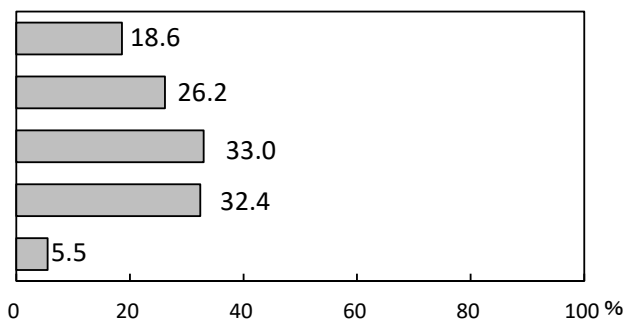
■家族構成

	回答数	比率(%)
三世代世帯(祖父母、父母、子どもなど)	121	9.9
二世帯世帯(夫婦と子どもなど)	555	45.5
夫婦のみ	310	25.4
単身世帯	110	9.0
その他	87	7.1
無回答	38	3.1
全体	1,221	100.0



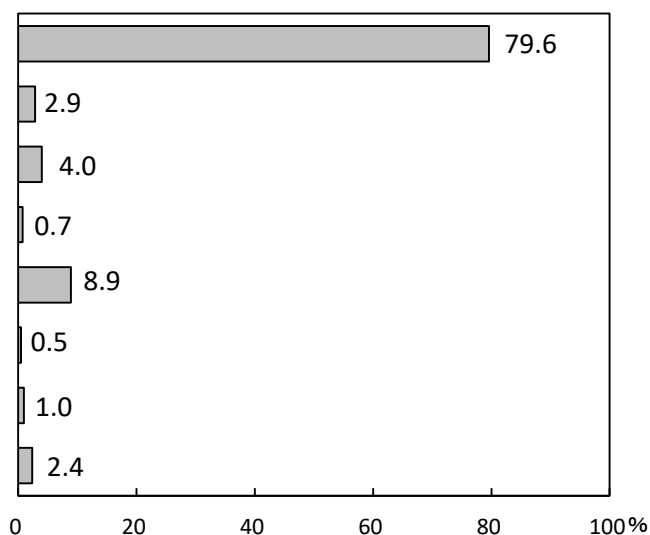
■同居家族(複数回答)

	回答数	比率(%)
就学前(0~6歳)	126	18.6
小学生・中学生	177	26.2
65歳以上	223	33.0
いずれもない	219	32.4
無回答	37	5.5



■居住形態

	回答数	比率(%)
一戸建て持ち家	972	79.6
一戸建て借家	35	2.9
共同持ち家(分譲マンション等)	49	4.0
公営の賃貸住宅	9	0.7
民間の賃貸住宅(マンション・アパート等)	109	8.9
社宅・寮	6	0.5
その他	12	1.0
無回答	29	2.4
全体	1,221	100.0



Ⅱ 結果の概要

結果の概要

1 まち全体の印象について

“東松山市に愛着を感じている”（「愛着がある」または「どちらかといえば愛着がある」）と回答した人は、全体では7割を超えています。「愛着がある」と回答した割合は、今回の市民意識調査から調査対象に加わった18歳・19歳が高く、20歳代で最も低くなっており、それ以降の年代では年齢が高くなるほど高くなっています。

“住みよいと感じている”（「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」）と回答した人は、全体の約7割となっています。さらに、住みよさを愛着度別でみると、愛着度が高いほど「住みよい」と回答する割合が高く、反対に愛着度が低いほど「住みにくい」とする割合が高くなっています。

定住意向では「現在のところに住み続けたい」と回答した人は、全体では6割台半ばとなっています。また、定住意向を愛着度別でみると愛着度が上がるほど、住みよさ別でみると住みよさが上がるほど高くなっています。

東松山市の印象について“よい”（「よい」または「どちらかといえばよい」）と感じている割合が高い項目は〈自然環境〉〈人柄・土地柄〉〈買物などの日常生活の利便性〉〈歴史と伝統〉となっています。一方“わるい”（「わるい」または「どちらかといえばわるい」）が“よい”を上回っている項目は〈活気とにぎわい〉〈都市としての個性や魅力〉〈市の発展性〉〈交通の利便性〉などとなっています。

2 健康や医療・福祉について

最初にかかる医療機関を「決めている」と回答した人は、全体の約7割となっています。また、最初にかかる医療機関の種類は「近所の医院・診療所・クリニック」が8割近くと最も高くなっています。

健康づくりのために心がけていることは「食事に気をつける」と回答した人は、6割台後半と高くなっています。次いで「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」が5割台後半と続いています。

経年比較をみると、「たばこを吸わない」「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」が平成21年度調査以降で最も高くなっています。「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は平成28年度と比べ7.8ポイント増で最も上昇しています。また、いずれの項目でも、平成28年度から健康づくりのために心がけていることが増加しています。

“子育て環境が整っている”（「整っている」または「どちらかといえば整っている」）と回答した人は、約3割となっています。また、就学前（子）と同居している回答者では、“子育て環境が整っていない”（「整っていない」または「どちらかといえば整っていない」）が“子育て環境が整っている”を上回っています。一方、小学生・中学生と同居している回答者では“子育て環境が整っている”は4割台半ばとなっており、“子育て環境が整っていない”を上回っています。子育て環境が整っていない理由としては「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」などが高くなっています。

3 環境について

“環境に配慮した生活を心がけている”（「心がけている」または「どちらかといえば心がけている」）と回答した人は、8割台後半と高くなっています。具体的に行っている環境活動は「ごみの分別を徹底している」が最も高く、男性・女性ともに9割を超えており、「部屋の電気等をこまめに消している」「マイバッグを利用している」「家の周りなどに植物を植えている」などが続いています。いずれの項目も女性が男性を上回っています。

環境問題について、『すでに深刻な問題である』については、「地球温暖化」が約6割と最も高く、「ごみの増加や不法投棄」「酸性雨や大気汚染」「身近な緑や農地の減少」などが続いています。経年比較では継続して最も高い「地球温暖化」は、平成21年度を頂点に減少傾向にありました。しかし、今回は調査期間中の「これまで経験したことがない、命に危険があるような暑さ」を反映してか過去最高の割合となっています。

『重点的に取り組んでいく必要がある』については「ごみの増加や不法投棄」が3割台半ばで高く、「地球温暖化」「省エネや新エネルギー」「生活排水等による河川の水質汚濁」「身近な緑や農地の減少」などと続いています。平成28年度調査と比較すると、「騒音・振動・悪臭」は5.8ポイント、「酸性雨や大気汚染」は5.2ポイント減少しています。

省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況について「利用している」は「建物の断熱化」が最も高く、「利用していないが今後利用したい」は「電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池（水素）自動車」が最も高く、次いで「家庭用蓄電池」となっています。

4 防災・防犯・交通について

災害に備えて行っていることでは「保存飲料水・食料品を準備している」と回答した人は5割、「家族や親族との連絡方法を決めている」が3割台半ば、「消火器を準備している」が3割台前半となっています。

平成28年度調査と比較すると、平成30年6月に発生した大阪府北部を震源地とする地震や7月豪雨の影響もあってか、「家族や親族との連絡方法を決めている」「保存飲料水・食料品を準備している」「非常用持ち出し袋を用意している」「避難場所や経路を確認している」などが増加しています。

防犯のために必要なことでは「防犯灯や街灯の数を増やす」と回答した人は6割台半ばと最も高くなっており、男性よりも女性の方が9.4ポイント上回っています。また、平成28年度調査と比較すると、「商店街などに防犯カメラを取り付ける」は4.8ポイント増加しています。

主に利用している交通手段は「自家用車（自分で運転）」と回答した人は7割台半ばで最も高くなっており、男性が女性を15.5ポイント上回り、「自家用車（家族や知人が運転）」は女性が男性を16.4ポイント上回っています。

市内循環バスの利用状況は過去1年以内に「利用したことがある」と回答した人は1割台で、「利用したことがない」が8割台半ばを占めています。年代別にみると、18歳・19歳で「利用したことがある」が5割を超える高さとなっています。市内循環バスを利用した理由は「買物」が約3割で最も高くなっており、女性が男性を14.7ポイント上回っています。「通勤・通学」では男性が女性を13.6ポイント上回っています。市内循環バスを利用したことがない理由は「ほかの交通手段を利用しているから」が6割近くと最も高くなっています。

デマンドタクシーの利用状況は「利用したことがある」は約1割で、「利用したことがない」が8割台半ばを占めています。年代別では「利用したことがある」は70歳以上で2割台後半と高くなっています。デマンドタクシーを利用した理由は「通院」が約6割で最も高くなっています。デマンドタクシーを利用したことがない理由は「ほかの交通手段を利用しているから」が約5割と最も高くなっています。

5 市民生活について

インターネットの利用状況では“インターネットを利用している”(「パソコンだけ利用している」または「スマートフォン(携帯電話)だけ利用している」または「パソコンとスマートフォン(携帯電話)で利用している」と回答した人は、7割台半ばとなっています。年代別でみると、18歳・19歳、20歳代、30歳代、40歳代では“インターネットを利用している”はいずれも9割台半ばとなっています。

学習や趣味などの活動状況としては「スポーツや野外活動」が2割台後半、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」が1割台半ば、「芸術的なもの」「健康・福祉に関すること」は約1割となっています。また「特に行っていない」は約4割となっています。

生涯学習等の活動を行っている目的では「健康・体力づくりをする」が3割台前半、「趣味を豊かにする」「生きがいを高める」が2割台後半となっています。平成21年度調査から比較すると「特に行っていない」が徐々に増加する傾向がみられます。

運動(スポーツなど)を行う頻度では、週1回以上行っている“習慣的に運動を行っている”と回答した人はおおむね5割台半ばとなっています。一方「行わなかった」と回答した人は2割近くとなっています。職業別でみると、学生で“習慣的に運動を行っている”は6割台半ば近くと高くなっていますが、有職者では“習慣的に運動を行っている”は男女とも4割台後半となっています。

日本スリーデーマーチの参加については約6割が1回以上の参加経験があり、18歳・19歳、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代では5割を超えています。居住年数でみると、居住期間が長くなるほど“参加したことがある”が増える傾向にあります。参加理由は、「学校行事だったから」と回答した人は4割近くと最も高く、「市の代表的なイベントだから」「家族や友人・知人と交流するため」と続きます。

地域活動への参加状況では“地域の活動に参加している”(「よく参加している」または「ときどき参加している」と回答した人は全体の約4割となっていますが、20歳代では1割と低くなっています。

ボランティア活動への参加について「現在活動している」と回答した人は、約1割となっています。活動している分野は「スポーツ」が約3割で最も高く、「保健・医療・福祉」が2割台半ば、「子どもの健全育成」が2割近くとなっています。

6 人権・男女平等について

人権の意識については「高齢者」と回答した人は4割台半ば、「障害者」が3割台半ば、「子ども」が3割台前半、「女性」「インターネットによる人権侵害」「拉致問題」が2割台半ばとなっています。「子ども」「女性」で、女性が男性を10ポイント以上も上回っています。

男女の地位の平等感については、〈学校教育の場〉では「平等である」と回答した人は4割台半ば、〈家庭生活〉では約4割となっています。一方、〈政治の場〉〈社会通念・慣習・しきたりなど〉〈社会全体〉では“男性優遇と感じている”(「男性が優遇されている」または「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した人の割合が高くなっています。

『男は仕事、女は家庭』という考え方には“反対である”(「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した人は3割台半ばで、“賛成である”(「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した人を上回っていますが、年代別でみると70歳以上では“賛成である”と“反対である”が並んでいます。

7 購買行動について

各種商品の消費活動場所については「市内の大型店・チェーン店」と回答した人は最も高く、〈食料品〉では8割台後半、〈衣服・服飾品〉では6割台半ば、〈家具・家電〉では約7割となっています。「市外の大型店・チェーン店」と回答した人は〈衣服・服飾品〉が2割台前半で、18歳・19歳では約4割、それ以降は年齢が高くなるほどおおむね低くなっています。

日用品の買物での利便性について、約3割近くが「不便さを感じている」と回答していま

す。その理由で最も多いのが「近くにお店がない」で8割を超えています。次いで「家族等の協力がないと買物ができない」で、女性が男性を16.7ポイント上回っています。

8 市政情報について

知りたいと思う市政情報は「健康・医療」と回答した人は4割台半ば、「福祉・介護」と回答した人は約4割と高くなっており、女性が男性を6.3ポイント上回っています。また、「市政の運営（施策・計画・財政）」では男性が女性を16.3ポイント上回っています。

市政情報の入手方法は「広報ひがしまつやま」と回答した人が約8割、「市からのお知らせや回覧」は4割台半ばと高くなっています。平成21年度以降の調査結果と比較すると「東松山市のホームページ」「東松山市のモバイルサイト」などは増加傾向にあります。一方、「市からのお知らせや回覧」「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」「新聞・テレビ」などは減少傾向にあります。

市政情報の取得状況では“市政情報を得られている”（「得られている」または「ある程度得られている」）と回答した人は4割台後半となっています。また“市政情報を得られている”は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあります。

9 市政について

市の職員については、〈礼儀正しい〉〈わかりやすく説明してくれる〉〈言葉づかいがよい〉〈話をきちんと聞いてくれる〉などで肯定的な評価が高くなっています。

東松山市の将来像では「快適に暮らせる安全のまち」「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」が4割台半ばで高く、次いで「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」が3割台半ばと続いています。

よくなってきた事業では「市民病院の充実」と回答した人は1割台後半と最も高く、次いで「子育てしやすい環境づくり」「健康づくりの推進」「安全で快適な道路の整備と維持管理」が約1割と続いています。性・年代別で見ると、男性・女性ともに60歳以上の年代で「市民病院の充実」の割合が高くなっています。男性の18歳・19歳、40歳代、50歳代と女性の20歳代では「安全で快適な道路の整備と維持管理」が1位となっています。

重点的に取り組むべき事業は「子育てしやすい環境づくり」と回答した人が1割台後半と最も高く、次いで「商店街活性化の促進等の商業振興」「高齢者支援の充実」が1割台半ば、「保健・医療体制の充実」が1割台と続いています。性・年代別で見ると、「子育てしやすい環境づくり」が男性の18歳・19歳、30歳代、40歳代、50歳代、女性30歳代で1位となっています。

10 地域資源について

東松山市の地域資源については、回答した人の約6割にあたる462人が「やきとり（やきとん、かしら）」をあげています。そのほかにも「日本スリーデーマーチ」（313件）、「箭弓稲荷神社」（234件）、「ぼたん」（225件）などがあげられています。

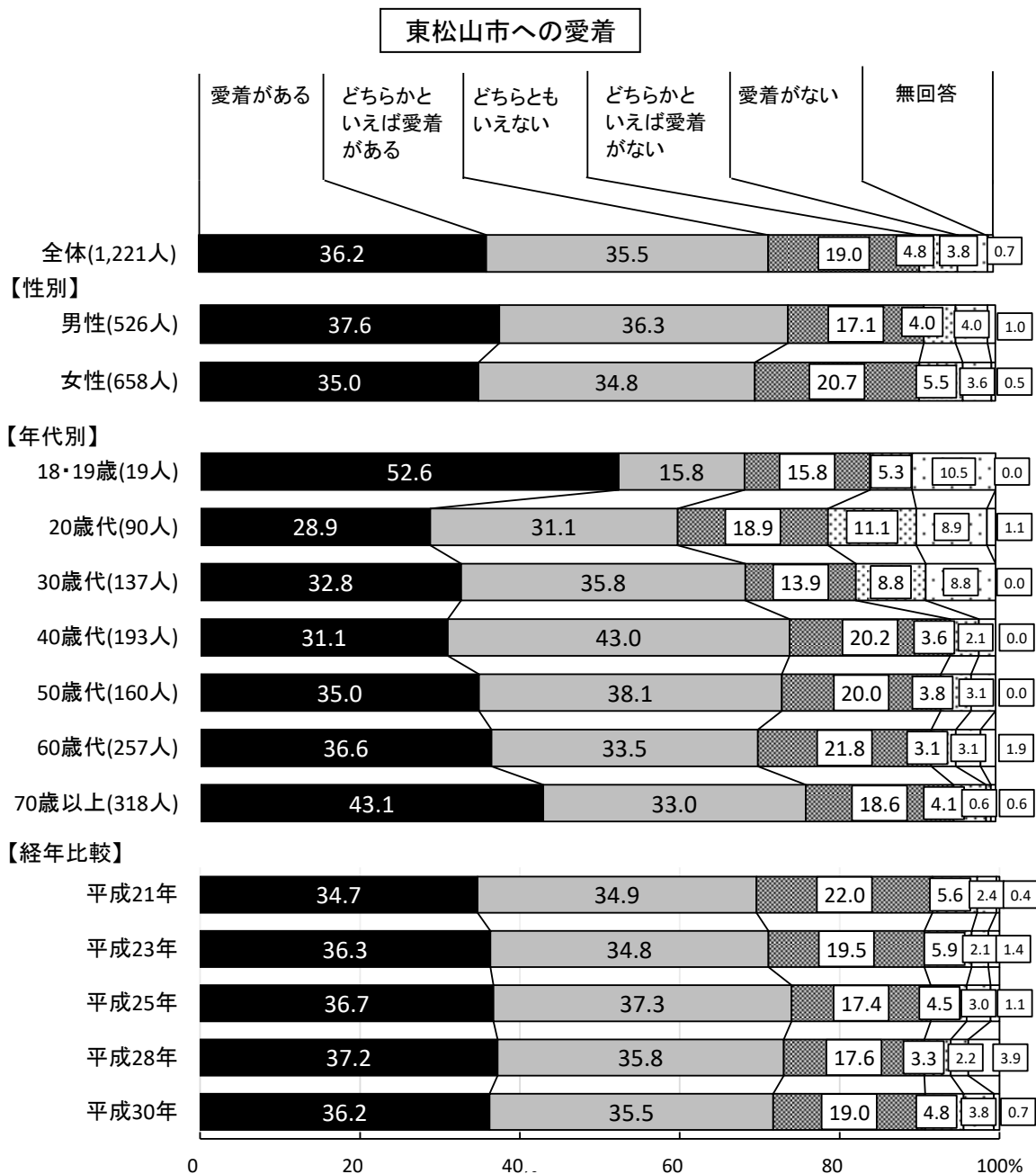
Ⅲ 調査の結果

1 まち全体の印象について

1-1 東松山市への愛着

◆ “東松山市に愛着を感じている” 71.7% ◆

問1 あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

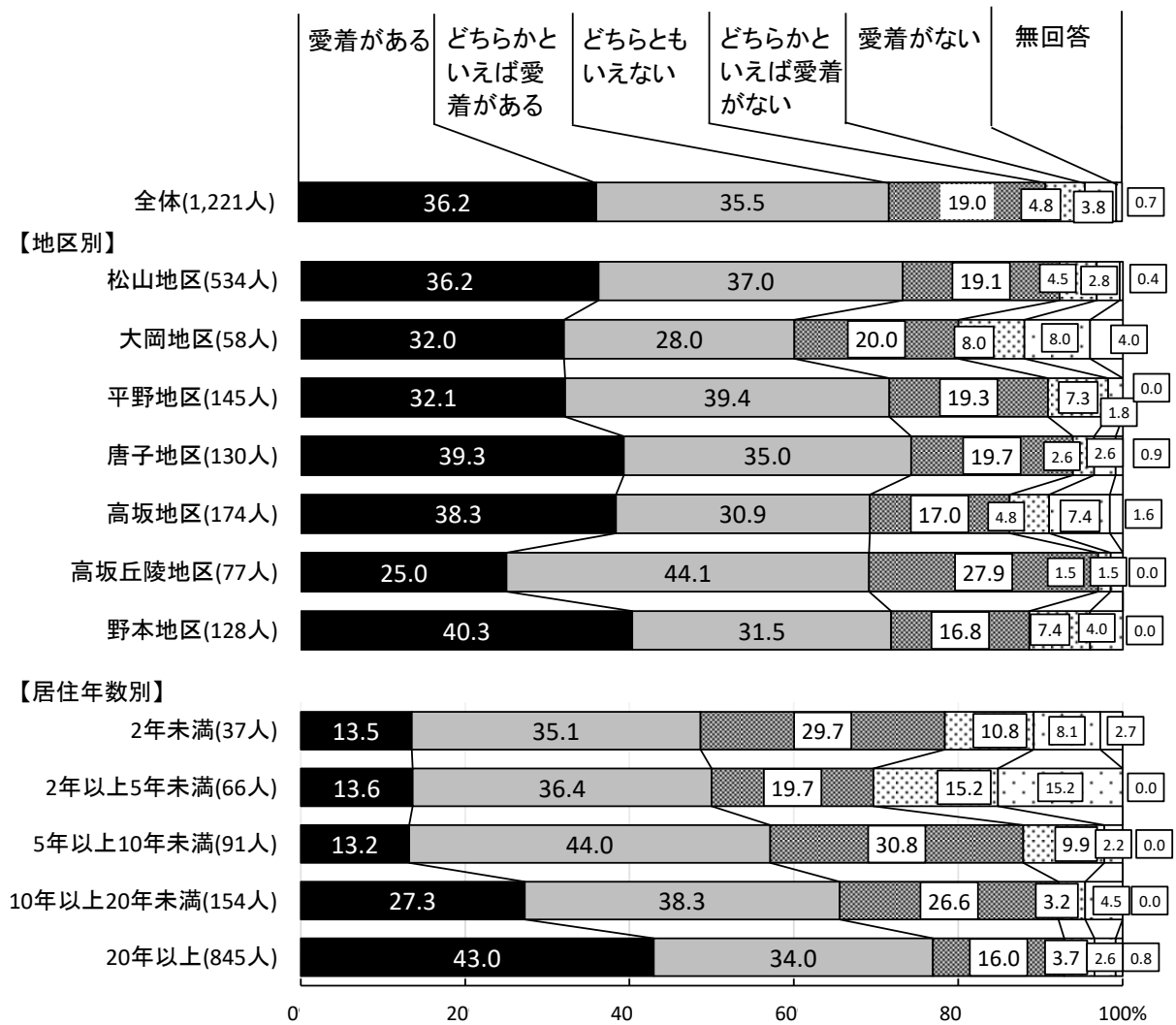


全体では「愛着がある」は36.2%、「どちらかといえば愛着がある」は35.5%と高く、両者をあわせた71.7%が“東松山市に愛着を感じている”と回答しています。

年代別でみると「愛着がある」と回答している割合は18歳・19歳で52.6%と最も高く、20歳代で28.9%と最も低くなっていますが、高年齢層に向けておおむね高くなり、70歳以上では43.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、“東松山市に愛着がない”が僅かに増加しています。

東松山市への愛着



地区別でみると“東松山市に愛着を感じている”は、松山地区、平野地区、唐子地区、野本地区で7割台となっており、特に、唐子地区は74.3%と最も高くなっています。

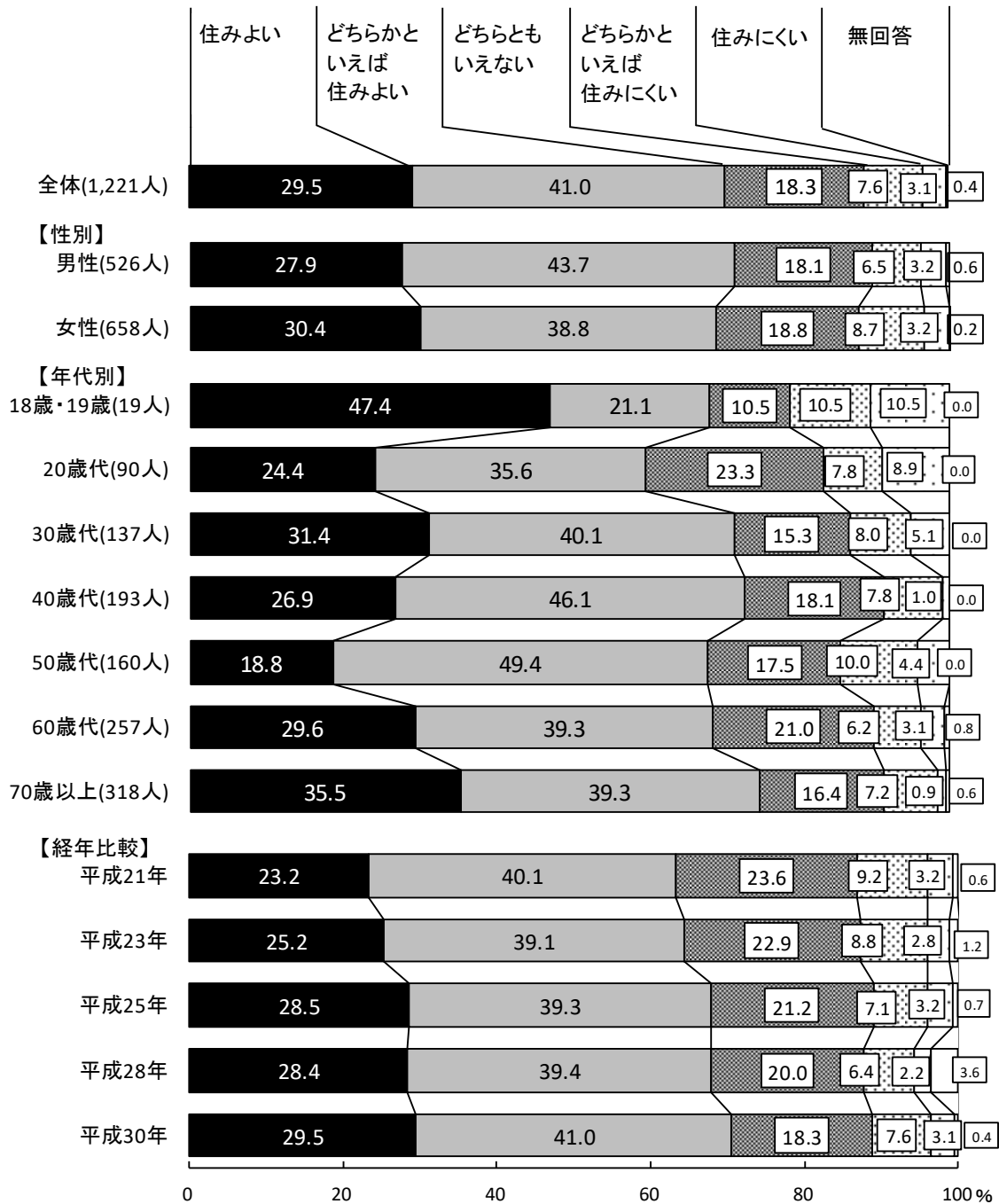
居住年数別でみると“東松山市に愛着を感じている”は、5年未満ではあまり差がありませんが、5年以上では年数が長くなるほど高く、20年以上では77.0%となっています。

1-2 東松山市の住みよさ

◆ “住みよいと感じている” 70.5%◆

問2 あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

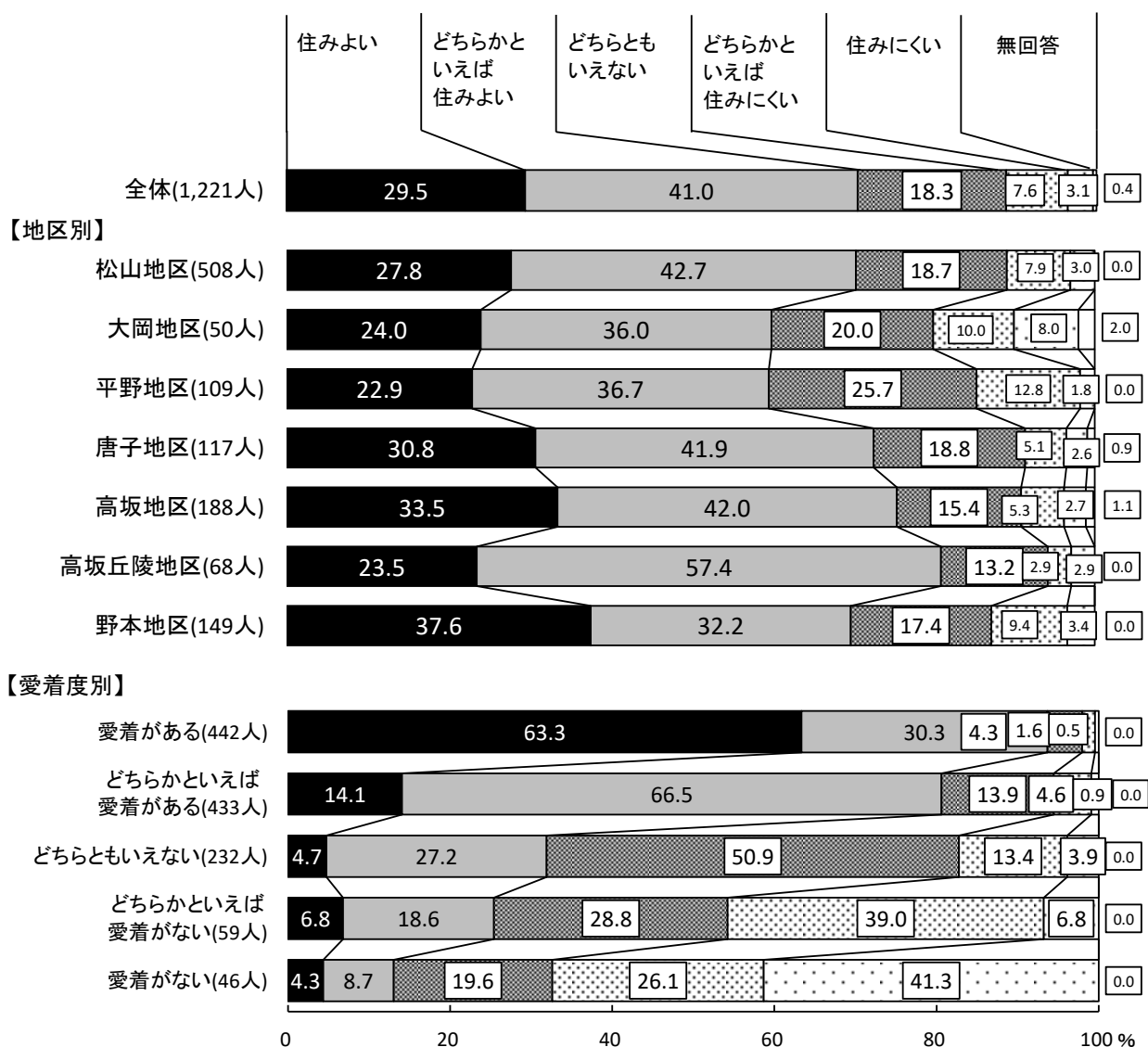
東松山市の住みよさ



全体で見ると「住みよい」は29.5%、「どちらかといえば住みよい」は41.0%と高く、両者をあわせた70.5%が“住みよいと感じている”と回答しています。

年代別で見ると“住みよいと感じている”は、30歳代、40歳代、70歳以上で約7割となっていますが、20歳代では60.0%と他の年代よりも顕著に低くなっています。

東松山市の住みよさ



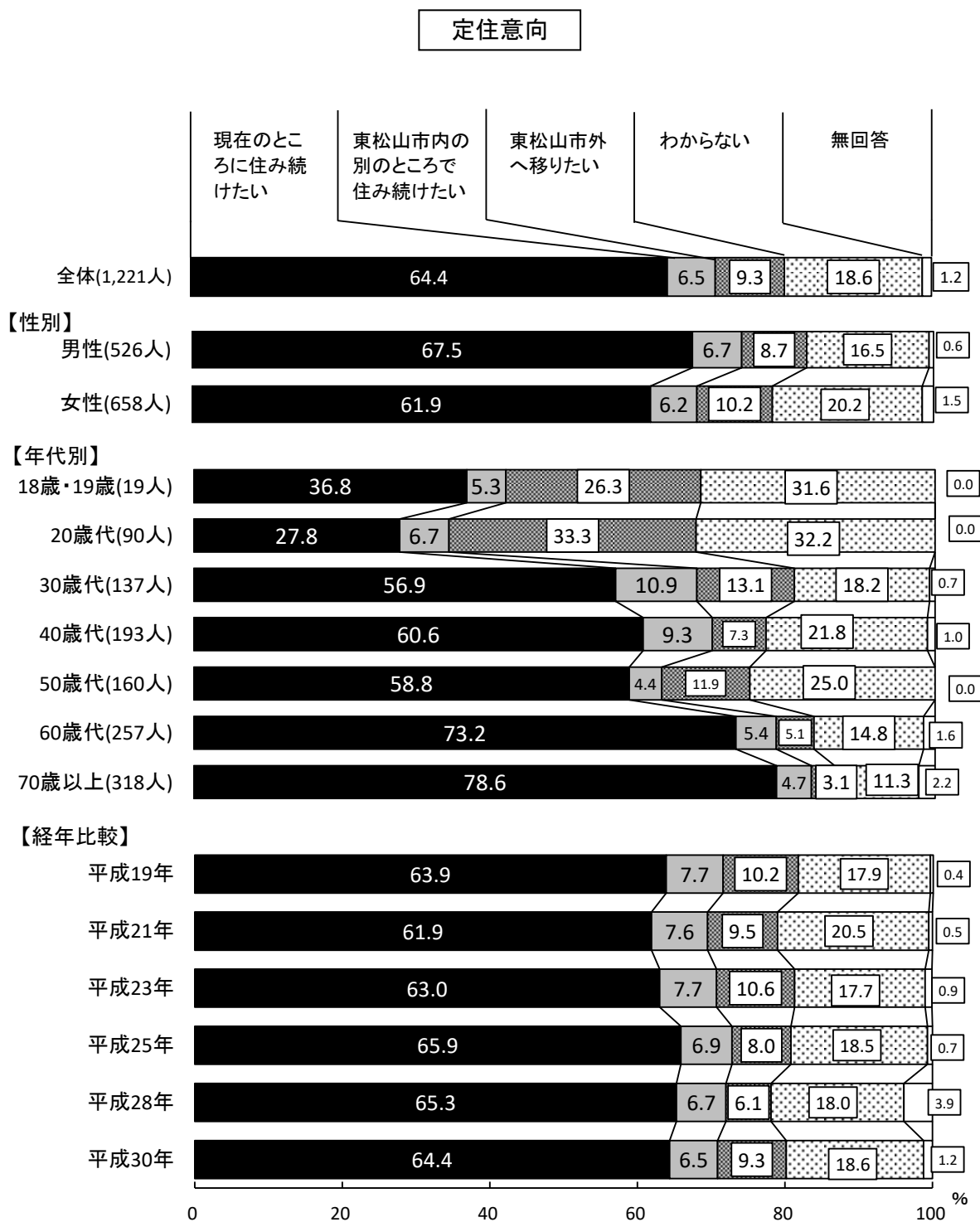
地区別でみると「住みよいと感じている」は、高坂丘陵地区が8割を超えており、松山地区、唐子地区、高坂地区、野本地区が約7割、大岡地区は60.0%、平野地区は59.6%となっています。

愛着度別でみると、愛着度が高いほど「住みよい」と回答した割合が高く、愛着があるでは63.3%と半数を超えて特に高くなっています。反対に、愛着がないでは「住みにくい」とする割合が41.3%となっています。

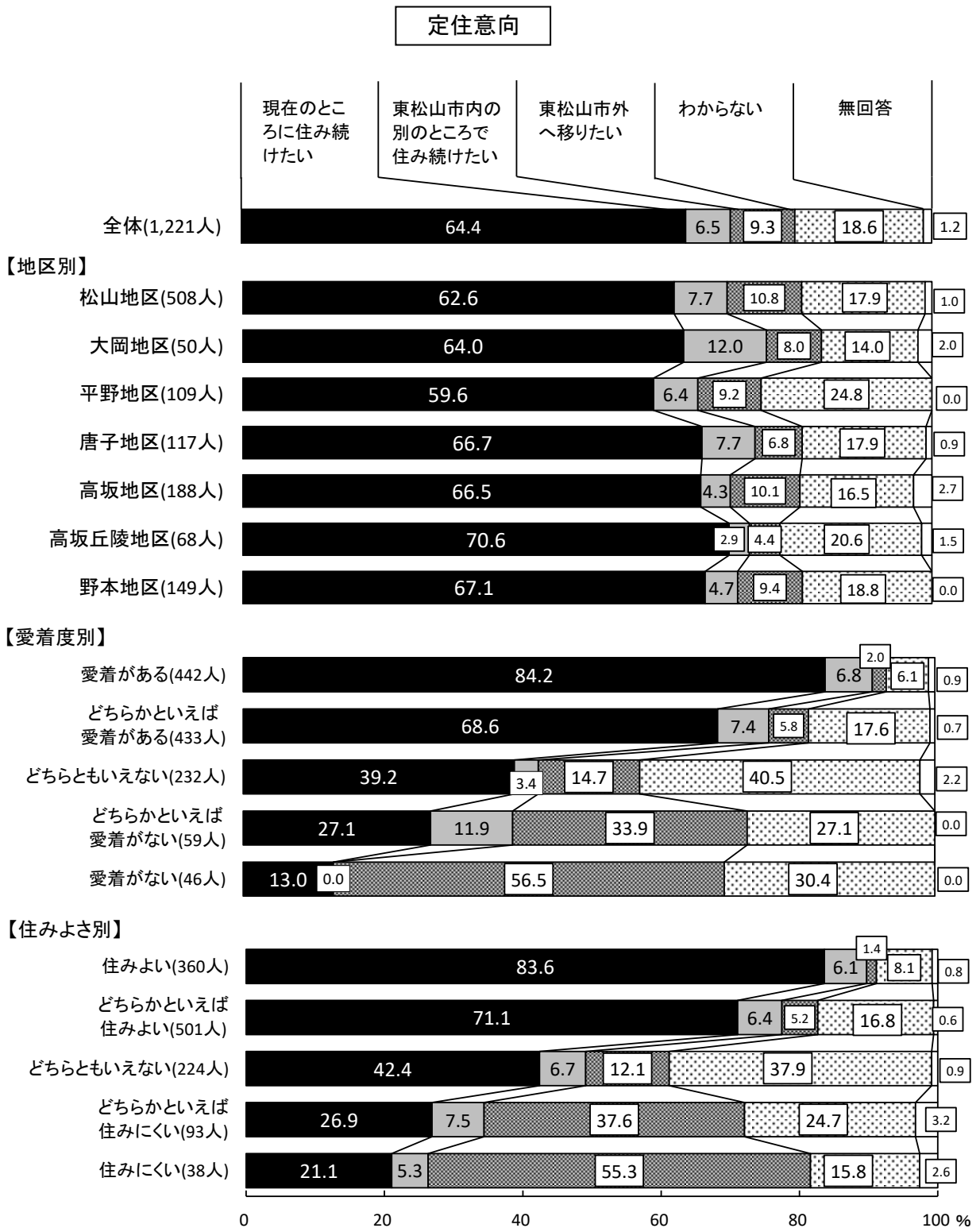
1-3 定住意向

◆定住意向は 64.4%◆

問3 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「現在のところに住み続けたい」は64.4%と高くなっています。
平成28年度調査と比較すると「東松山市外へ移りたい」が3.2ポイント増加しています。



地区別でみると「現在のところに住み続けたい」は、高坂丘陵地区で70.6%と高くなっています。

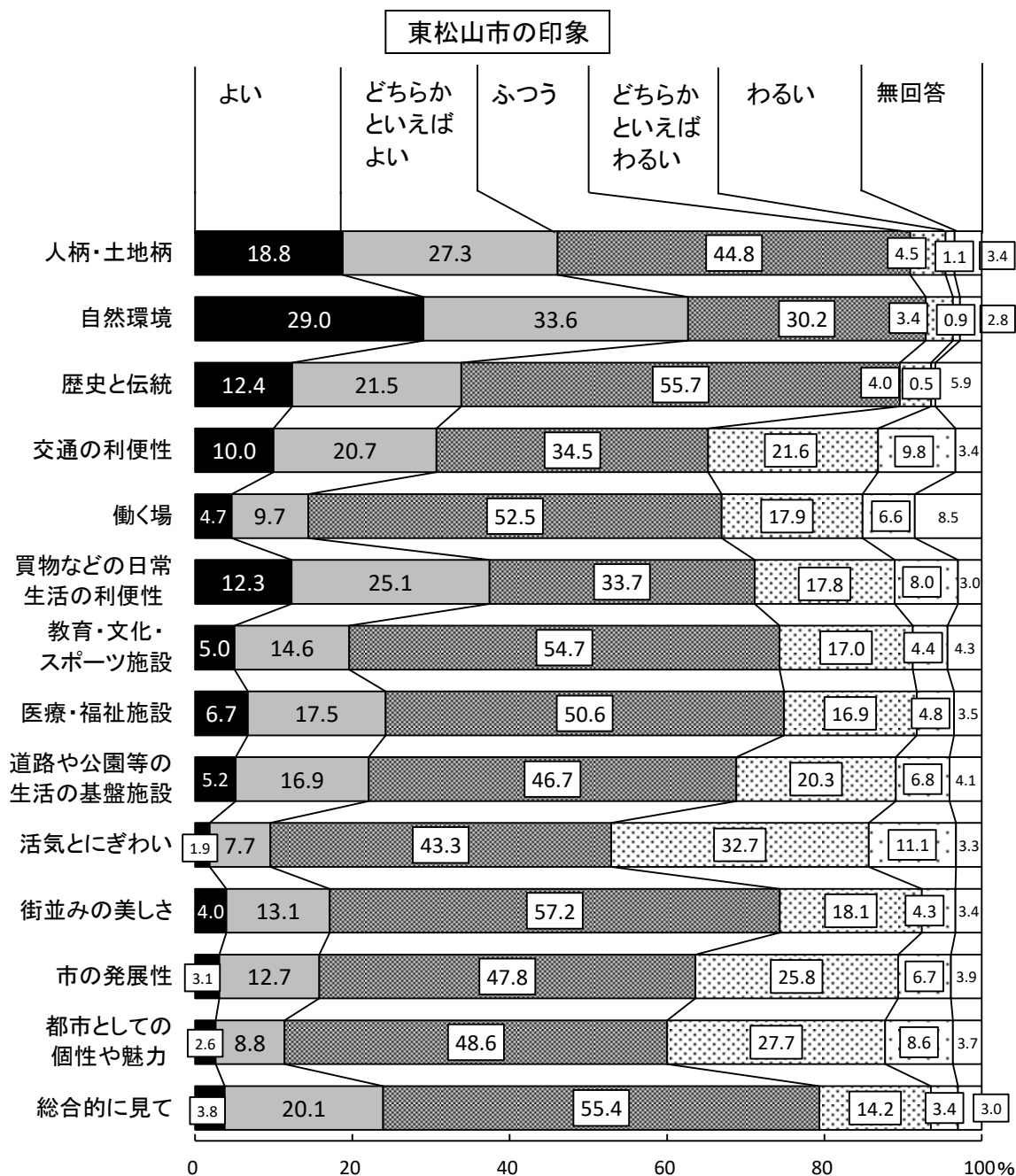
愛着度別でみると、愛着度が高いほど定住意向が高く「現在のところに住み続けたい」は、「愛着がある」では84.2%となっています。

住みよさ別でみると、住みよさが高いほど定住意向も高く「現在のところに住み続けたい」は「住みよい」では83.6%となっています。

1-4 東松山市の印象

◆〈自然環境〉〈人柄・土地柄〉などの評価が高くなっている◆

問4 あなたは、東松山市についてどのように思いますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

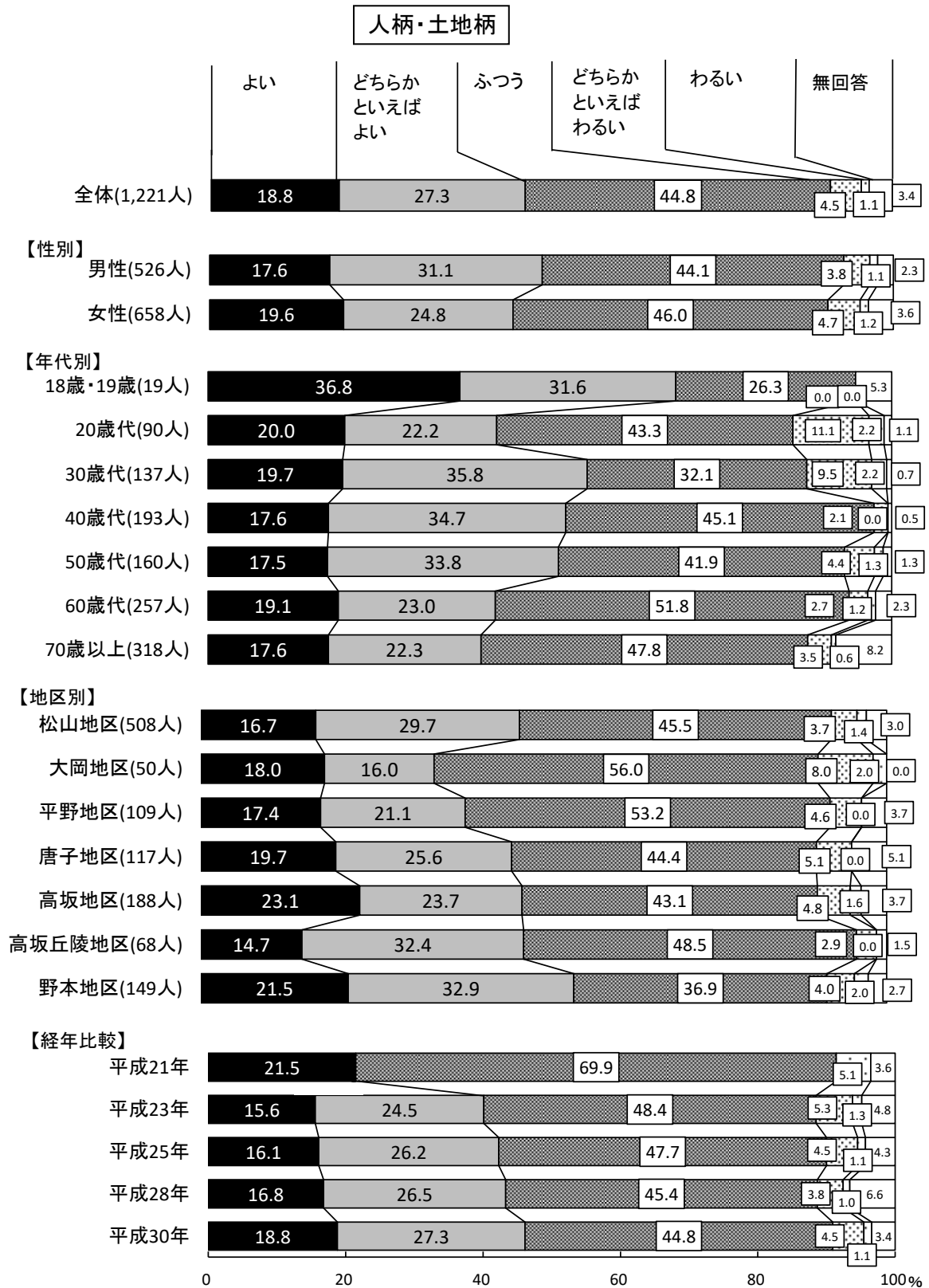


〈全体の概観〉

「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた“よい”が「わるい」と「どちらかといえばわるい」を合わせた“わるい”を上回る項目は〈人柄・土地柄〉〈自然環境〉〈歴史と伝統〉〈買物などの日常生活の利便性〉〈医療・福祉施設〉〈総合的に見て〉の6項目となっており、それ以外の項目では“わるい”が“よい”を上回っています。

人柄・土地柄

◆ “よい” 46.1%、“わるい” 5.6%◆



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

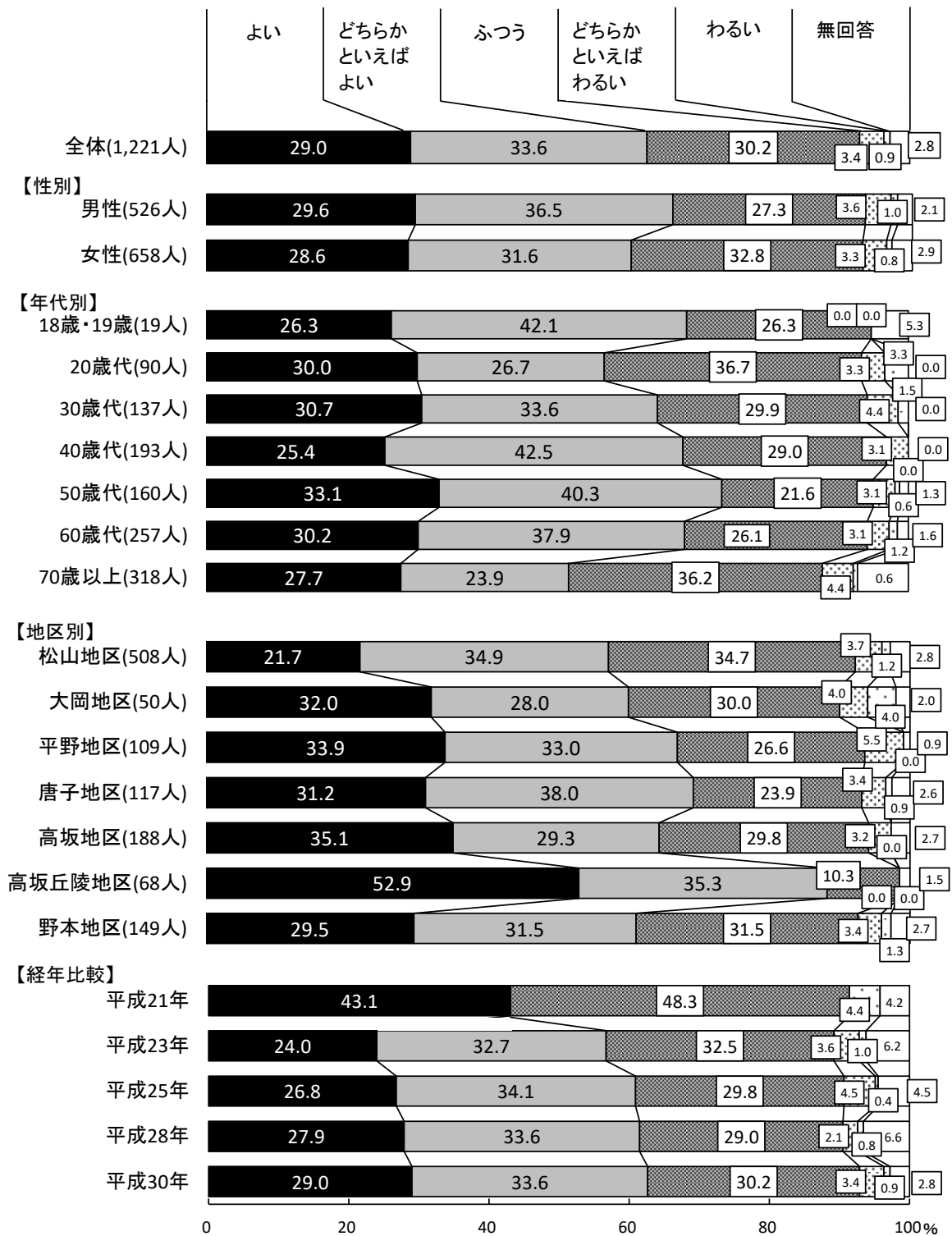
※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では“よい” (46.1%)、「ふつう」 (44.8%)、“わるい” (5.6%) となっています。
 年代別では“よい” は 18 歳・19 歳が 68.4%と最も高くなっています。
 地区別でみると“よい” は野本地区で 54.4%と最も高くなっています。

自然環境

◆ “よい” 62.6%、“わるい” 4.3%◆

自然環境



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では“よい” (62.6%)、「ふつう」(30.2%)、“わるい” (4.3%) となっており、平成 28 年度調査と比較すると“よい”が 1.1 ポイント増えていきます。

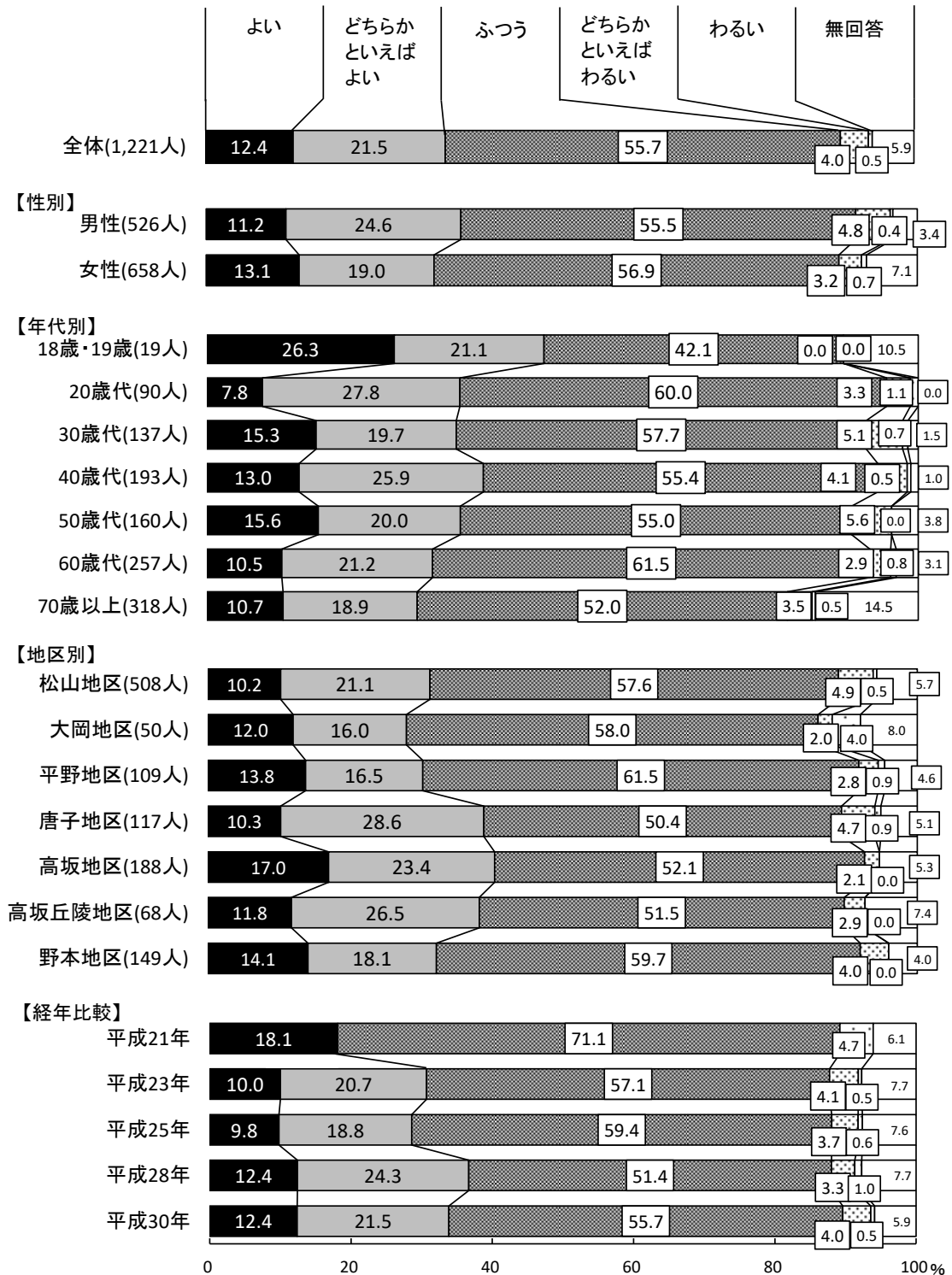
年代別でみると“よい”は 50 歳代で 73.4%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂丘陵地区で 88.2%と最も高くなっています。

歴史と伝統

◆ “よい” 33.9%、“わるい” 4.5%◆

歴史と伝統



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

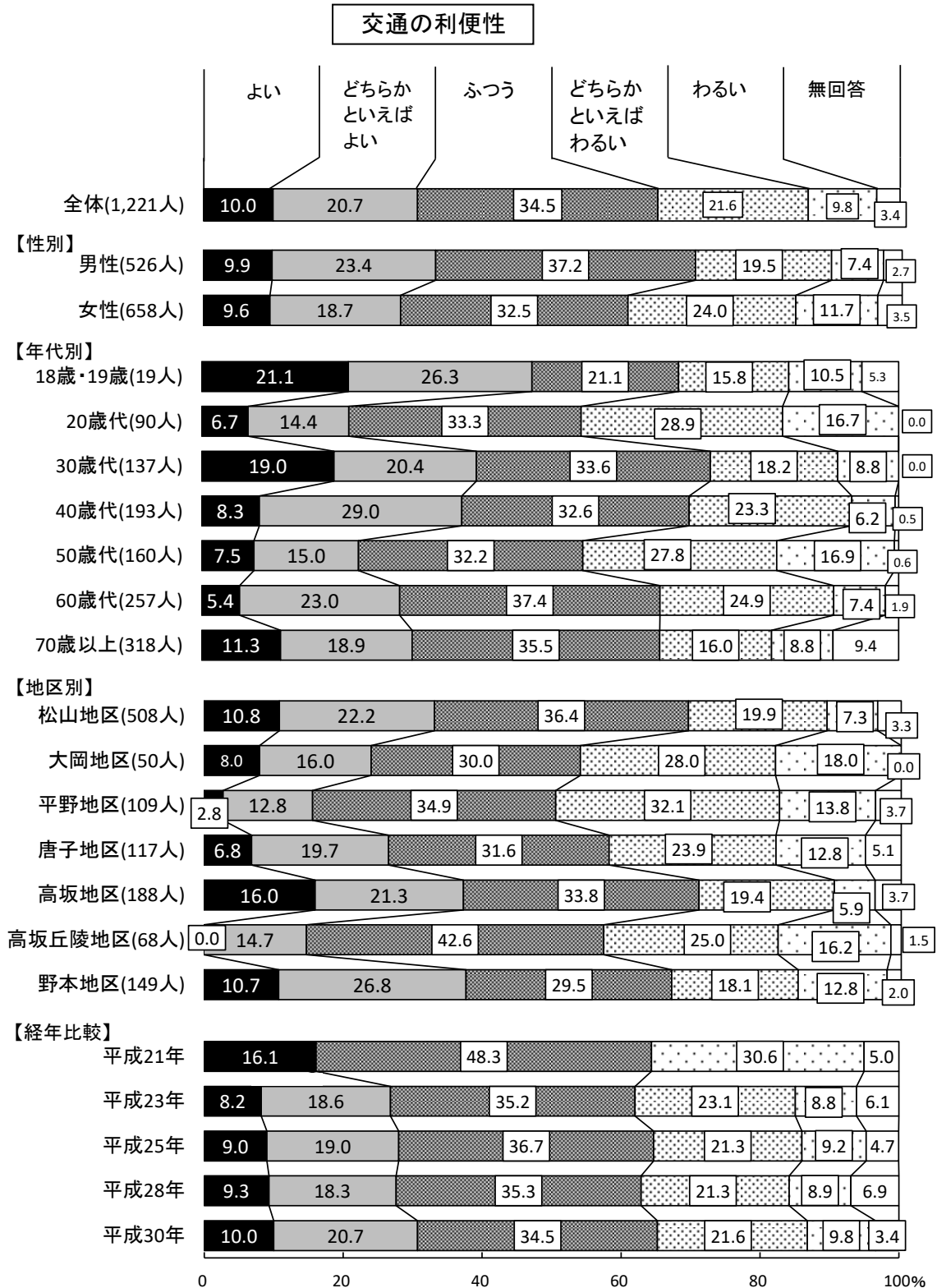
全体では「ふつう」(55.7%)、「よい」(33.9%)、「わるい」(4.5%)となっており、平成 28 年度調査と比較すると「よい」が 2.8 ポイント減少しています。

年代別でみると「よい」は 18 歳・19 歳で 47.4%と最も高くなっています。

地区別でみると「よい」は高坂地区で 40.4%、唐子地区で 38.9%、高坂丘陵地区で 38.3%と高くなっています。

交通の利便性

◆ “よい” 30.7%、“わるい” 31.4%◆



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

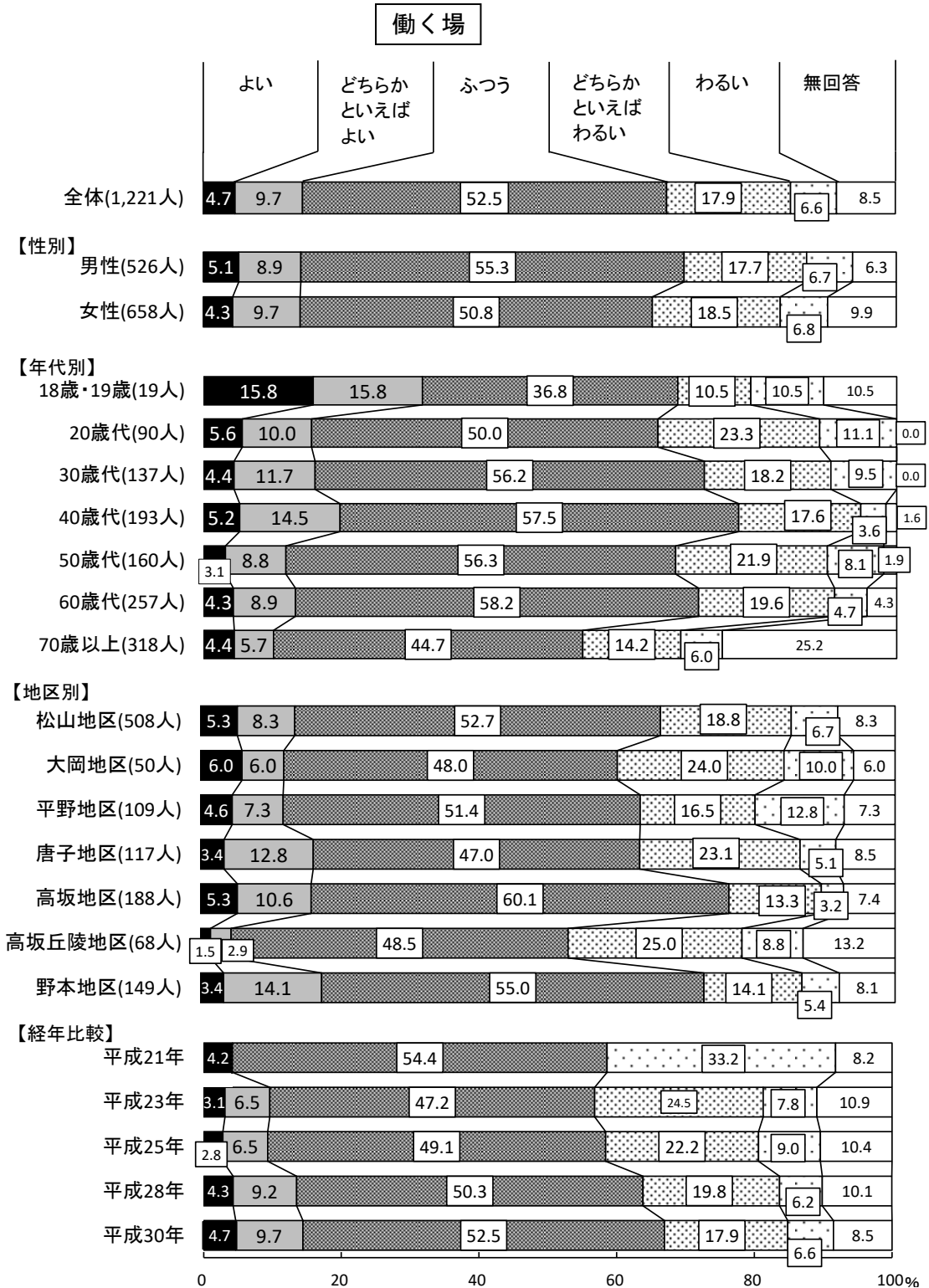
※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では「ふつう」(34.5%)、「わるい」(31.4%)、「よい」(30.7%)となっており、平成 28 年度調査と比較すると「よい」が 3.1 ポイント増加しています。

年代別でみると「よい」は 18 歳・19 歳で 47.4%と最も高くなっています。

地区別でみると「わるい」は大岡地区で 46.0%、平野地区で 45.9%と高くなっています。

働く場 ◆ “よい” 14.4%、“わるい” 24.5%◆



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

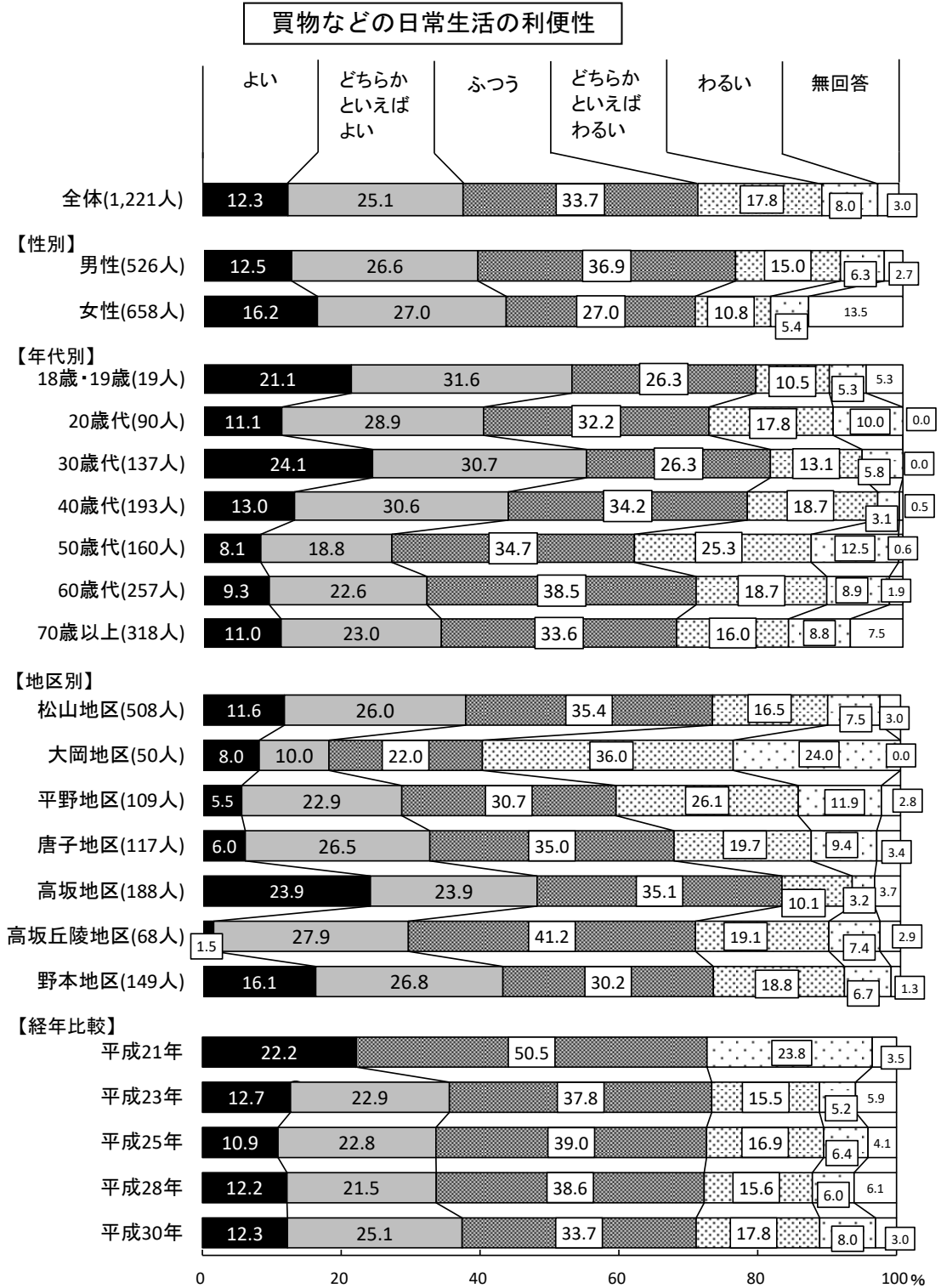
全体では「ふつう」(52.5%)、「わるい」(24.5%)、「よい」(14.4%)、となっており、平成 28 年度調査と比較すると「よい」が 0.9 ポイント増加しています。

年代別でみると「わるい」は 20 歳代で 34.4%と高くなっています。

地区別でみると「わるい」は大岡地区で 34.0%と最も高くなっています。

買物などの日常生活の利便性

◆ “よい” 37.4%、“わるい” 25.8% ◆



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では“よい” (37.4%)、「ふつう」 (33.7%)、“わるい” (25.8%) となっており、平成 28 年度調査と比較すると“よい” が 3.7 ポイント増加しています。

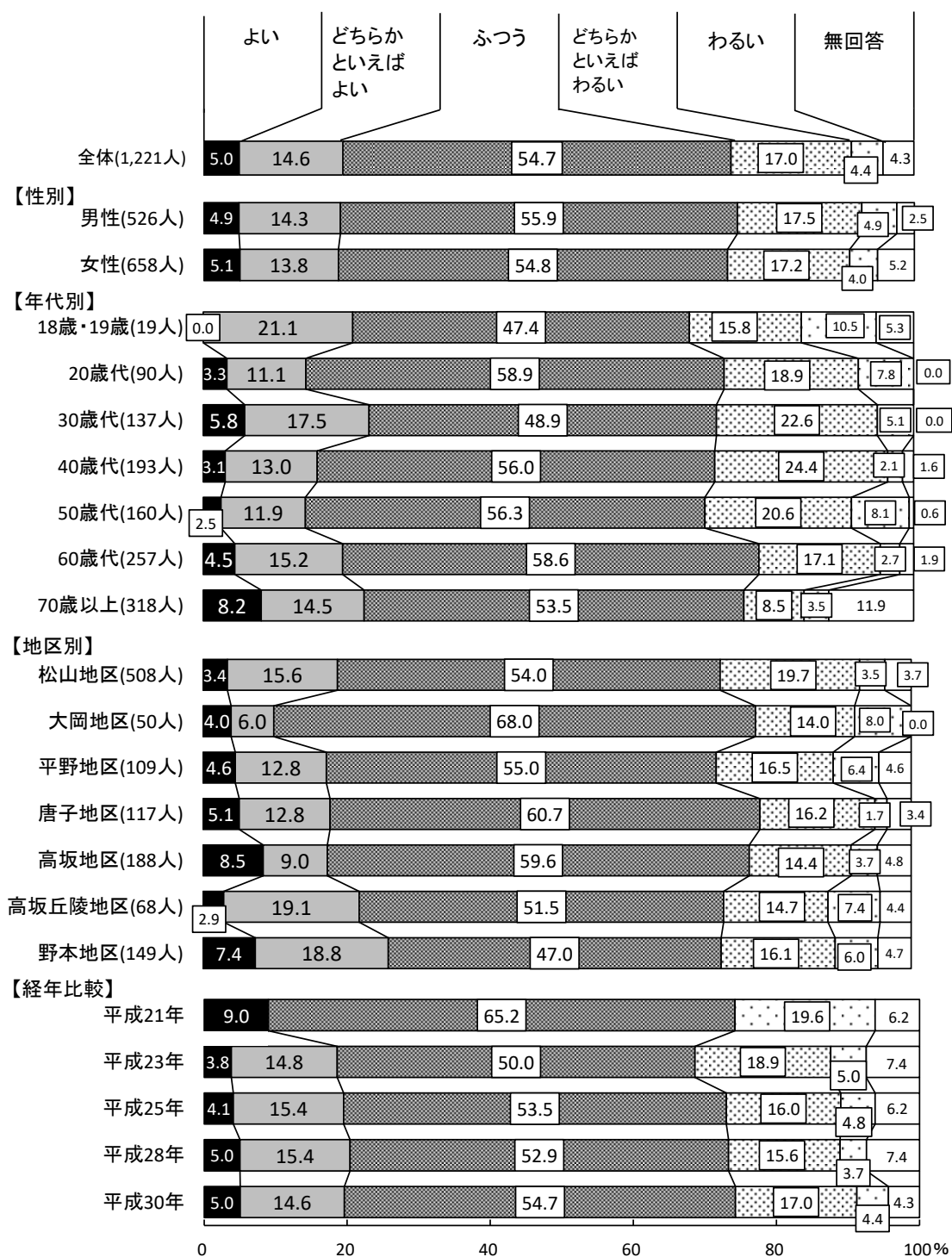
年代別でみると“よい” は 30 歳代で 54.8% と高くなっています。

地区別でみると“よい” は高坂地区で 47.8% と高く、“わるい” は大岡地区で 60.0% と最も高くなっています。

教育・文化・スポーツ施設

◆ “よい” 19.6%、“わるい” 21.4%◆

教育・文化・スポーツ施設



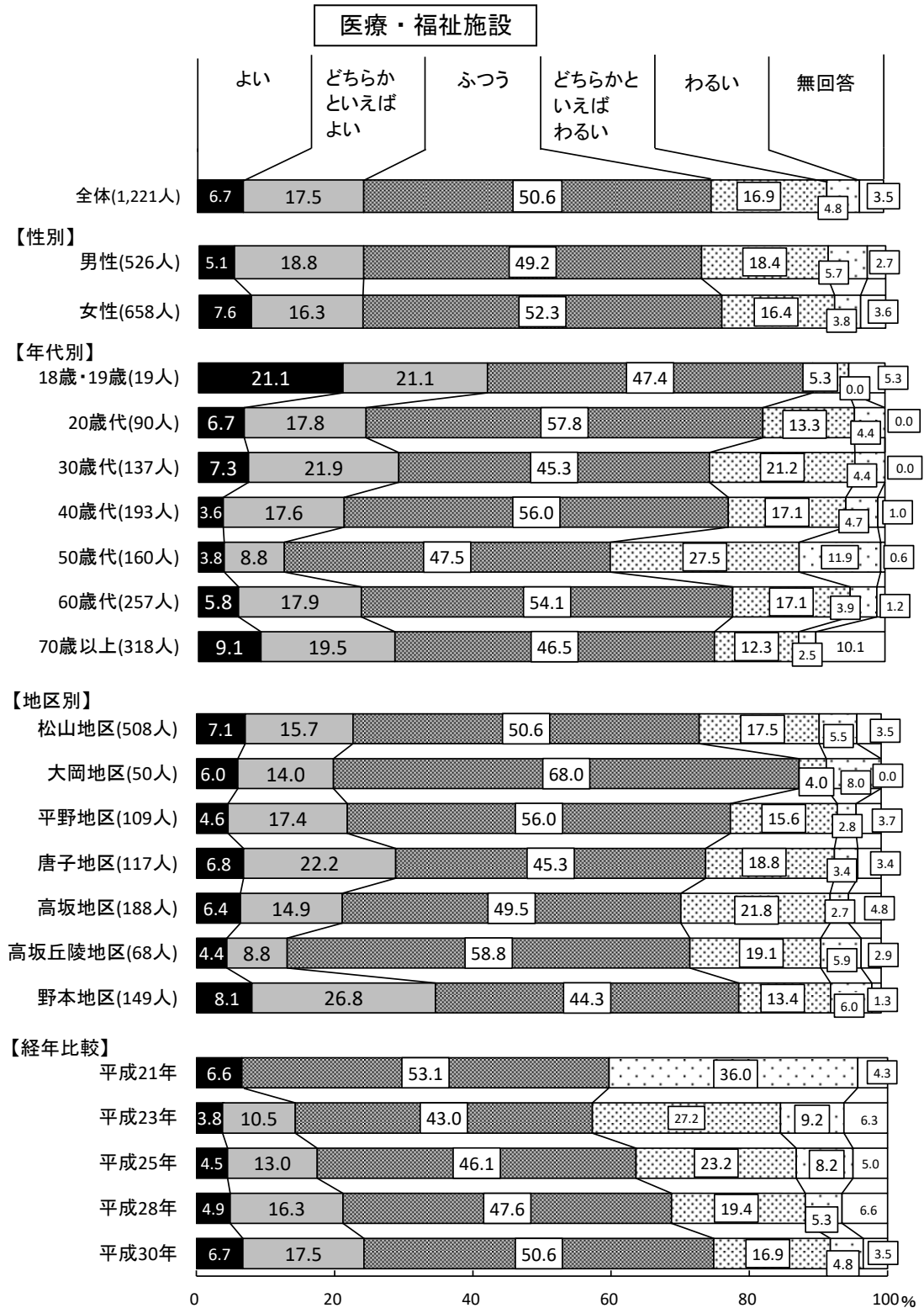
※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では「ふつう」(54.7%)、「わるい」(21.4%)、「よい」(19.6%)となっています。年代別でみると「よい」は30歳代で23.3%、70歳以上で22.7%と高くなっています。地区別でみると「わるい」は松山地区で23.2%、平野地区で22.9%、高坂丘陵地区、野本地区で22.1%とやや高くなっています。

医療・福祉施設

◆ “よい” 24.2%、“わるい” 21.7% ◆



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

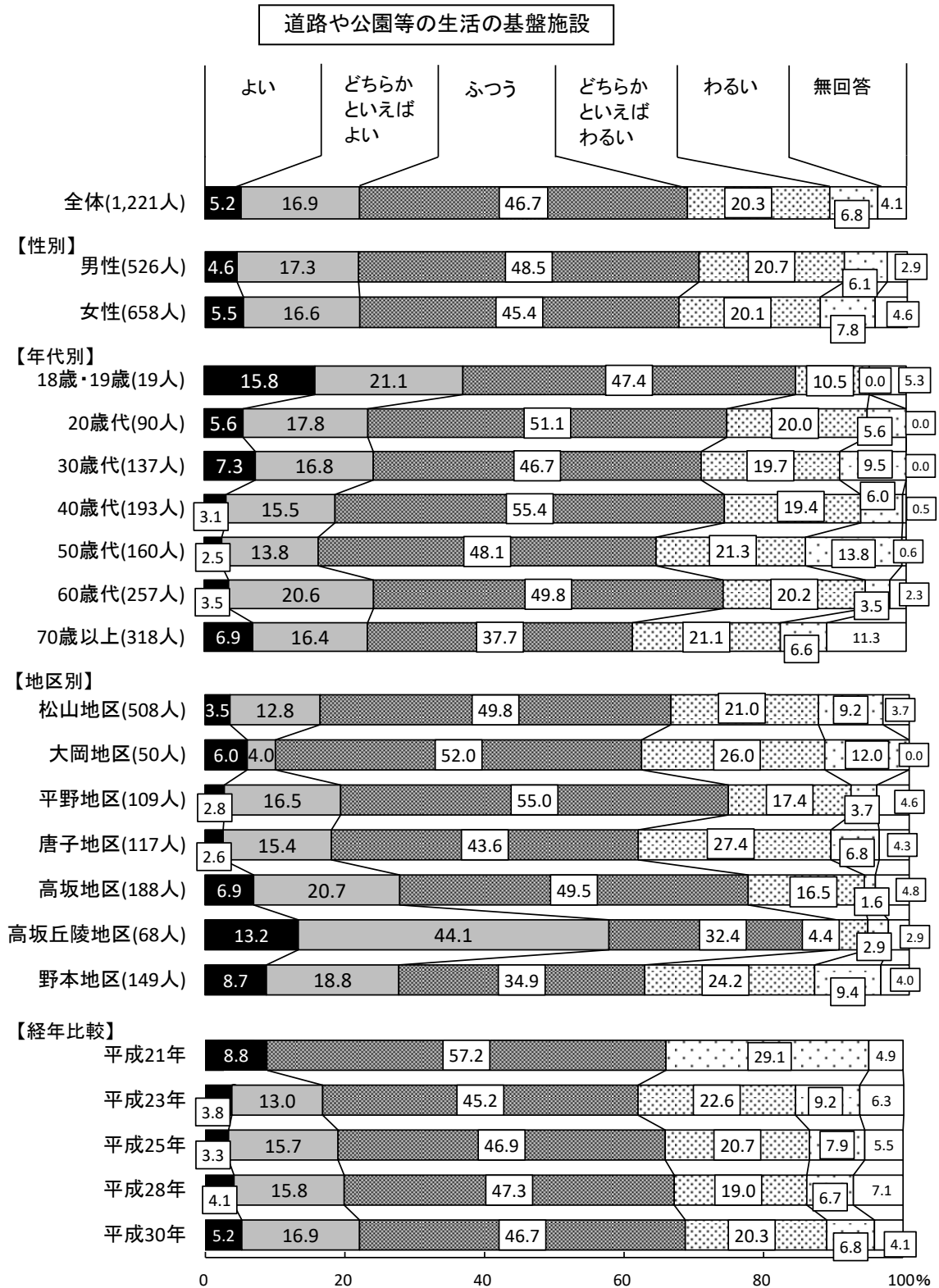
全体では「ふつう」(50.6%)、「よい」(24.2%)、「わるい」(21.7%)となっており、平成 28 年度調査と比較すると「よい」が 3.0 ポイント増加しています。

年代別でみると「わるい」は 50 歳代で 39.4%と最も高くなっています。

地区別でみると「わるい」は高坂丘陵地区で 25.0%、高坂地区で 24.5%と高くなっています。

道路や公園等の生活の基盤施設

◆ “よい” 22.1%、“わるい” 27.1%◆



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

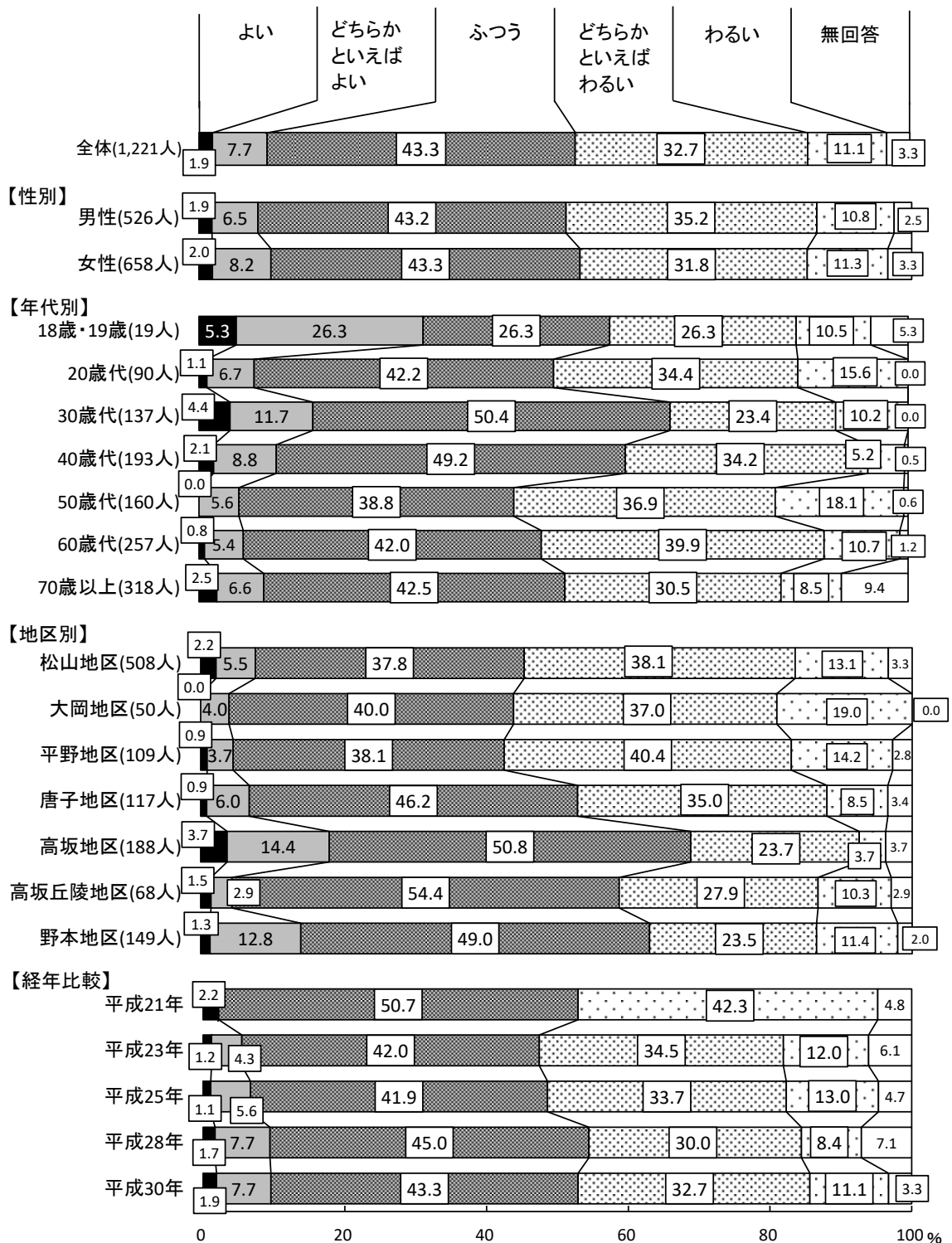
全体では「ふつう」(46.7%)、「わるい」(27.1%)、「よい」(22.1%)となっています。年代別でみると「わるい」は50歳代の35.1%が最も高くなっています。

地区別でみると「よい」は高坂丘陵地区で57.3%と群を抜いて高く、「わるい」は大岡地区で38.0%、唐子地区で34.2%、野本地区で33.6%と高くなっています。

活気とにぎわい

◆ “よい” 9.6%、“わるい” 43.8% ◆

活気とにぎわい

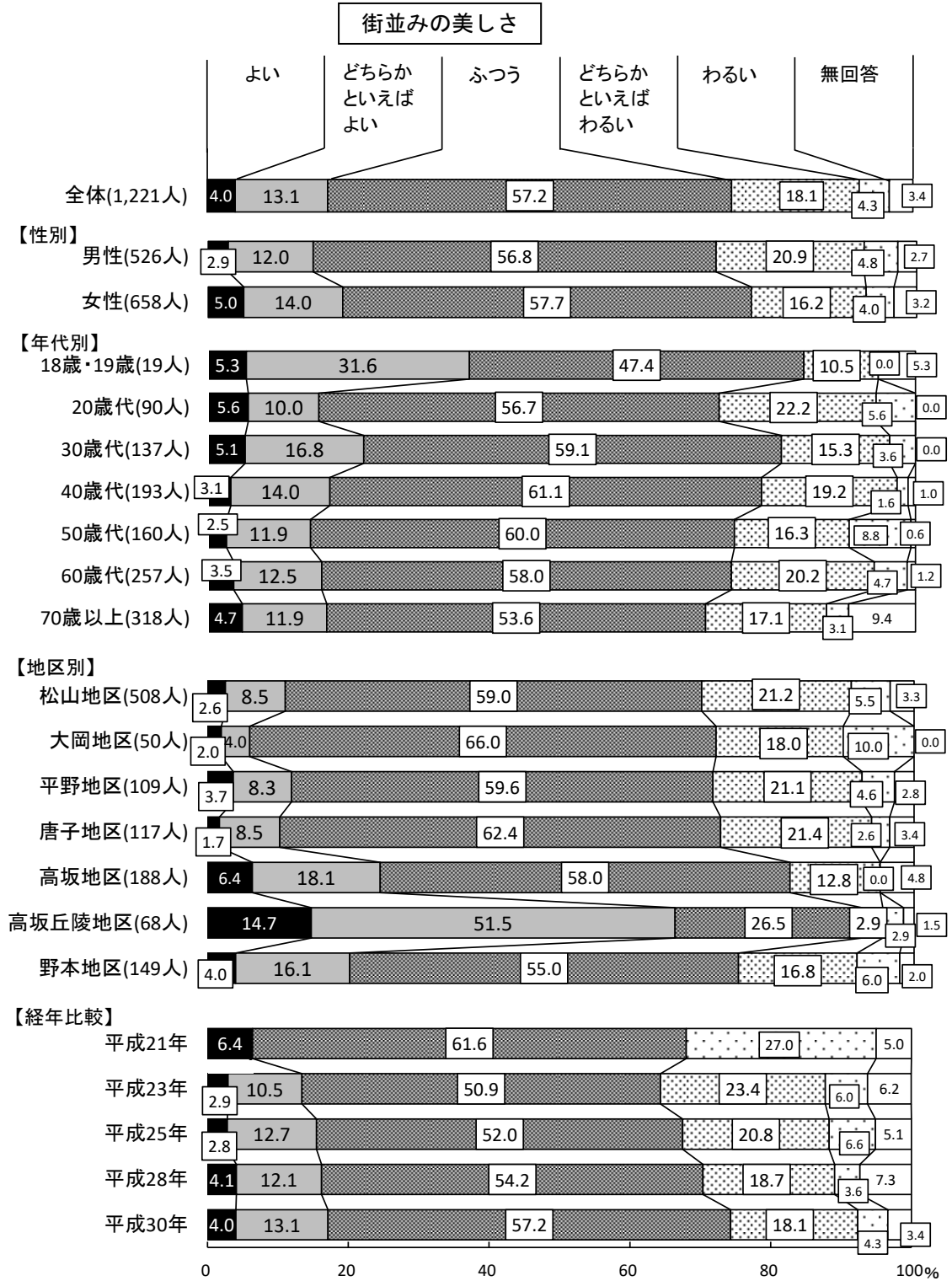


※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。
 ※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では“わるい” (43.8%)、「ふつう」 (43.3%)、“よい” (9.6%) となっており、平成 28 年度調査と比較すると、“わるい” が 5.4 ポイント増加しています。
 年代別でみると“わるい” は 20 歳代、50 歳代、60 歳代で 5 割以上と高くなっています。
 地区別でみると“わるい” は松山地区、大岡地区、平野地区で 5 割を上回っています。

街並みの美しさ

◆ “よい” 17.1%、“わるい” 22.4% ◆



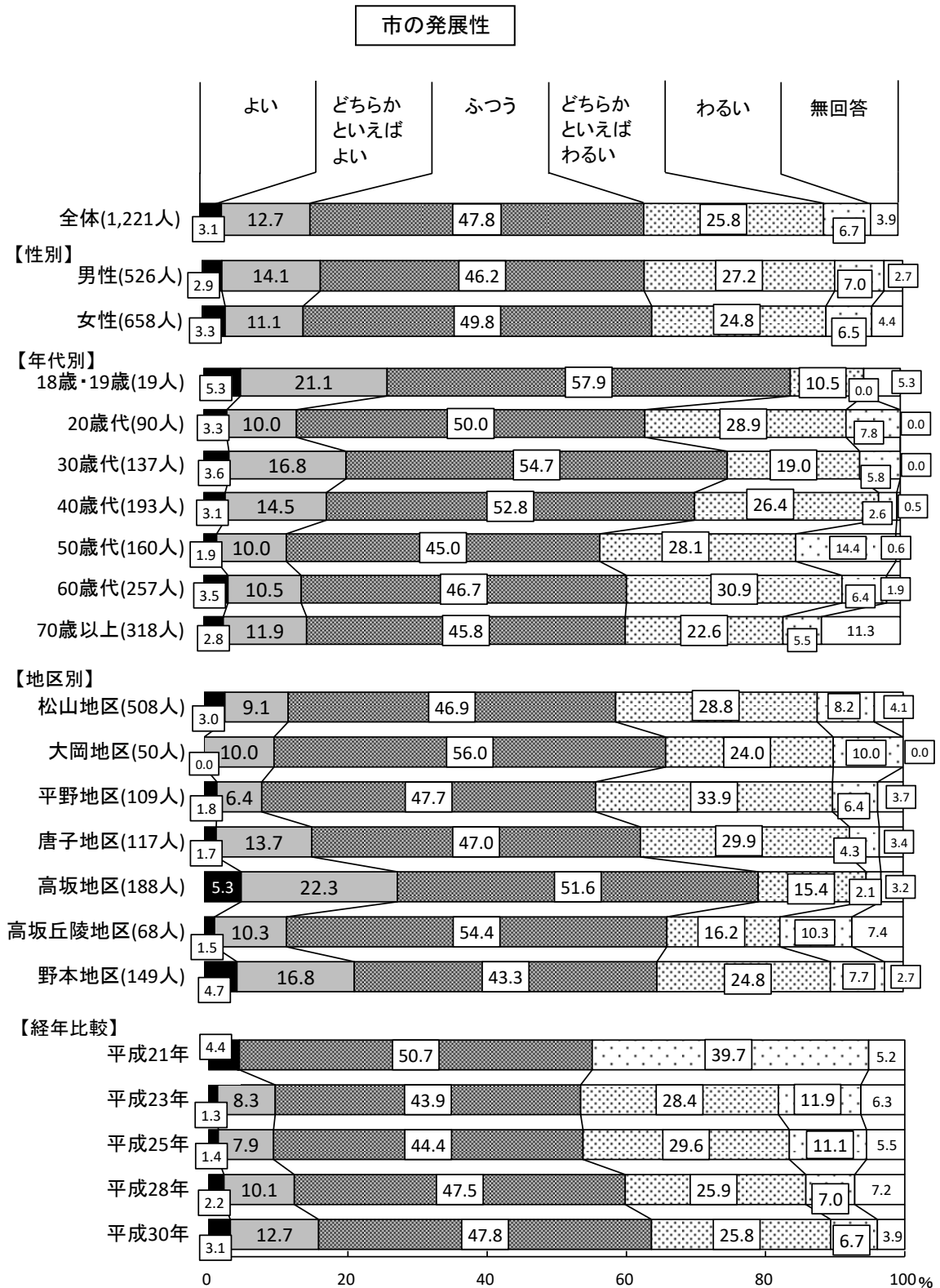
※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では「ふつう」(57.2%)、「わるい」(22.4%)、「よい」(17.1%)となっています。
 年代別でみると「よい」は18歳・19歳で36.9%と高くなっています。
 地区別でみると「よい」は高坂丘陵地区で66.2%と群を抜いて高くなっています。大岡地区では「よい」は6.0%にとどまっています。

市の発展性

◆ “よい” 15.8%、“わるい” 32.5%◆



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

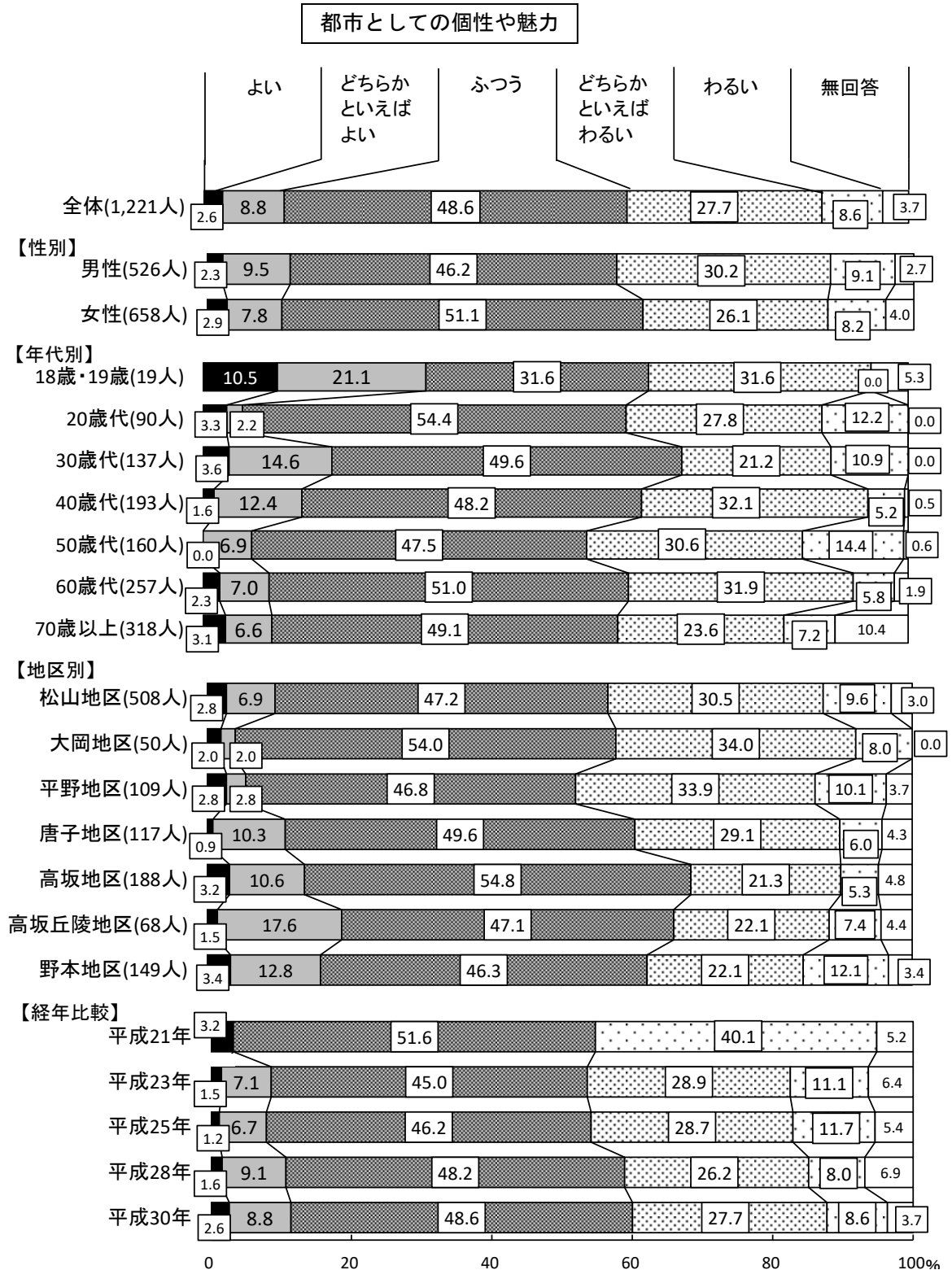
※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では「ふつう」(47.8%)、「わるい」(32.5%)、「よい」(15.8%)となっています。年代別でみると「よい」は18歳・19歳で26.4%とやや高くなっています。

地区別でみると「よい」は高坂地区で27.6%と最も高くなっています。一方「わるい」は平野地区で40.3%、松山地区で37.0%と高くなっています。

都市としての個性や魅力

◆ “よい” 11.4%、“わるい” 36.3%◆



※平成 21 年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

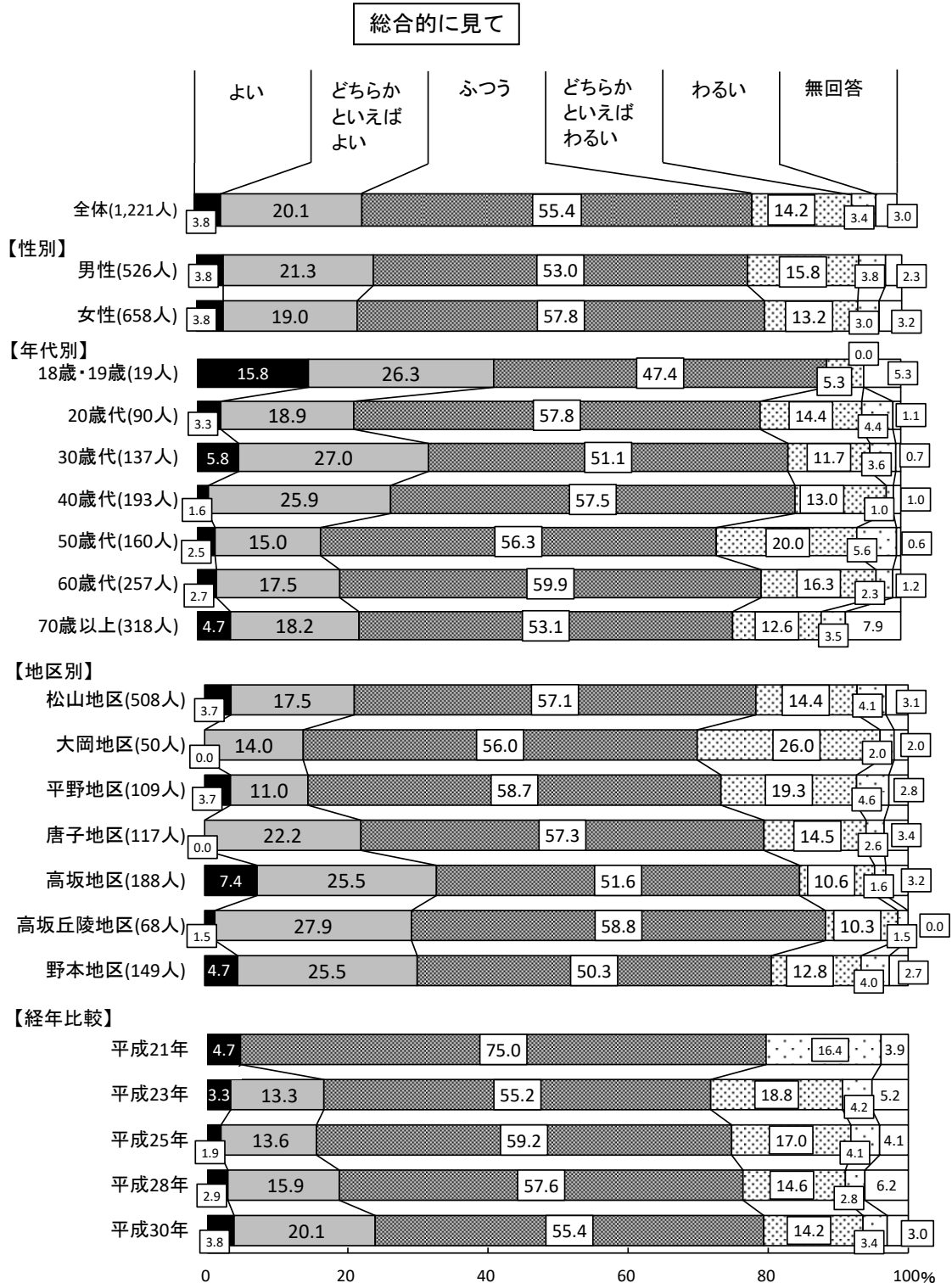
※平成 21 年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では「ふつう」(48.6%)、「わるい」(36.3%)、「よい」(11.4%)となっています。
年代別でみると「わるい」は50歳代で45.0%と最も高くなっています。

地区別でみると「わるい」が「よい」を各地区で上回り、平野地区では「わるい」が44.0%と高くなっています。

総合的に見て

◆ “よい” 23.9%、“わるい” 17.6%◆



※平成21年度までの選択肢：左から「よい」「ふつう」「わるい」。

※平成21年度までの調査では「どちらかといえばよい」「どちらかといえばわるい」の項目がないため、参考程度にとどめる必要があります。

全体では「ふつう」(55.4%)、「よい」(23.9%)、「わるい」(17.6%)となっており、平成28年度調査と比較すると、「よい」が5.1ポイント増加しています。

年代別でみると「よい」は18歳・19歳で42.1%、30歳代で32.8%と高くなっています。

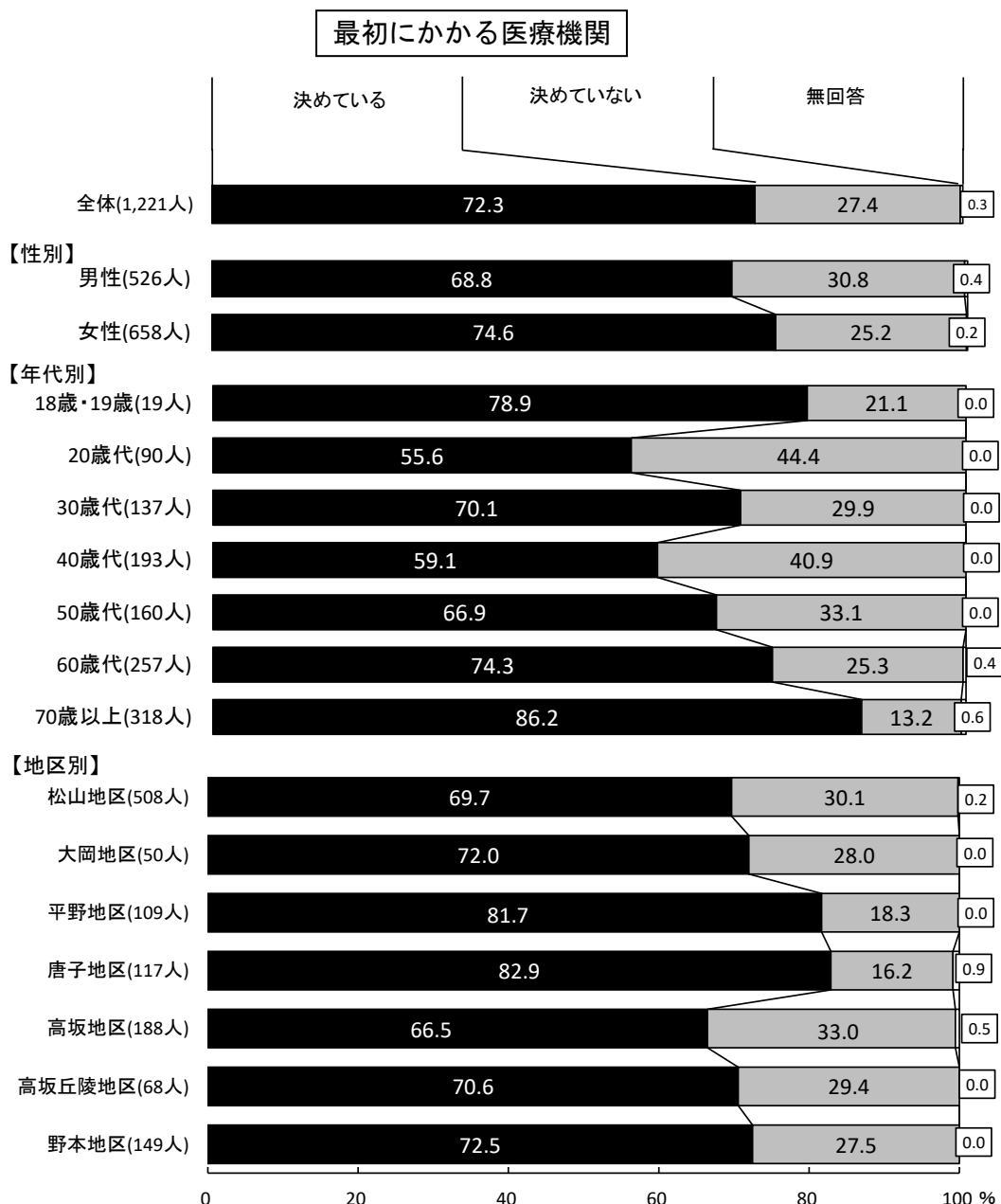
地区別でみると「よい」は高坂地区で32.9%と最も高くなっています。一方「わるい」は大岡地区で28.0%と高くなっています。

2 健康や医療・福祉について

2-1 最初にかかる医療機関

◆「決めている」72.3%◆

問5 あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「決めている」(72.3%)、「決めていない」(27.4%)となっています。

性別でみると「決めている」は女性(74.6%)が男性(68.8%)を5.8ポイント上回っています。

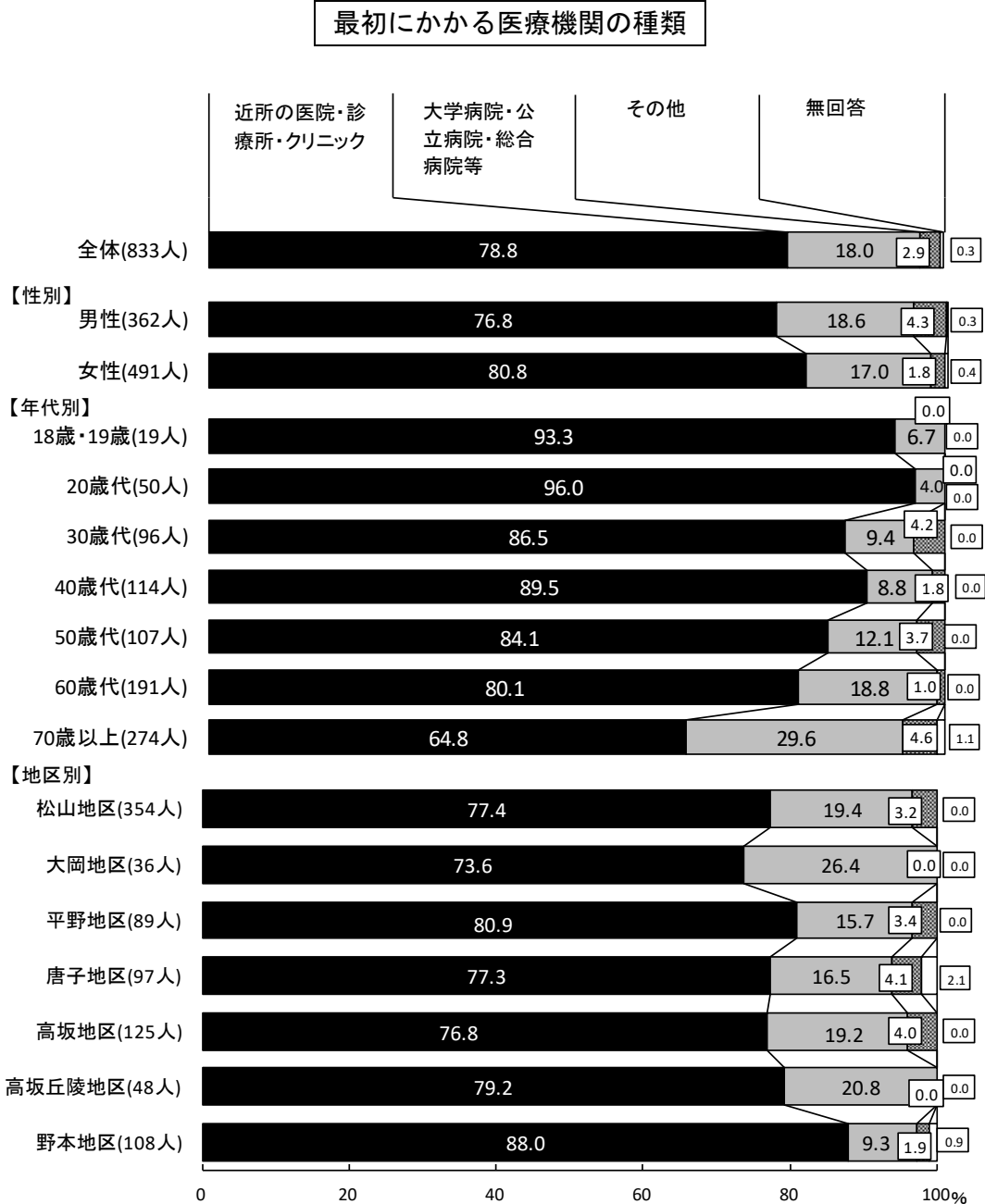
年代別でみると「決めている」は20歳代と40歳代で5割台となっていますが、その他の年代では6割以上となっています。

地区別でみると「決めている」は平野地区と唐子地区で8割を超え、大岡地区、高坂丘陵地区、野本地区でも7割台と高くなっています。

2-2 最初にかかる医療機関の種類

◆「近所の医院・診療所・クリニック」78.8%◆

(問5で「決めている」とお答えの方におたずねします)
問5-1 それは、次のどれですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



性別で見ると「近所の医院・診療所・クリニック」は女性（80.8%）が男性（76.8%）を4.0ポイント上回っています。

年代別で見るといずれの年代も「近所の医院・診療所・クリニック」が最も高くなっていますが、40歳代以上は年齢が高くなるほど「近所の医院・診療所・クリニック」の割合が低くなり、「大学病院・公立病院・総合病院等」の割合が高くなっています。

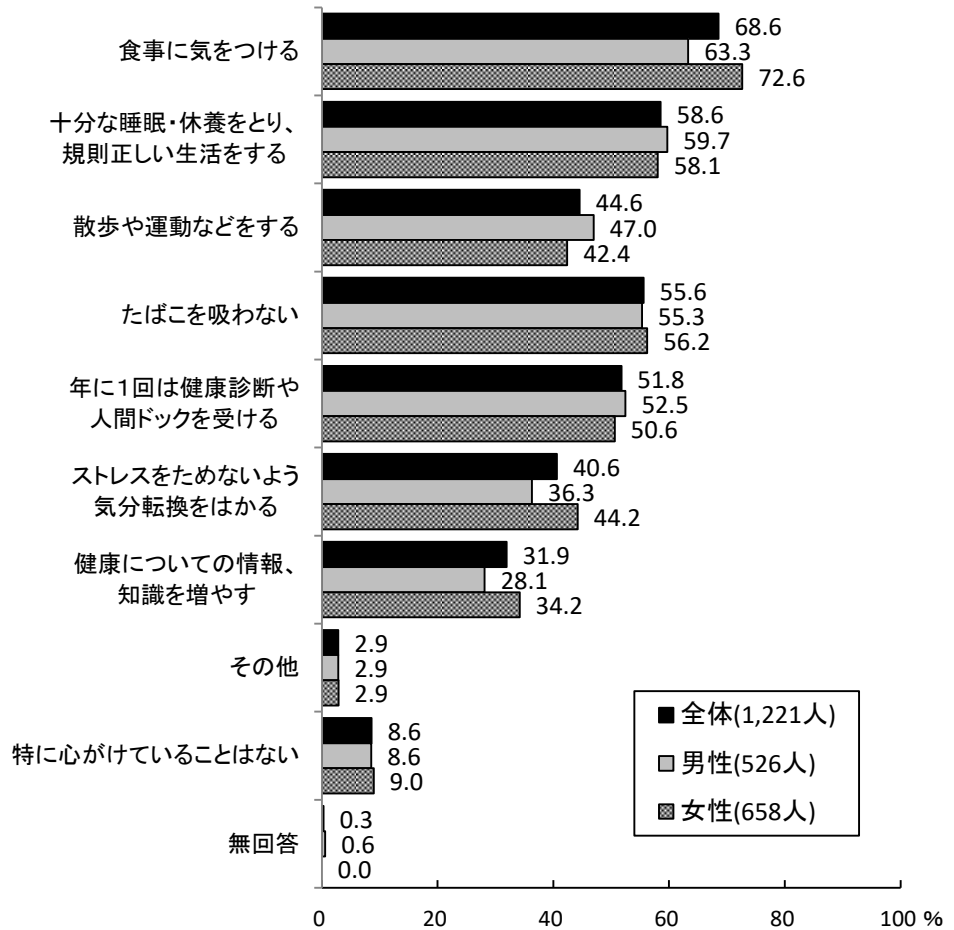
地区別で見るといずれの地区も「近所の医院・診療所・クリニック」は7割を超え、特に平野地区、野本地区では8割台となっています。

2-3 健康づくりのために心がけていること

◆「食事に気をつける」68.6%、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」58.6%◆

問6 あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

健康づくりのために心がけていること（全体・性別）

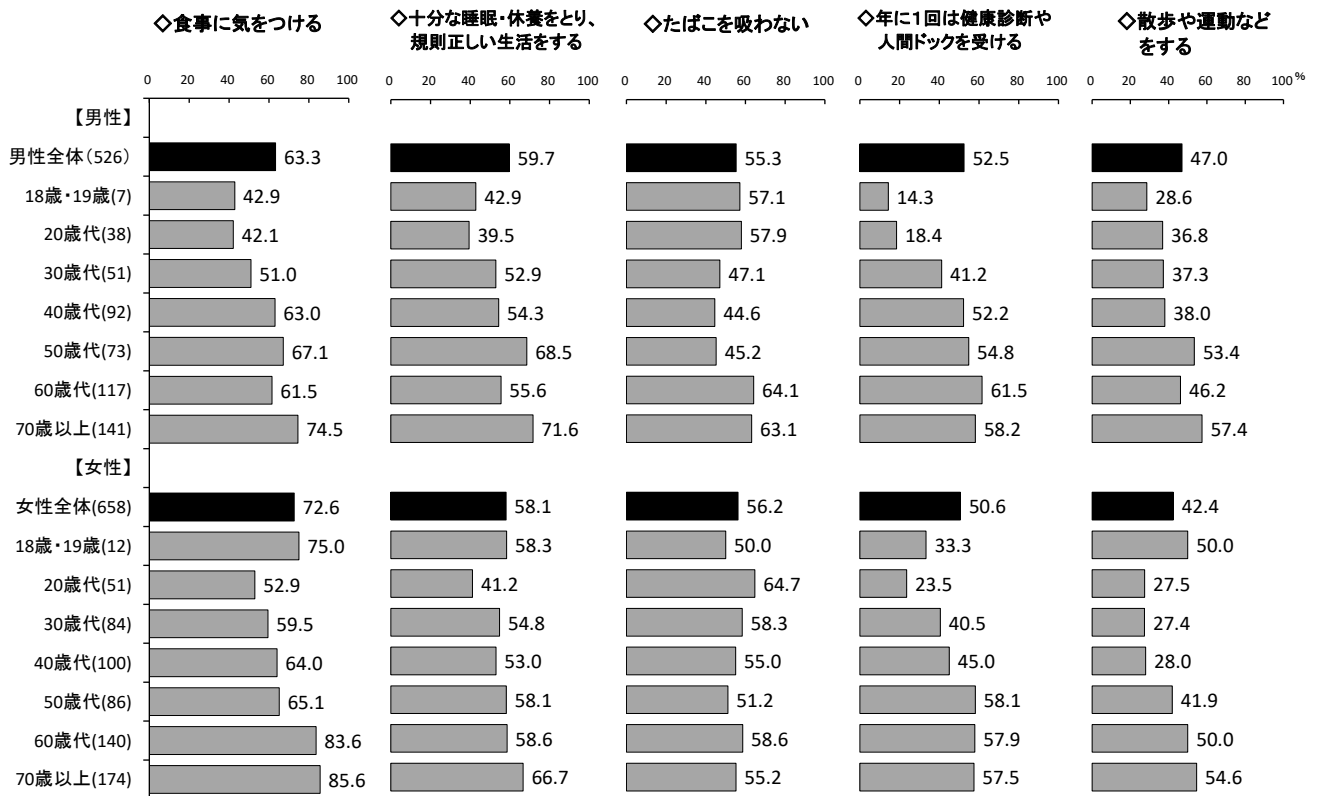


※「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、平成25年度調査までは「年に1回は健康診断を受ける」。

全体では「食事に気をつける」が68.6%で最も高く、次いで「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」(58.6%)、「たばこを吸わない」(55.6%)、「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」(51.8%)、「散歩や運動などをする」(44.6%)の順で続いています。

性別で見ると「食事に気をつける」は女性(72.6%)が男性(63.3%)を9.3ポイント、「ストレスをためないよう気分転換をはかる」は女性(44.2%)が男性(36.3%)を7.9ポイント上回っています。

健康づくりのために心がけていること（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「食事に気をつける」は男性では40歳代以降の年代で6割以上、女性では60歳代以降の年代で8割以上となっています。

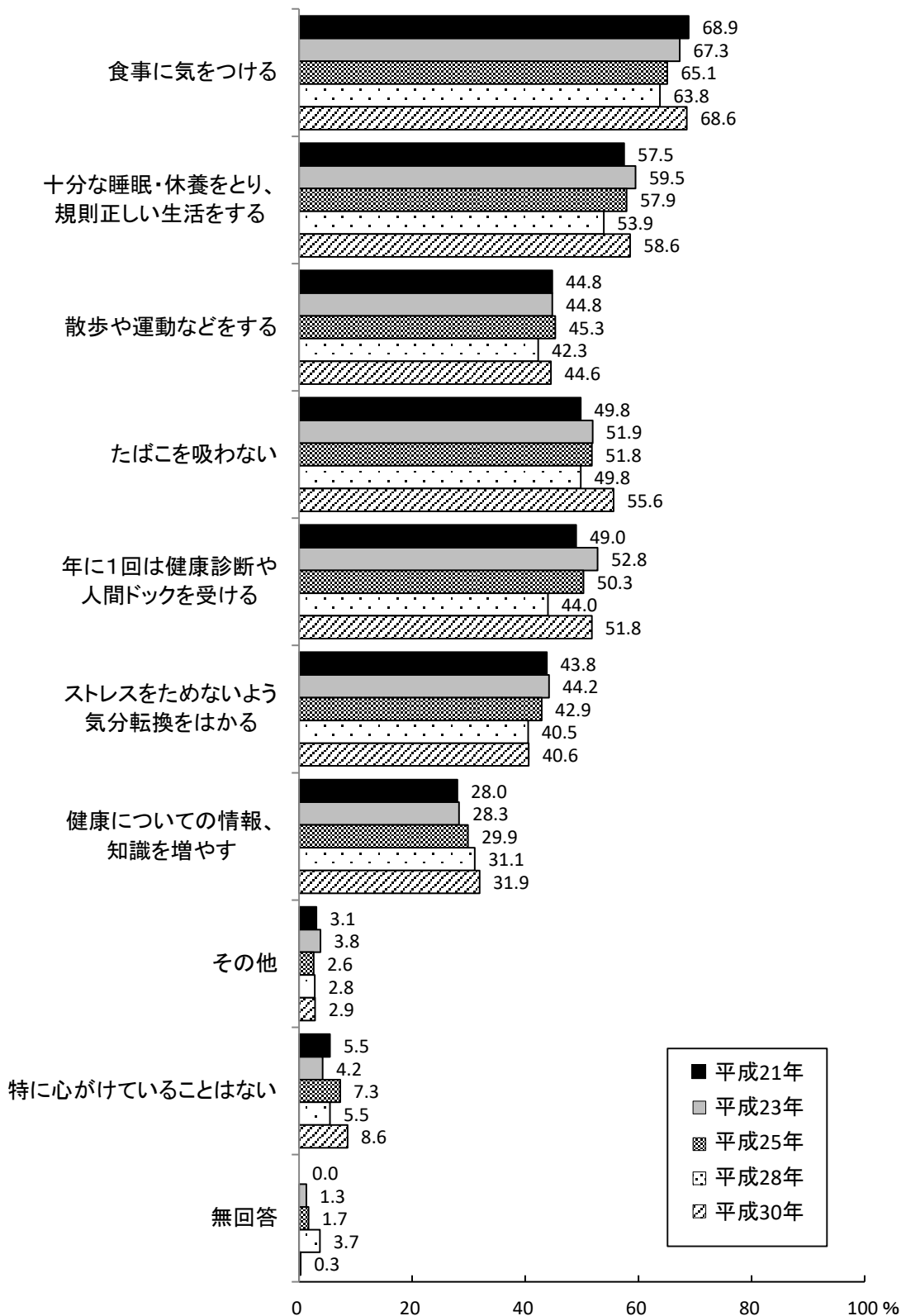
「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」は男性・女性ともにほとんどの年代で5割以上となっていますが、男性では18歳・19歳で42.9%、20歳代で39.5%、女性では20歳代で41.2%と他の年代と比べて低くなっています。

「たばこを吸わない」は、男性では60歳代で64.1%、女性では20歳代が64.7%と最も高くなっています。

「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、男性・女性とも18歳・19歳、20歳代で低く、特に男性の18歳・19歳と20歳代ではいずれも1割台、女性の20歳代が23.5%と低くなっています。

「散歩や運動などをする」は、男性の50歳代と70歳以上、女性の18歳・19歳と60歳代以降の年代で5割を超えています。

健康づくりのために心がけていること（経年比較）



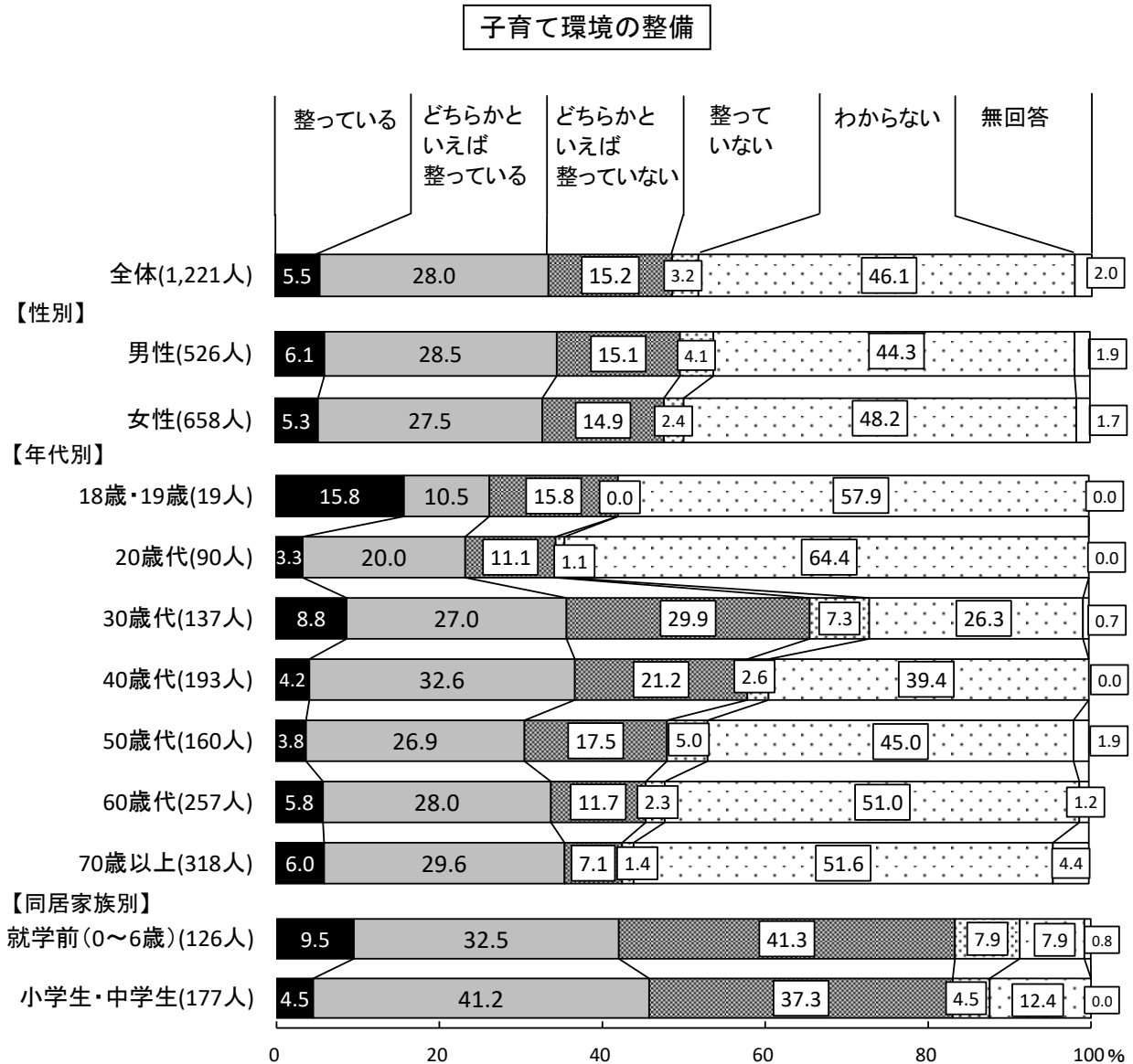
※「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、平成25年度までは「年に1回は健康診断を受ける」。

経年で比較すると、「たばこを吸わない」が55.6%で平成21年度調査以降最も高くなっています。「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は51.8%で平成28年度調査と比較すると、7.8ポイント増で最も上昇しています。また、いずれの項目でも、平成28年度から健康づくりのために心がけていることが増加しています。

2-4 子育て環境の整備

◆ “子育て環境が整っている” 33.5%◆

問7 あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「整っている」は5.5%、「どちらかといえば整っている」は28.0%で、両者をあわせた33.5%が“子育て環境が整っている”と回答しています。また「整っていない」(3.2%)と「どちらかといえば整っていない」(15.2%)の両者をあわせた“子育て環境は整っていない”との回答は18.4%となっています。

年代別で見ると“子育て環境が整っている”は、子育て世代である40歳代で36.8%、30歳代で35.8%と高くなっています。一方で30歳代は“子育て環境は整っていない”も37.2%と高くなっています。

同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯で見ると、小学生・中学生と同居では“子育て環境が整っている”(45.7%)が“子育て環境は整っていない”(41.8%)を3.9ポイント上回っていますが、就学前(0~6歳)の子と同居では“子育て環境は整っていない”(49.2%)が“子育て環境が整っている”(42.0%)を7.2ポイント上回っています。

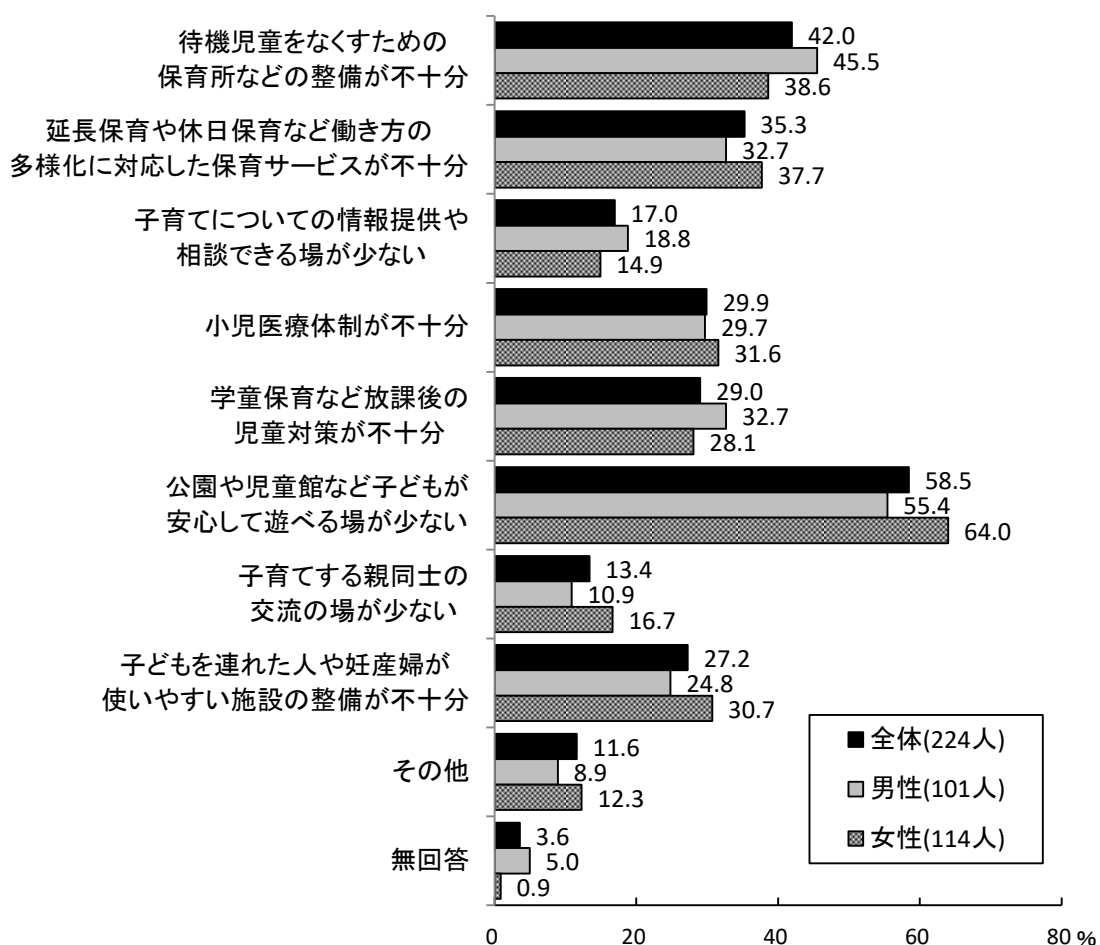
2-5 子育て環境が整っていない理由

- ◆「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」58.5%、「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」42.0%◆

(問7で「どちらかといえば整っていない」または「整っていない」とお答えの方におたずねします)

問7-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

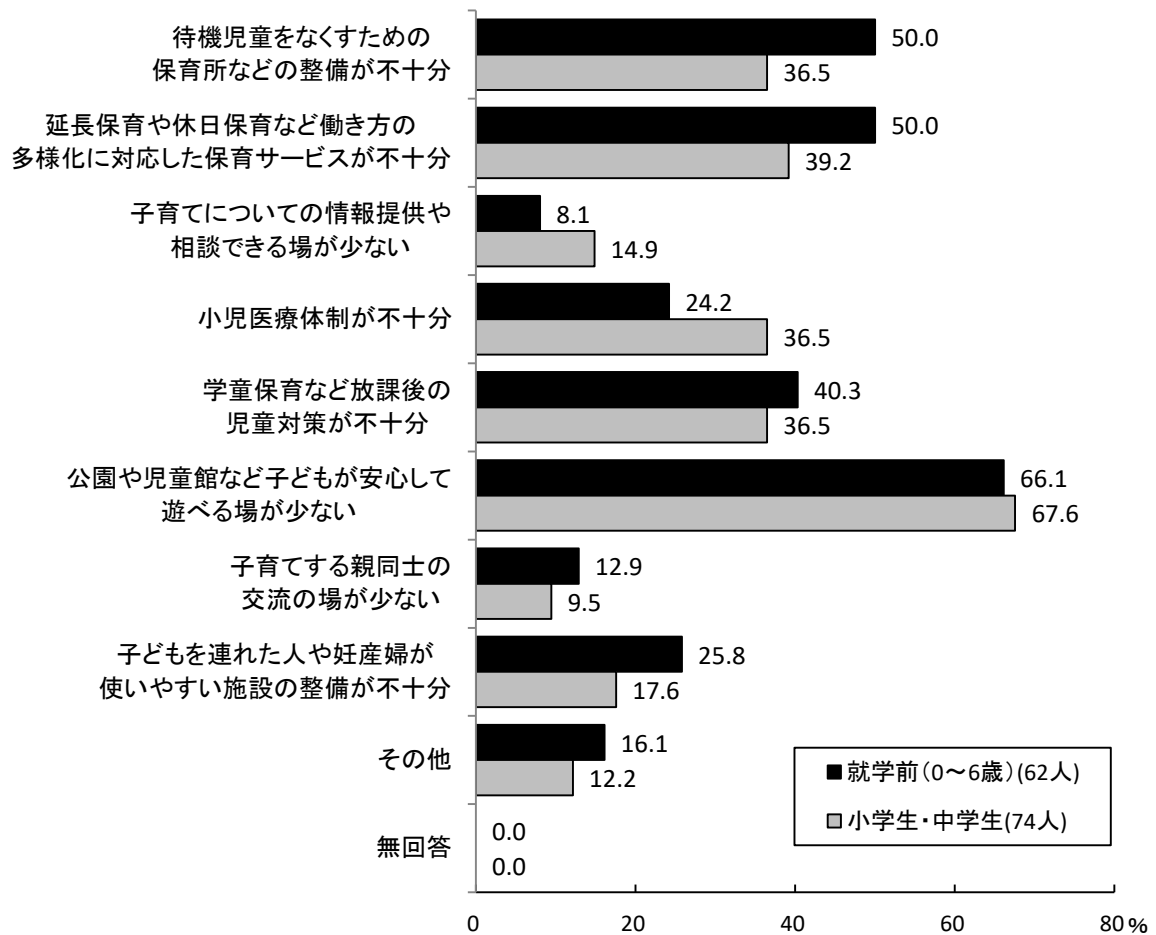
子育て環境が整っていない理由(全体・性別)



全体で見ると「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」が58.5%で最も高く、次いで「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」(42.0%)などが続いています。

性別で見ると「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」は女性(64.0%)が男性(55.4%)を8.6ポイント、「子どもを連れて人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分」は女性(30.7%)が男性(24.8%)を5.9ポイント上回っています。一方「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」では男性(45.5%)が女性(38.6%)を6.9ポイント上回っています。

子育て環境が整っていない理由（同居家族別）



同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯でみると、「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」は、就学前（0～6歳）の子と同居が66.1%、小学生・中学生と同居が67.6%とそれぞれ最も高くなっています。

次いで就学前（0～6歳）の子と同居では「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」と「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」がともに50.0%、「学童保育など放課後の児童対策が不十分」（40.3%）と続いています。

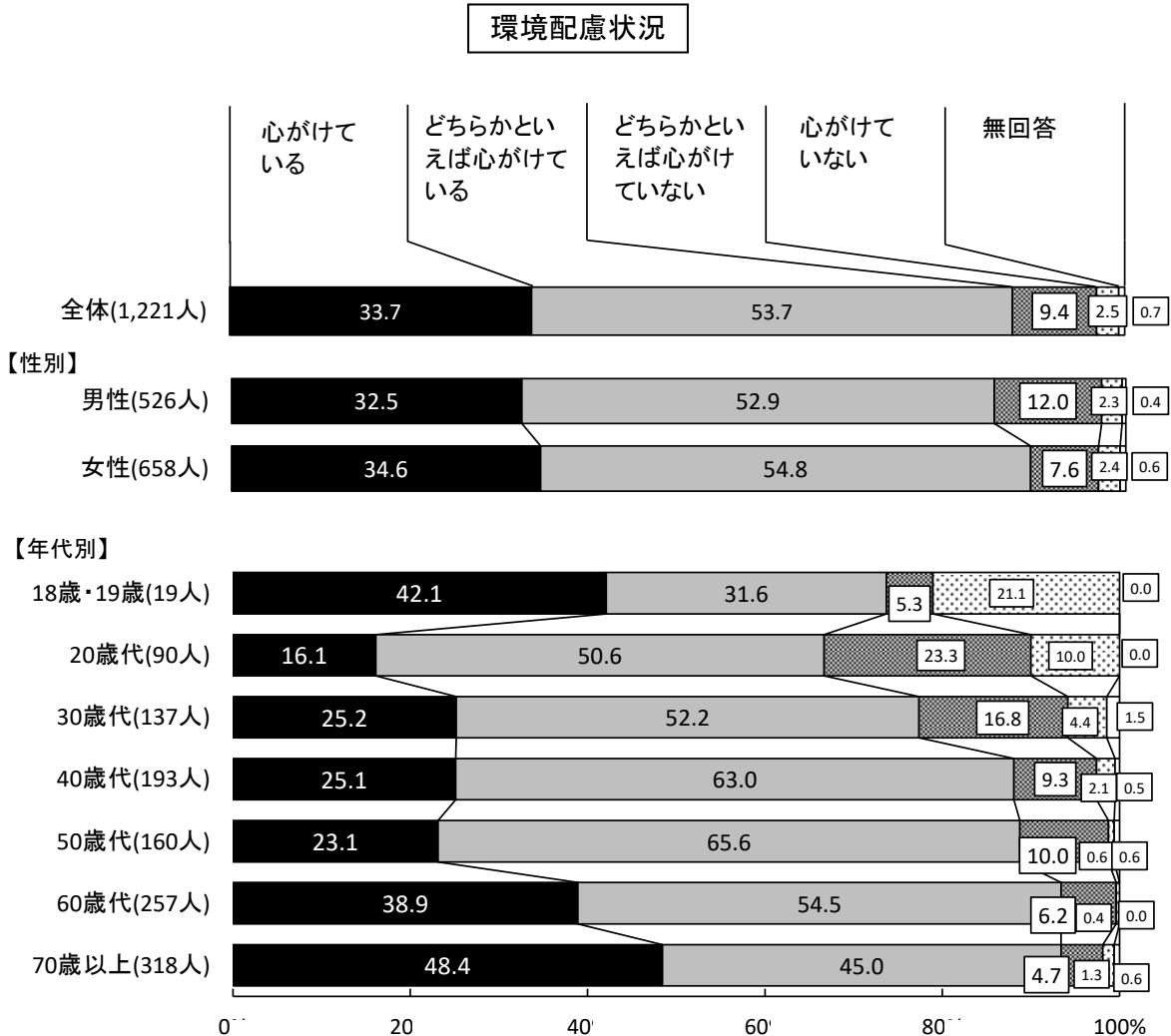
小学生・中学生と同居では「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」（39.2%）、「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」「小児医療体制が不十分」「学童保育など放課後の児童対策が不十分」がそれぞれ36.5%と続いています。

3 環境について

3-1 環境配慮状況

◆ “環境に配慮した生活を心がけている” 87.4%◆

問8 あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「心がけている」は33.7%、「どちらかといえば心がけている」は53.7%で、両者をあわせた87.4%が“環境に配慮した生活を心がけている”と回答しています。

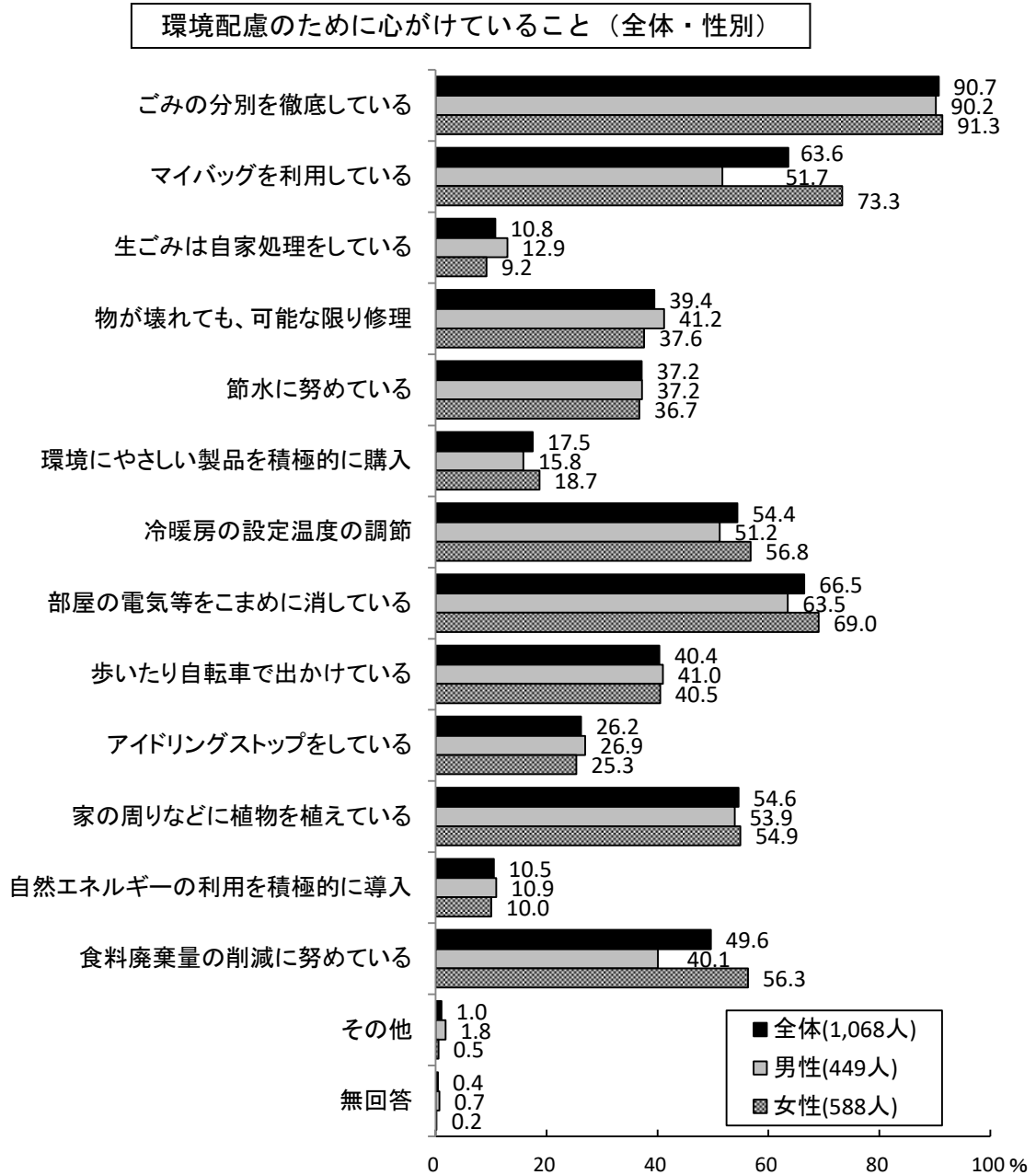
年代別で見ると「心がけている」は70歳以上で48.4%と最も高く、次いで18歳・19歳で42.1%となっています。また“環境に配慮した生活を心がけている”は、60歳代、70歳以上でともに93.4%と最も高く、50歳代でも88.7%となっています。一方、20歳代では「心がけていない」(10.0%)と「どちらかといえば心がけていない」(23.3%)の両者をあわせた“環境に配慮した生活を心がけていない”が33.3%と、他の年代に比べ高くなっています。

3-2 環境配慮のために心がけていること

◆「ごみの分別を徹底している」90.7%◆

(問8で「心がけている」または「どちらかといえば心がけている」とお答えの方におたずねします)

問8-1 日常生活の中で、具体的に心がけていることは何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

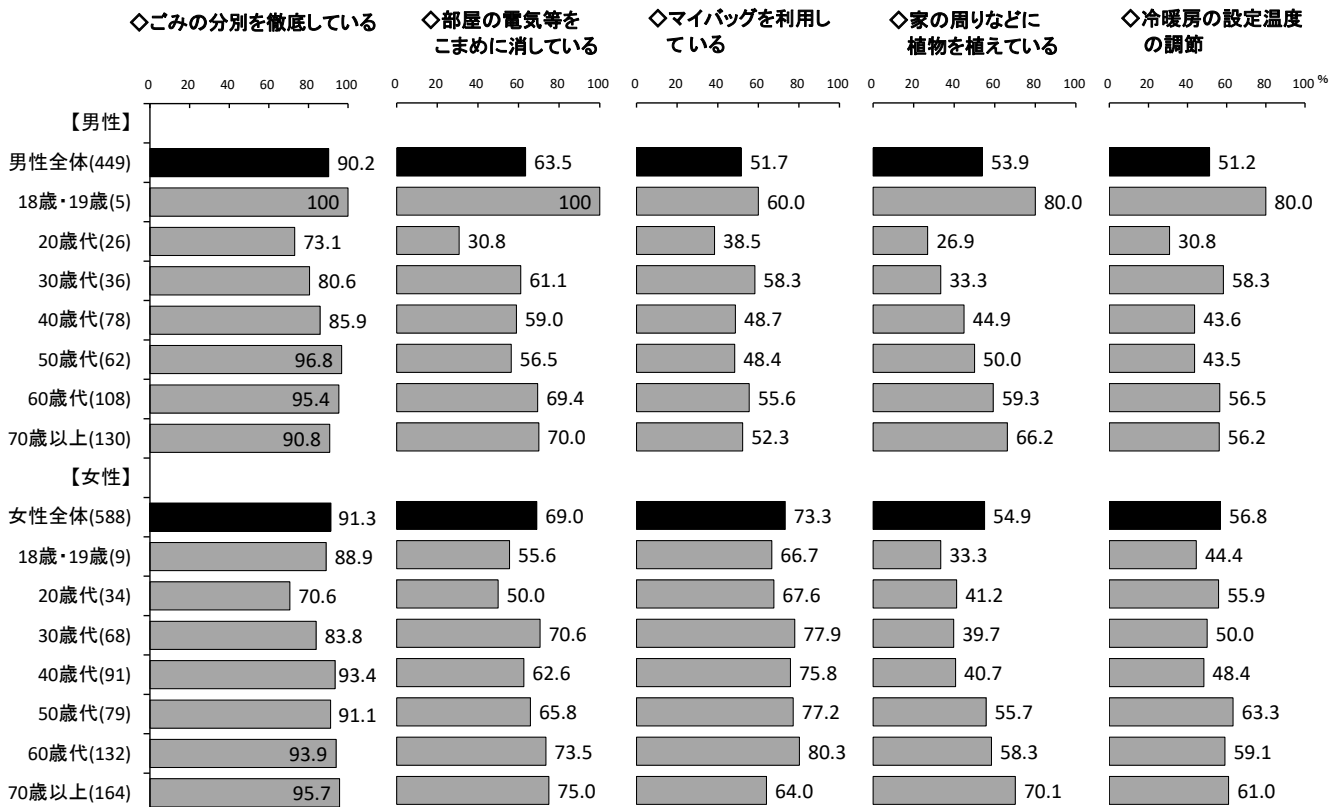


※「食料廃棄量の削減に努めている」は、平成28年度からの選択肢です。

全体では「ごみの分別を徹底している」が90.7%で最も高く、次いで「部屋の電気等をこまめに消している」(66.5%)、「マイバッグを利用している」(63.6%)、「家の周りなどに植物を植えている」(54.6%)、「冷暖房の設定温度の調節」(54.4%)と続いています。

性別で見ると「マイバッグを利用している」は女性(73.3%)が男性(51.7%)を21.6ポイント上回っています。

環境配慮のために心がけていること（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「ごみの分別を徹底している」は男性・女性とも全ての年代で高い割合で行われており、特に男性・女性とも50歳代以降で9割以上となっています。

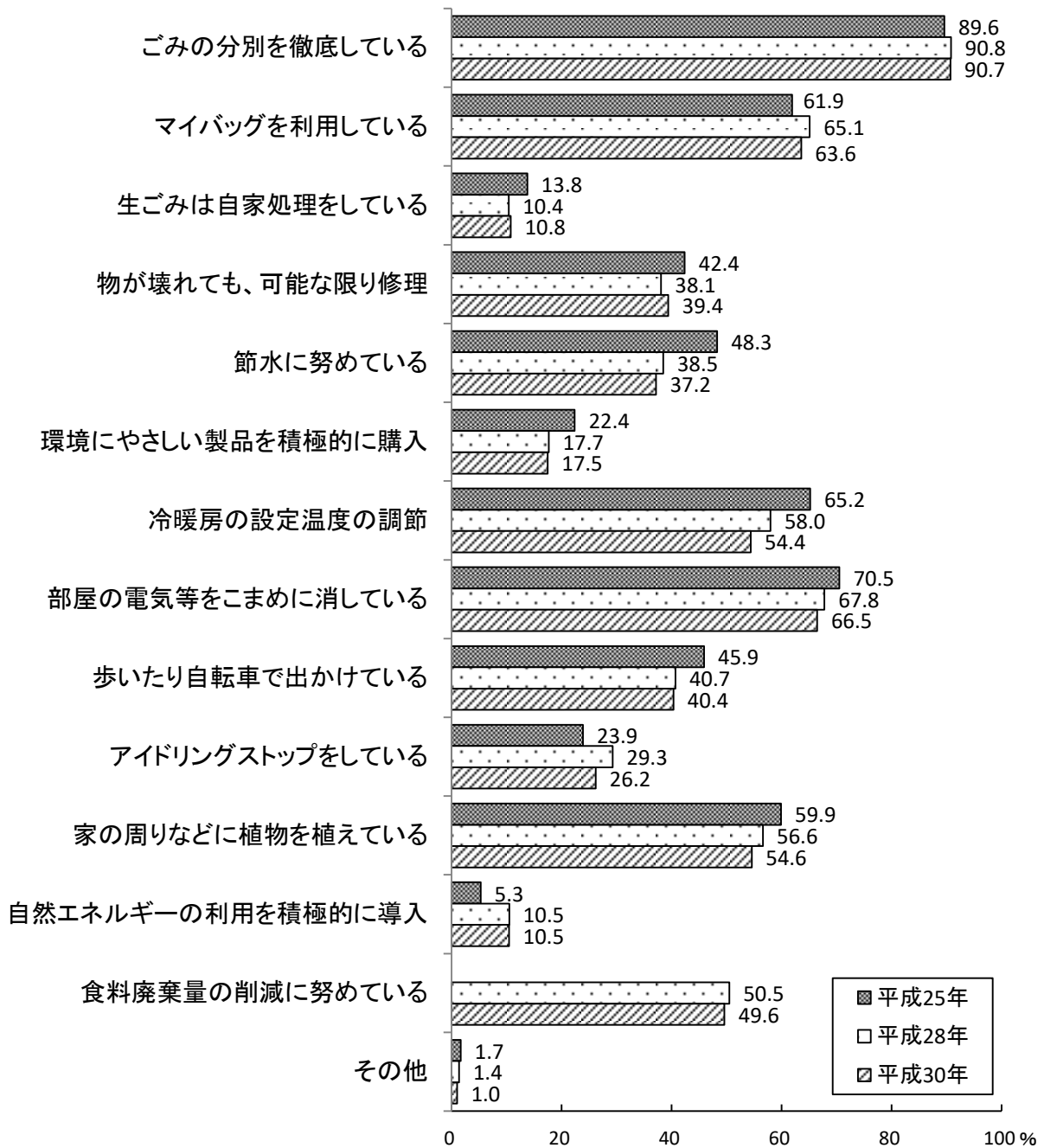
「部屋の電気等をこまめに消している」は男性では18歳・19歳が100%と群を抜き高く、女性では30歳代と60歳代、男性・女性ともに70歳以上で7割台と高くなっています。

「マイバッグを利用している」は女性では全ての年代で6割を超えており、特に60歳代で80.3%と最も高くなっています。男性は18歳・19歳が60.0%と高くなっています。

「家の周りなどに植物を植えている」は男性・女性ともに年齢が高くなるほど割合が高い傾向となっており、男性では18歳・19歳が80.0%と最も高く、女性では70歳以上が70.1%となっています。

「冷暖房の設定温度の調節」は男性の18歳・19歳（80.0%）が最も高く、女性では50歳代（63.3%）が最も高くなっています。

環境配慮のために心がけていること（経年比較）



※「食料廃棄量の削減に努めている」は、平成28年度からの選択肢です。

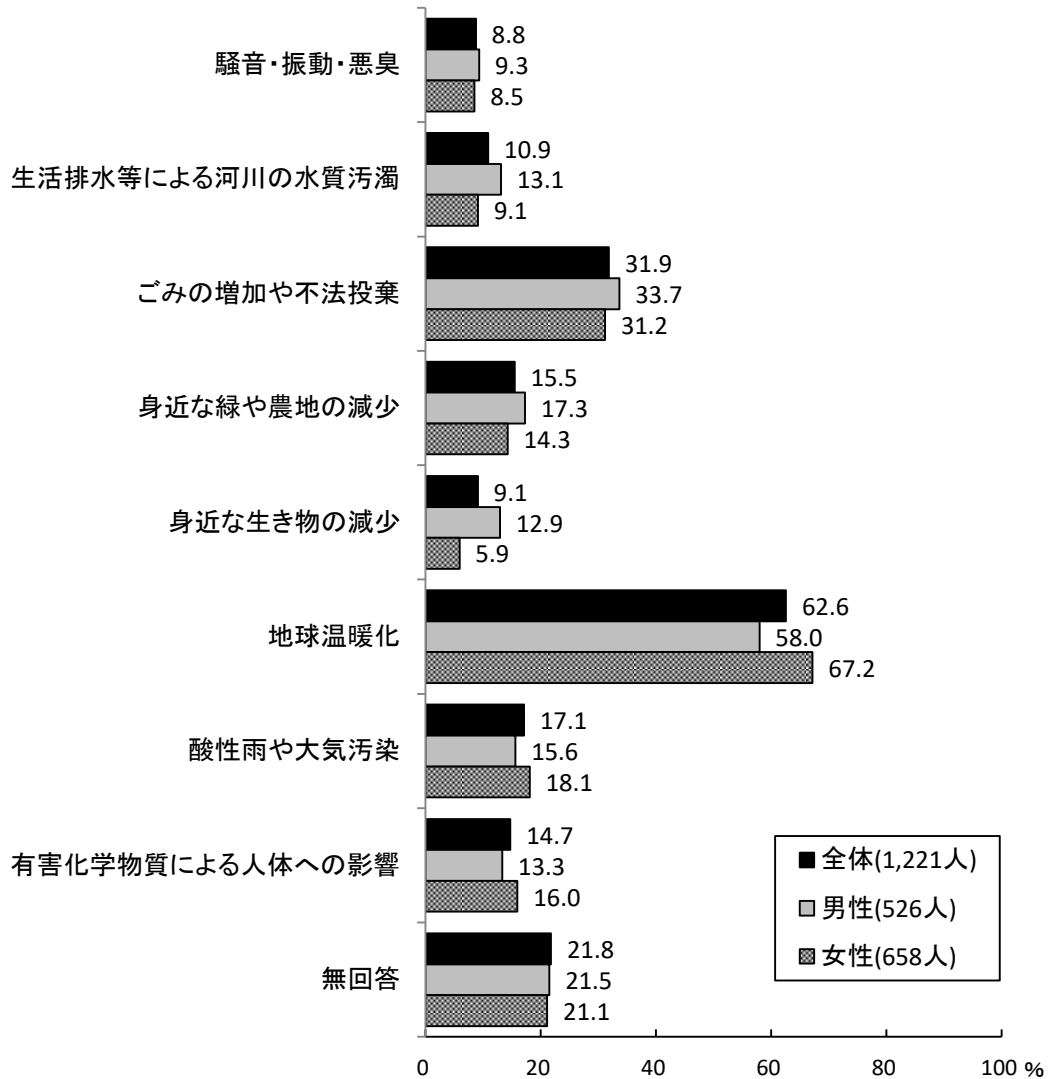
平成28年度調査と比較すると「物が壊れても、可能な限り修理」が1.3ポイント、「生ごみは自家処理をしている」が0.4ポイント増加しています。一方「冷暖房の設定温度の調整」は3.6ポイント、「アイドリングストップをしている」は3.1ポイント減少しています。

3-3 環境問題の深刻度・重要度

◆「地球温暖化」「ごみの増加や不法投棄」が深刻度、重要度ともに比較的高い◆

問9 環境問題について、次にあげる項目で、「すでに深刻な問題である」ということ、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」ということについて、それぞれ3つまで選び、番号を○で囲んでください。

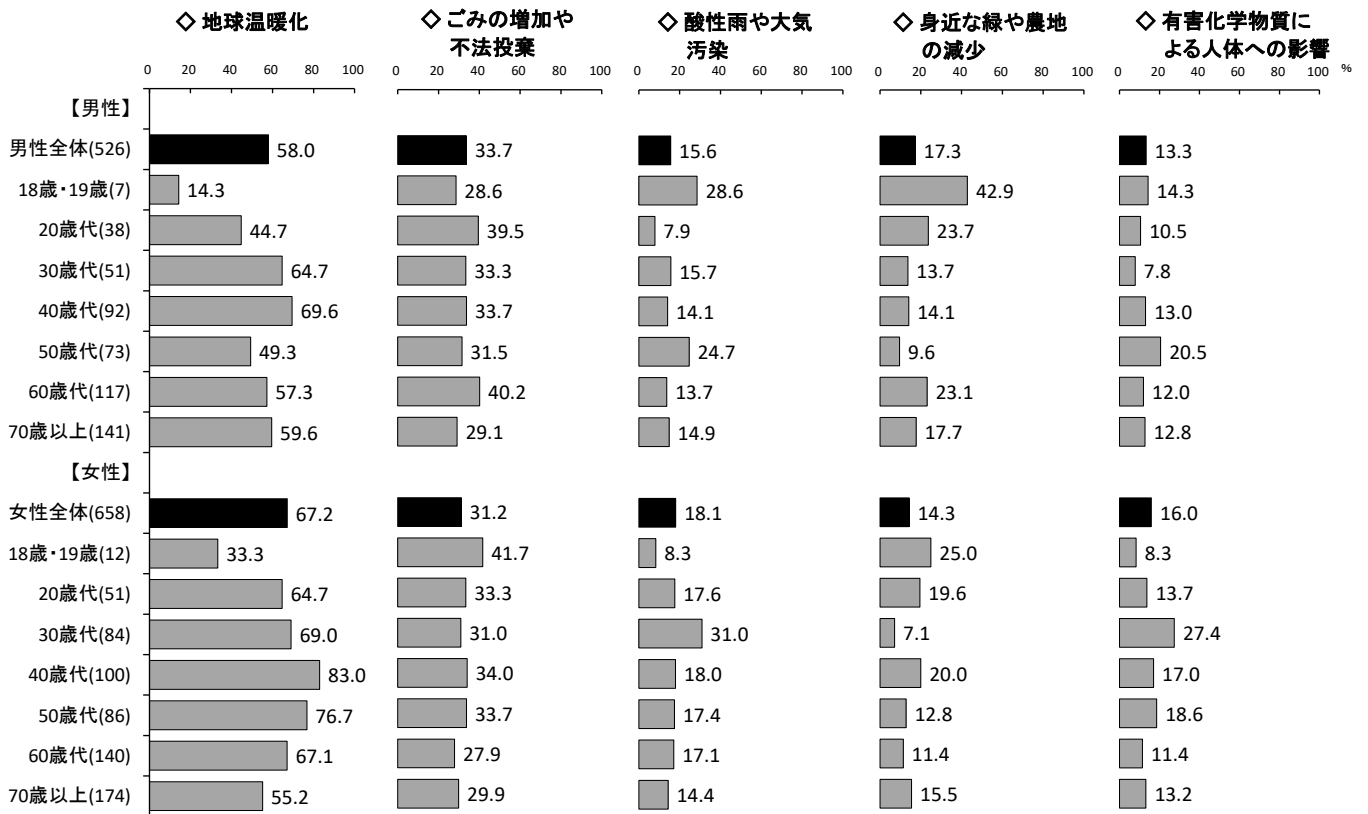
深刻と考える環境問題（全体・性別）



深刻と考える環境問題は、猛暑の影響か全体では「地球温暖化」が 62.6%と最も高く、次いで「ごみの増加や不法投棄」(31.9%)、「酸性雨や大気汚染」(17.1%)、「身近な緑や農地の減少」(15.5%)、「有害化学物質による人体への影響」(14.7%)と続いています。

性別で見ると「地球温暖化」は女性(67.2%)が男性(58.0%)を9.2ポイント、「身近な生き物の減少」は男性(12.9%)が女性(5.9%)を7.0ポイント上回っています。

深刻と考える環境問題（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「地球温暖化」は男性・女性ともに40歳代が最も高く、男性では69.6%、女性では83.0%となっています。

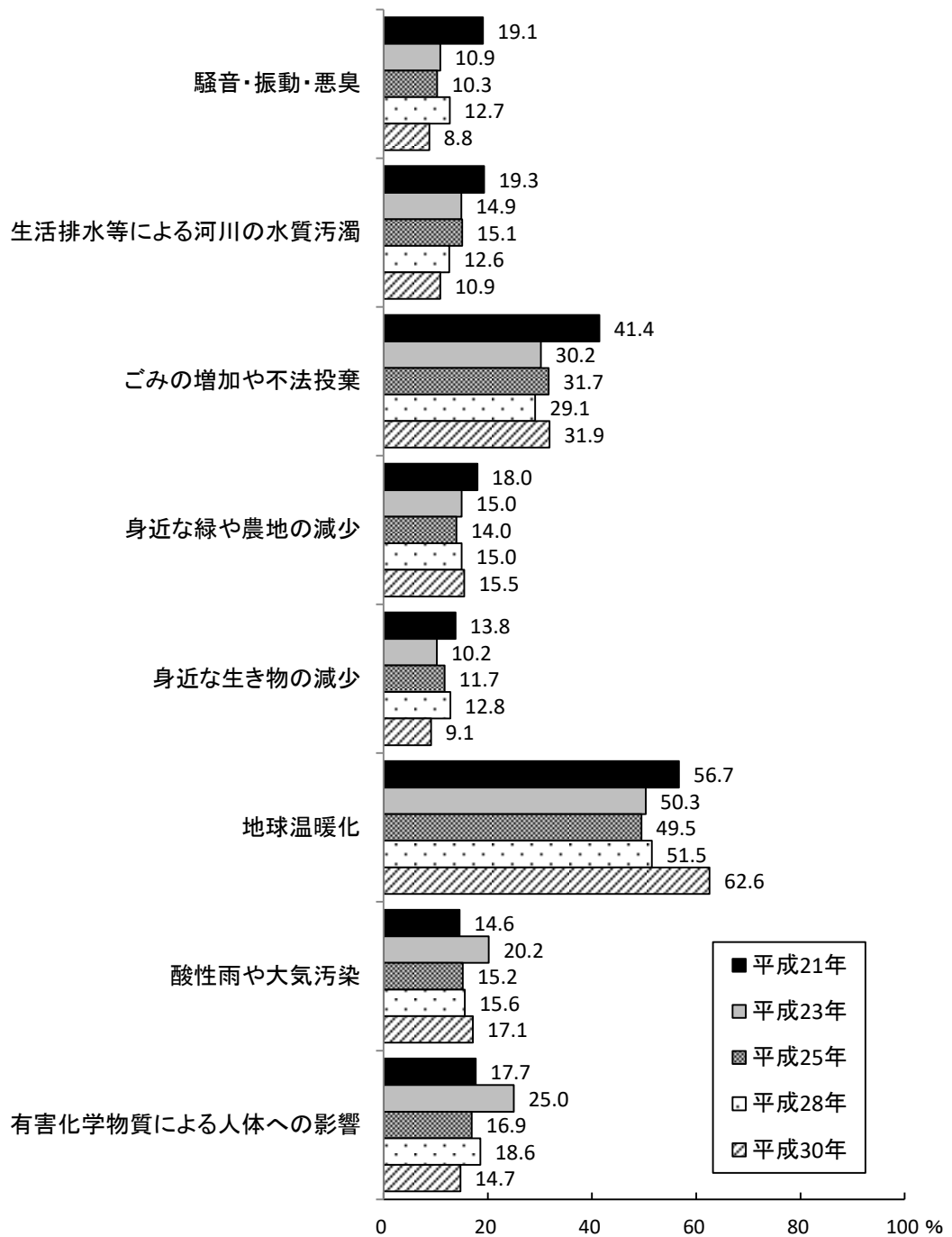
「ごみの増加や不法投棄」は男性の60歳代（40.2%）、女性の18歳・19歳（41.7%）が高くなっています。

「酸性雨や大気汚染」は女性の30歳代（31.0%）、男性の18歳・19歳（28.6%）が高くなっています。

「身近な緑や農地の減少」は男性・女性ともに18歳・19歳が最も高く、男性では42.9%、女性では25.0%となっています。

「有害化学物質による人体への影響」は女性の30歳代（27.4%）、男性の50歳代（20.5%）が高くなっています。

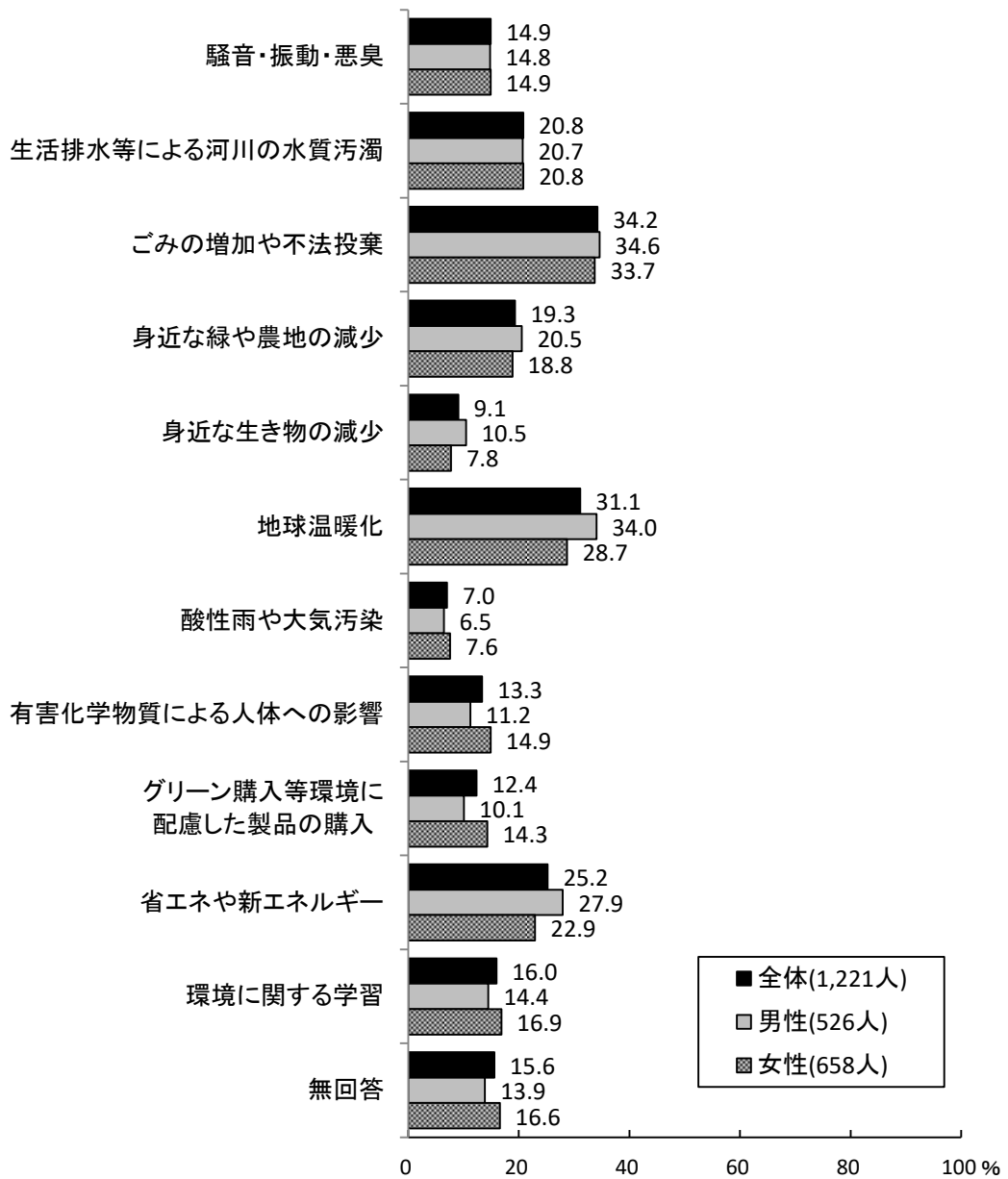
深刻と考える環境問題(経年比較)



※「騒音・振動・悪臭」は平成21年度調査の「騒音・振動・悪臭・大気汚染」と比較しています。

平成28年度調査と比較すると「地球温暖化」は11.1ポイント、「ごみの増加や不法投棄」は2.8ポイント増加しています。

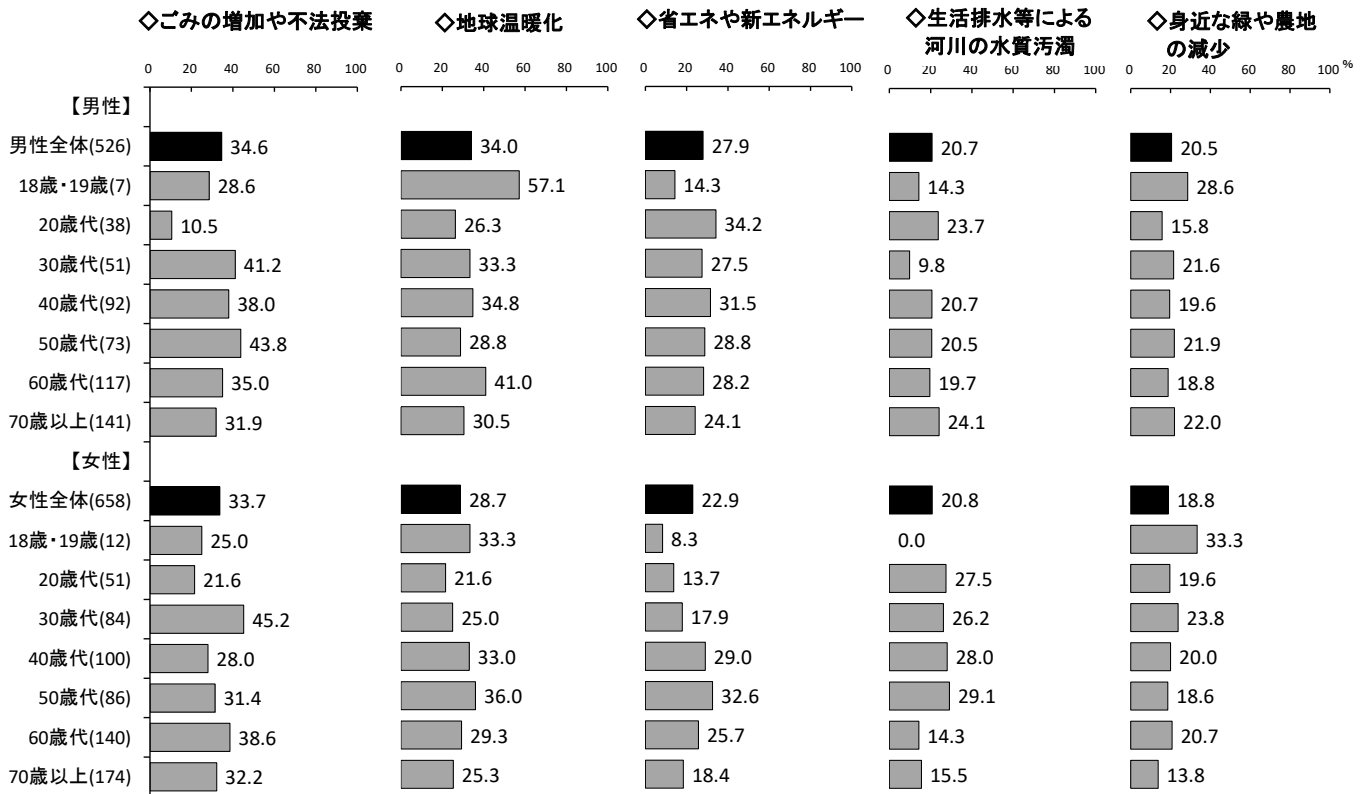
重点的に取り組んでいく必要がある環境問題(全体・性別)



重点的に取り組んでいく必要がある環境問題は、全体で見ると「ごみの増加や不法投棄」が34.2%で最も高く、次いで「地球温暖化」(31.1%)、「省エネや新エネルギー」(25.2%)、「生活排水等による河川の水質汚濁」(20.8%)、「身近な緑や農地の減少」(19.3%)と続いています。

性別で見ると「グリーン購入等環境に配慮した製品の購入」は女性(14.3%)が男性(10.1%)を4.2ポイント上回っています。また「地球温暖化」は男性(34.0%)が女性(28.7%)を5.3ポイント、「省エネや新エネルギー」は男性(27.9%)が女性(22.9%)を5.0ポイント上回っています。

重点的に取り組んでいく必要がある環境問題（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「ごみの増加や不法投棄」は、男性の50歳代（43.8%）と女性の30歳代（45.2%）が高くなっています。

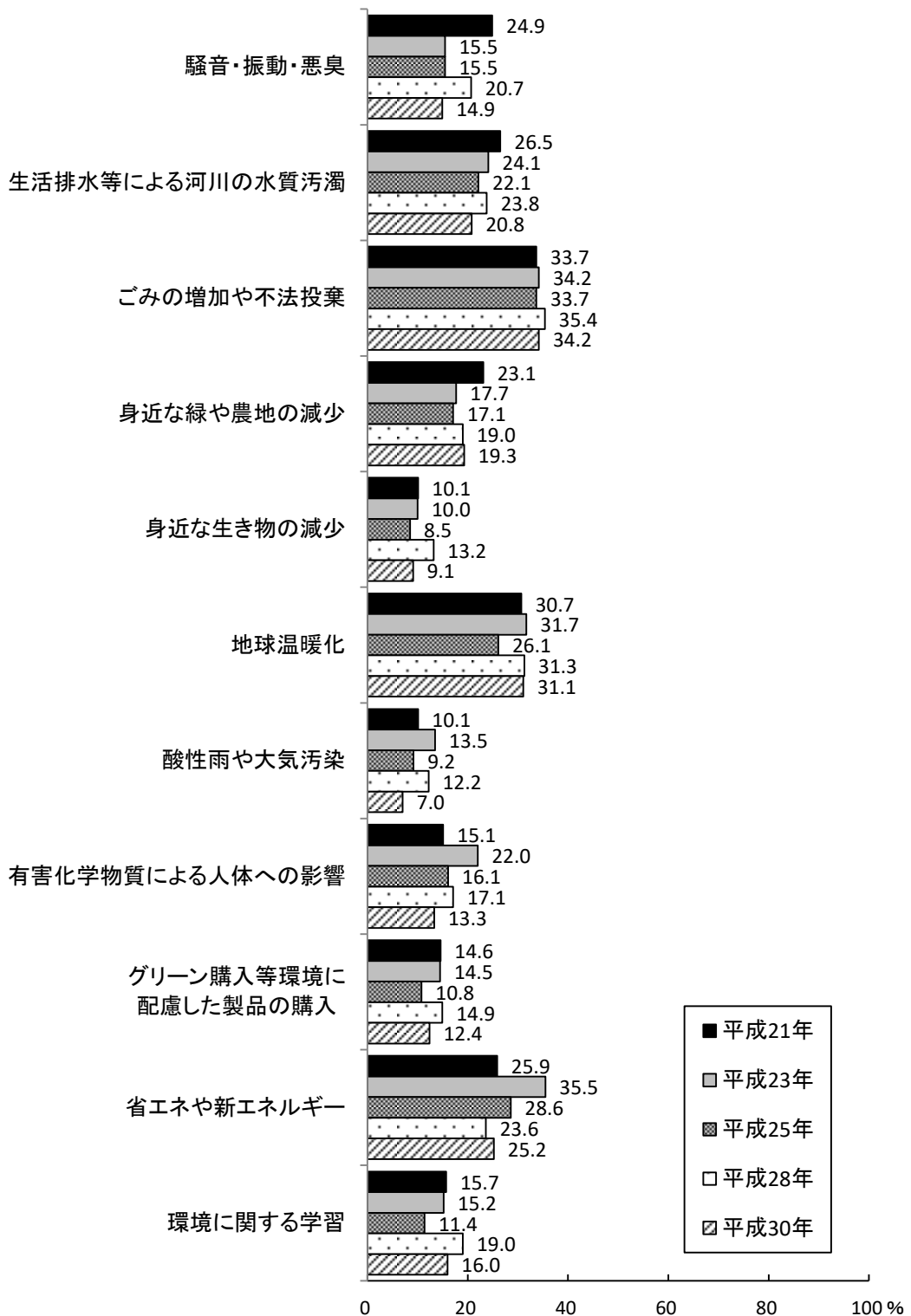
「地球温暖化」は男性では18歳・19歳（57.1%）が高く、女性では50歳代（36.0%）が比較的高くなっています。

「省エネや新エネルギー」は男性の20歳代で34.2%、40歳代で31.5%、女性の50歳代で32.6%と高くなっており、男性・女性とも他の年代では1割台から2割台となっています。

「生活排水等による河川の水質汚濁」は、全ての年代で1割台から2割台となっています。

「身近な緑や農地の減少」は18歳・19歳の男性で28.6%、女性で33.3%と高くなっています。

重点的に取り組んでいく必要がある環境問題（経年比較）



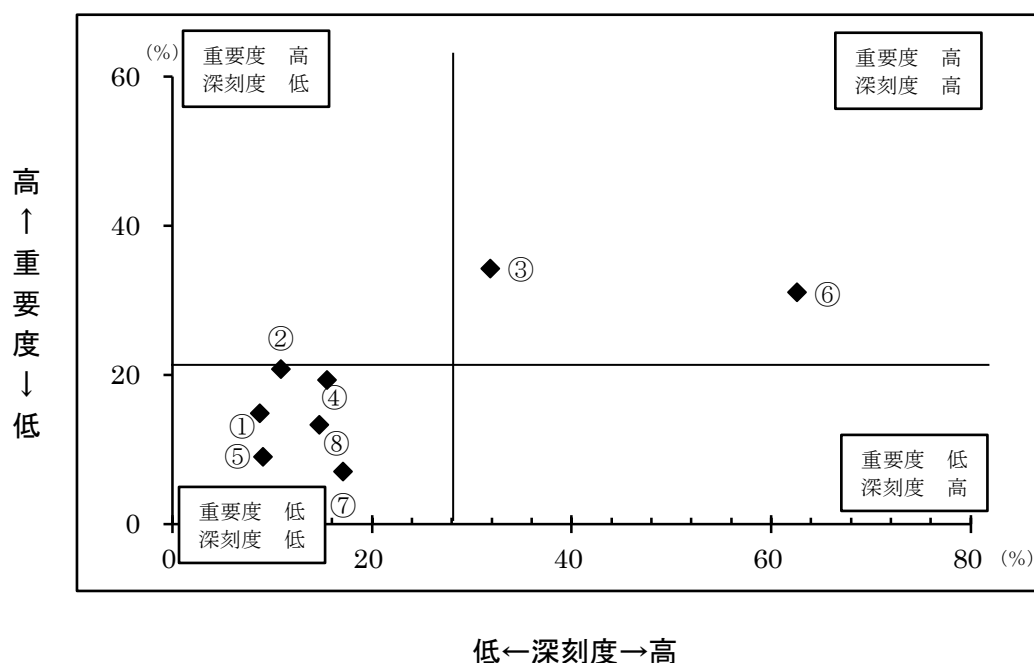
※「騒音・振動・悪臭」は平成21年度調査の「騒音・振動・悪臭・大気汚染」と比較しています。

平成28年度調査と比較すると「省エネや新エネルギー」が1.6ポイント増加しています。一方、おおむね減少傾向にある中、特に「騒音・振動・悪臭」が5.8ポイント、「酸性雨や大気汚染」が5.2ポイント減少しています。

■環境問題の深刻度及び重要度

(%)

		深刻度	重要度
①	騒音・振動・悪臭	8.8	14.9
②	生活排水等による河川の水質汚濁	10.9	20.8
③	ごみの増加や不法投棄	31.9	34.2
④	身近な緑や農地の減少	15.5	19.3
⑤	身近な生き物の減少	9.1	9.1
⑥	地球温暖化	62.6	31.1
⑦	酸性雨や大気汚染	17.1	7.0
⑧	有害化学物質による人体への影響	14.7	13.3
⑨	グリーン購入等環境に配慮した製品の購入		12.4
⑩	省エネや新エネルギー		25.2
⑪	環境に関する学習		16.0
	無回答	21.8	15.6



上記のグラフでは「すでに深刻な問題である (=深刻度)」を横方向、「重点的に取り組んでいく必要がある (=重要度)」を縦方向に示しています。

図中、右上の領域に位置する「③ごみの増加や不法投棄」「⑥地球温暖化」は、深刻度・重要度ともに高くなっています。左上の領域に位置する「②生活排水等による河川の水質汚濁」は重要度が高くなっています。

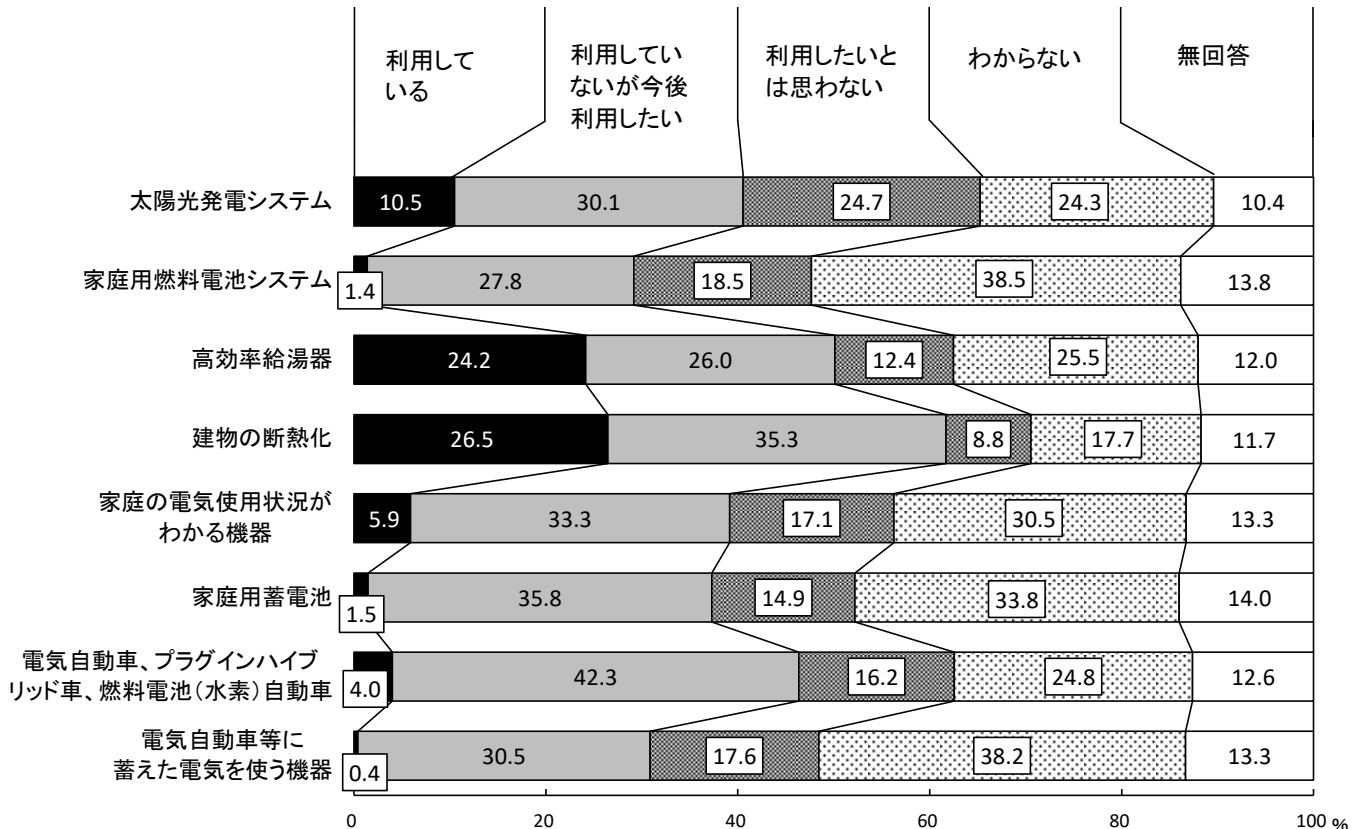
一方、その他の項目については深刻度・重要度ともに低くなっています。

3-4 省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況

◆「建物の断熱化」26.5%◆

問 10 あなたは、省エネ設備や太陽光などの新エネルギーによる創エネ設備を利用していますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況



※「電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池（水素）自動車」は、前回までは「電気自動車やハイブリッド車」。

※「家庭用蓄電池」「電気自動車等に蓄えた電気を家で使う機器」は新しい項目です。

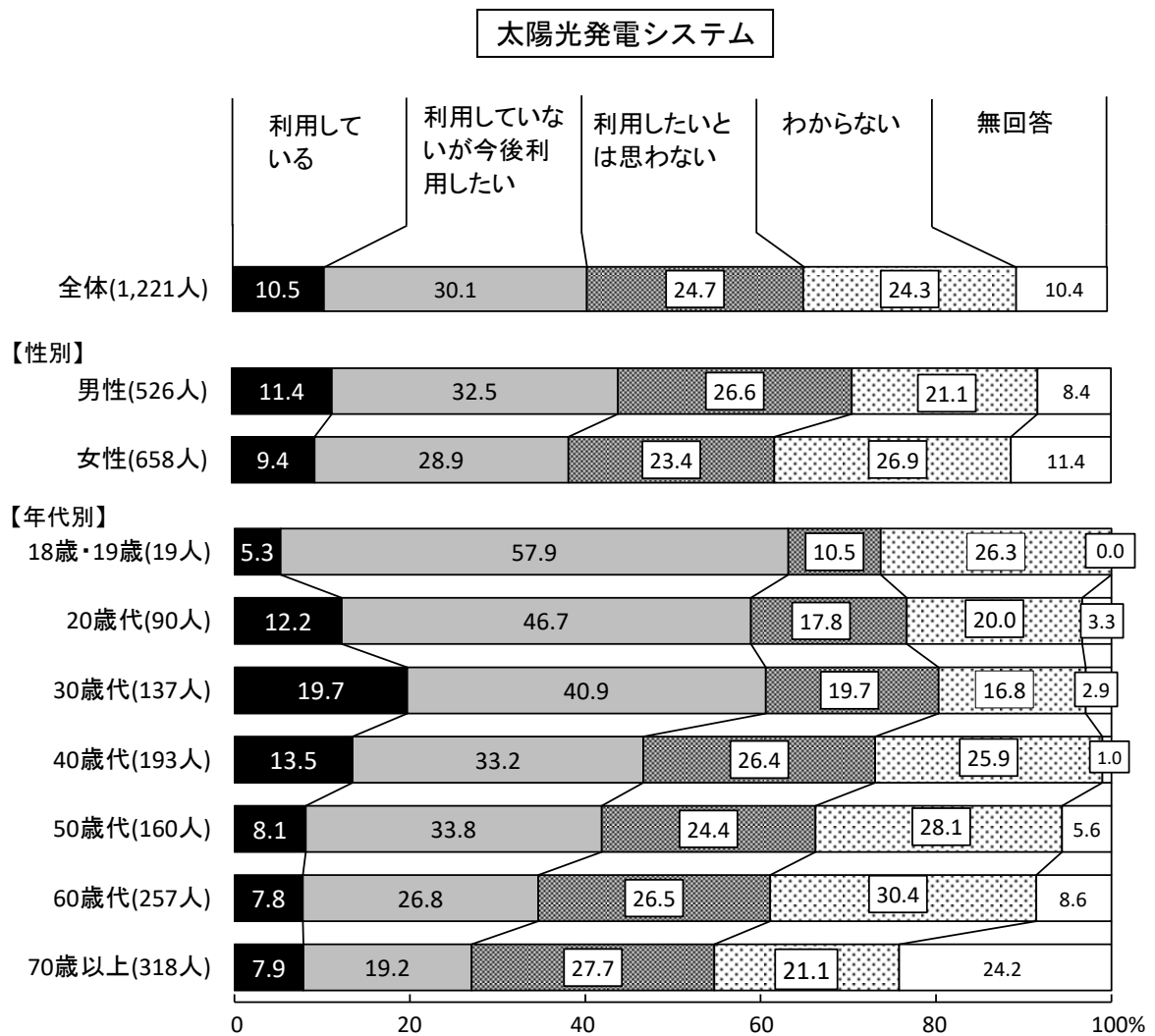
「利用している」は「建物の断熱化」が26.5%で最も高く、次いで「高効率給湯器」が24.2%となっています。

「利用していないが今後利用したい」は「電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池（水素）自動車」が42.3%で最も高く、次いで「家庭用蓄電池」が35.8%となっています。

「利用したいとは思わない」は「太陽光発電システム」が24.7%で最も高く、次いで「家庭用燃料電池システム」が18.5%となっています。

太陽光発電システム

◆「利用している」10.5%、「利用していないが今後利用したい」30.1%◆



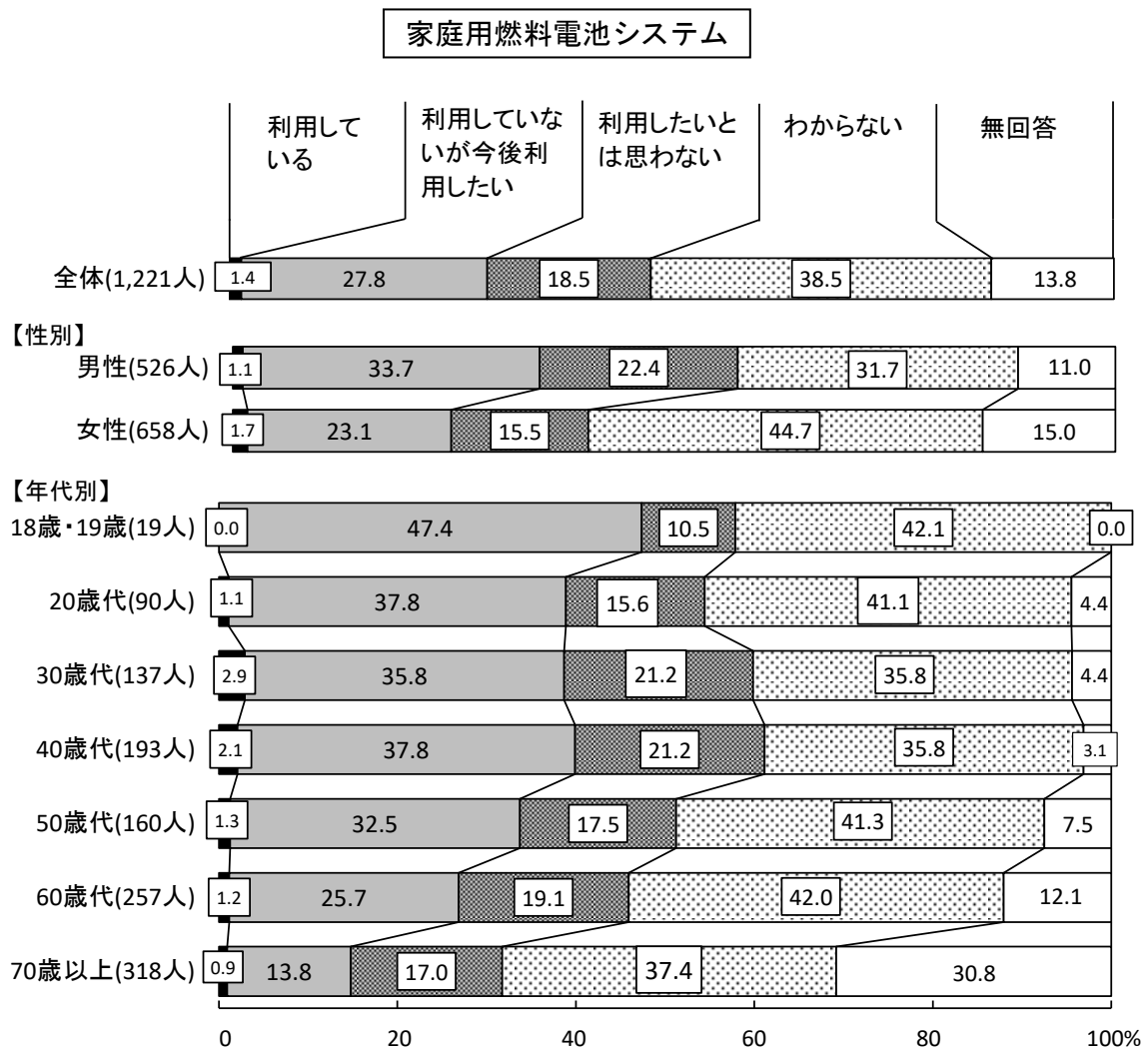
全体で見ると「利用している」は10.5%、「利用していないが今後利用したい」は30.1%となっています。

性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性・女性とも3割前後となっています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代で19.7%と最も高く、「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で57.9%と最も高く、年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあります。

家庭用燃料電池システム

◆「利用している」1.4%、「利用していないが今後利用したい」27.8%◆



全体で見ると「利用している」は1.4%、「利用していないが今後利用したい」は27.8%となっています。

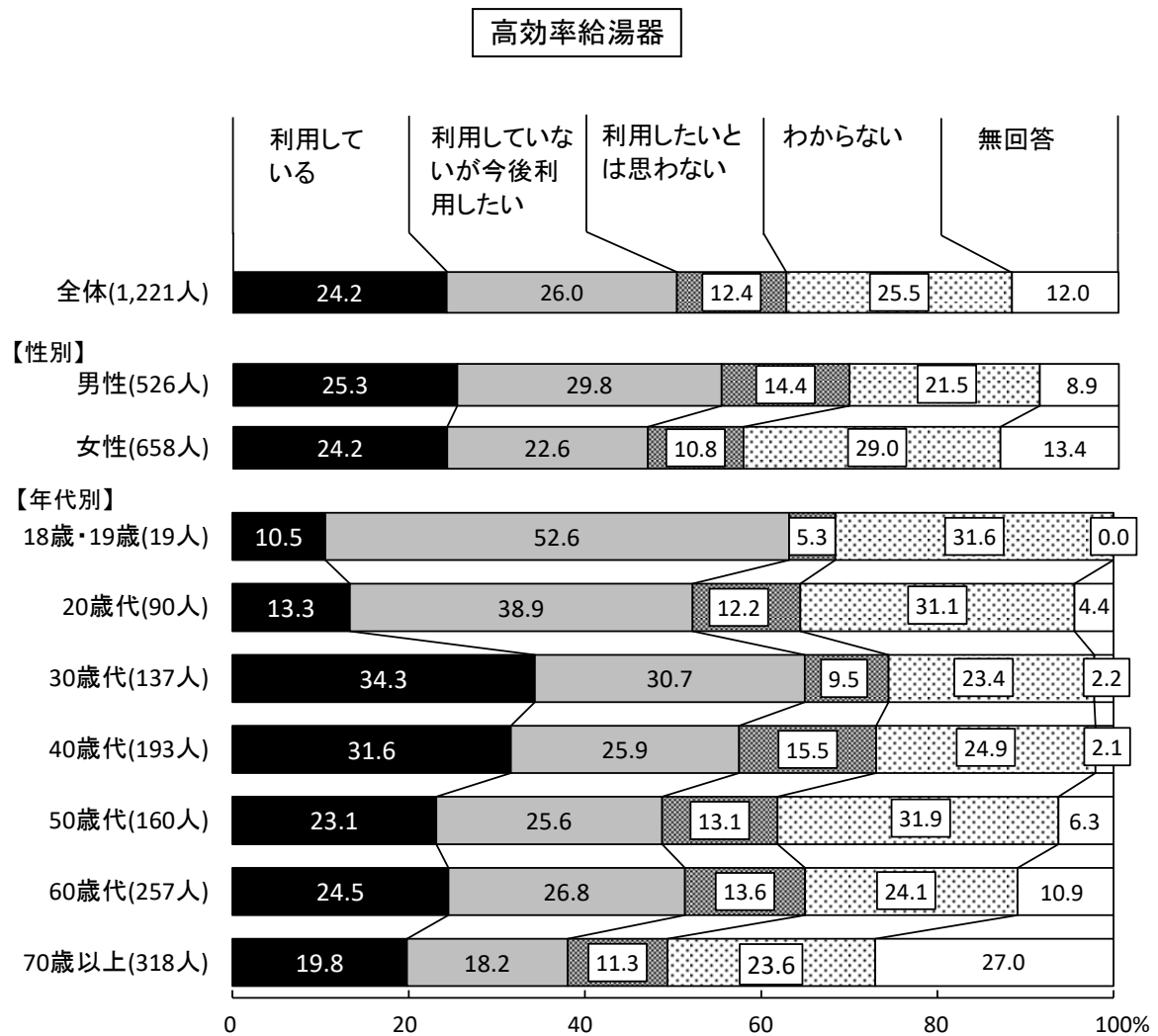
性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性（33.7%）が女性（23.1%）を10.6ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代で2.9%と最も高くなっています。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で47.4%と最も高く、年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあります。

全体、性別、年代別で「わからない」が多いことから、機器の認知そのものが十分でないことが推察されます。

高効率給湯器

◆「利用している」24.2%、「利用していないが今後利用したい」26.0%◆



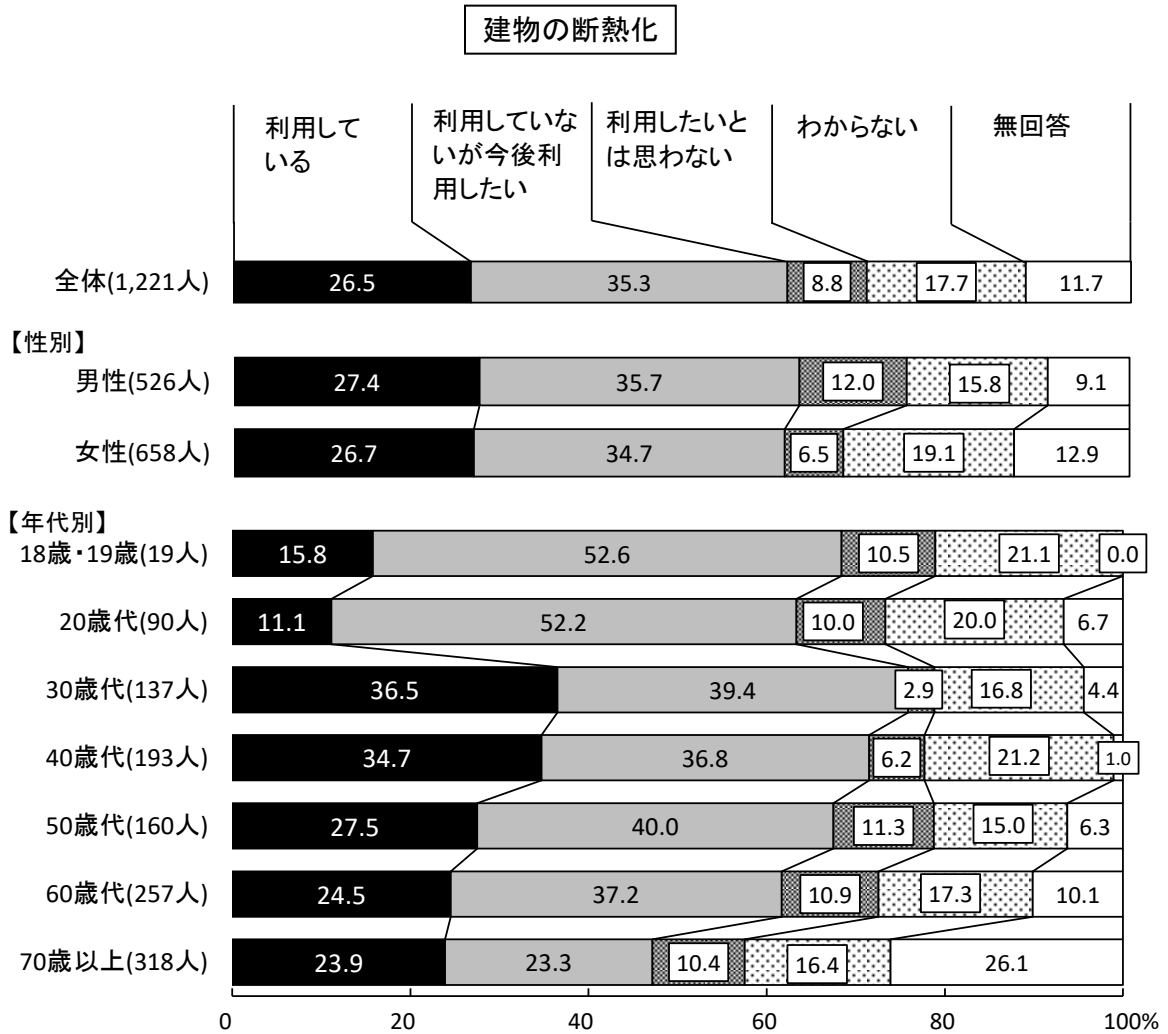
全体で見ると「利用している」は24.2%、「利用していないが今後利用したい」は26.0%となっています。

性別で見ると「利用している」は男性（25.3%）が女性（24.2%）を1.1ポイント上回り、「利用していないが今後利用したい」は男性（29.8%）が女性（22.6%）を7.2ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代で34.3%と最も高く、年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあります。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で52.6%と最も高くなっています。

建物の断熱化

◆「利用している」26.5%、「利用していないが今後利用したい」35.3%◆



全体で見ると「利用している」は26.5%、「利用していないが今後利用したい」は35.3%となっています。

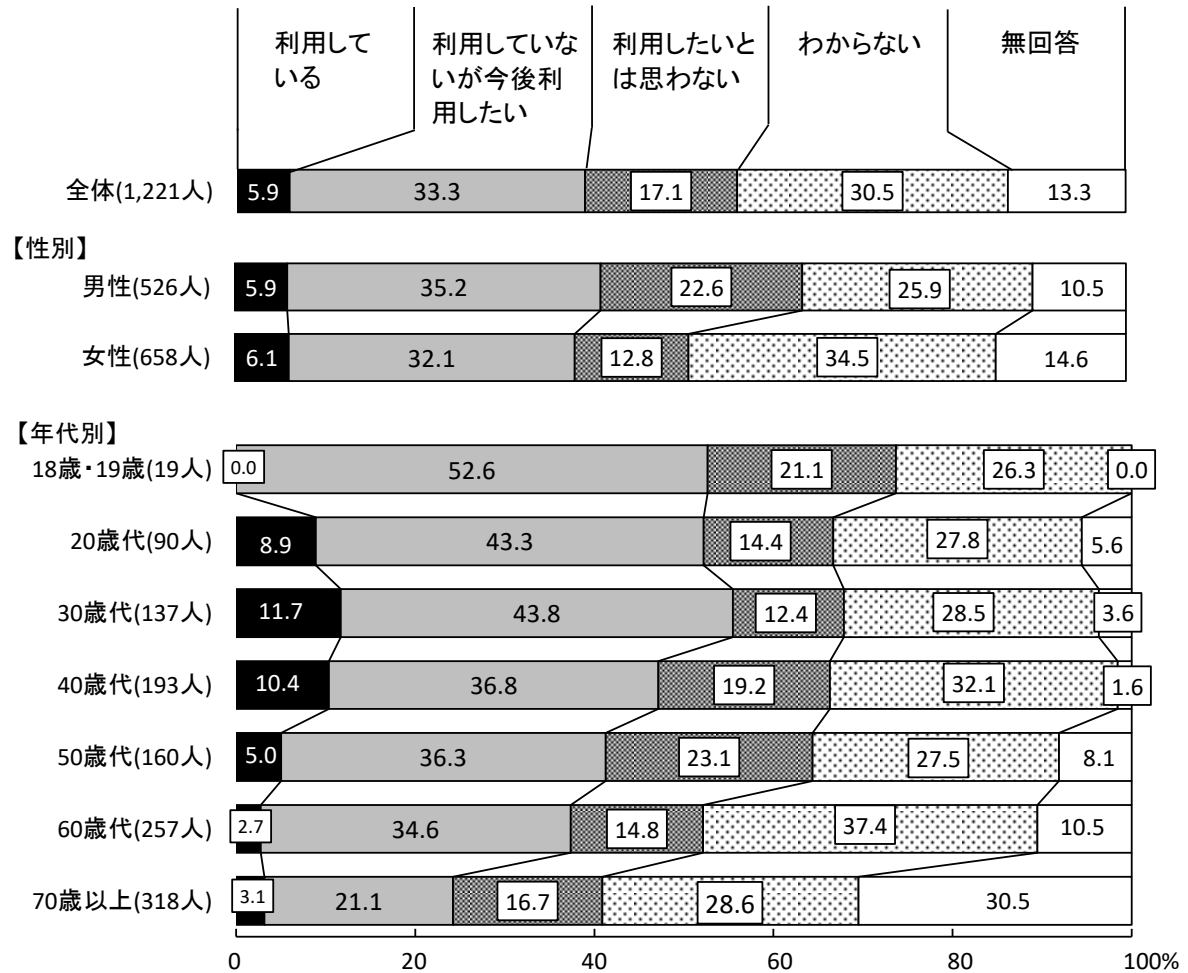
性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性・女性とも3割台となっています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代、40歳代で3割台となっています。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳(52.6%)と20歳代(52.2%)で高くなっています。

家庭の電気使用状況が一目でわかる機器

◆「利用している」5.9%、「利用していないが今後利用したい」33.3%◆

家庭の電気使用状況が一目でわかる機器



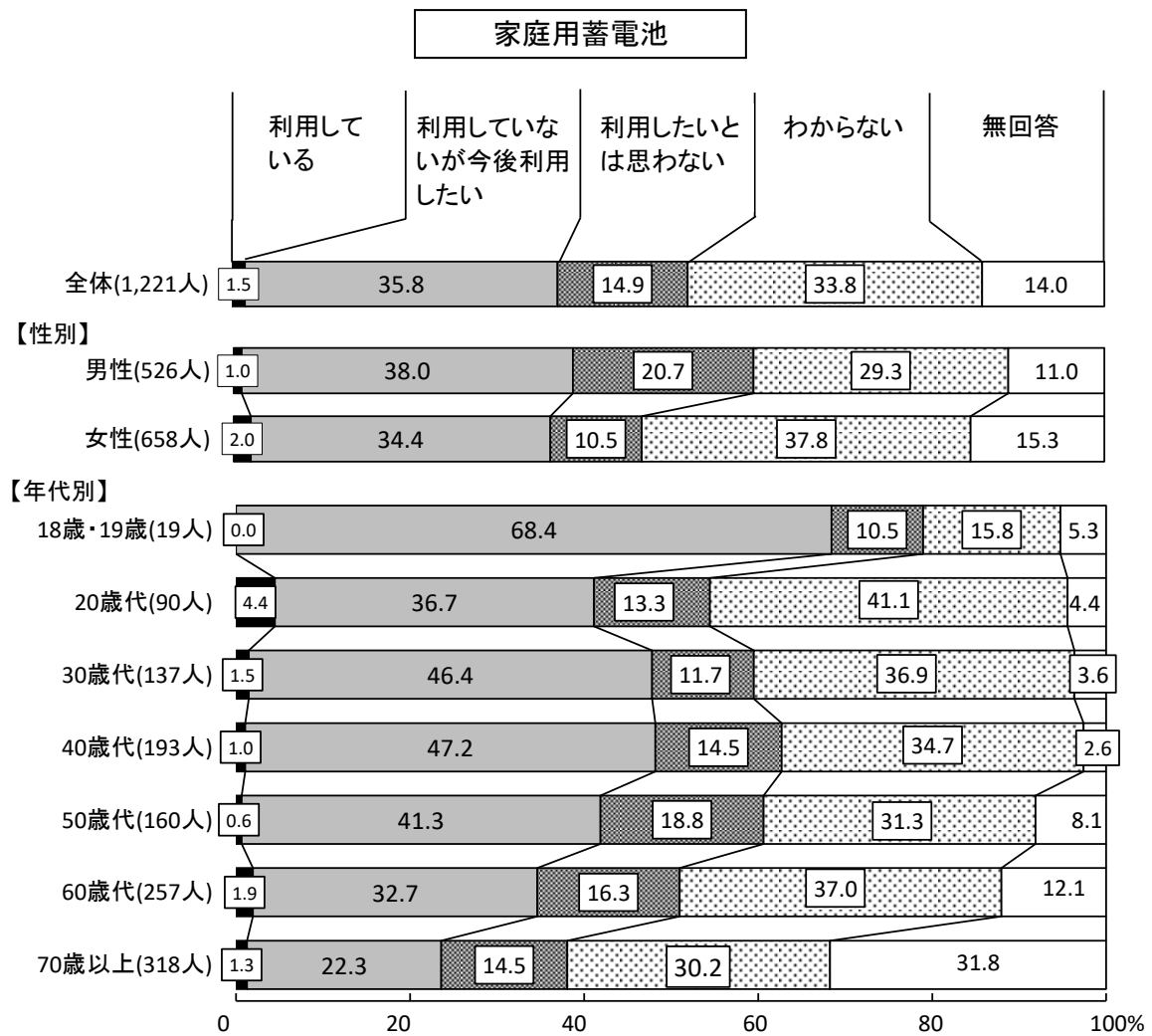
全体で見ると「利用している」は5.9%、「利用していないが今後利用したい」は33.3%となっています。

性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性・女性とも3割台となっています。

年代別で見ると「利用している」は30歳代で11.7%と最も高く、年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあります。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で52.6%と最も高く、30歳代以降は年齢が高くなるほど割合が低くなっています。

家庭用蓄電池

◆「利用している」1.5%、「利用していないが今後利用したい」35.8%◆



全体で見ると「利用している」は1.5%、「利用していないが今後利用したい」は35.8%となっています。

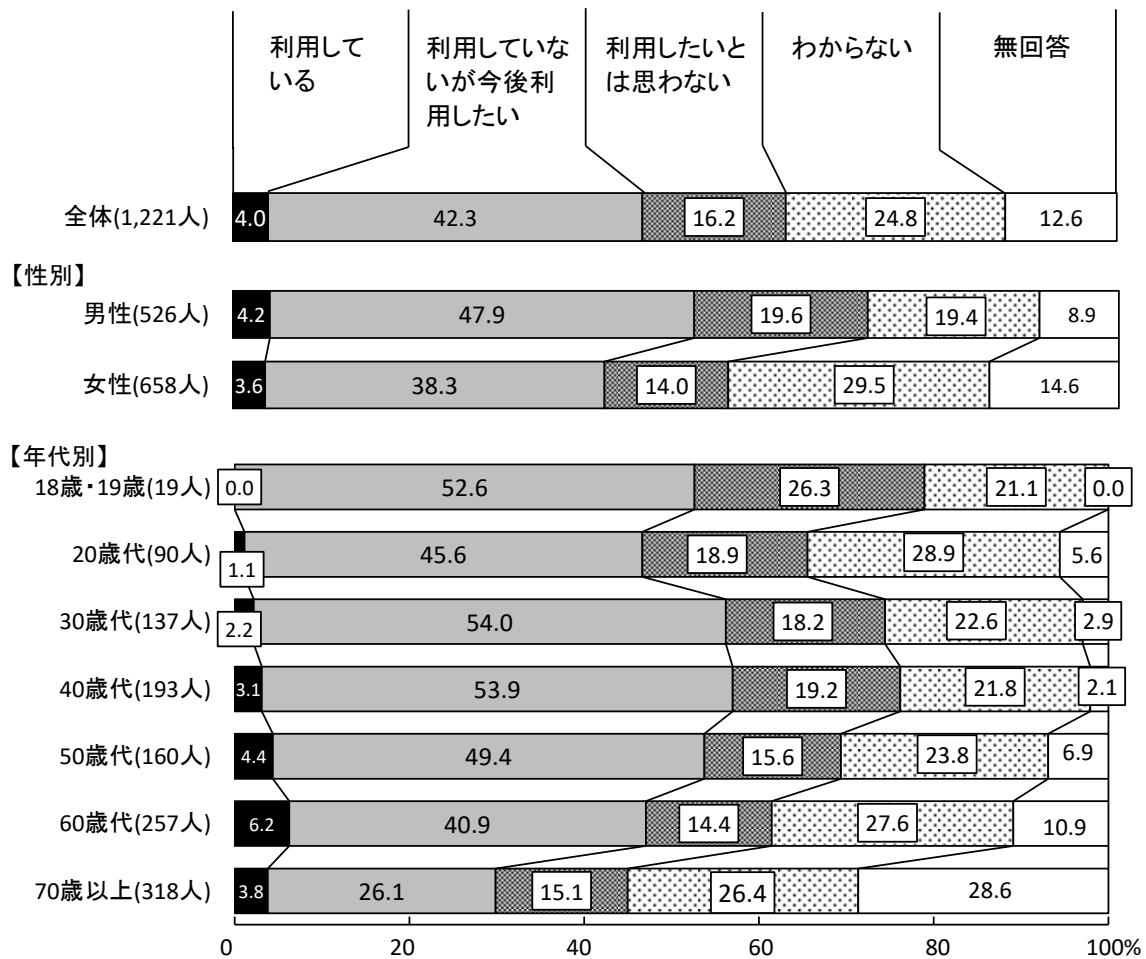
性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性・女性とも3割台となっています。

年代別で見ると「利用している」は20歳代で4.4%と高いものの、各年代とも割合は低く普及途上にあることがわかります。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳で68.4%と最も高く、40歳代以降は年齢が高くなるほど割合が低くなっています。

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車

◆「利用している」4.0%、「利用していないが今後利用したい」42.3%◆

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車



全体で見ると「利用している」は4.0%、「利用していないが今後利用したい」は42.3%となっています。

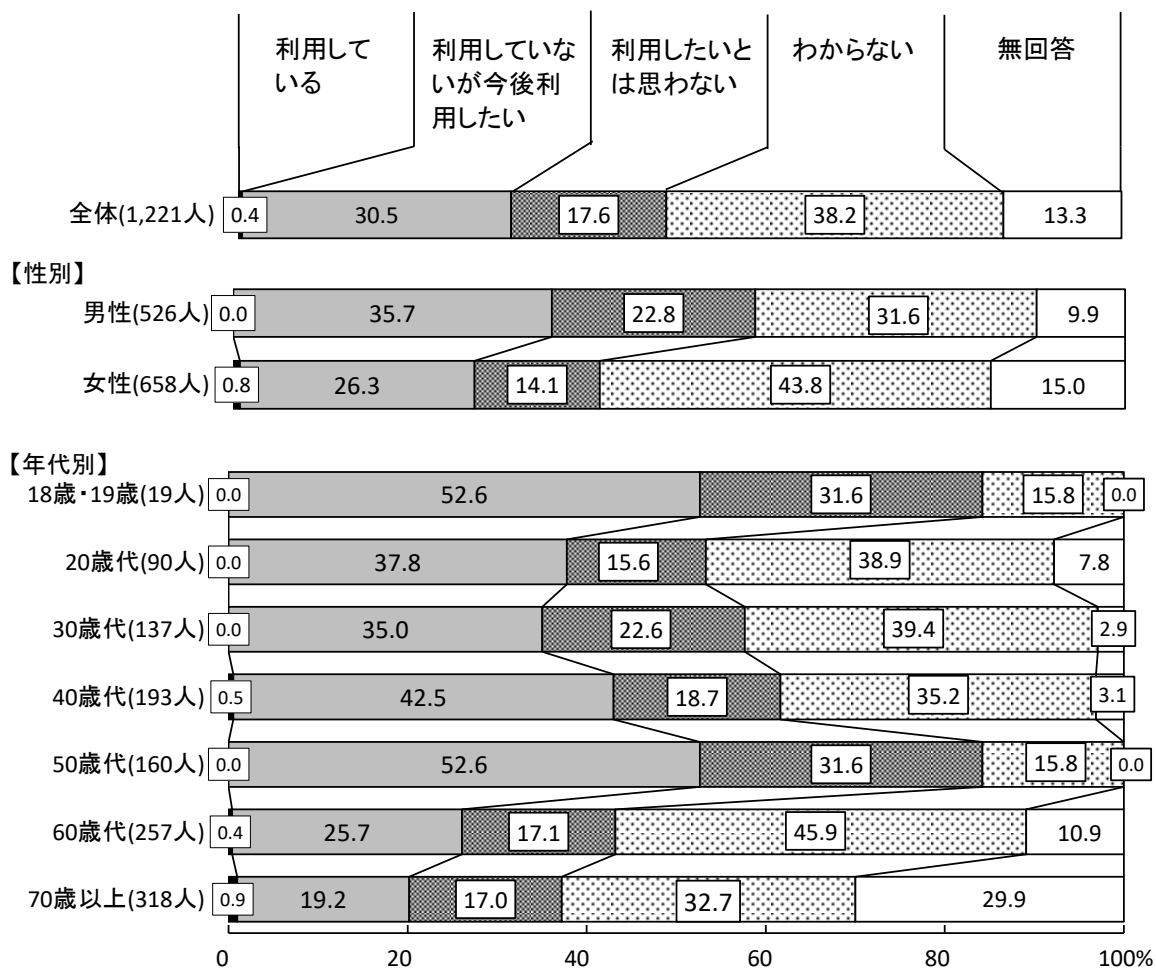
性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性（47.9%）が女性（38.3%）を9.6ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用している」は60歳代で6.2%と最も高くなっています。「利用していないが今後利用したい」は18歳・19歳、30歳代、40歳代で5割台となっています。

電気自動車やプラグインハイブリッド車に蓄えた電気を家で使う機器

◆「利用している」0.4%、「利用していないが今後利用したい」30.5%◆

電気自動車やプラグインハイブリッド車に蓄えた電気を家で使う機器



全体で見ると「利用している」は0.4%、「利用していないが今後利用したい」は30.5%となっています。

性別で見ると「利用していないが今後利用したい」は男性（35.7%）が女性（26.3%）を9.4ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用している」はいずれの年代でも1割以下で、性別で見ると「わからない」が、男性・女性ともに3割以上であることから、機器の認知そのものが十分でないことが推察されます。

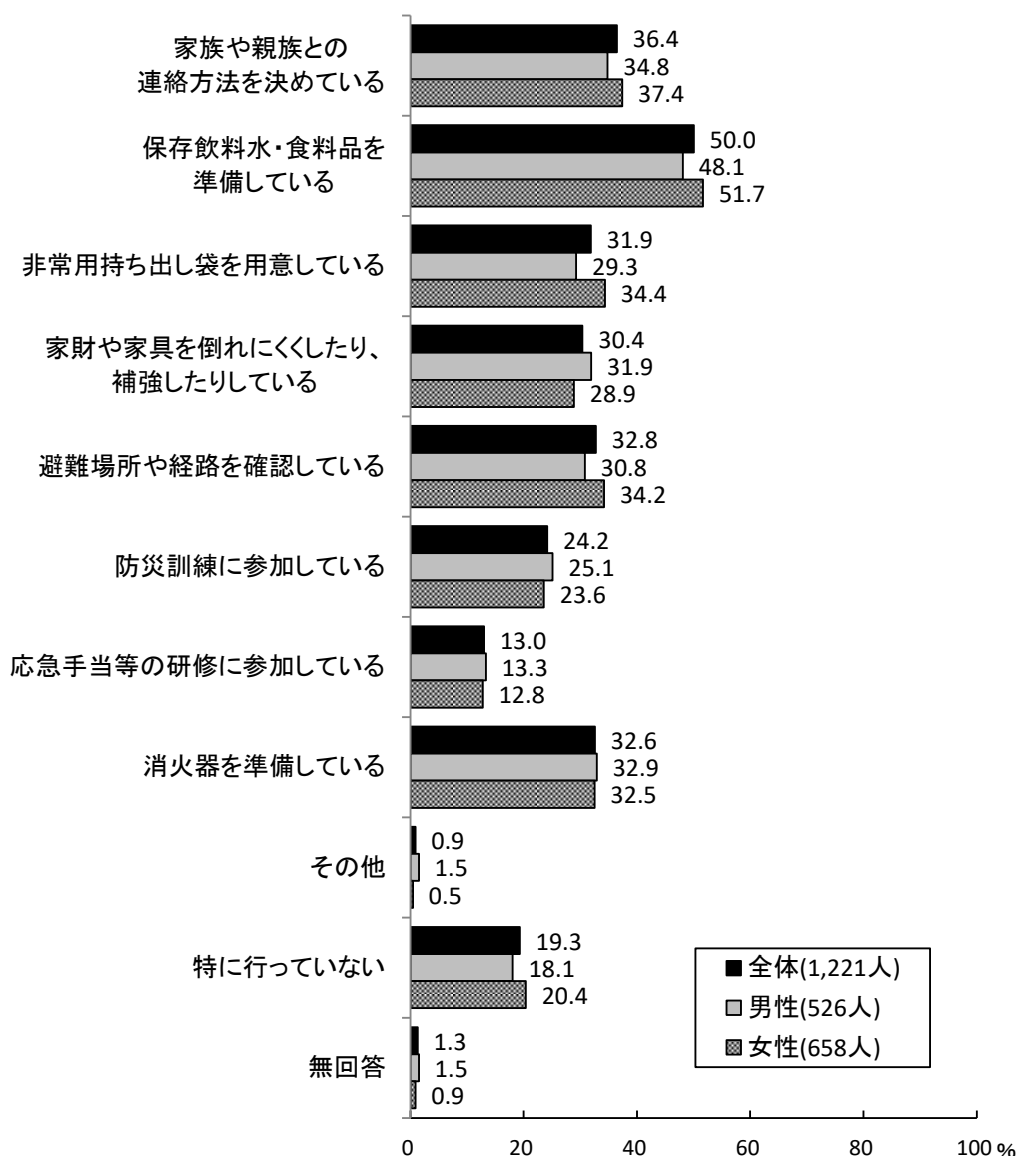
4 防災・防犯・交通について

4-1 災害に備えて行っていること

- ◆「保存飲料水・食料品を準備している」50.0%、「家族や親族との連絡方法を決めている」36.4%◆

問 11 あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

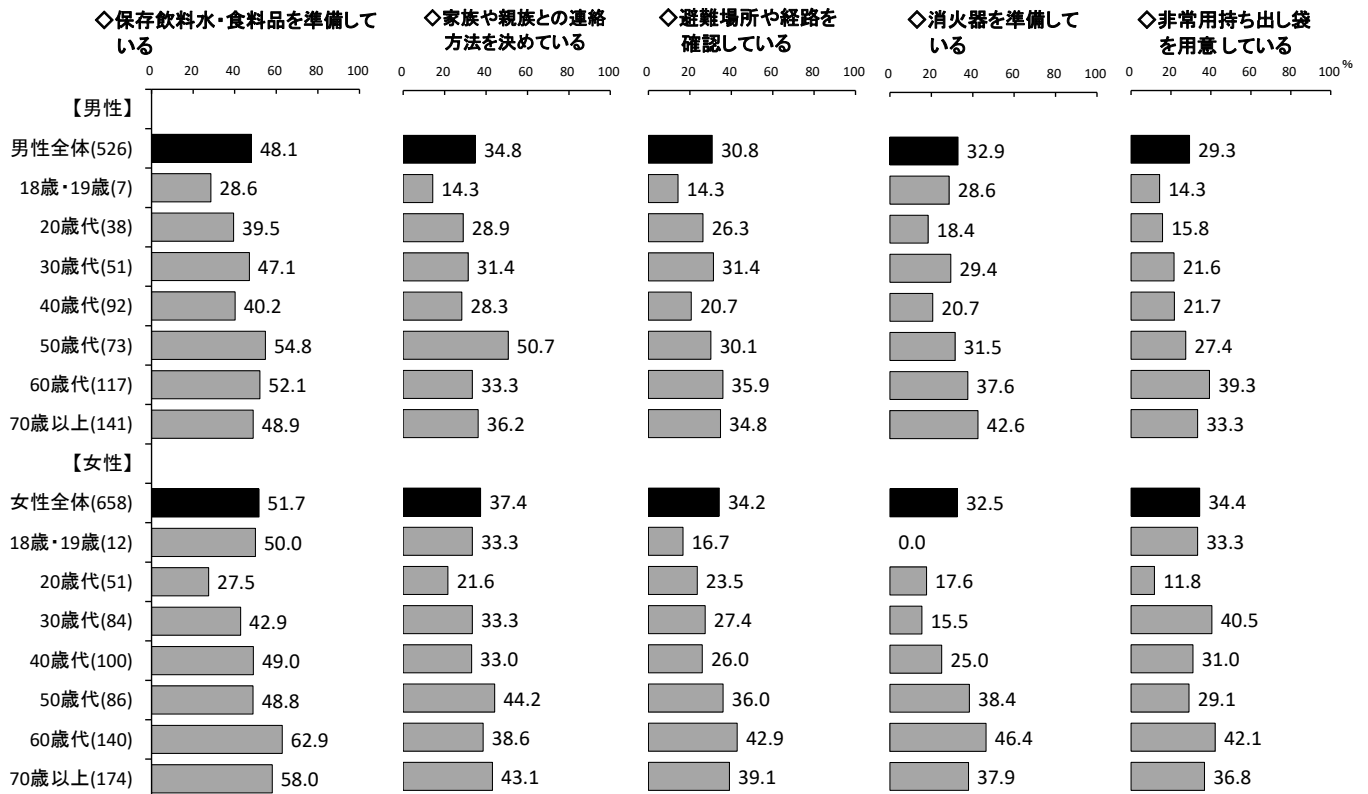
災害に備えて行っていること（全体・性別）



全体では「保存飲料水・食料品を準備している」が50.0%で最も高く、次いで「家族や親族との連絡方法を決めている」(36.4%)、「避難場所や経路を確認している」(32.8%)、「消火器を準備している」(32.6%)、「非常用持ち出し袋を用意している」(31.9%)と続いています。

性別でみると「非常用持ち出し袋を用意している」で女性(34.4%)が男性(29.3%)を5.1ポイント上回っています。

災害に備えて行っていること（上位5位 性・年代別）



性・年代別でみると「保存飲料水・食料品を準備している」は女性の18歳・19歳、60歳代、70歳以上、男性の50歳代、60歳代で5割以上となっています。

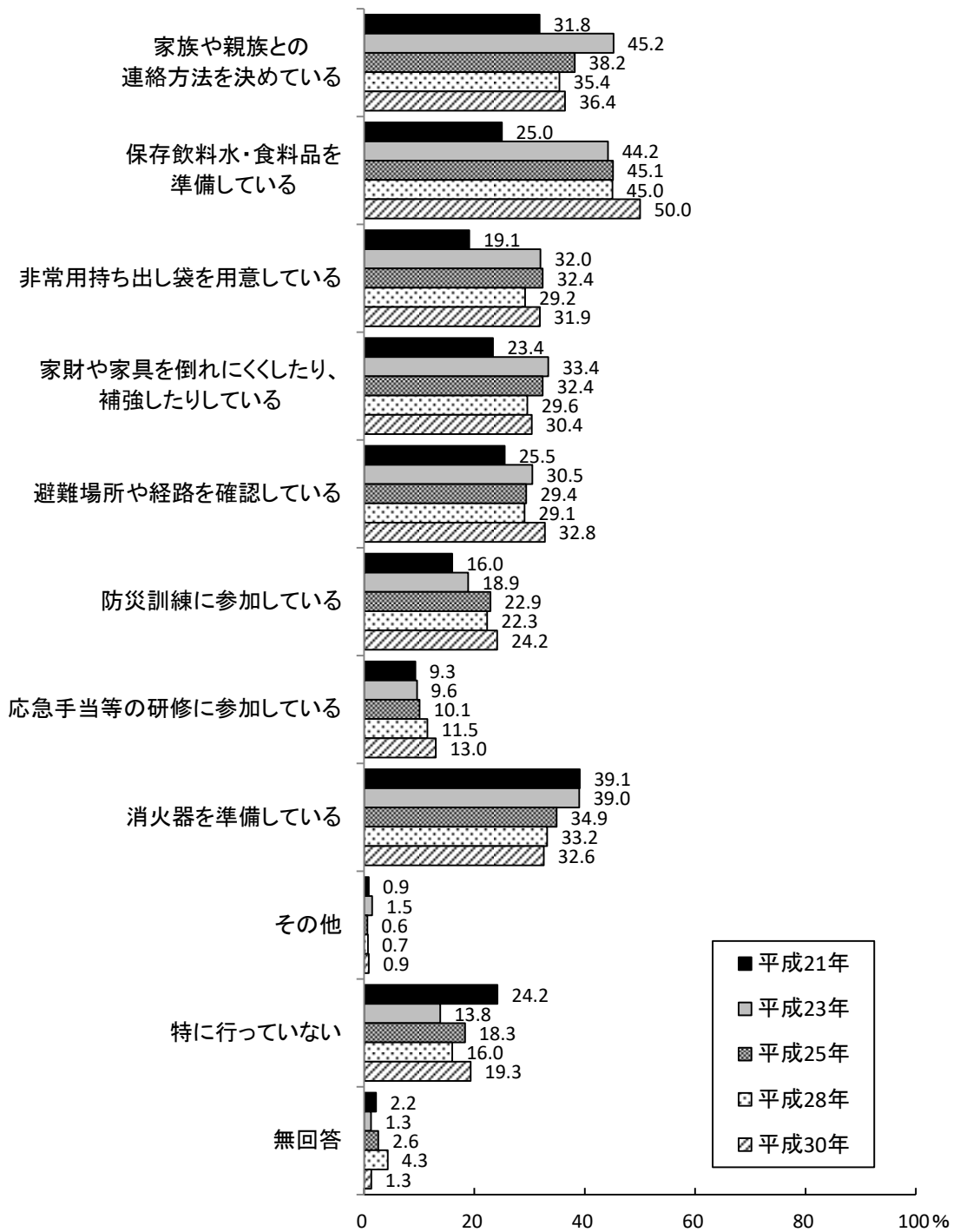
「家族や親族との連絡方法を決めている」は男性・女性とも50歳代が高く、男性50.7%、女性44.2%となっています。

「避難場所や経路を確認している」は女性60歳代が42.9%と、やや高くなっています。

「消火器を準備している」は女性では18歳・19歳が0%、20歳代、30歳代ともに1割台と低く、男性では20歳代が1割台と低くなっています。

「非常用持ち出し袋を用意している」は女性では60歳代が42.1%と最も高く、次いで女性30歳代が40.5%と高くなっています。

災害に備えて行っていること（経年比較）

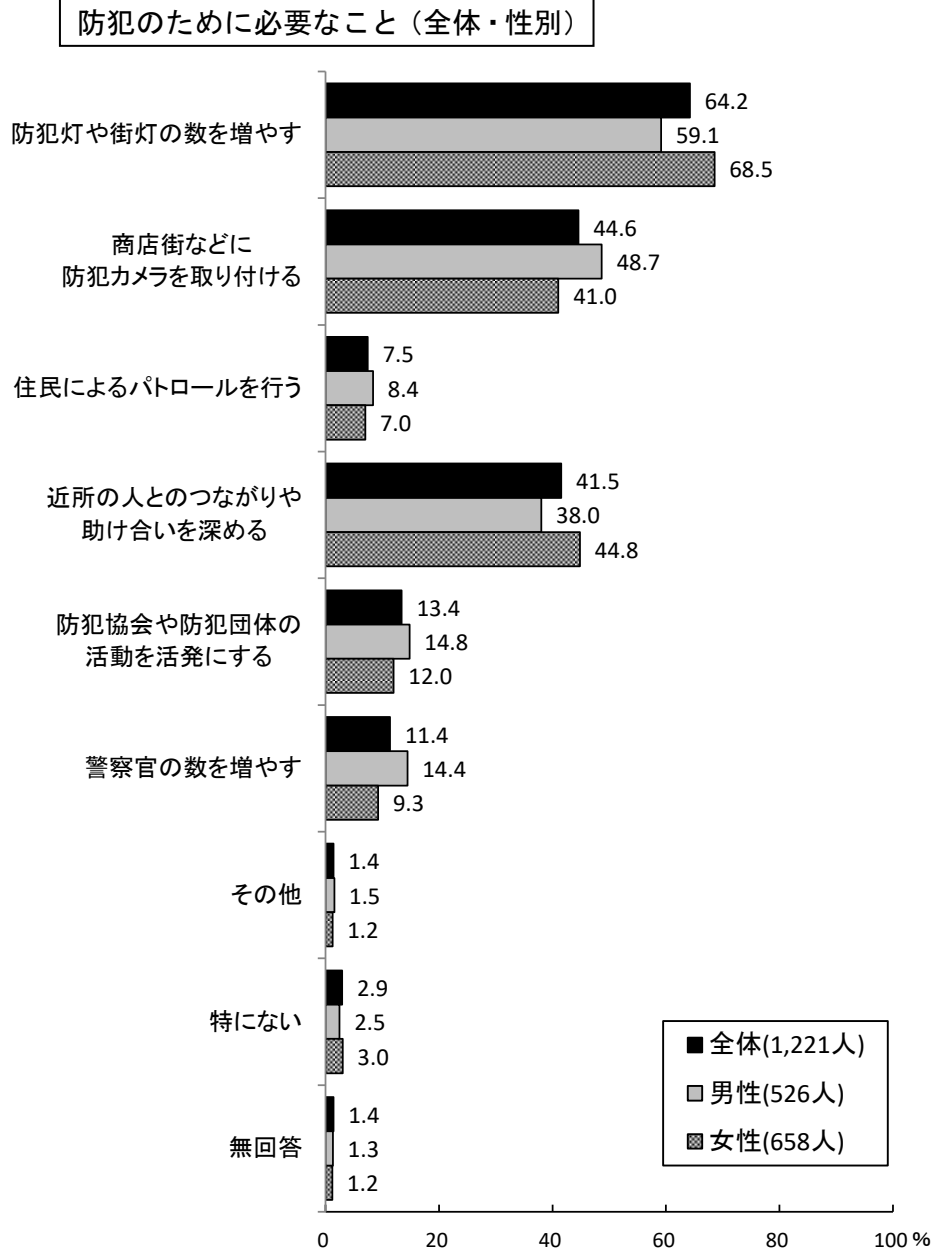


平成 28 年度調査と比較すると「保存飲料水・食料品を準備している」が 5.0 ポイント増加しています。また「避難場所や経路を確認している」も 3.7 ポイント増えています。他もおおむね前回より増加していますが、「消火器を準備している」は 0.6 ポイント減少しています。

4-2 防犯のために必要なこと

◆「防犯灯や街灯の数を増やす」64.2%、「商店街などに防犯カメラを取り付ける」44.6%◆

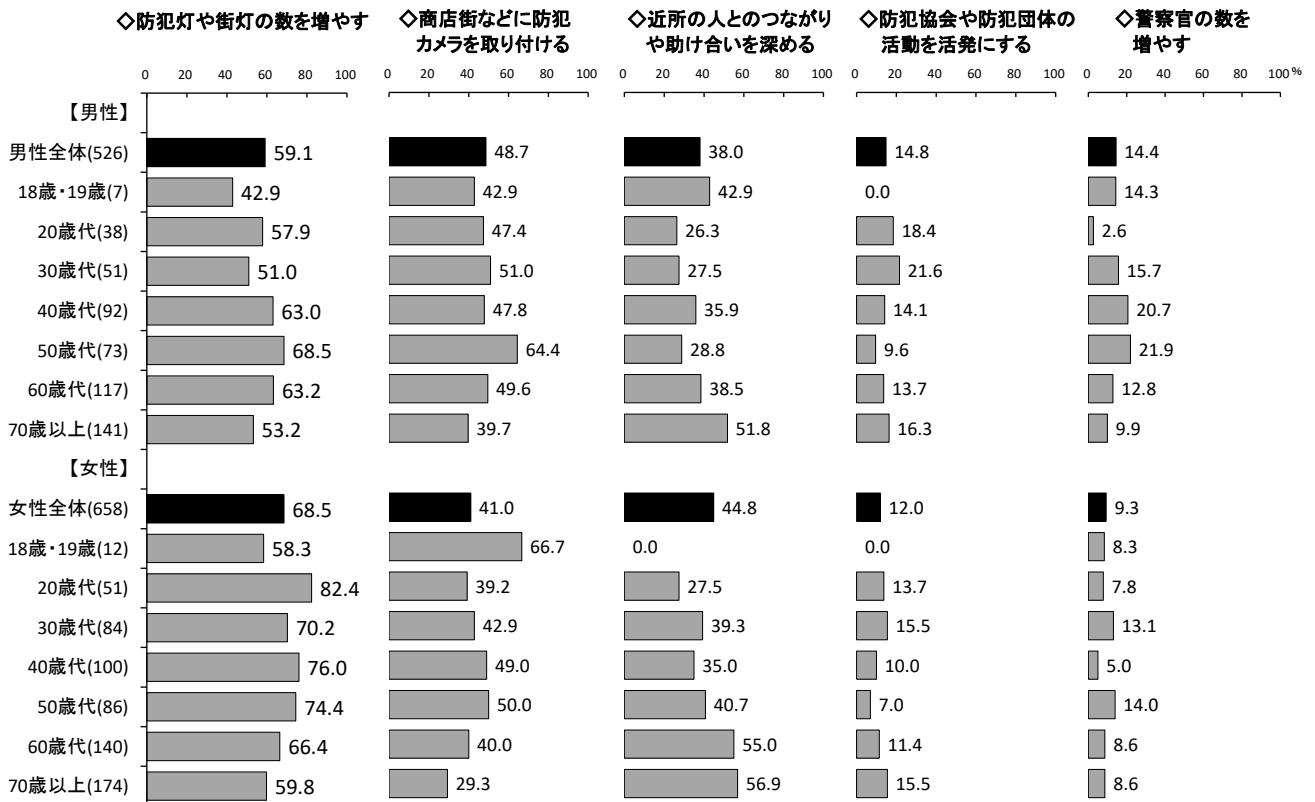
問 12 あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政としてどのようなことが必要だと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。



全体では「防犯灯や街灯の数を増やす」が64.2%で最も高く、次いで「商店街などに防犯カメラを取り付ける」(44.6%)、「近所の人とのつながりや助け合いを深める」(41.5%)、「防犯協会や防犯団体の活動を活発にする」(13.4%)、「警察官の数を増やす」(11.4%)が続いています。

性別で見ると「防犯灯や街灯の数を増やす」は女性(68.5%)が男性(59.1%)を9.4ポイント上回っています。

防犯のために必要なこと（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「防犯灯や街灯の数を増やす」は男性の40歳代、50歳代、60歳代で6割を超え、女性の20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では7割を超えています。特に、女性の20歳代は82.4%と最も高くなっています。

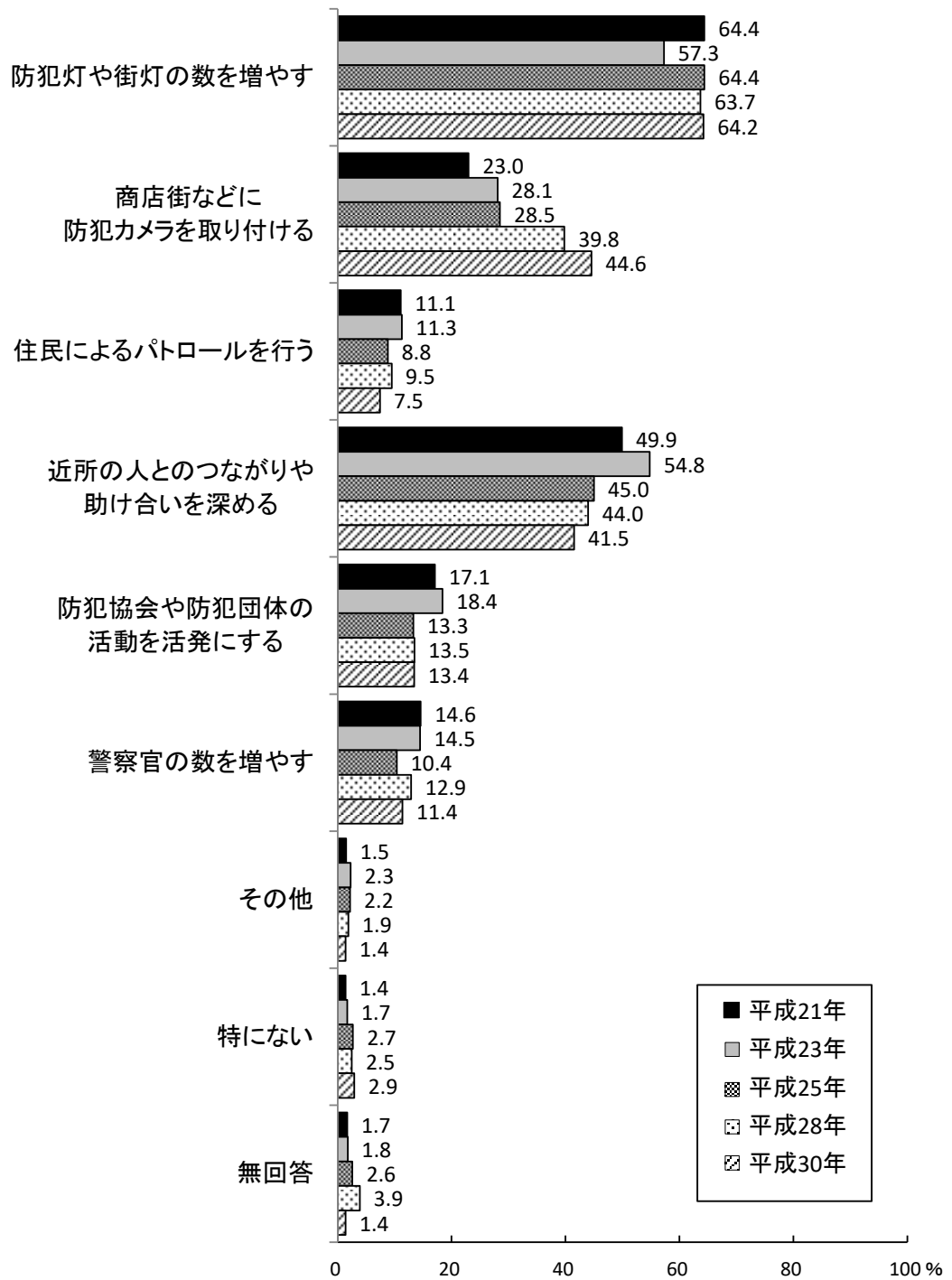
「商店街などに防犯カメラを取り付ける」は女性の18歳・19歳で66.7%と最も高くなっています。また、男性の50歳代でも64.4%と高くなっています。女性の20歳代と男性・女性の70歳以上を除くと、全ての年代で4割以上となっています。

「近所の人とのつながりや助け合いを深める」は男性の70歳以上、女性の60歳代、70歳以上で5割台と高くなっています。

「防犯協会や防犯団体の活動を活発にする」は男性の20歳代(18.4%)、30歳代(21.6%)で高くなっています。

「警察官の数を増やす」は男性の40歳代(20.7%)、50歳代(21.9%)でやや高くなっています。

防犯のために必要なこと（経年比較）



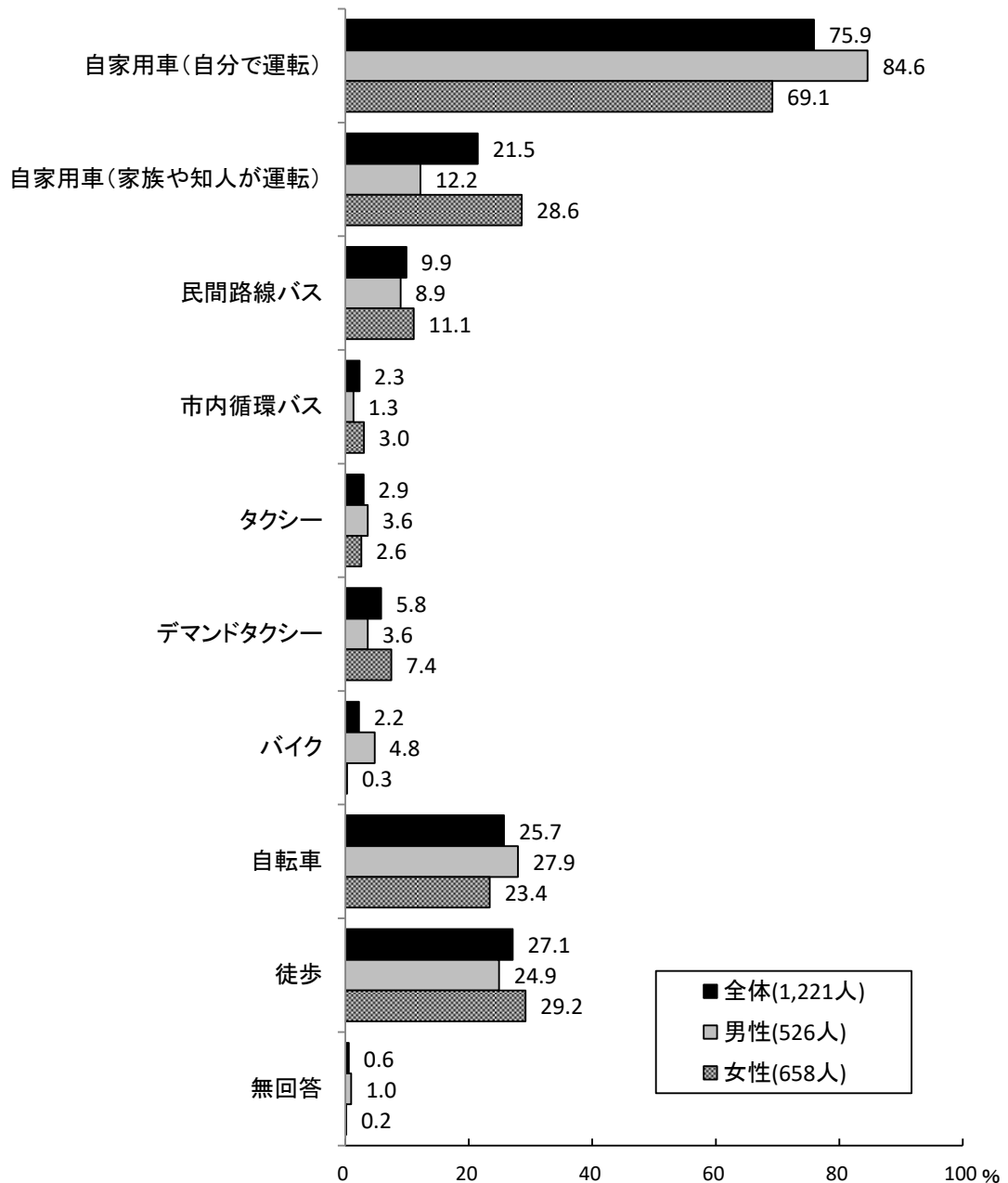
平成 28 年度調査と比較すると「商店街などに防犯カメラを取り付ける」は 4.8 ポイント増加しています。「近所の人とのつながりや助け合いを深める」は 2.5 ポイント減少し、平成 23 年度調査以降、減少傾向となっています。

4-3 主に利用している交通手段

◆「自家用車（自分で運転）」75.9%、「徒歩」27.1%、「自転車」25.7%◆

問 13 あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

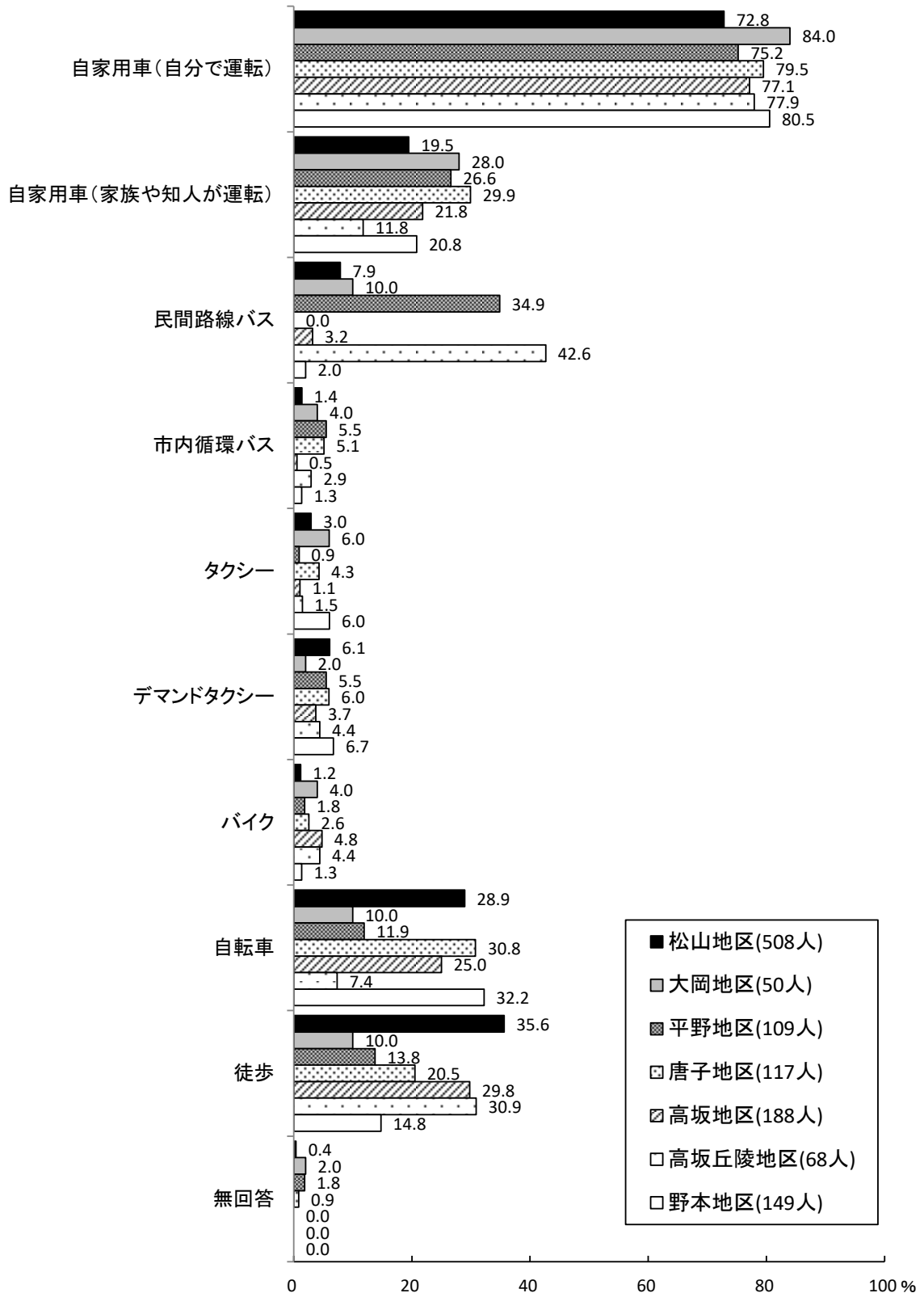
主に利用している交通手段（全体・性別）



全体では「自家用車（自分で運転）」が75.9%で最も高く、次いで「徒歩」（27.1%）、「自転車」（25.7%）、「自家用車（家族や知人が運転）」（21.5%）、「民間路線バス」（9.9%）と続いています。

性別で見ると「自家用車（自分で運転）」は男性（84.6%）が女性（69.1%）を15.5ポイント上回っています。また、「自家用車（家族や知人が運転）」は女性（28.6%）が男性（12.2%）を16.4ポイント上回っています。

主に利用している交通手段(地区別)

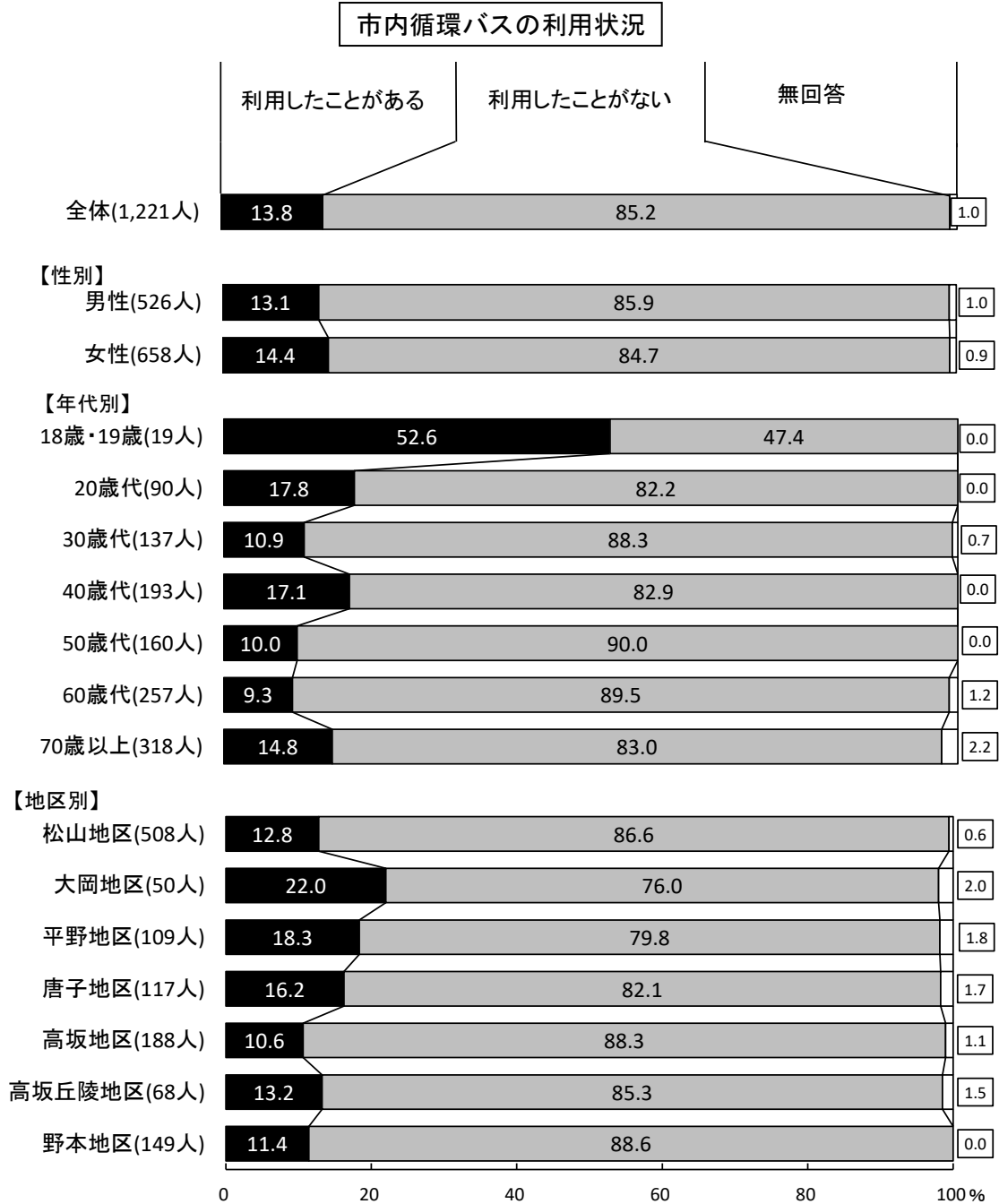


地区別でみると、全ての地区で「自家用車(自分で運転)」が最も高くなっています。「徒歩」は、松山地区で35.6%、高坂丘陵地区で30.9%と高くなっています。「自転車」は野本地区、唐子地区で3割台となっています。「民間路線バス」は高坂丘陵地区で42.6%、平野地区で34.9%と高くなっています。

4-4 市内循環バスの利用状況

◆「利用したことがある」13.8%◆

問 14 あなたは、市内循環バスを過去1年以内に利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「利用したことがある」が13.8%、「利用したことがない」が85.2%と、「利用したことがない」が大半を占めています。

性別で見ると「利用したことがある」は女性（14.4%）が男性（13.1%）を1.3ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用したことがある」は18歳・19歳が52.6%、次いで20歳代が17.8%と高くなっています。

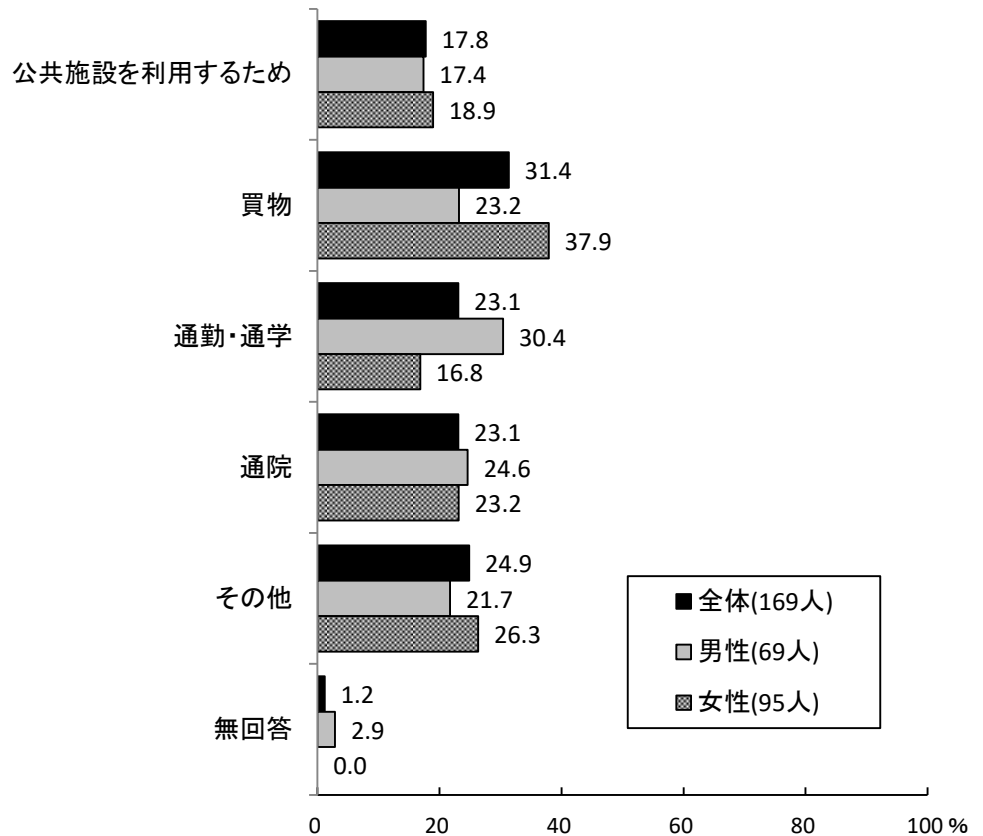
地区別では「利用したことがある」は大岡地区で22.0%、平野地区で18.3%と高くなっています。

4-5 市内循環バスを利用した理由

◆「買物」31.4%◆

(問14で「利用したことがある」とお答えの方におたずねします)
問14-1 どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

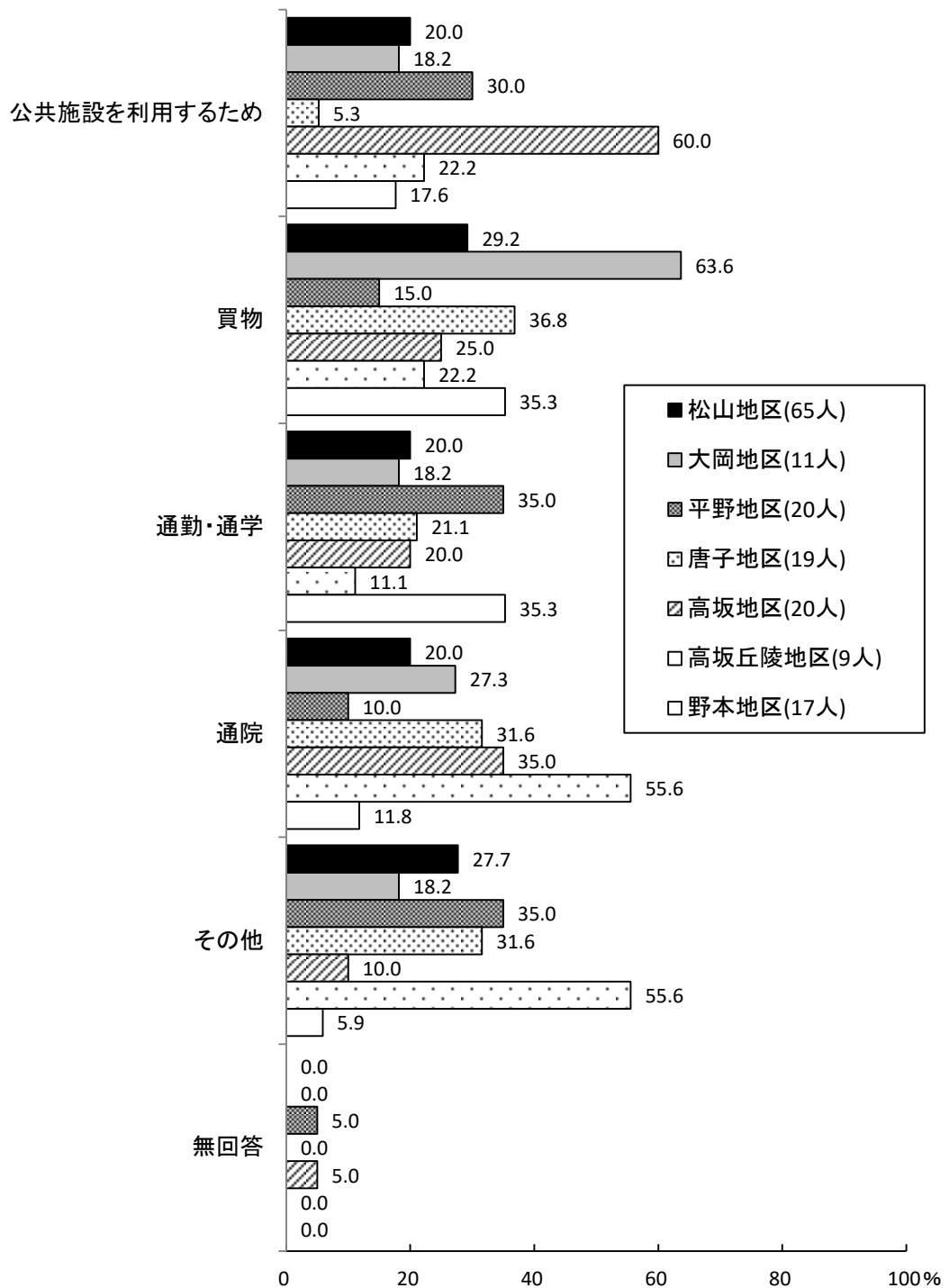
市内循環バスを利用した理由(全体・性別)



全体では「買物」が31.4%と最も高く、次いで「通勤・通学」「通院」がともに23.1%となっています。

性別で見ると「買物」で女性(37.9%)が男性(23.2%)を14.7ポイント上回っています。また「通勤・通学」では男性(30.4%)が女性(16.8%)を13.6ポイント上回っています。

市内循環バスを利用した理由（地区別）



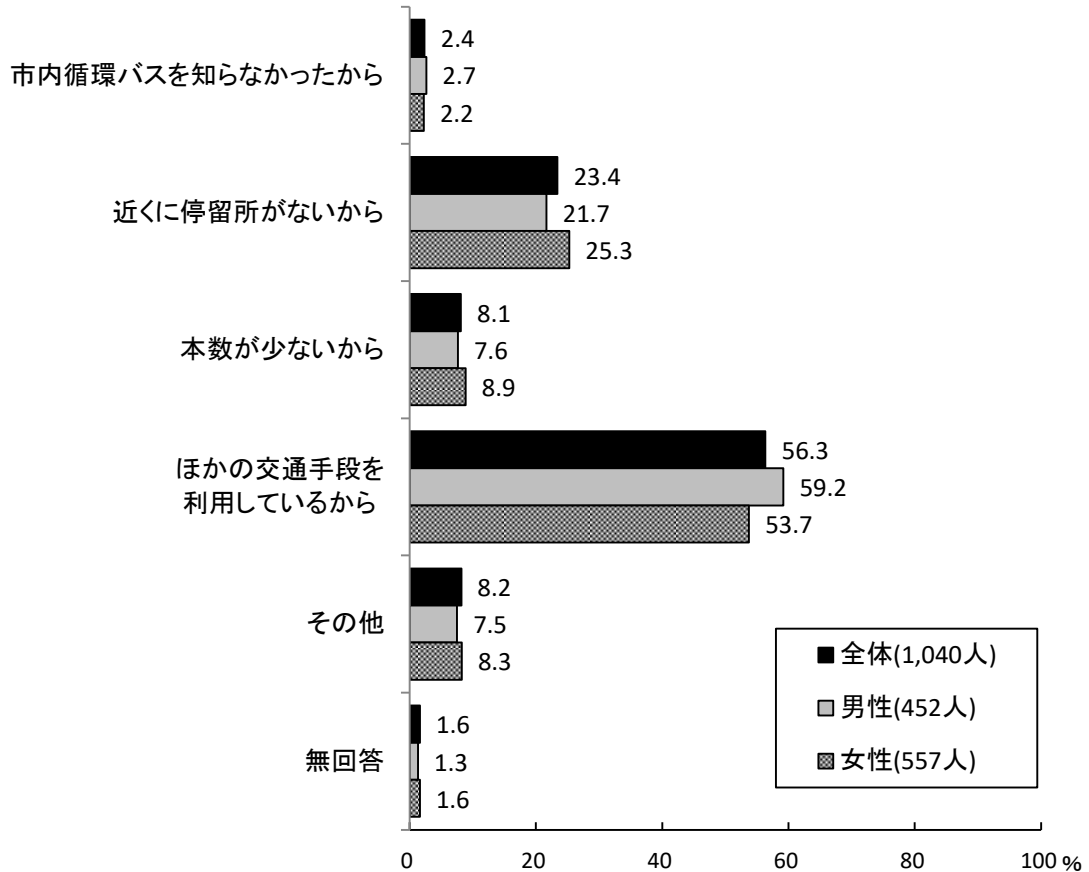
地区別でみると「買物」は大岡地区が63.6%とかなり高く、次いで唐子地区が36.8%となっています。「公共施設を利用するため」は高坂地区が60.0%と高くなっています。「通勤・通学」は野本地区が35.3%、平野地区が35.0%、「通院」は高坂丘陵地区が55.6%と高くなっています。

4-6 市内循環バスを利用したことがない理由

◆「ほかの交通手段を利用しているから」56.3%◆

(問14で「利用したことがない」とお答えの方におたずねします)
 問14-2 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

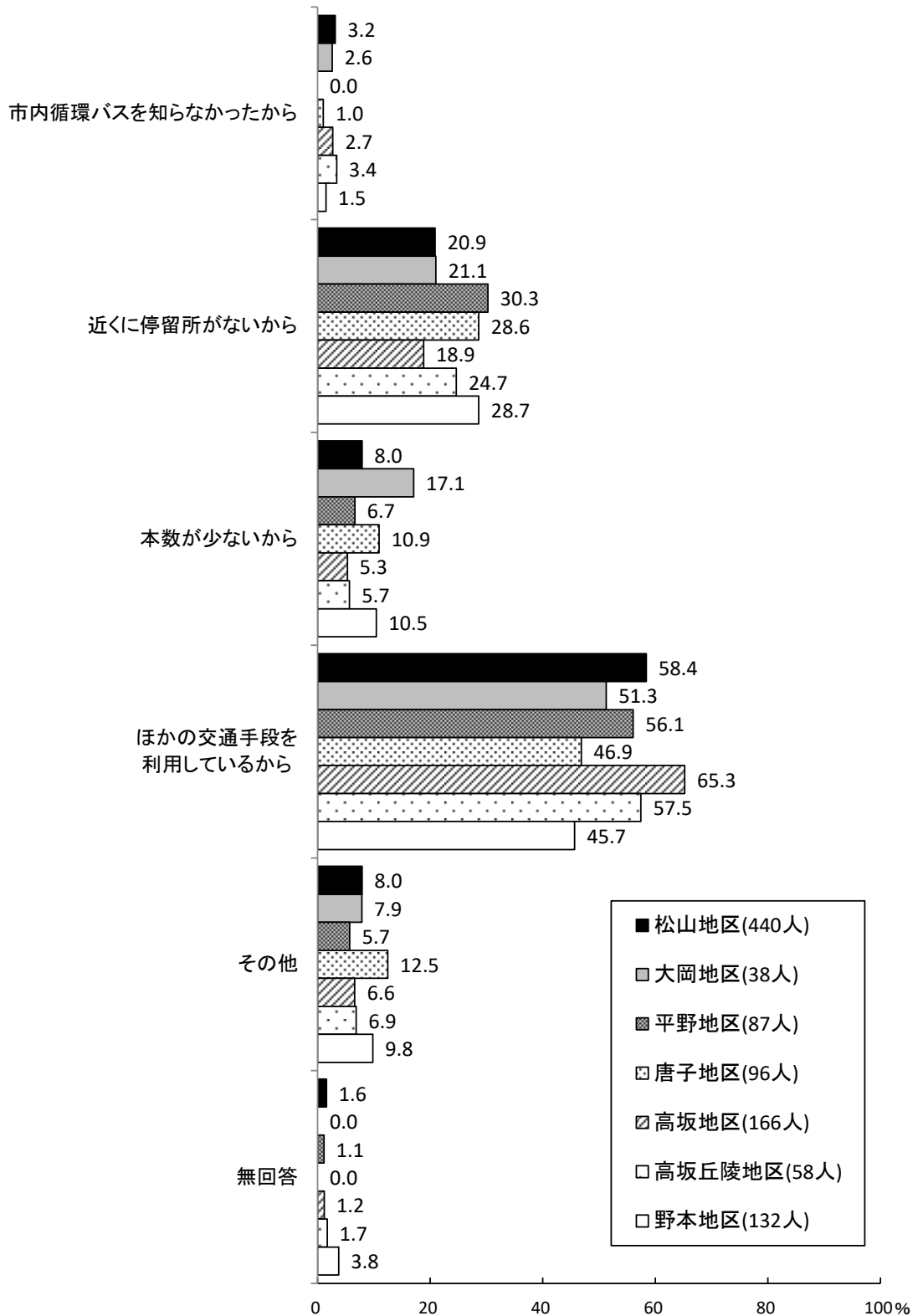
市内循環バスを利用したことがない理由(全体・性別)



全体では「ほかの交通手段を利用しているから」が56.3%と最も高く、次いで「近くに停留所がないから」が23.4%となっています。

性別で見ると「ほかの交通手段を利用しているから」では男性(59.2%)が女性(53.7%)を5.5ポイント上回っています。また「近くに停留所がないから」で女性(25.3%)が男性(21.7%)を3.6ポイント上回っています。

市内循環バスを利用したことがない理由（地区別）



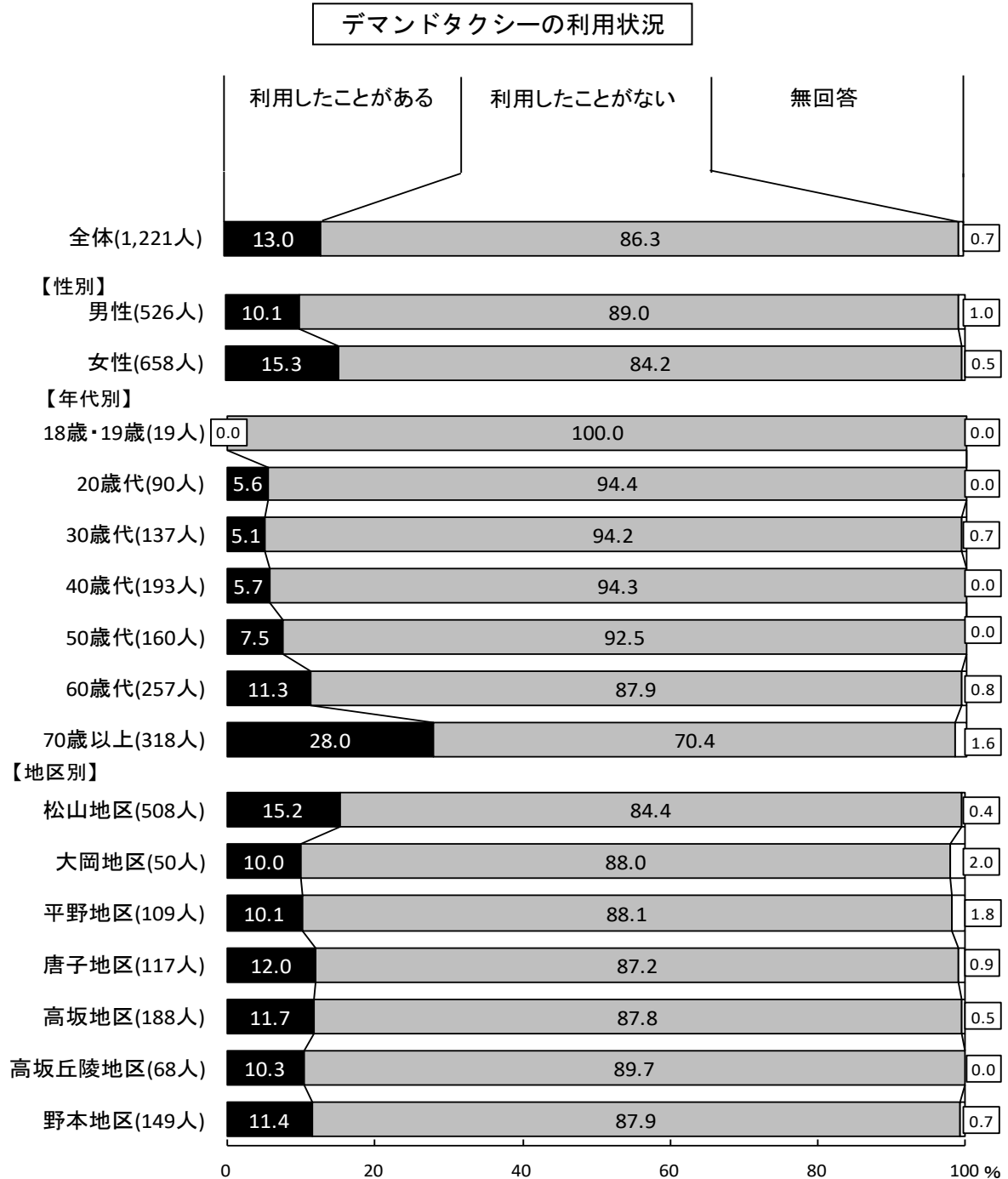
地区別でみると、全ての地区で「ほかの交通手段を利用しているから」が最も高くなっています。

「近くに停留所がないから」は平野地区で30.3%、野本地区で28.7%、唐子地区で28.6%とやや高くなっています。

4-7 デマンドタクシーの利用状況

◆「利用したことがある」13.0%◆

問 15 あなたは、デマンドタクシーを利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「利用したことがある」が13.0%、「利用したことがない」が86.3%で、「利用したことがない」が大半を占めています。

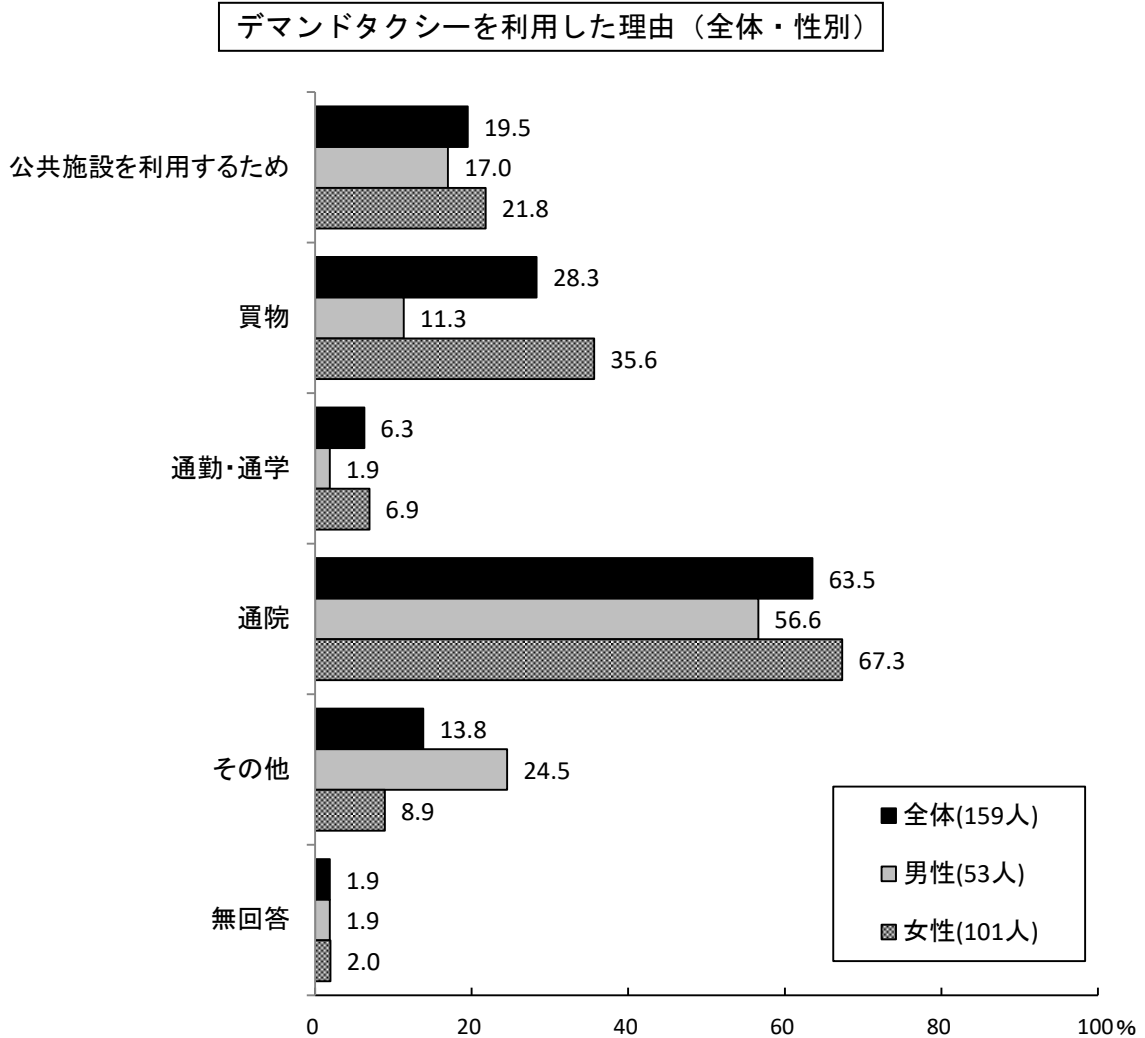
年代別で見ると「利用したことがある」は70歳以上が28.0%と最も高くなっています。

地区別で見ると「利用したことがある」は松山地区で15.2%と最も高くなっています。

4-8 デマンドタクシーを利用した理由

◆「通院」63.5%◆

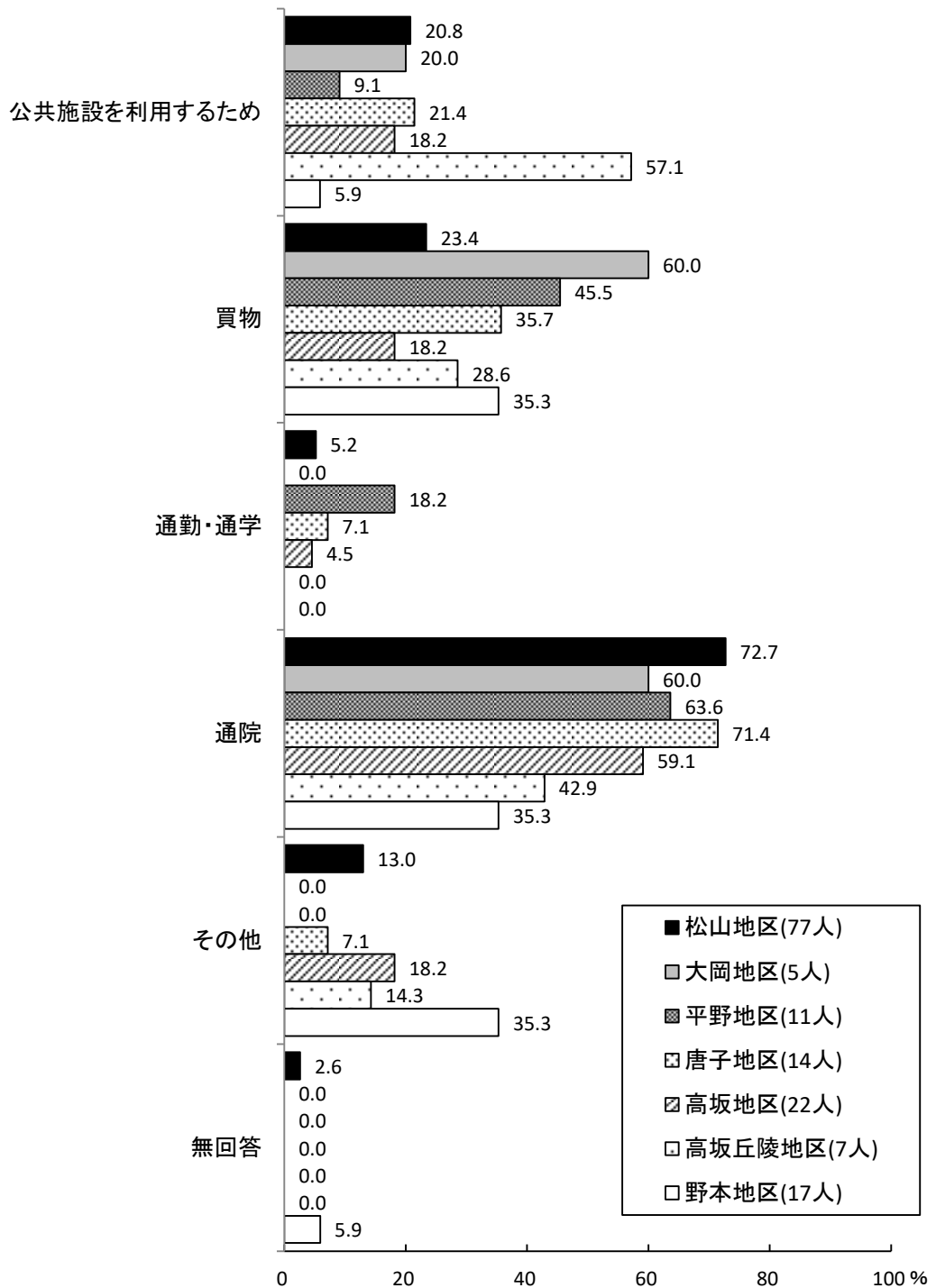
(問 15 で「利用したことがある」とお答えの方におたずねします)
 問 15-1 どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○
 で囲んでください。



全体では「通院」が63.5%と最も高く、次いで「買物」(28.3%)、「公共施設を利用するため」(19.5%)となっています。

性別で見ると「通院」で女性(67.3%)が男性(56.6%)を10.7ポイント上回っています。また「買物」でも女性(35.6%)が男性(11.3%)を24.3ポイント上回っています。

デマンドタクシーを利用した理由（地区別）



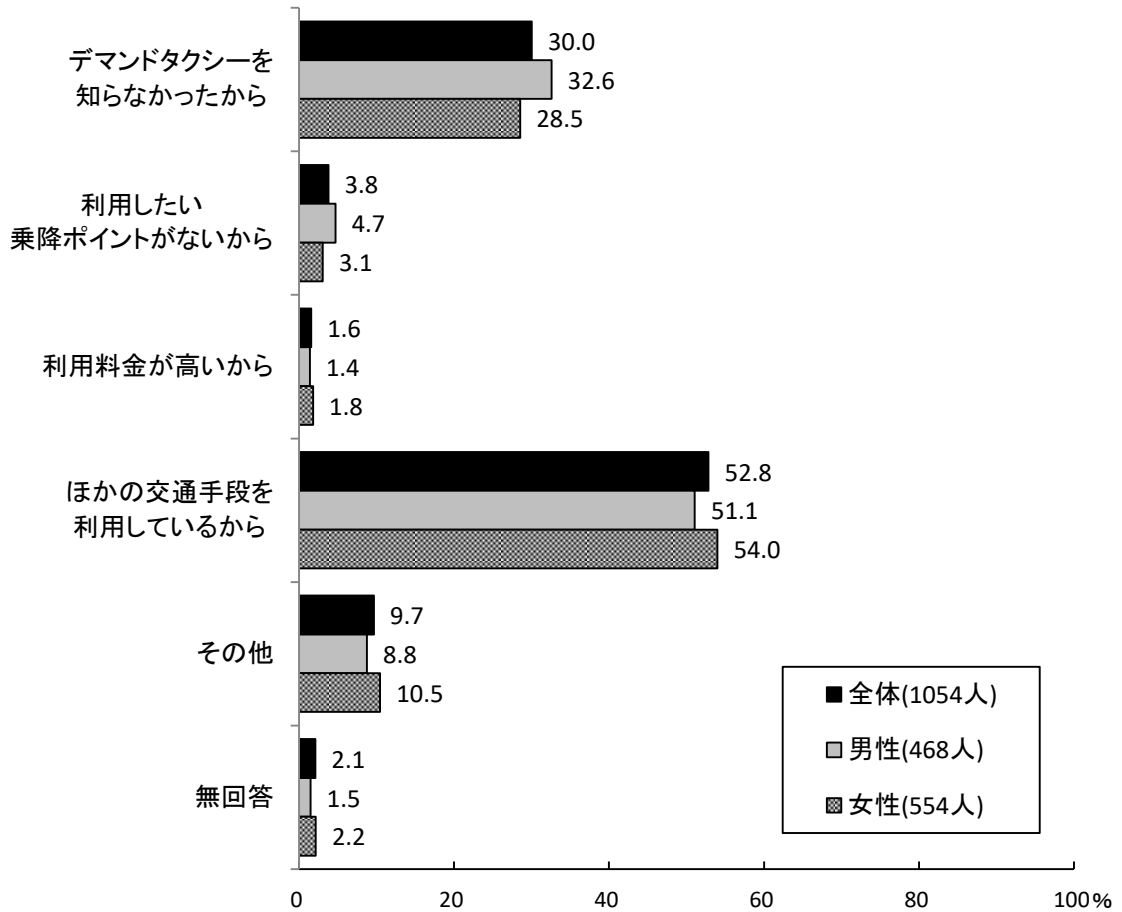
地区別で見ると「通院」は松山地区で72.7%、唐子地区で71.4%と高くなっています。「買物」は大岡地区が60.0%、平野地区が45.5%と高くなっています。「公共施設を利用するため」は高坂丘陵地区が57.1%と高くなっています。

4-9 デマンドタクシーを利用したことがない理由

◆「ほかの交通手段を利用しているから」52.8%◆

(問15で「利用したことがない」とお答えの方におたずねします)
 問15-2 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

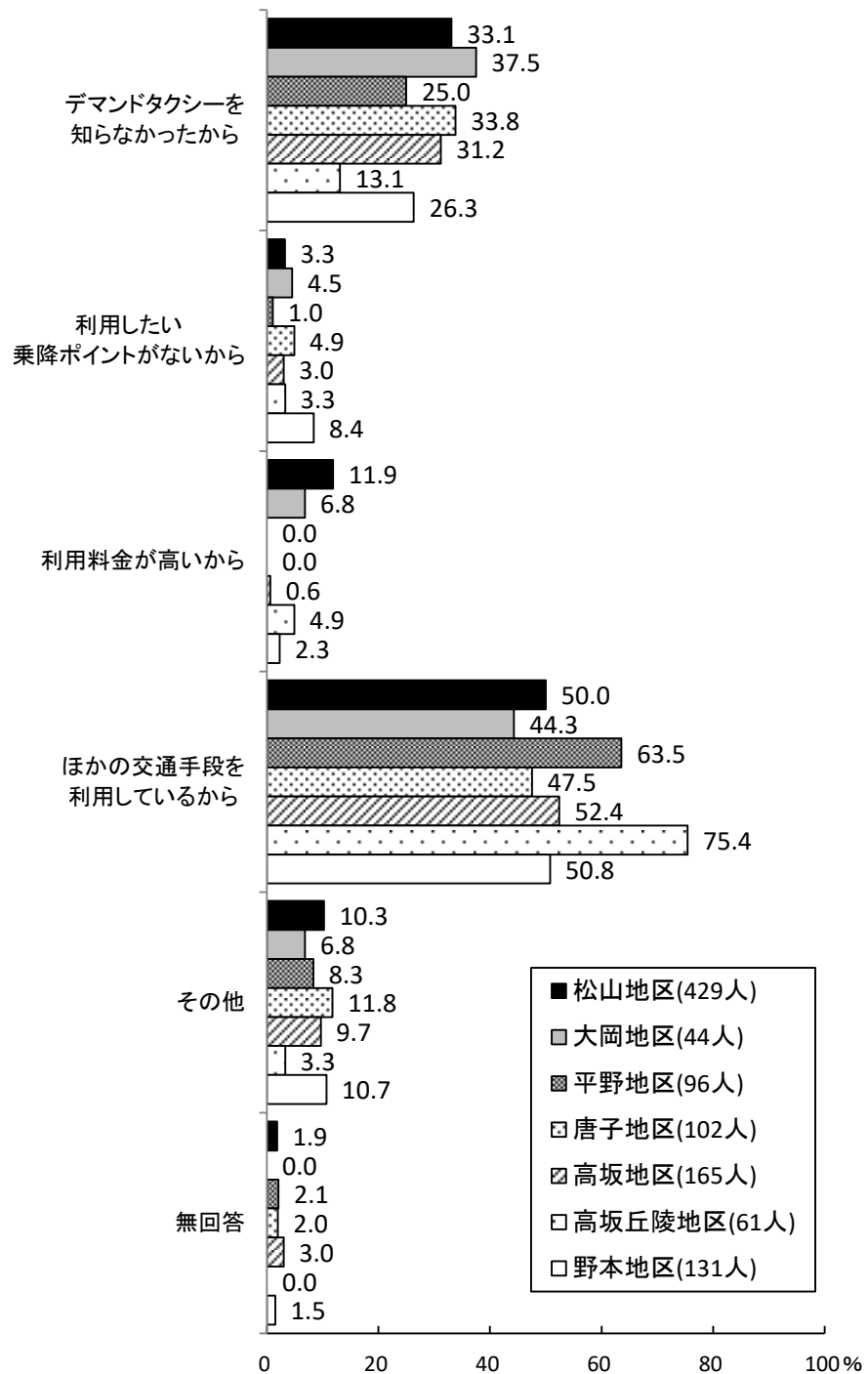
デマンドタクシーを利用したことがない理由(全体・性別)



全体では「ほかの交通手段を利用しているから」が52.8%と最も高く、次いで「デマンドタクシーを知らなかったから」が30.0%となっています。

性別で見ると「デマンドタクシーを知らなかったから」で男性(32.6%)が女性(28.5%)を4.1ポイント上回っています。

デマンドタクシーを利用したことがない理由（地区別）



地区別でみると「ほかの交通手段を利用しているから」は高坂丘陵地区で7割、平野地区で6割を超えています。「デマンドタクシーを知らなかったから」は大岡地区が37.5%と最も高くなっています。

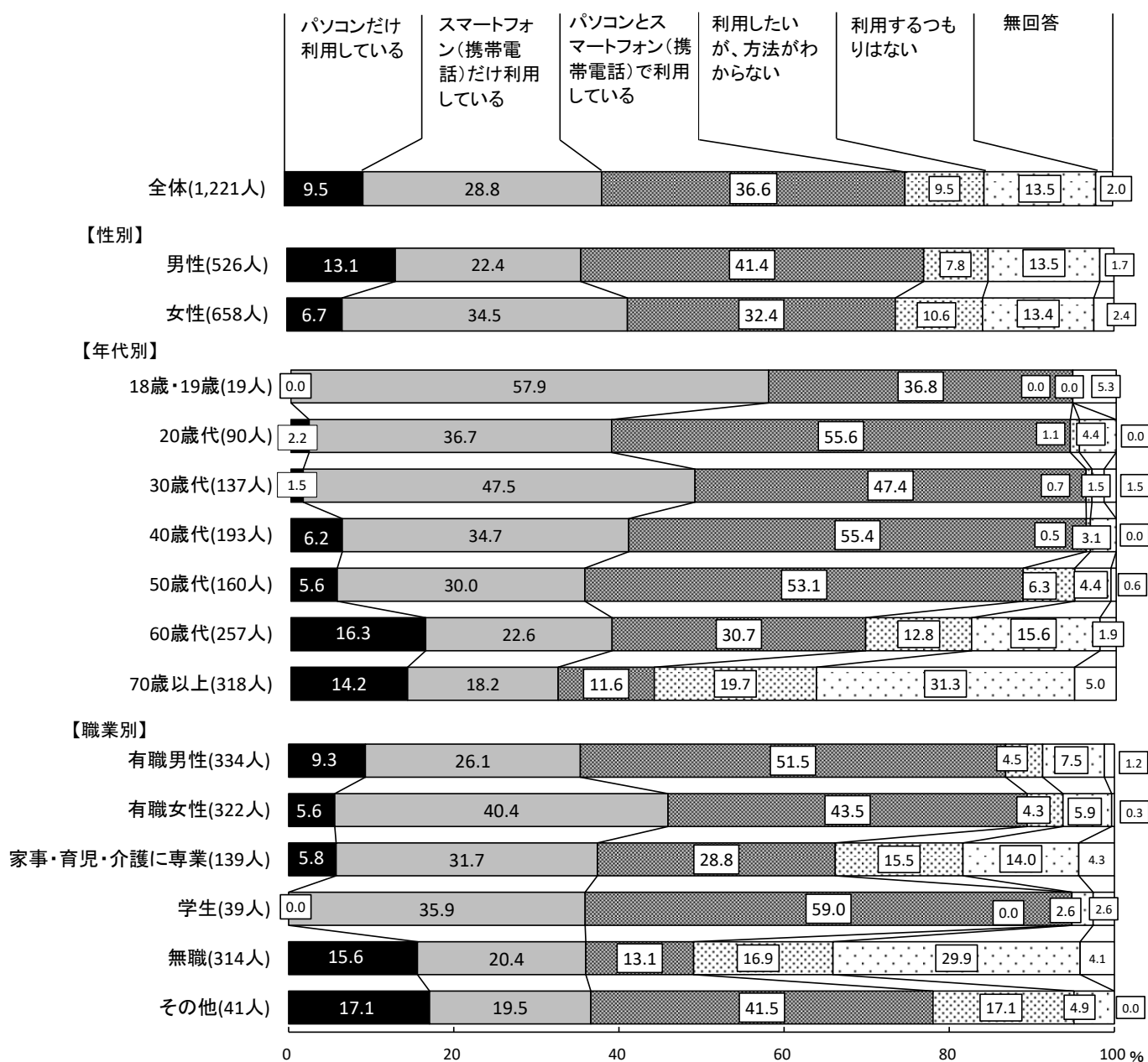
5 市民生活について

5-1 インターネットの利用状況

◆ “インターネットを利用している” 74.9%◆

問 16 あなたは、ホームページ（モバイルサイトを含む）を見たり、インターネットを利用したりしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

インターネットの利用状況



全体でみると「パソコンとスマートフォン（携帯電話）で利用している」が 36.6%、「スマートフォン（携帯電話）だけ利用している」が 28.8%、「パソコンだけ利用している」が 9.5%で、これらを合わせた“インターネットを利用している”と回答した人は 74.9% となっています。

性別でみると「スマートフォン（携帯電話）だけ利用している」で女性（34.5%）が男性（22.4%）を 12.1 ポイント上回っています。また「パソコンだけ利用している」は男性（13.1%）が女性（6.7%）を 6.4 ポイント上回っています。“インターネットを利用している”は男性（76.9%）が女性（73.6%）を 3.3 ポイント上回っています。

年代別でみると「パソコンとスマートフォン（携帯電話）で利用している」は 20 歳代で 55.6%、40 歳代で 55.4%、50 歳代で 53.1%と高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）だけ利用している」は 18 歳・19 歳が最も高く 57.9%となっています。また“インターネットを利用している”と回答している割合は 18 歳・19 歳、20 歳代、30 歳代、40 歳代で 9 割台となっています。

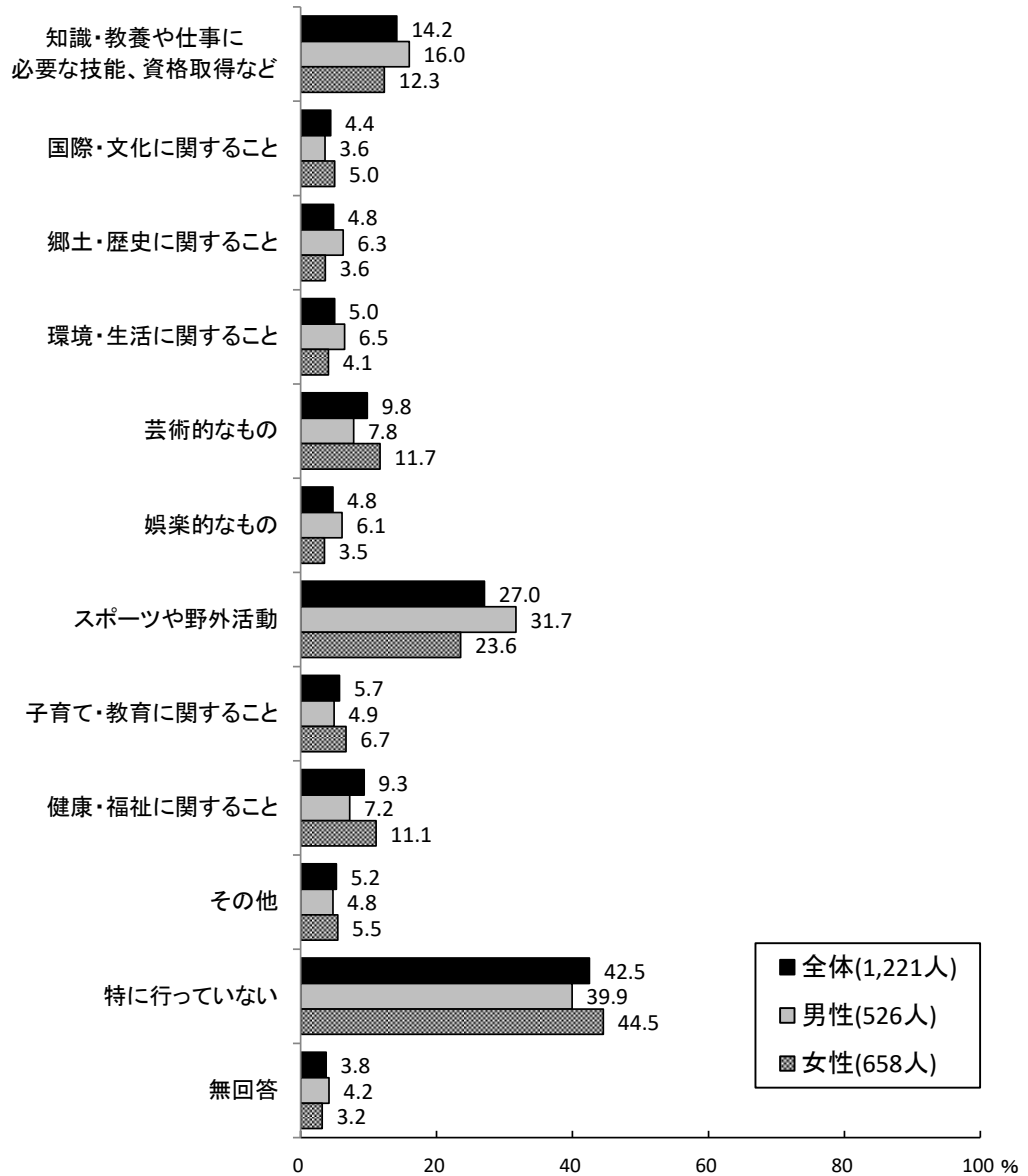
職業別でみると“インターネットを利用している”は学生で 94.9%となっており、有職男性は 86.9%、有職女性は 89.5%となっています。

5-2 学習や趣味などの活動状況

- ◆「スポーツや野外活動」27.0%、
「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」14.2%◆

問 17 あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

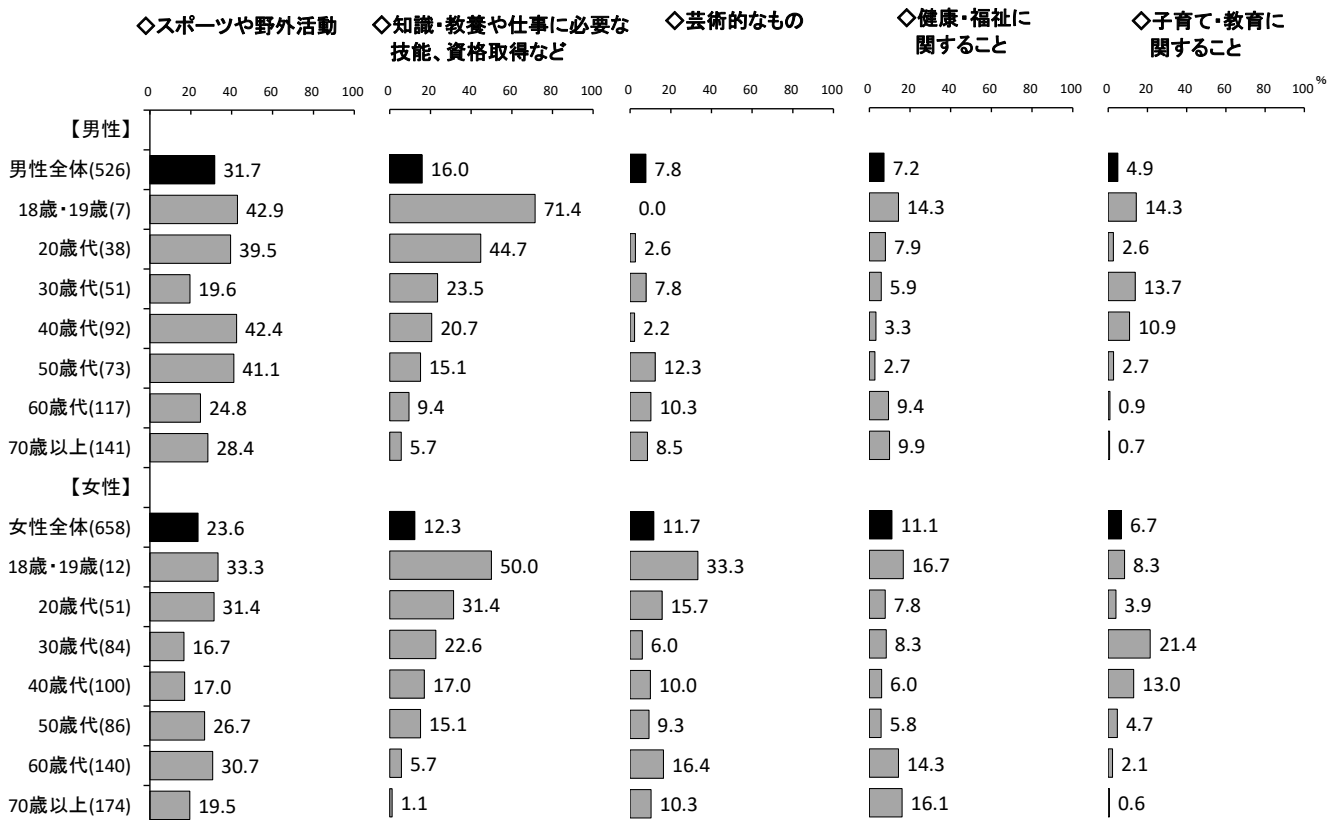
学習や趣味などの活動状況（全体・性別）



全体では「スポーツや野外活動」(27.0%)、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」(14.2%)、「芸術的なもの」(9.8%)、「健康・福祉に関すること」(9.3%)、「子育て・教育に関すること」(5.7%)の順となっています。また「特に行っていない」は42.5%となっています。

性別で見ると「スポーツや野外活動」で男性(31.7%)が女性(23.6%)を8.1ポイント、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」で男性(16.0%)が女性(12.3%)を3.7ポイント上回っています。一方「芸術的なもの」では女性(11.7%)が男性(7.8%)を3.9ポイント、「健康・福祉に関すること」でも女性(11.1%)が男性(7.2%)を3.9ポイント上回っています。

学習や趣味などの活動状況(上位5項目 性・年代別)



性・年代別でみると「スポーツや野外活動」は男性の18歳・19歳、40歳代、50歳代で4割を超え、女性の18歳・19歳、20歳代、60歳代で3割を上回っています。

「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」は18歳・19歳が最も高く(男性71.4%、女性50.0%)、年齢が高くなるごとに少なくなっています。

「芸術的なもの」は女性の18歳・19歳で33.3%と最も高くなっています。

「健康・福祉に関すること」は女性の18歳・19歳で16.7%、70歳以上で16.1%とやや高くなっています。

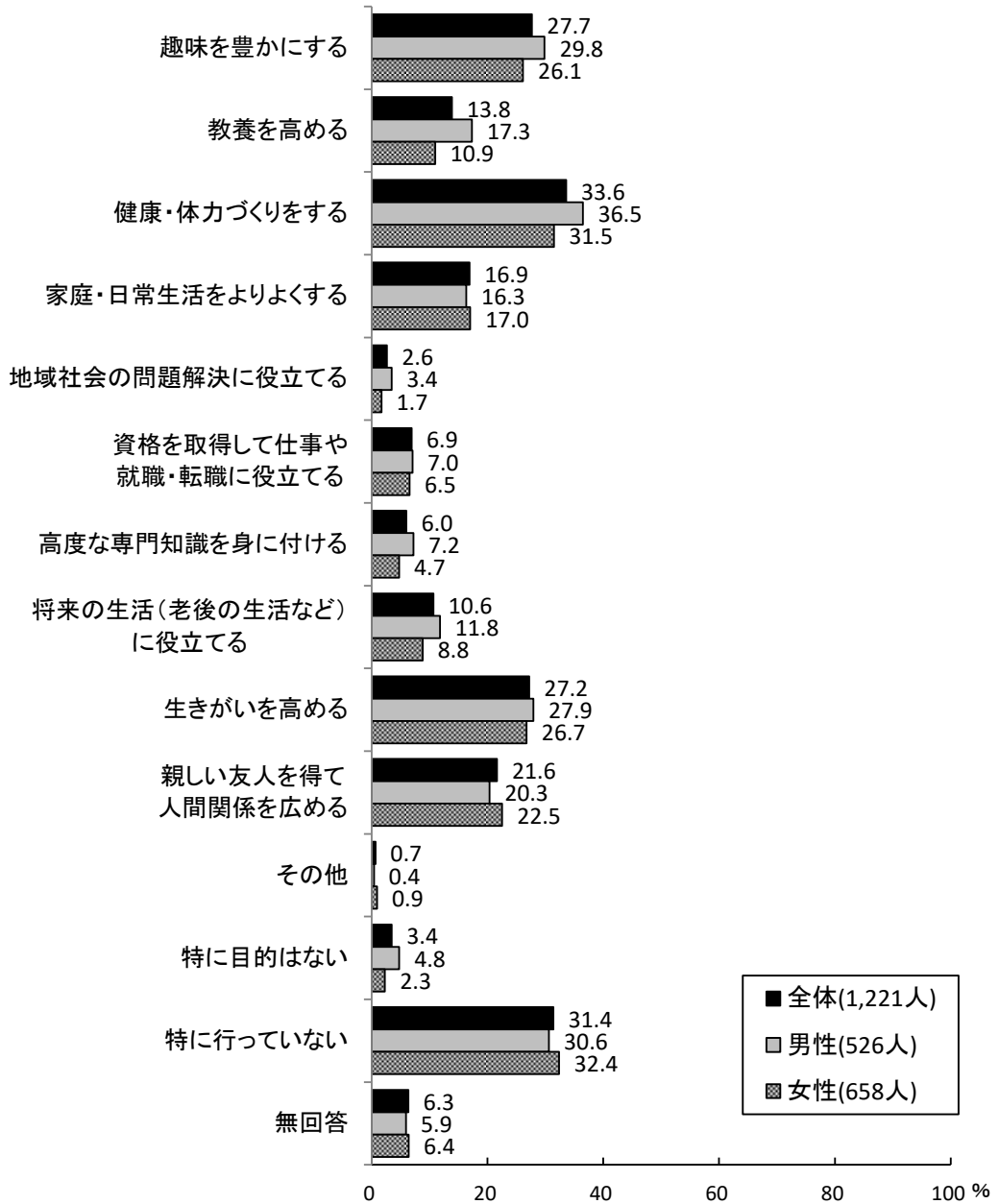
「子育て・教育に関すること」は女性の30歳代で21.4%と高くなっています。

5-3 生涯学習等の活動を行っている目的

◆「健康・体力づくりをする」33.6%◆

問 18 あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

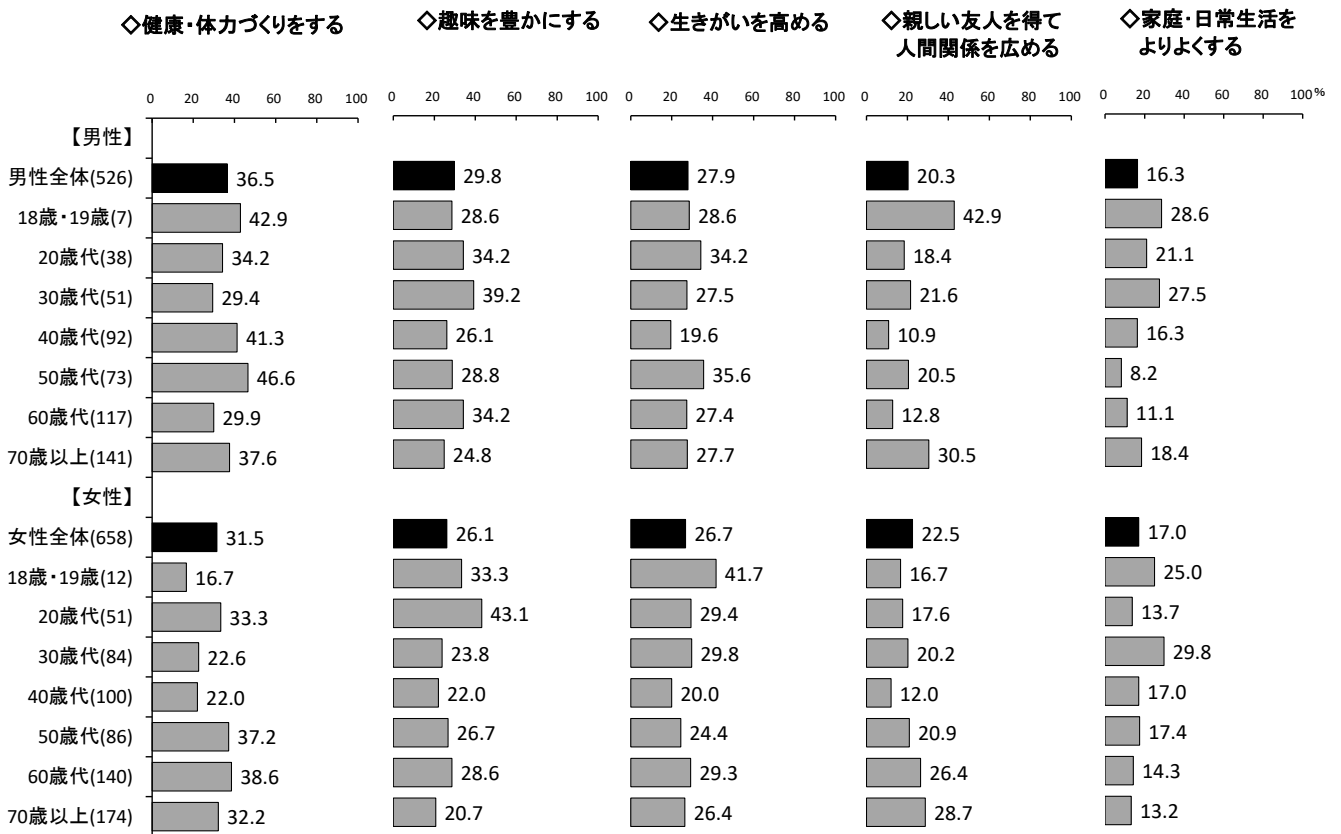
生涯学習等の活動を行っている目的（全体・性別）



全体では「健康・体力づくりをする」が33.6%で最も高く、次いで「趣味を豊かにする」(27.7%)、「生きがいを高める」(27.2%)、「親しい友人を得て人間関係を広める」(21.6%)、「家庭・日常生活をよりよくする」(16.9%)が続いています。また「特に行っていない」は31.4%となっています。

性別で見ると「教養を高める」で男性(17.3%)が女性(10.9%)を6.4ポイント、「親しい友人を得て人間関係を広める」で女性(22.5%)が男性(20.3%)を2.2ポイント上回っています。

生涯学習等の活動を行っている目的(上位5項目 性・年代別)



性・年代別でみると「健康・体力づくりをする」は男性の18歳・19歳、40歳代、50歳代で4割台となっています。

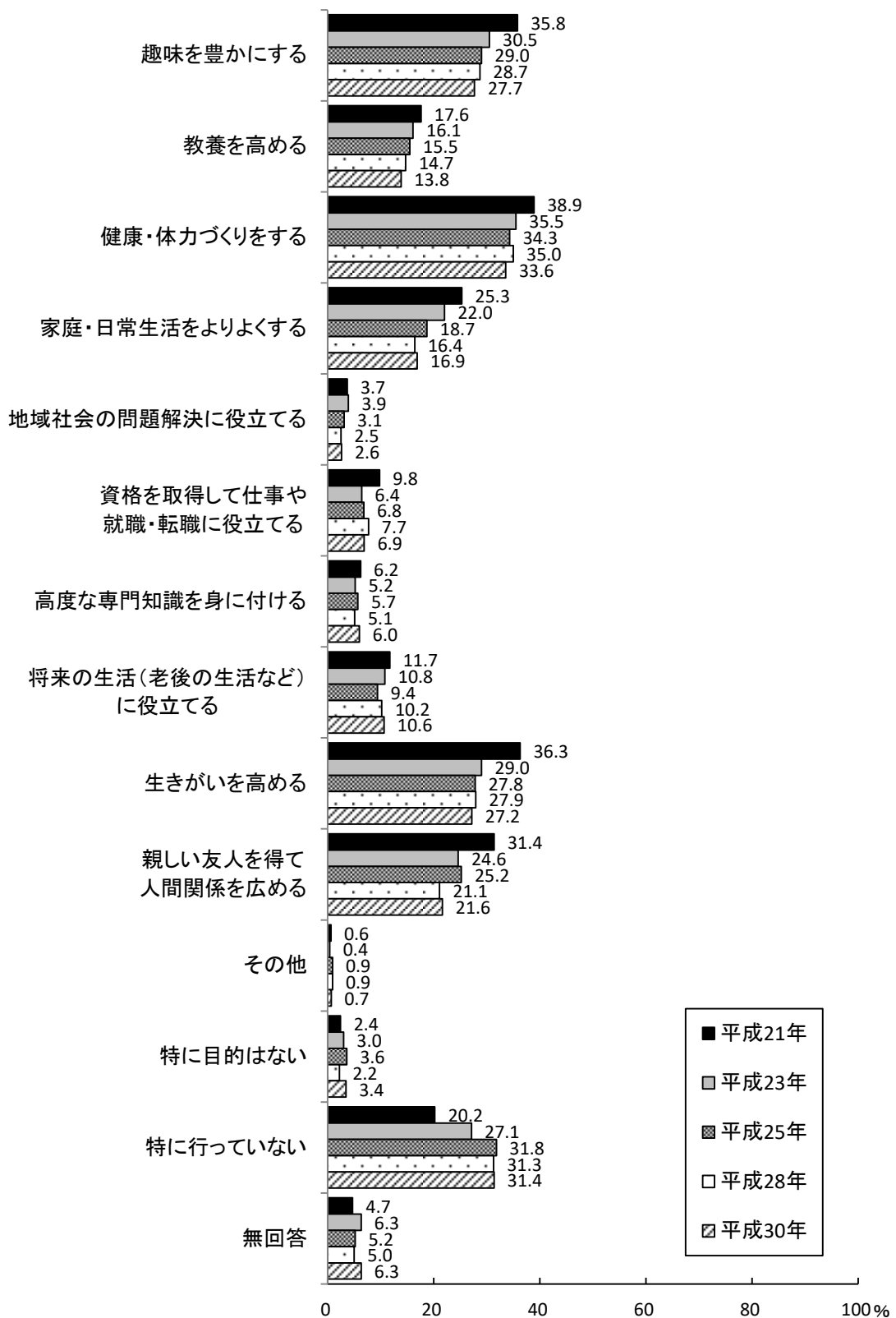
「趣味を豊かにする」は女性の20歳代で43.1%と最も高くなっています。男性の30歳代でも39.2%と約4割となっています。

「生きがいを高める」は女性の18歳・19歳で4割を超え、男性の20歳代、50歳代で3割を上回っています。

「親しい友人を得て人間関係を広める」は男性の18歳・19歳で42.9%と高くなっています。

「家庭・日常生活をよりよくする」は女性の30歳代で29.8%、男性の18歳・19歳で28.6%、30歳代で27.5%とやや高くなっています。

生涯学習等の活動を行っている目的（経年比較）

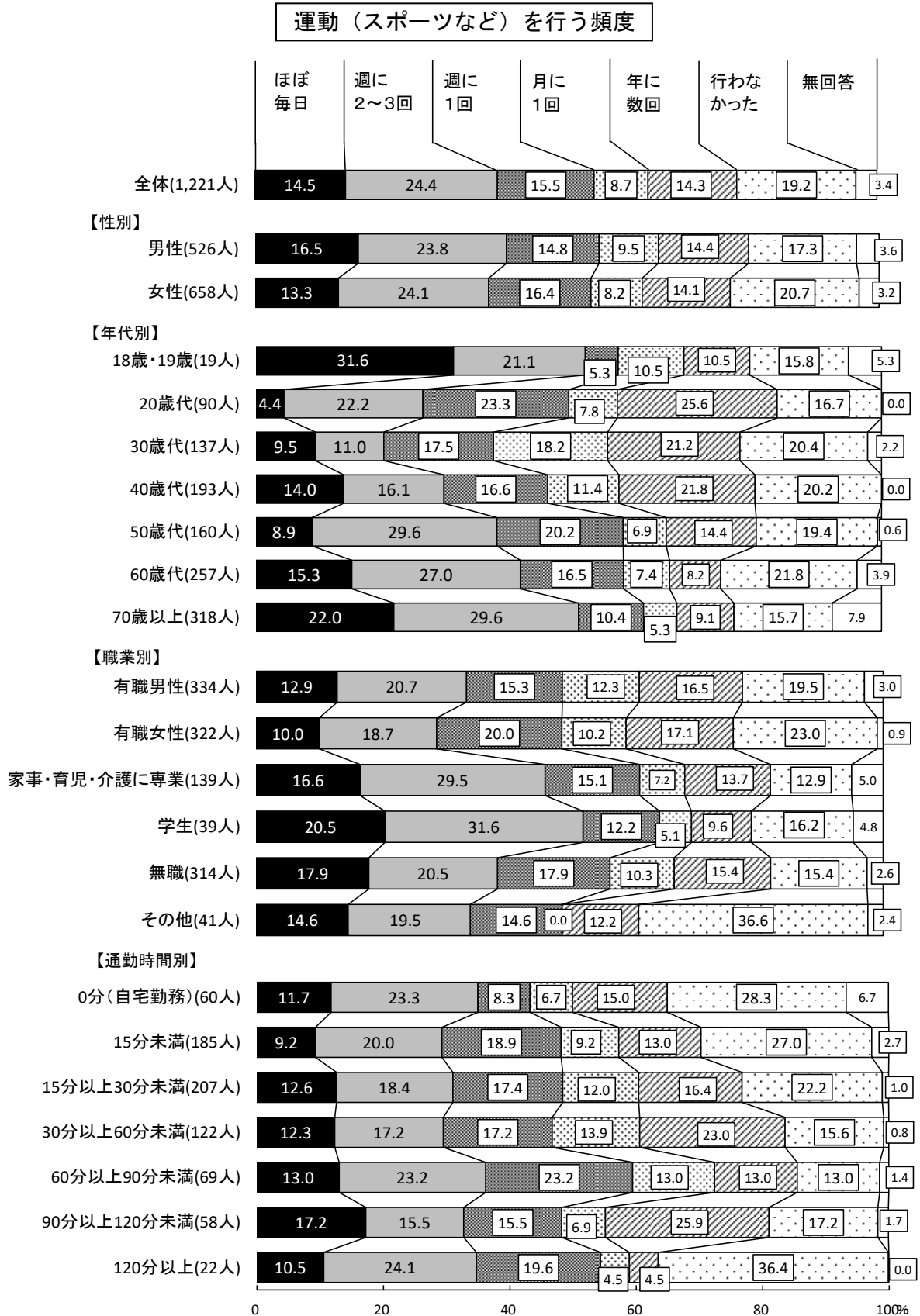


平成 21 年度以降の調査結果と比較すると、多くの項目で減少傾向となっているものの、平成 28 年度調査と比較すると、ほとんど変化はありません。

5-4 運動（スポーツなど）を行う頻度

◆ “習慣的に運動を行っている” 54.4%◆

問 19 あなたは、過去1年間に運動（スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など）を平均してどのくらい行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体でみると「ほぼ毎日」「週に2～3回」「週に1回」を合わせた“習慣的に運動を行っている”は54.4%と高く、一方で「行わなかった」は19.2%と低く、習慣的に体を動かしている市民が多いことがわかります。

性別でみると“習慣的に運動を行っている”は男性（55.1%）が女性（53.8%）を1.3ポイント上回っていますが、ともに半数を超えています。

年代別でみると“習慣的に運動を行っている”は30歳代が38.0%と最も低く、それ以降は年齢が高くなるにしたがって割合が高くなっています。70歳以上は最も高く、62.0%となっています。

職業別でみると“習慣的に運動を行っている”は学生が64.3%、家事・育児・介護に専業が61.2%と高くなっています。最も低い有職女性でも、48.7%と過半数に近づいています。

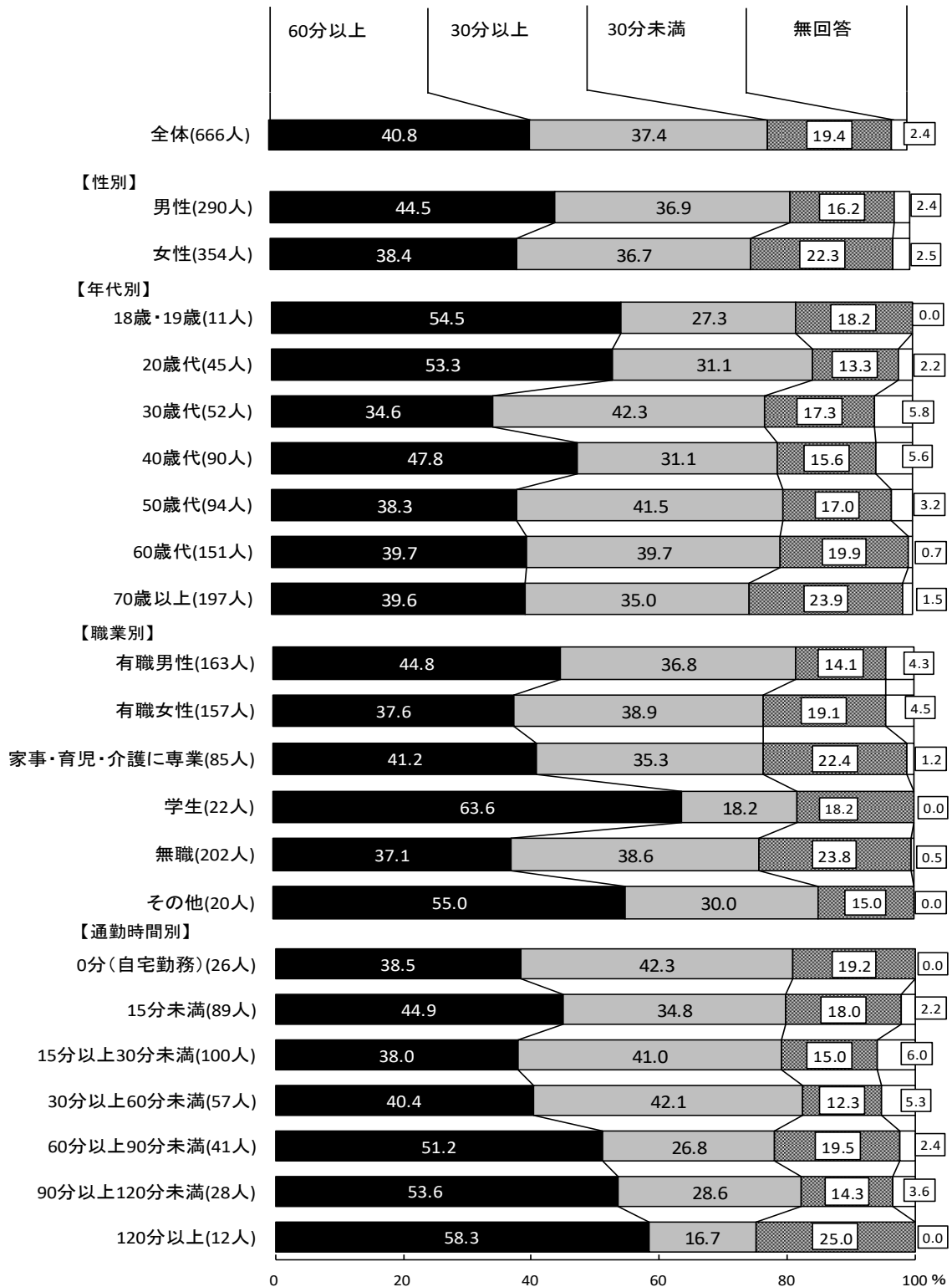
通勤時間別でみると“習慣的に運動を行っている”は60分以上90分未満が59.4%と最も高く、120分以上の長距離通勤層も54.2%と5割を上回っています。通勤時間0分（自宅勤務）が43.3%と最も低くなっていますが、4割を超えていることから、全体として“習慣的に運動を行っている”ということがうかがえます。

5-5 運動（スポーツなど）を1回に行う時間

◆「60分以上」40.8%◆

(問19で「ほぼ毎日」「週に2~3回」「週に1回」とお答えの方におたずねします)
 問19-1 1回にどのくらいの時間行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

運動（スポーツなど）を1回に行う時間



全体では「60分以上」が40.8%と最も多く、「30分以上」が37.4%、「30分未満」が19.4%の順となっています。

性別で見ると、男性・女性とも「60分以上」が最も多く、男性(44.5%)が女性(38.4%)を6.1ポイント上回っています。

年代別で見ると「60分以上」は18歳・19歳で54.5%と最も高く、次いで20歳代で53.3%となっています。「30分以上」は30歳代が42.3%と最も高くなっています。「30分未満」は70歳以上が23.9%と最も高くなっています。

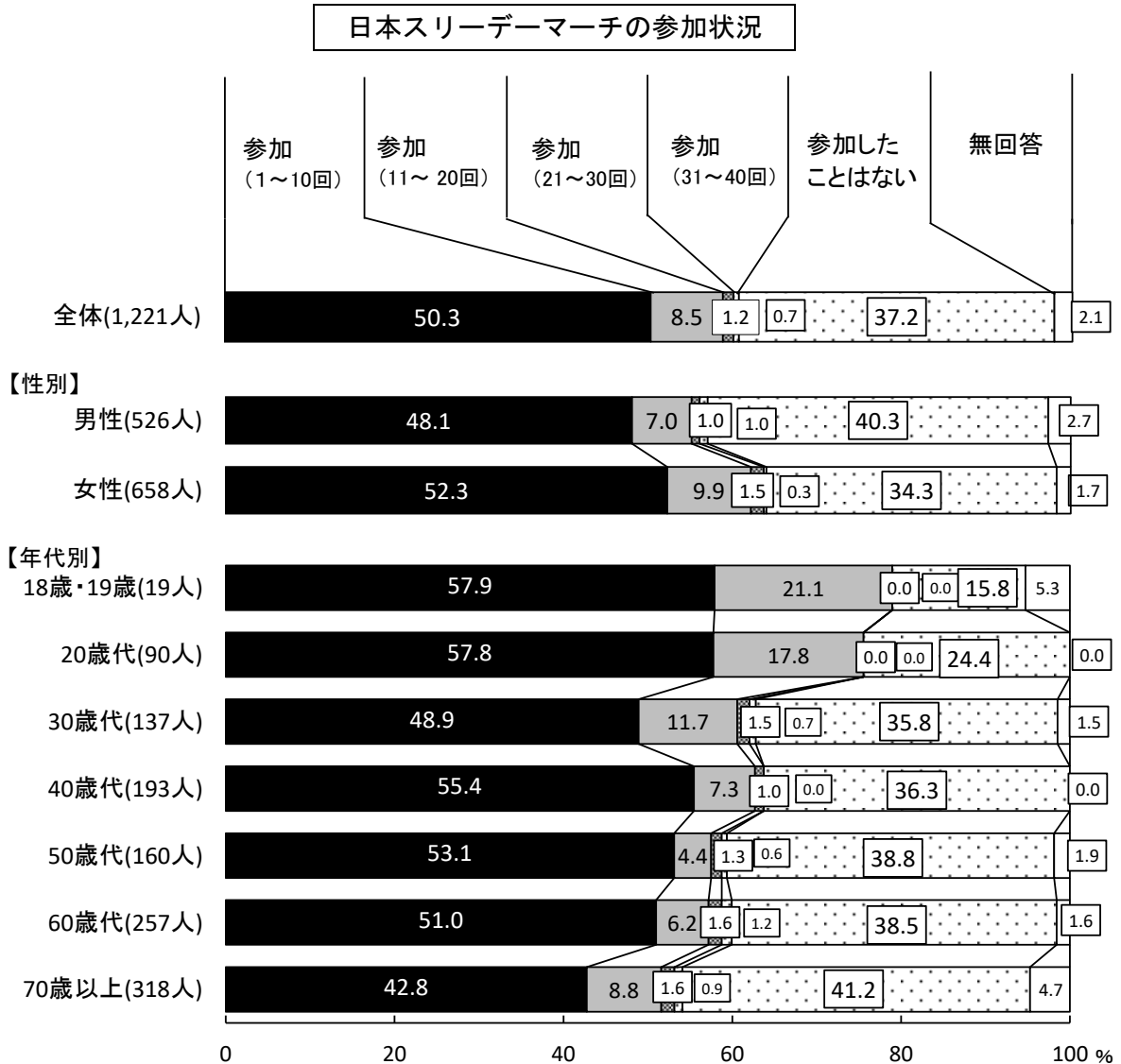
職業別で見ると「60分以上」は学生で63.6%と最も高くなっています。「30分未満」は無職で23.8%と最も高くなっています。

通勤時間別で見ると「60分以上」は通勤時間120分以上で58.3%と最も高くなっています。「30分未満」でも通勤時間120分以上が25.0%と高くなっています。

5-6 日本スリーデーマーチの参加状況

◆ “参加したことがある（1～10回）” 50.3%、“参加したことはない” 37.2%◆

問 20 あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



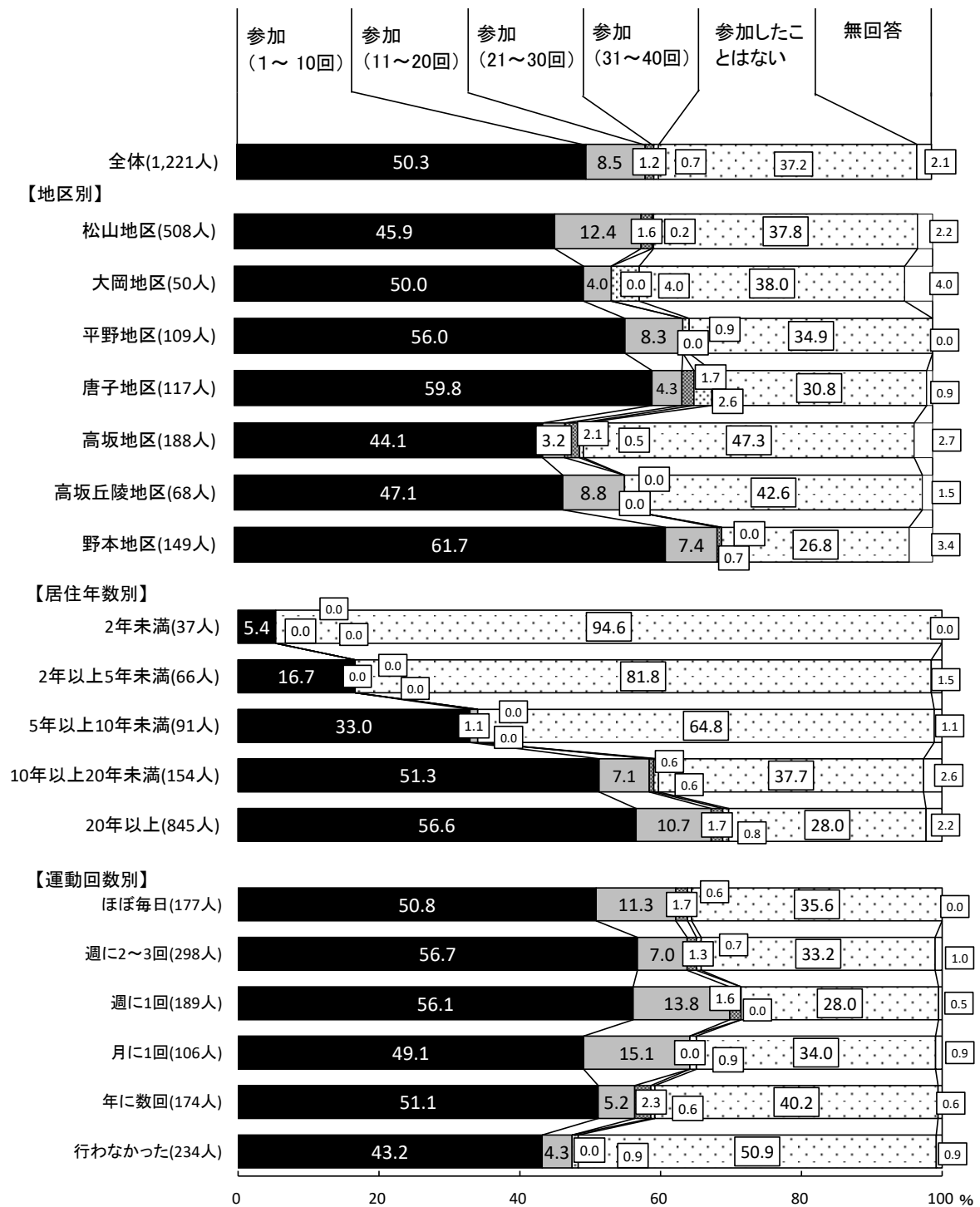
※「日本スリーデーマーチの参加状況」は新設の設問です。

全体では「参加したことがある（1～10回）」が50.3%と最も高く、「参加したことはない」が37.2%、「参加したことがある（11～20回）」が8.5%の順となっています。

性別で見ると、女性の「参加したことがある（1～10回）」が最も高く、女性（52.3%）が男性（48.1%）を4.2ポイント上回っています。

年代別で見ると「参加したことがある（1～10回）」が全ての年代で高く、18歳・19歳で57.9%と最も高く、次いで20歳代で57.8%となっています。一方、「参加したことはない」は年齢が高くなるほど高くなる傾向となっており、70歳以上では41.2%と最も高くなっています。

日本スリーデーマーチの参加状況（地区・居住年数・運動回数別）



※「日本スリーデーマーチの参加状況」は新設の設問です。

地区別では「参加したことがある（1～10回）」は野本地区 61.7%と最も高く、次いで唐子地区が 59.8%、平野地区 56.0%の順となっています。一方「参加したことはない」は高坂地区が最も高く 47.3%となっています。

居住年数で見ると、年数が長くなるほど“参加したことがある(1～40回)”が増えています。「20年以上」では 69.8%の市民に参加経験があることがわかります。

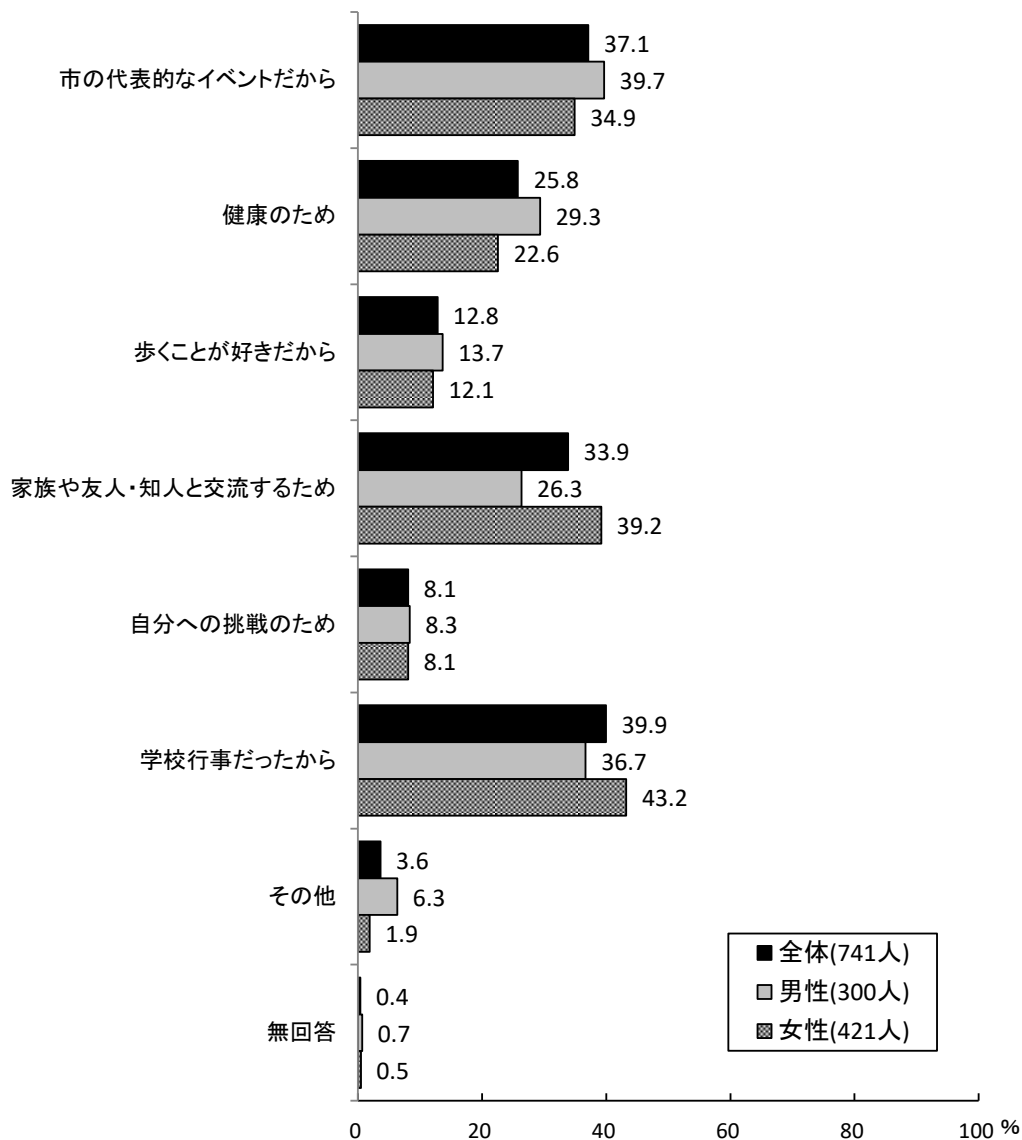
運動回数別で見ると“参加したことがある（1～40回）”は、週に1回が最も高く 71.5%、次いで週に2～3回が 65.7%となっています。一方、「参加したことはない」は「行わなかった」で最も高く 5割を超えています。

5-7 日本スリーデーマーチに参加した理由

◆「学校行事だったから」39.9%、「市の代表的なイベントだから」37.1%◆

問 20-1 日本スリーデーマーチに参加した理由はなんですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

日本スリーデーマーチに参加した理由（全体・性別）

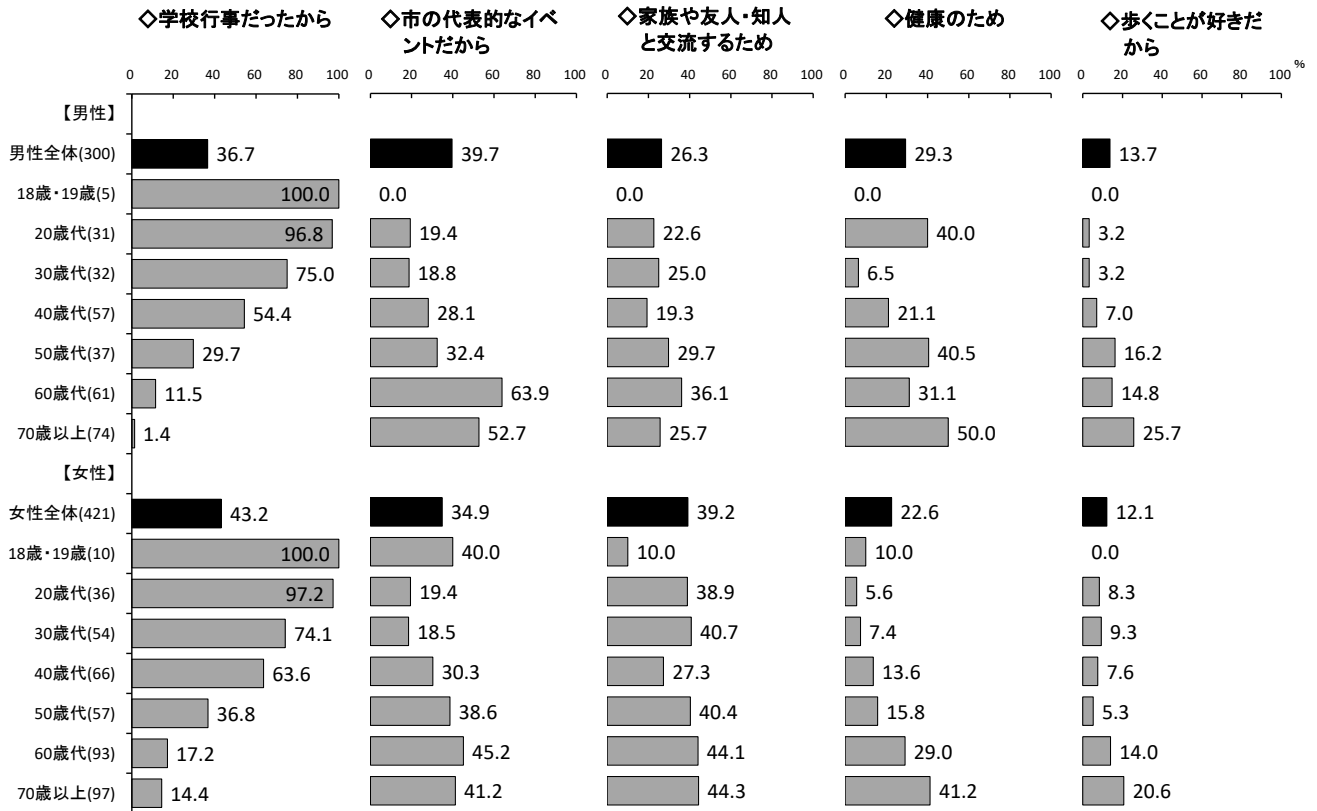


※「日本スリーデーマーチに参加した理由」は新設の設問です。

全体では「学校行事だったから」が39.9%で最も高く、次いで「市の代表的なイベントだから」(37.1%)、「家族や友人・知人と交流するため」(33.9%)、「健康のため」(25.8%)、「歩くことが好きだから」(12.8%)が続いています。

性別で見ると「家族や友人・知人と交流するため」で女性(39.2%)が男性(26.3%)を12.9ポイント、「健康のため」で男性(29.3%)が女性(22.6%)を6.7ポイント上回っています。

日本スリーデーマーチに参加した理由(上位5項目 性・年代別)



※「日本スリーデーマーチに参加した理由」は新設の設問です。

性・年代別でみると「学校行事だったから」は、18歳・19歳(男性100.0%、女性100.0%)、20歳代(男性96.8%、女性97.2%)でおおむね10割となっています。

「市の代表的なイベントだから」は男性の60歳代で6割を上回っています。

「家族や友人・知人と交流するため」は、女性の30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上で4割台と高くなっています。一方、男性では最も高い60歳代で36.1%となっています。

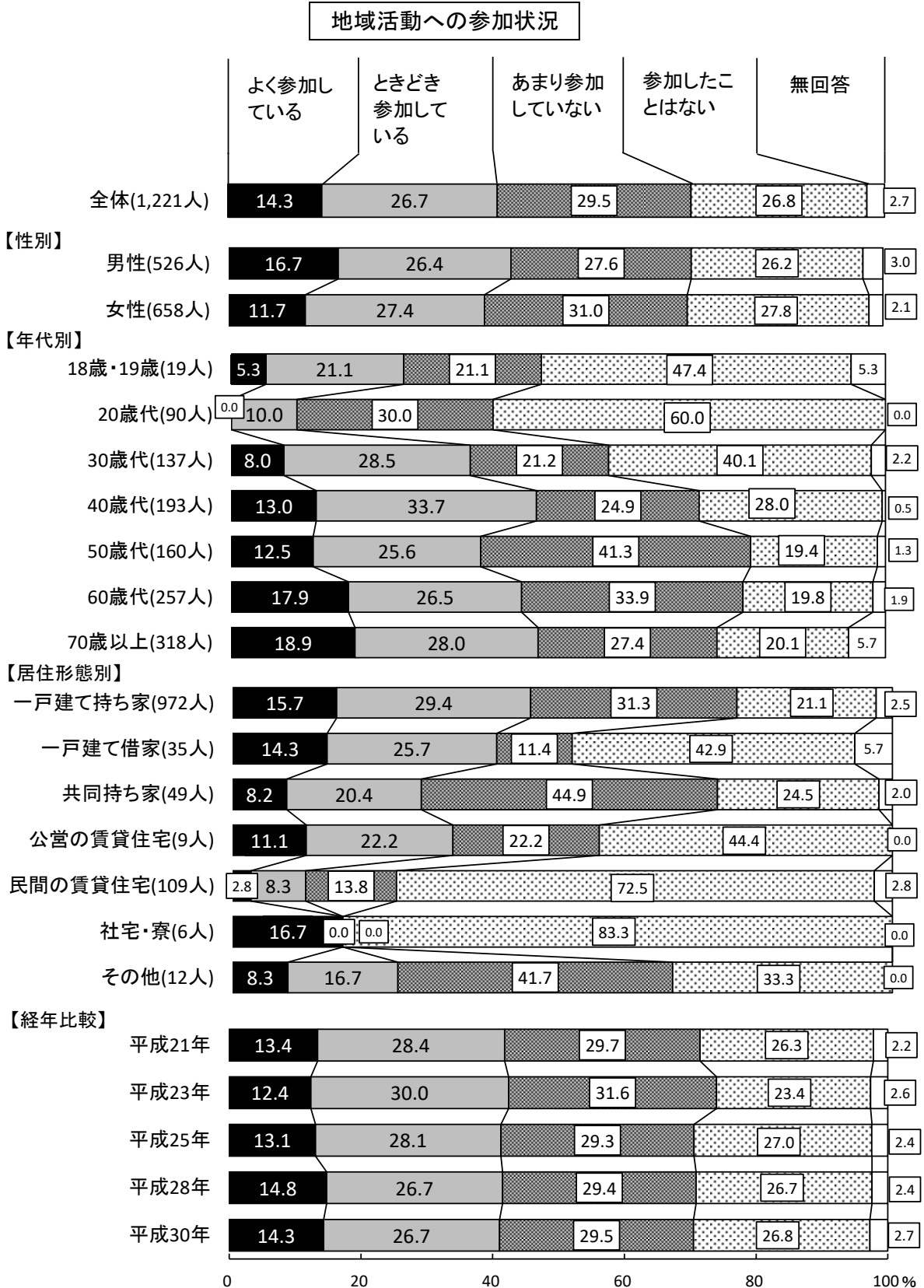
「健康のため」は、男性の70歳以上で50.0%と高く、20歳代、50歳代でも4割台となっています。一方、女性では70歳以上で41.2%と最も高く、60歳代で29.0%、他の年代では1割台以下と低くなっています。

「歩くことが好きだから」は、年齢が高くなるほど高くなる傾向にあることがわかります。

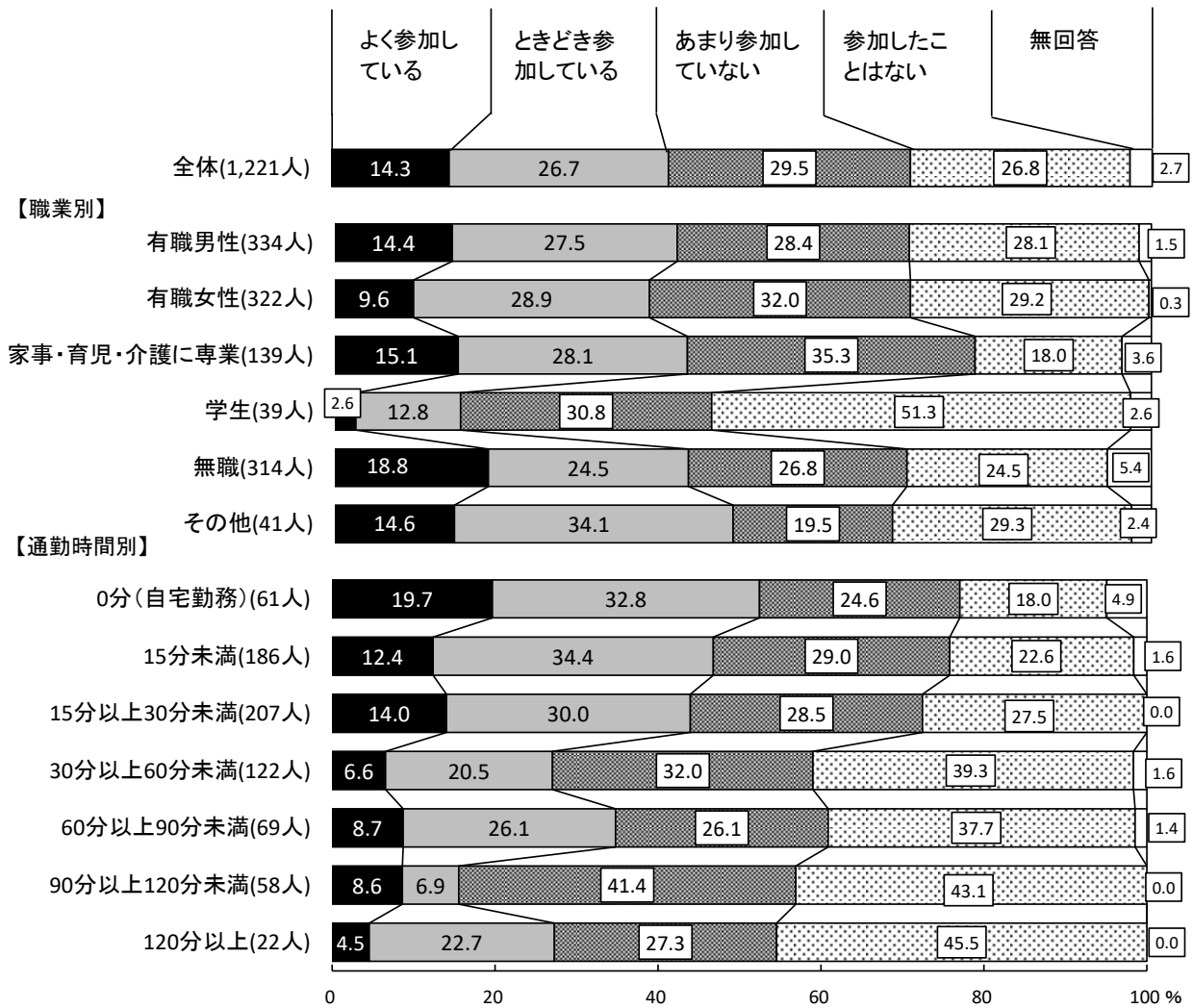
5-8 地域活動への参加状況

◆ “地域活動に参加している” 41.0%◆

問 21 あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



地域活動への参加状況



全体では「よく参加している」は14.3%、「ときどき参加している」は26.7%で、両方を合わせた41.0%が“地域活動に参加している”と回答しています。

性別で見ると“地域活動に参加している”は男性(43.1%)が女性(39.1%)を4.0ポイント上回っています。

年代別で見ると“地域活動に参加している”は60歳代以降の年代で4割以上ですが、20歳代では10.0%と特に低くなっています。

居住形態別で見ると“地域活動に参加している”は一戸建て持ち家で45.1%、一戸建て借家で40.0%と高くなっていますが、民間の賃貸住宅では11.1%と低くなっています。

職業別で見ると“地域活動に参加している”はその他で48.7%、家事・育児・介護に専業で43.2%と高くなっていますが、学生は15.4%と特に低くなっています。

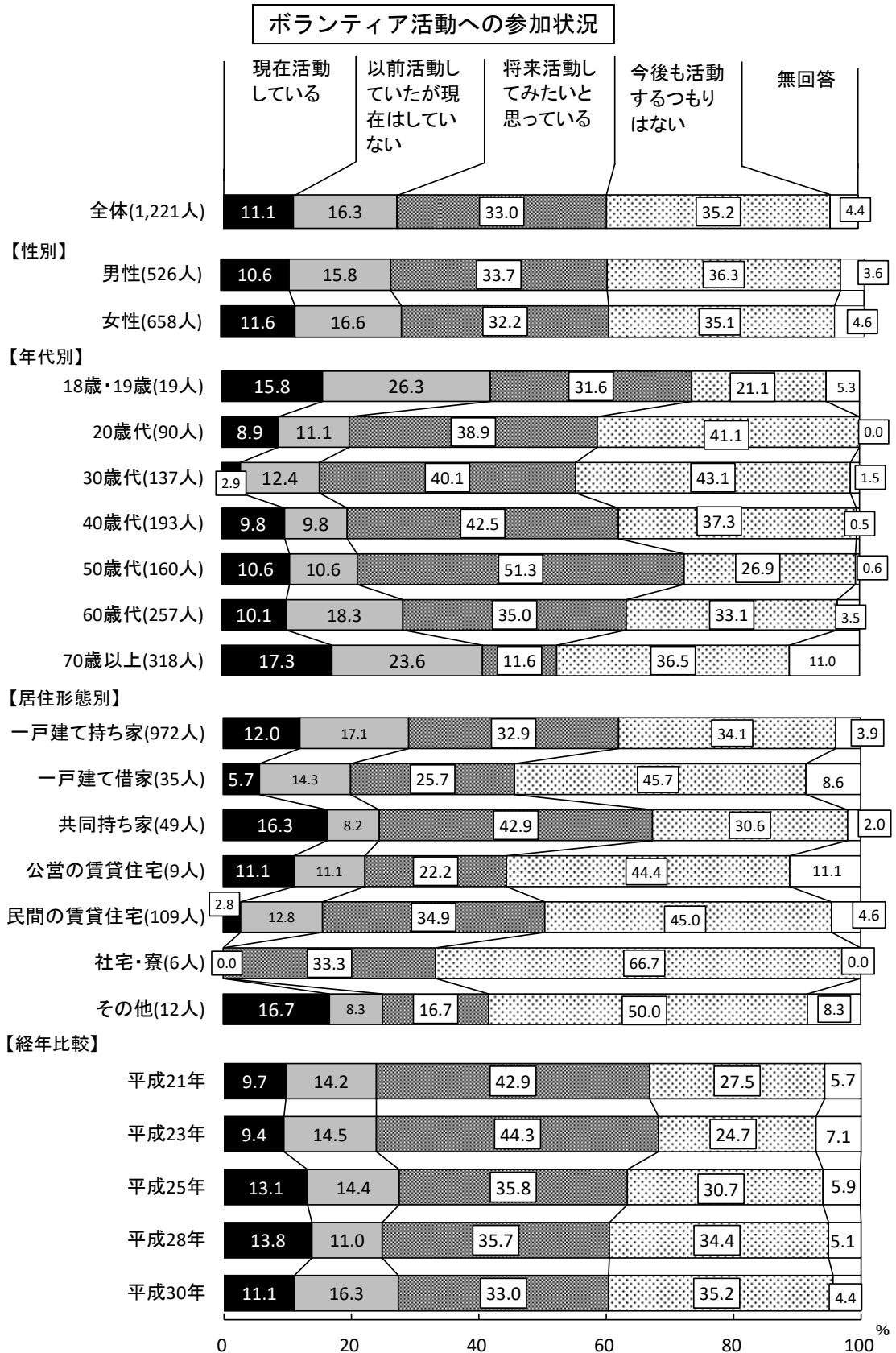
通勤時間別で見ると“地域活動に参加している”は0分(自宅勤務)で52.5%と最も高く、次いで15分未満で46.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると“地域活動に参加している”はほとんど変化はありません。

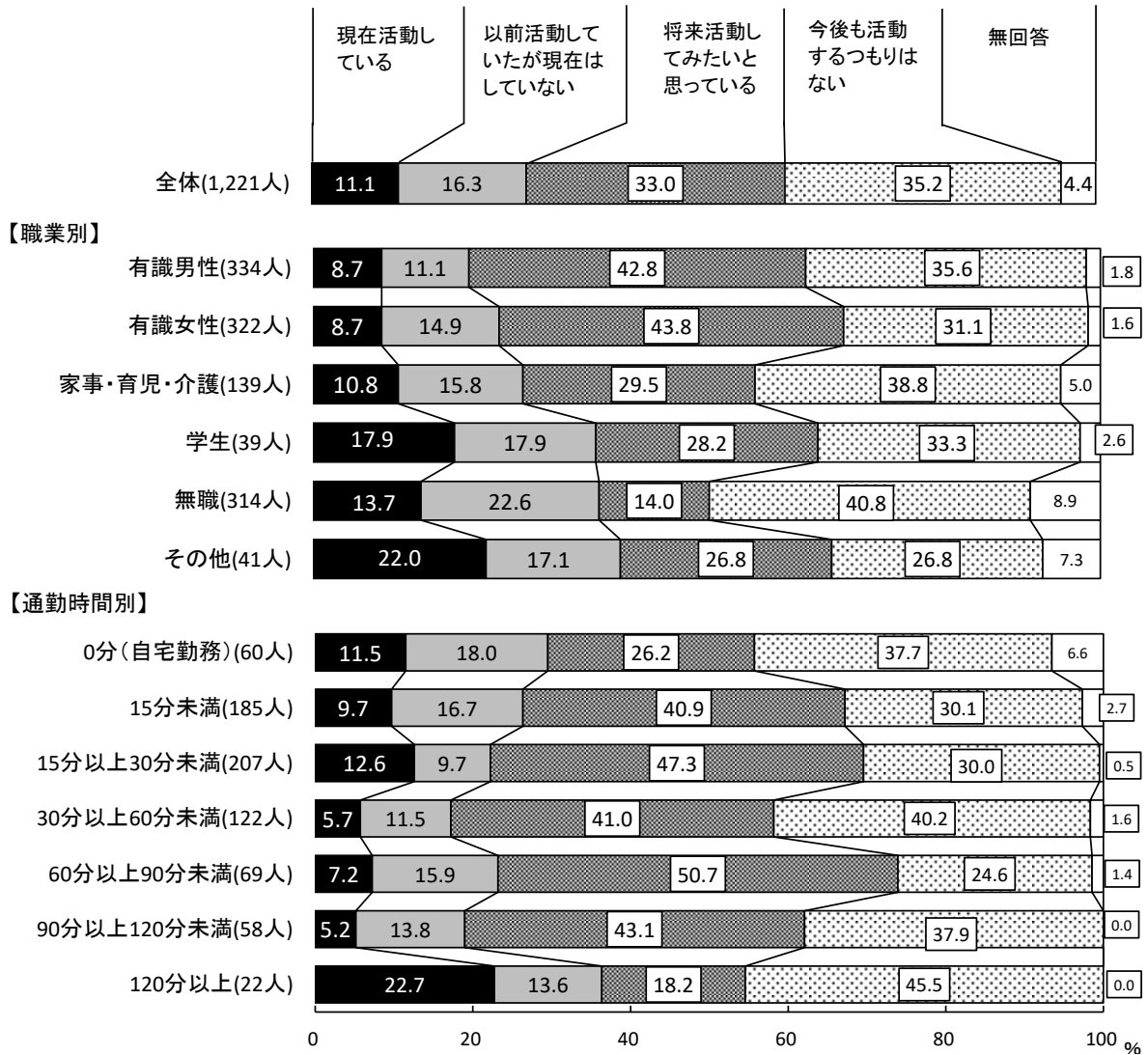
5-9 ボランティア活動への参加状況

◆ “活動経験がある” 27.4%◆

問 22 あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア（社会貢献）活動をしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



ボランティア活動への参加状況



全体では「現在活動している」は 11.1%、「以前活動していたが現在はしていない」は 16.3%で、両方を合わせた 27.4%が“活動経験がある”と回答しています。

性別でみると“活動経験がある”は男性(26.4%)と女性(28.2%)で女性が 1.8ポイント上回っています。

年代別でみると“活動経験がある”は 18歳・19歳で 42.1%と最も高く、次いで 70歳以上で 40.9%、60歳代が 28.4%と続いています。

居住形態別でみると“活動経験がある”は一戸建て持ち家(29.1%)、その他(25.0%)、共同持ち家(24.5%)で比較的高くなっています。

職業別でみると“活動経験がある”はその他で 39.1%と最も高く、次いで無職が 36.3%となっています。その他には、団体職員関係や医療経験者が含まれるため、他より高めであることが推察できます。

通勤時間別でみると“活動経験がある”は 120分以上で 36.3%と最も高く、次いで 0分(自宅勤務)が 29.5%となっています。120分以上は「現在活動している」でも 22.7%と最も高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると“活動経験がある”は 2.6ポイント増加しています。

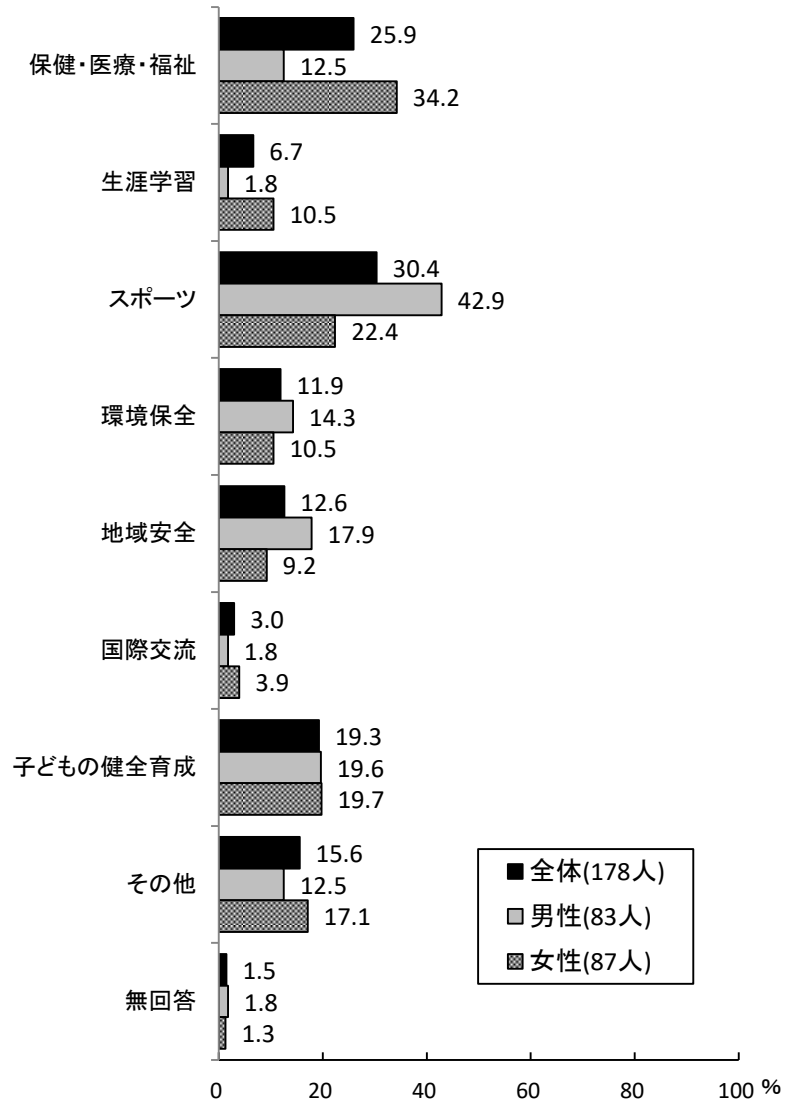
5-10 活動している分野

◆「スポーツ」30.4%、「保健・医療・福祉」25.9%◆

(問 22 で「現在活動している」とお答えの方におたずねします)

問 22-1 活動しているのはどの分野ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

活動している分野（全体・性別）



全体では「スポーツ」が30.4%で最も高く、次いで「保健・医療・福祉」(25.9%)、「子どもの健全育成」(19.3%)、「その他」(15.6%)、「地域安全」(12.6%)が続いています。「その他」には、音楽・合唱関係や慰問活動、災害ボランティアなどが含まれています。

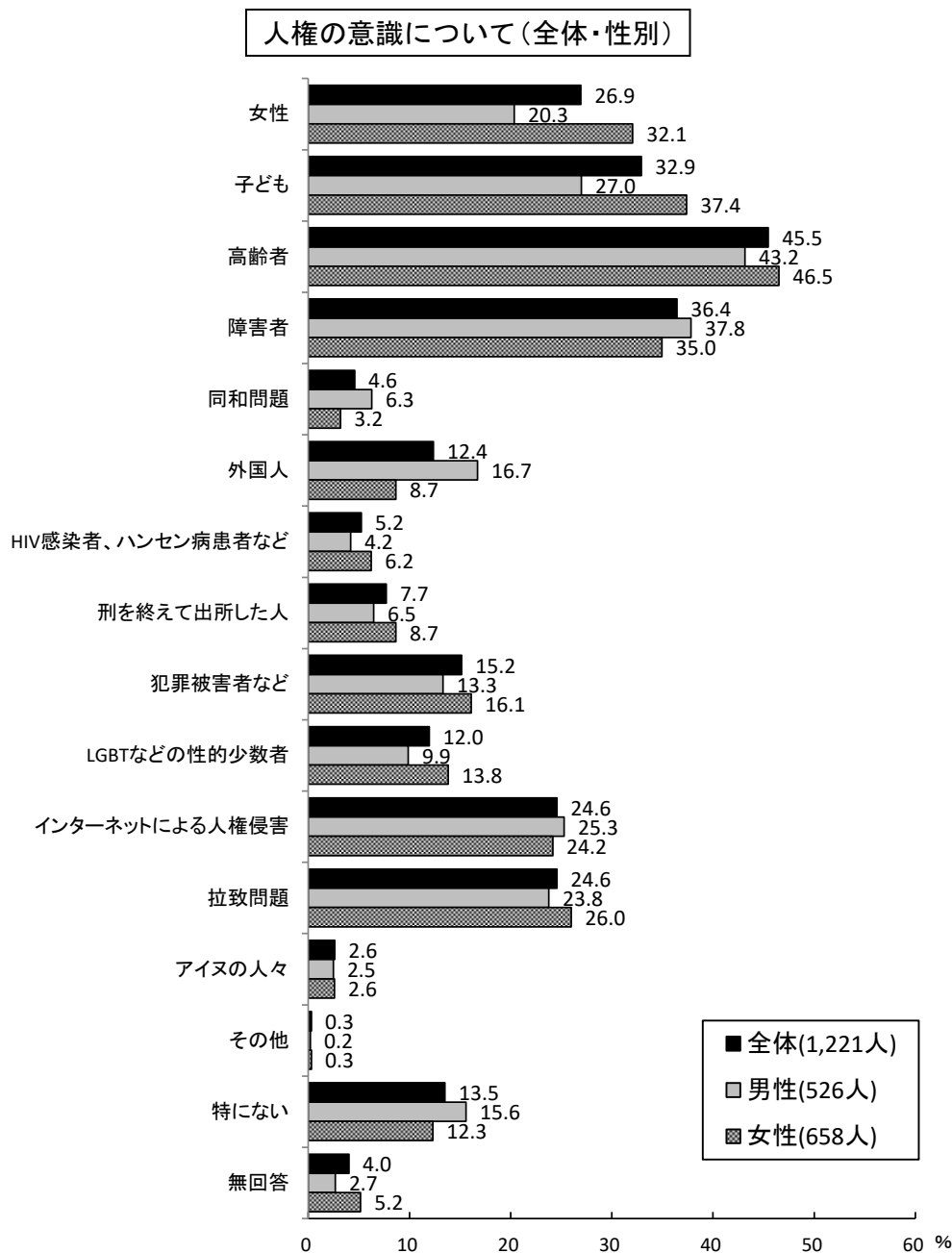
性別で見ると「保健・医療・福祉」で女性(34.2%)が男性(12.5%)を21.7ポイント上回っていますが、「スポーツ」では男性(42.9%)が女性(22.4%)を20.5ポイント上回っています。

6 人権・男女平等について

6-1 人権の意識について

◆「高齢者」45.5%、「障害者」36.4%、「子ども」32.9%◆

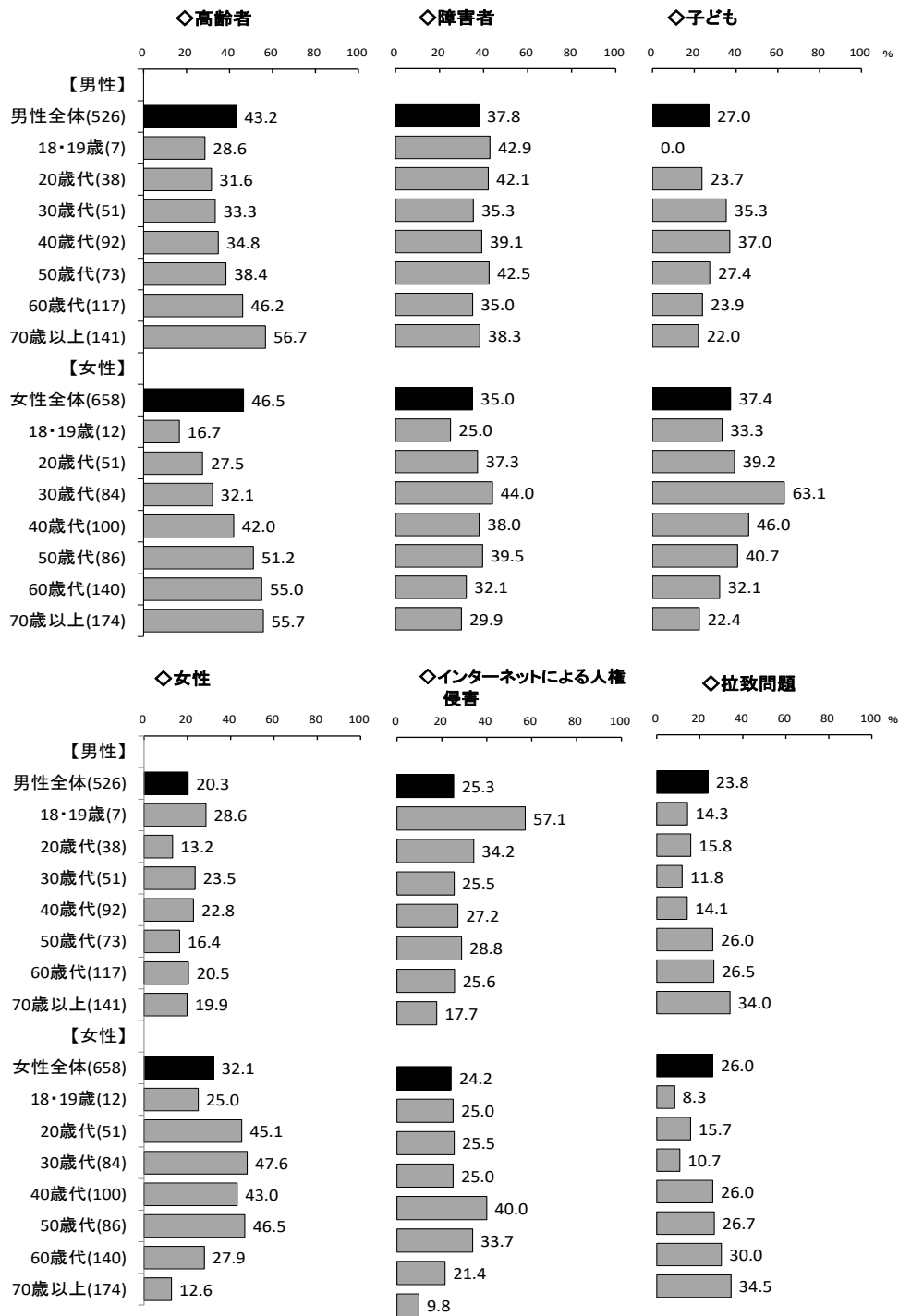
問 23 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



※「LGBTなどの性的少数者」は平成30年度からの選択肢となります。平成28年度までは「性的指向・性同一障害などの性的少数者」でした。

性別でみると「女性（の人権問題）」は女性（32.1%）が男性（20.3%）を11.8ポイント、「子ども」は女性（37.4%）が男性（27.0%）を10.4ポイント上回っています。

人権の意識について（上位6項目 性・年代別）



性・年代別でみると「高齢者」は男性・女性とも年齢が高くなるにつれ、関心が高まっています。

「障害者」は男性では全ての年代で35.0%以上となっています。

「子ども」は子育て世代である女性の30歳代で最も高く（63.1%）、次いで40歳代女性（46.0%）が高くなっています。

「女性（の人権問題）」は30歳代女性が47.6%と最も高く、20歳代、40歳代、50歳代でも4割を超えています。

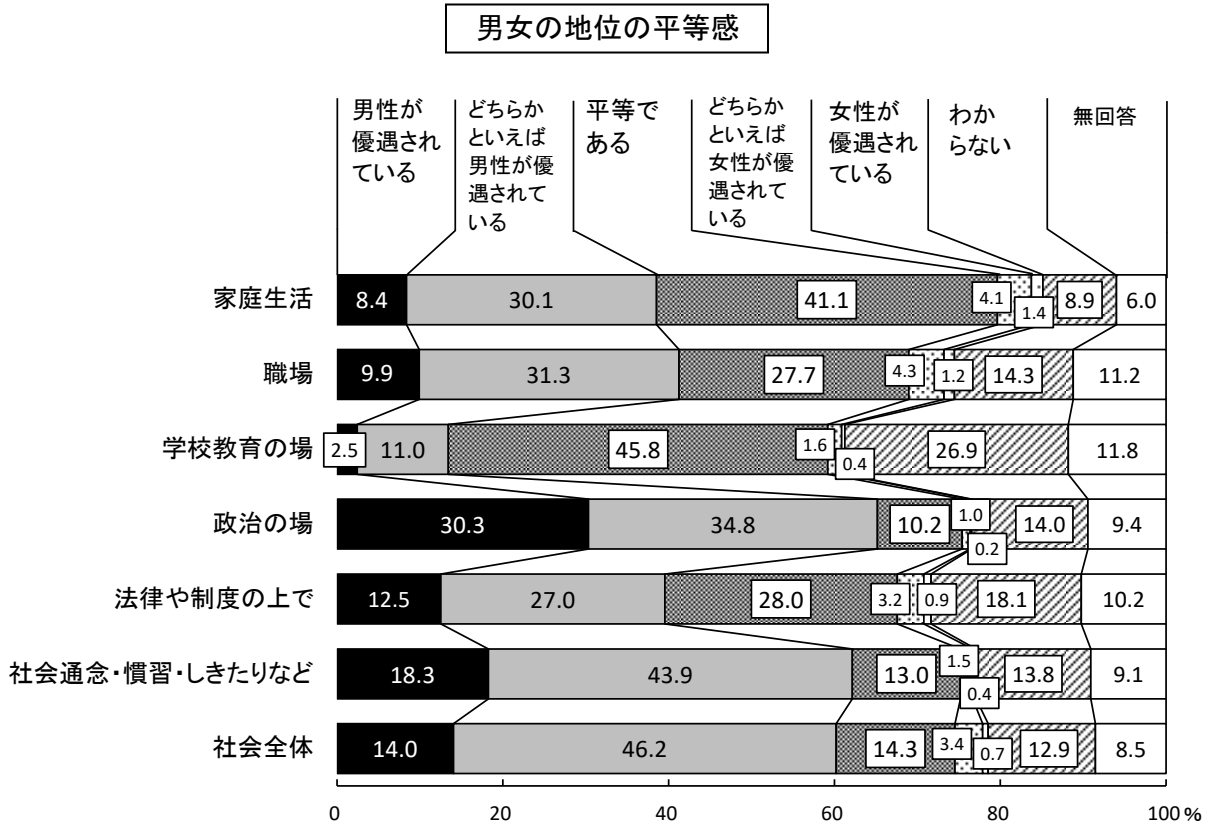
「インターネットによる人権侵害」は男性の18歳・19歳で57.1%、女性の40代で40.0%と最も高くなっています。

拉致問題は男性・女性とも30歳代以降年齢が高くなるほどに高くなっています。

6-2 男女の地位の平等感

◆<学校教育の場>が最も平等◆

問 24 あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。



<全体の概観と性・年代別>

「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇と感じている”は<政治の場>で 65.1%と高くなっています。次いで<社会通念・慣習・しきたりなど>が 62.2%と高くなっています。

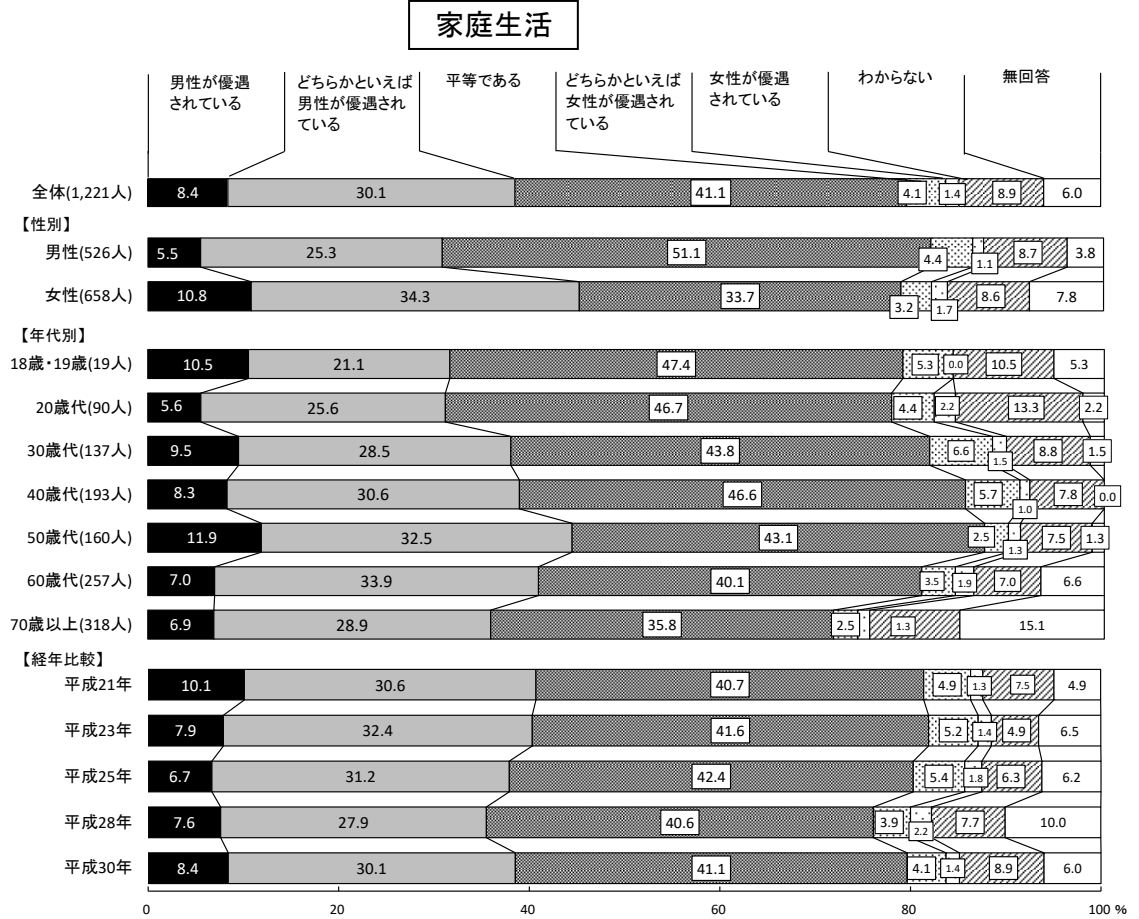
<学校教育の場>は「平等である」が 45.8%と“男性優遇と感じている”（13.5%）を大きく上回っており、<家庭生活>でも「平等である」（41.1%）が“男性優遇と感じている”（38.5%）を少し上回っています。

性別で見ると“男性優遇と感じている”は、全ての項目で女性が男性を上回り、「平等である」でも女性が男性に比べて低くなっています。「平等である」に注目すると<家庭生活><法律や制度の上で>では、ともに 17.4 ポイントの差があります。

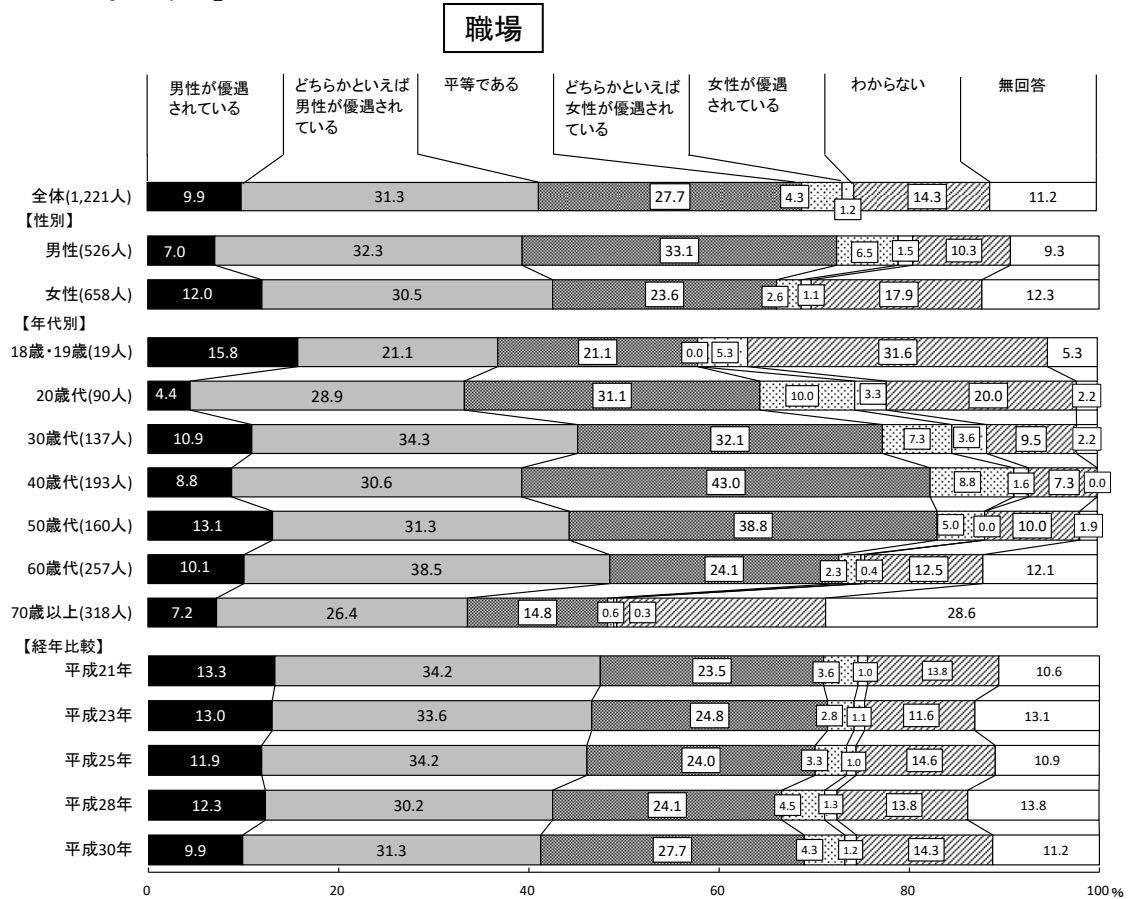
年代別で見ると“男性優遇と感じている”は<家庭生活><法律や制度の上で><社会通念・慣習・しきたりなど><社会全体>で 50 歳代が最も高く、<職場>では 60 歳代、<学校教育の場>では 18 歳・19 歳、<政治の場>では 30 歳代が最も高い割合を示しています。

平成 28 年度調査と比較すると「平等である」は、<政治の場><法律や制度の上で><社会通念・慣習・しきたりなど><社会全体>で減少しています。“男性優遇と感じている”は、<職場>で減少しているものの、他の項目では全て増加しています。

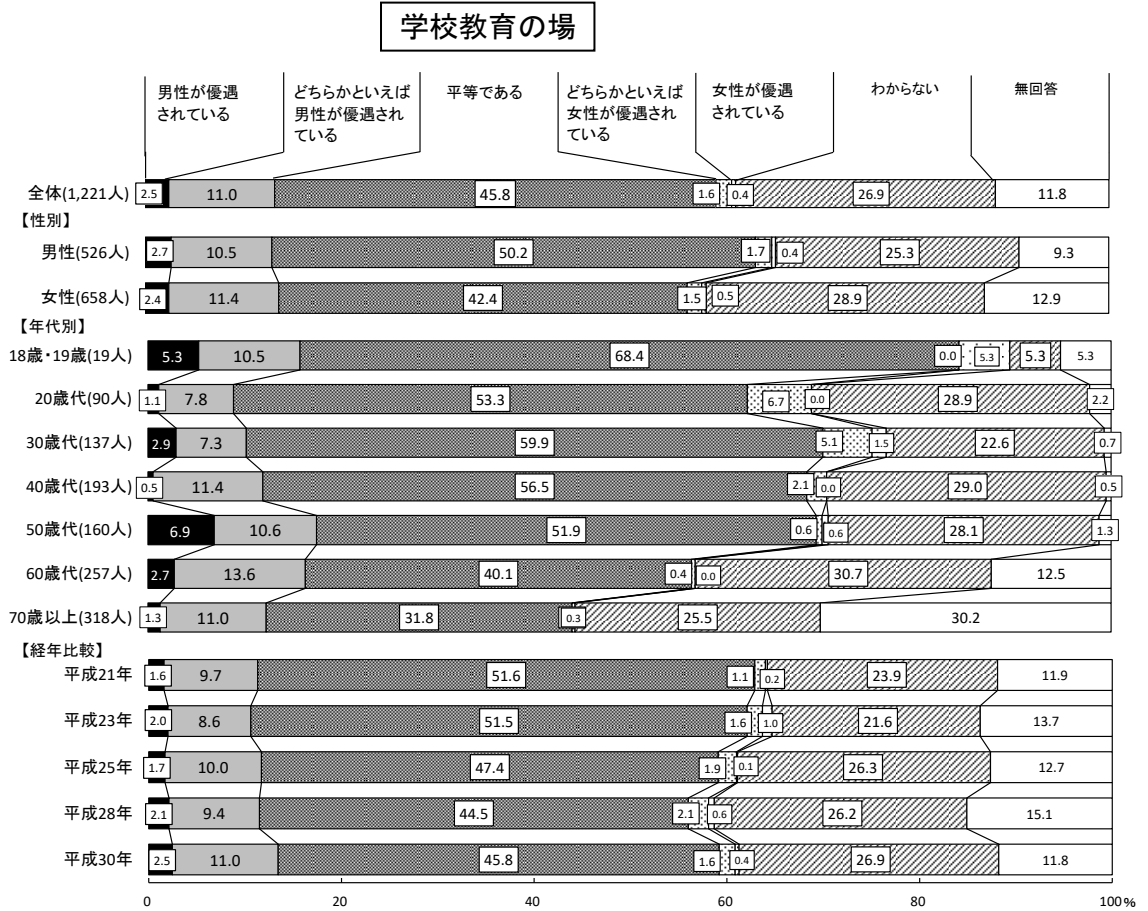
家庭生活 ◆「平等である」41.1%◆



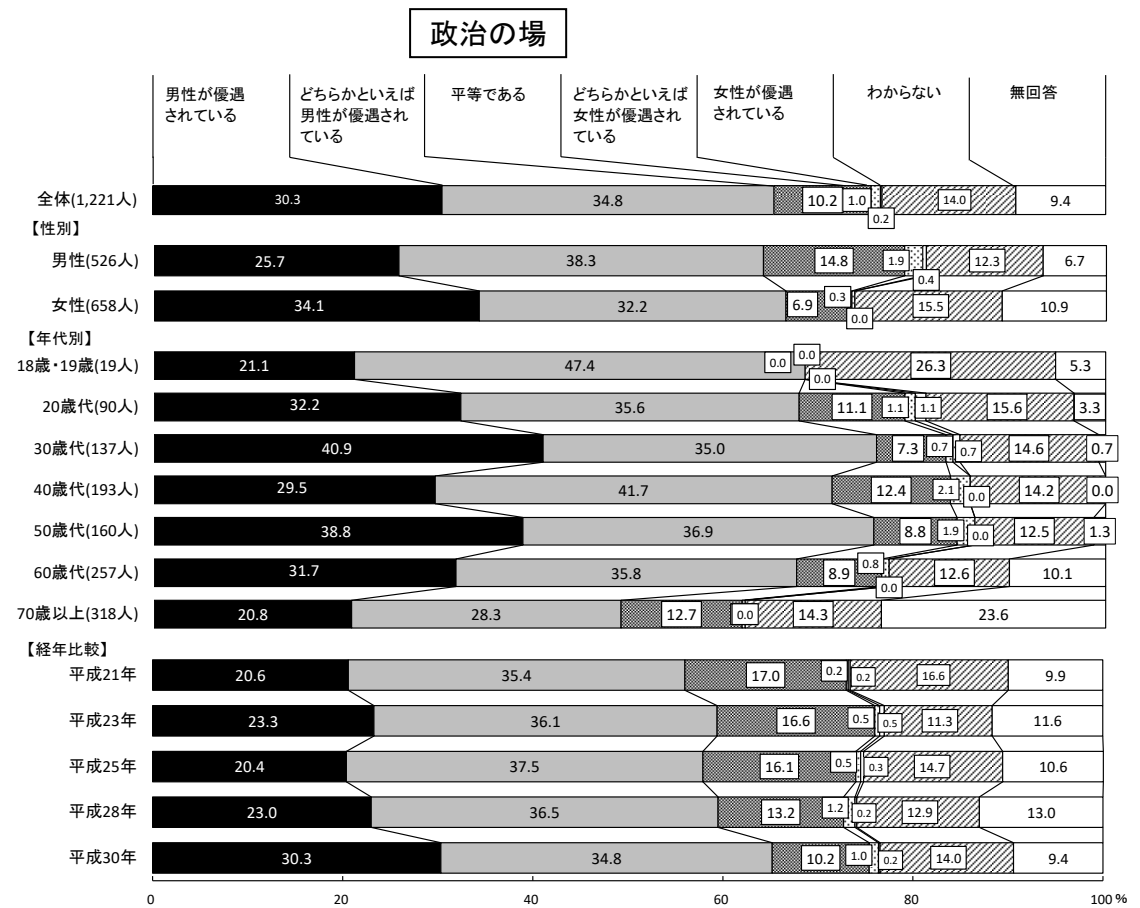
職場 ◆「平等である」27.7%◆



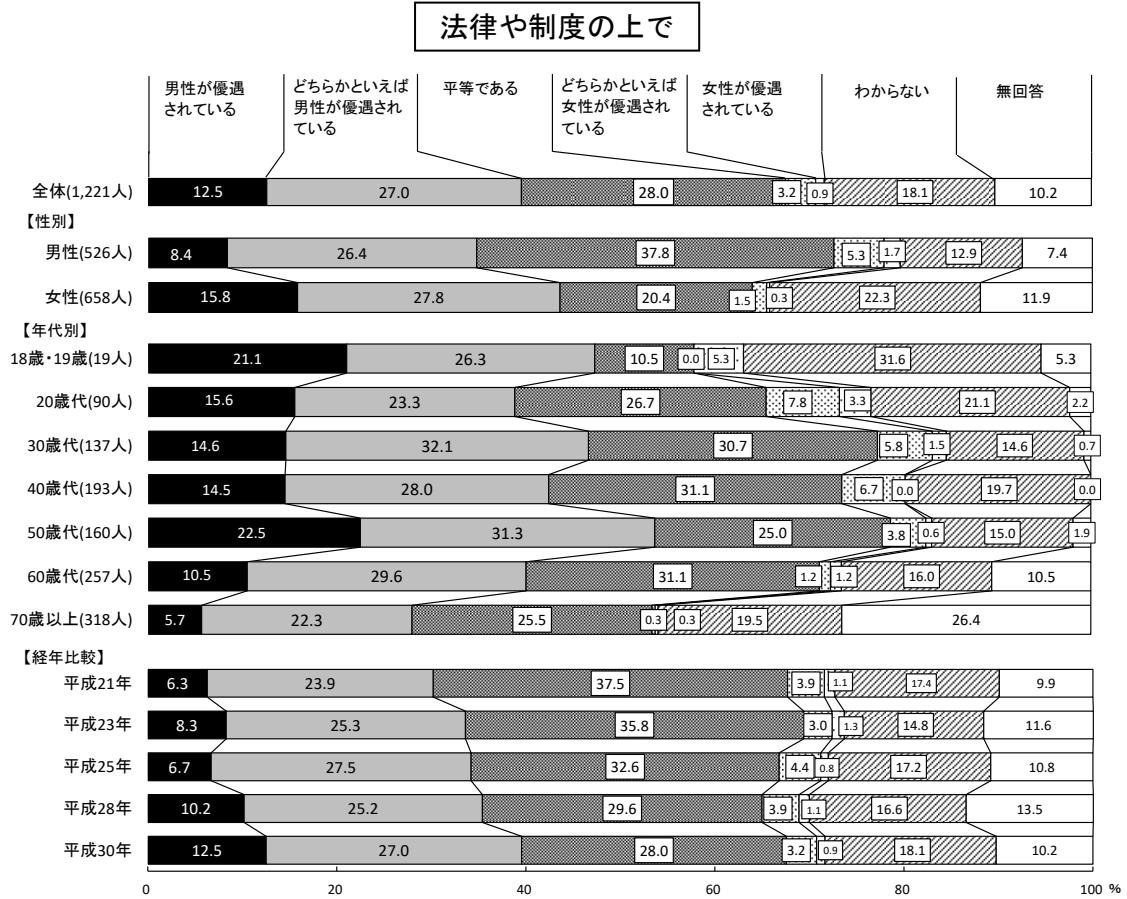
学校教育の場 ◆「平等である」45.8%◆



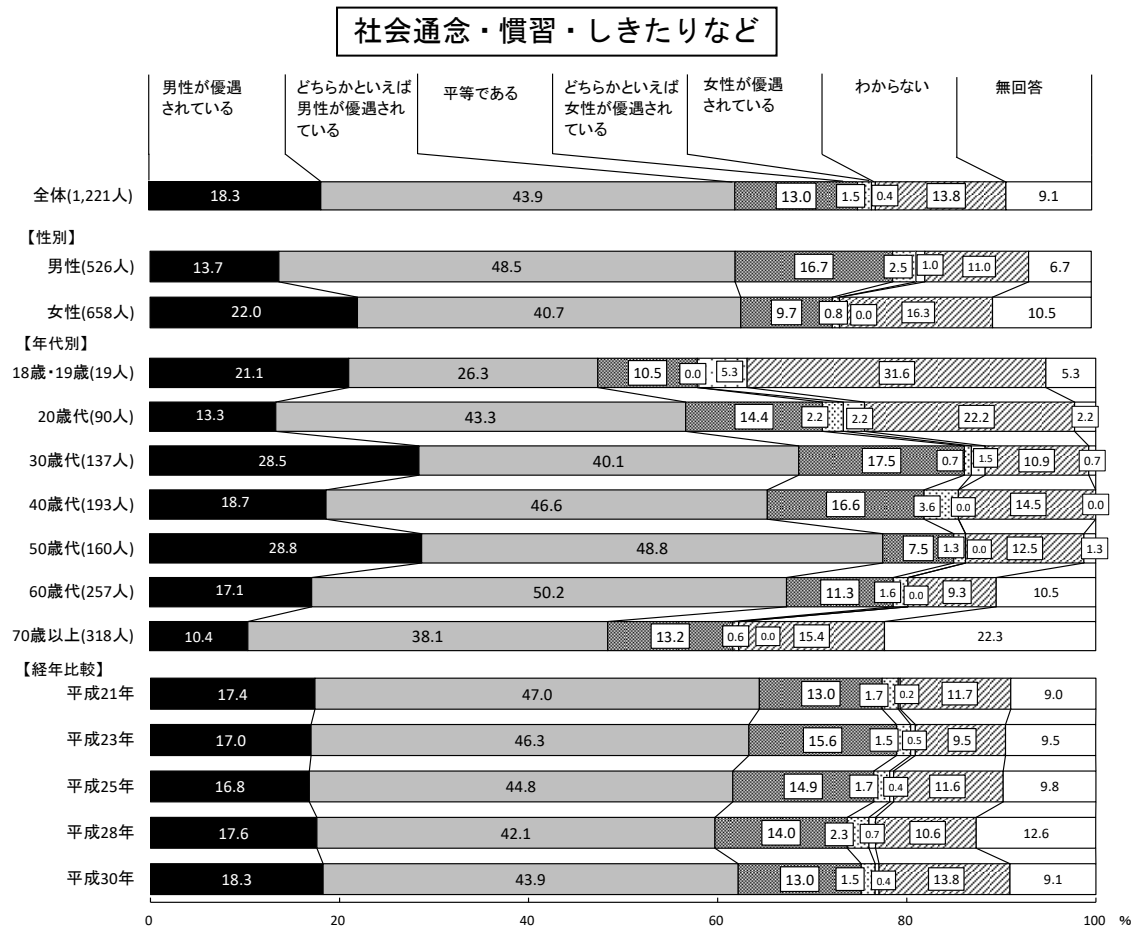
政治の場 ◆「平等である」10.2%◆



法律や制度の上で ◆「平等である」28.0%◆

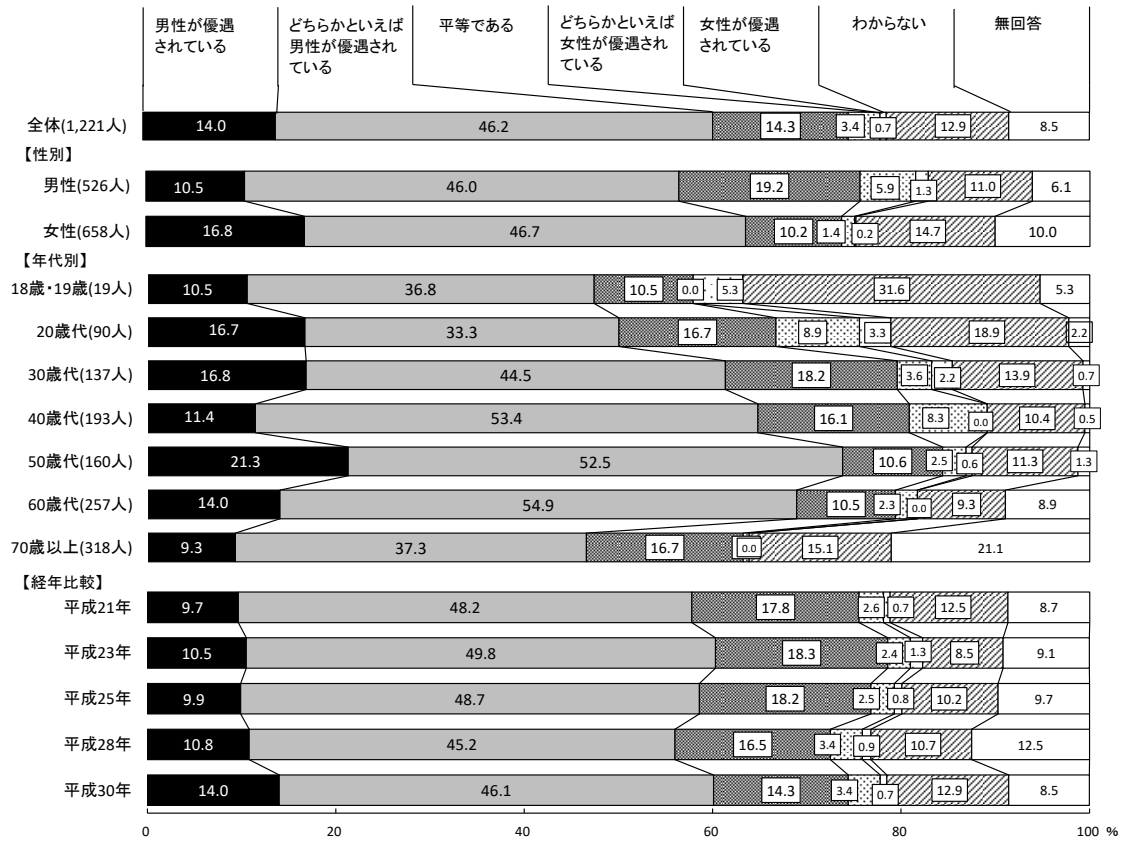


社会通念・慣習・しきたりなど ◆「平等である」13.0%◆



社会全体 ◆「平等である」14.3%◆

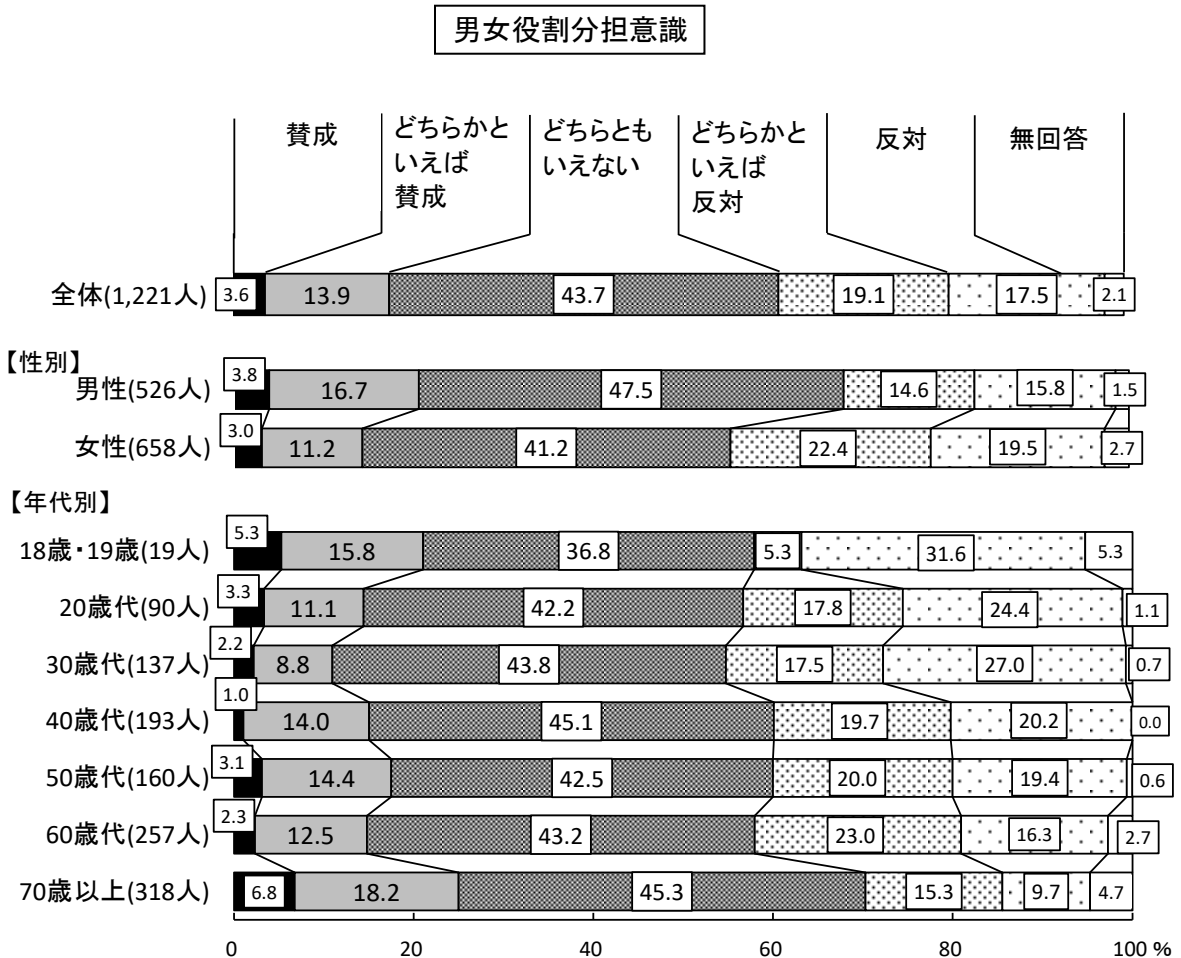
社会全体



6-3 男女役割分担意識

◆ “賛成である” 17.5%、“反対である” 36.6%◆

問 25 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。
1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「賛成」が3.6%、「どちらかといえば賛成」が13.9%で“賛成である”は17.5%となっています。一方「反対」が17.5%、「どちらかといえば反対」が19.1%で“反対である”は36.6%となっており、“賛成である”(17.5%)を19.1ポイント上回っています。

性別で見ると、男性・女性ともに“反対である”が“賛成である”を上回っていますが、男性ではその差が9.9ポイントであるのに対して、女性ではその差が27.7ポイントと開きがあります。

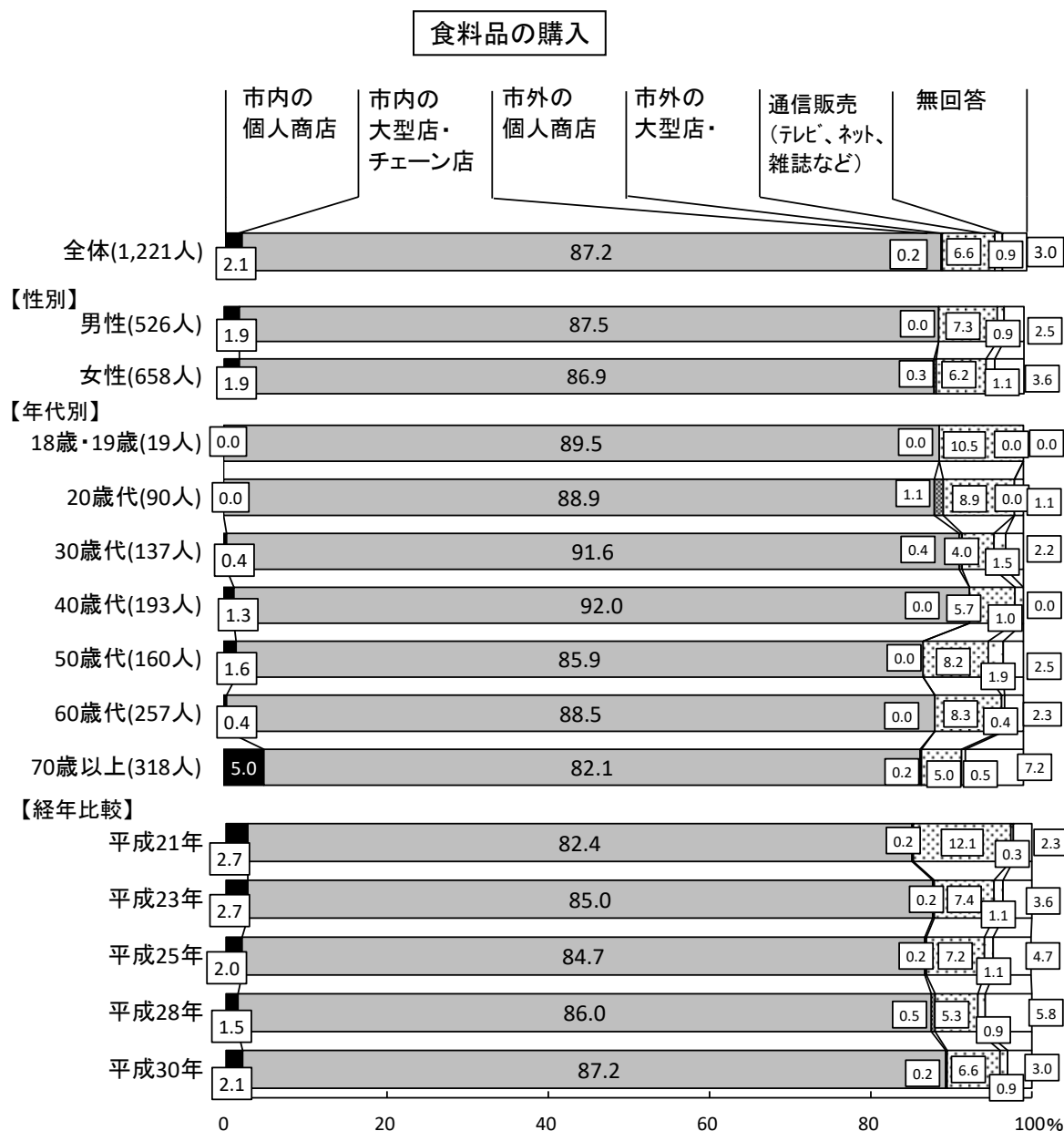
年代別で見ると、60歳代までは“反対である”が“賛成である”を上回っていますが、70歳以上では“賛成である”と同率になっています。

7 購買行動について

7-1 商品の購入状況

- ◆「市内の大型店・チェーン店」での購入は、食料品 87.2%、衣服・服飾品 64.5%、家具・家電 70.4%◆

問 26 あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。次について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

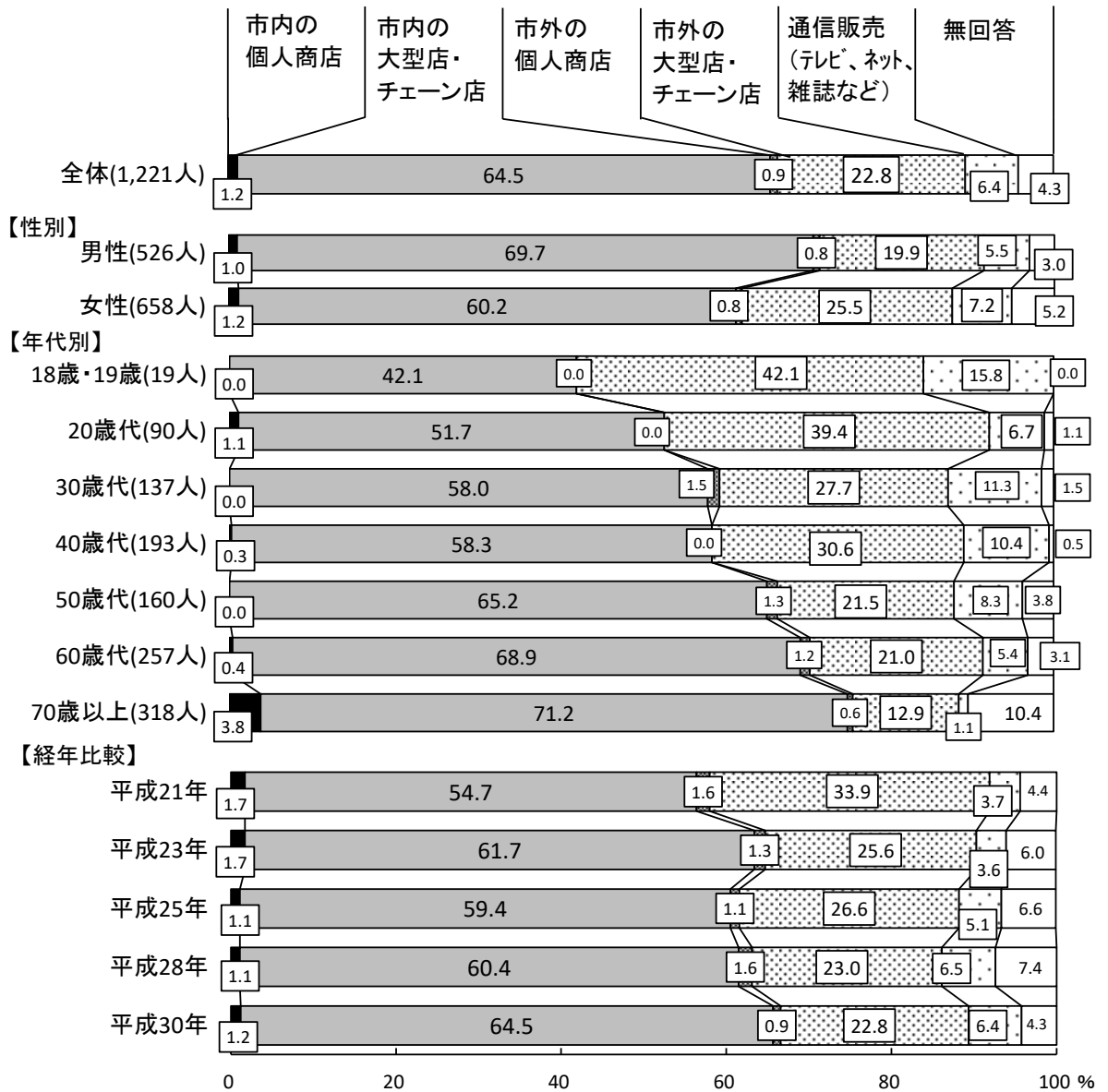


全体では「市内の大型店・チェーン店」が87.2%を占めています。

年代別で見ると「市内の大型店・チェーン店」は全ての年代で8割以上となっており、30歳代(91.6%)と40歳代(92.0%)では特に高くなっています。

平成28年度調査と比較すると「市内の大型店・チェーン店」がやや増え、「市外の大型店・チェーン店」も1.3ポイント増加しています。

衣服・服飾品の購入



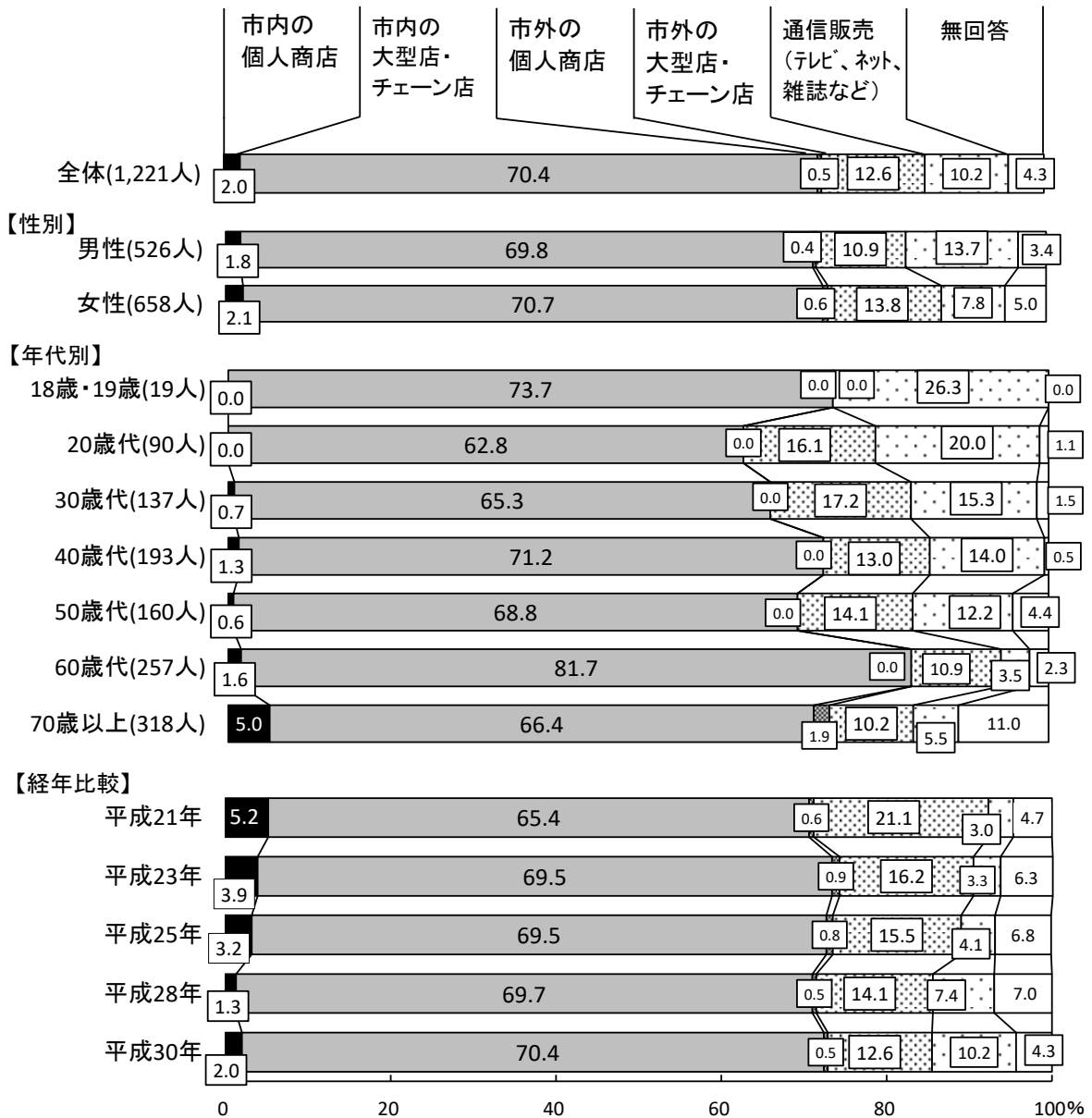
全体では「市内の大型店・チェーン店」が 64.5%と最も高く、「市外の大型店・チェーン店」が 22.8%を占めています。

性別で見ると「市外の大型店・チェーン店」は、女性（25.5%）が男性（19.9%）を 5.6ポイント上回っています。

年代別で見ると「市内の大型店・チェーン店」は 20歳代以降の年代では 5割以上を占め、年齢が高くなるほど高くなり 70歳以上では 71.2%となっています。一方、18歳・19歳では「市内の大型店・チェーン店」と「市外の大型店・チェーン店」がともに 42.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると「市内の大型店・チェーン店」が 4.1ポイント増加しています。

家具・家電の購入



全体では「市内の大型店・チェーン店」が70.4%と最も高く、「市外の大型店・チェーン店」が12.6%を占めています。

性別で見ると「通信販売(テレビ、ネット、雑誌など)」は男性(13.7%)が女性(7.8%)を5.9ポイント上回っています。

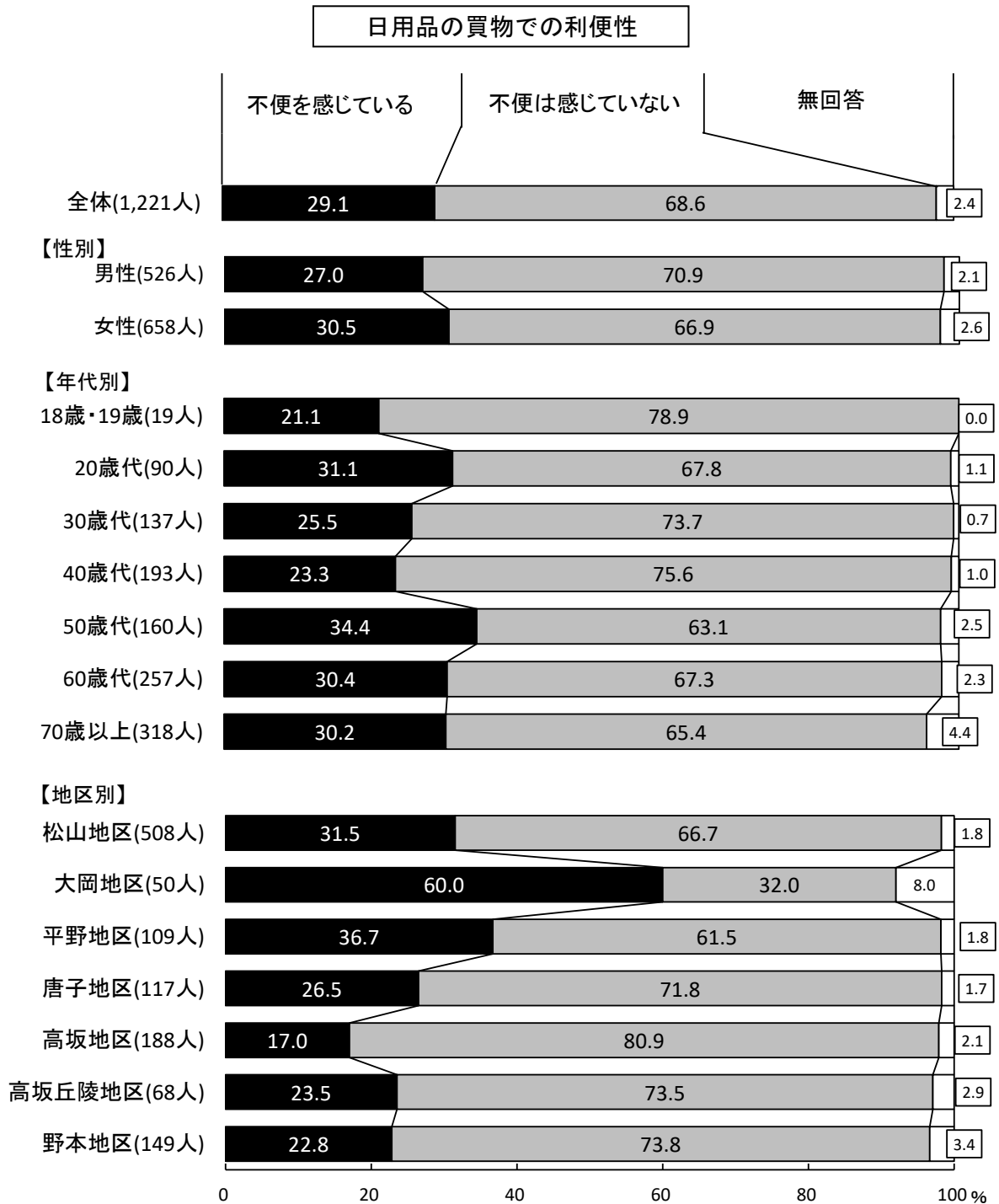
年代別で見ると「市内の大型店・チェーン店」は全ての年代で6割以上を占めており、特に60歳代では81.7%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると「通信販売(テレビ、ネット、雑誌など)」が増加し、「市外の大型店・チェーン店」がやや減少しています。

7-2 日用品の買物での利便性

◆「不便を感じている」29.1%、「不便は感じていない」68.6%◆

問 27 あなたは、食料品などの日用品の買物で不便を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体でみると「不便を感じている」が29.1%、「不便は感じていない」が68.6%で、「不便は感じていない」が大半を占めています。

年代別でみると「不便を感じている」は50歳代が34.4%と最も高くなっています。

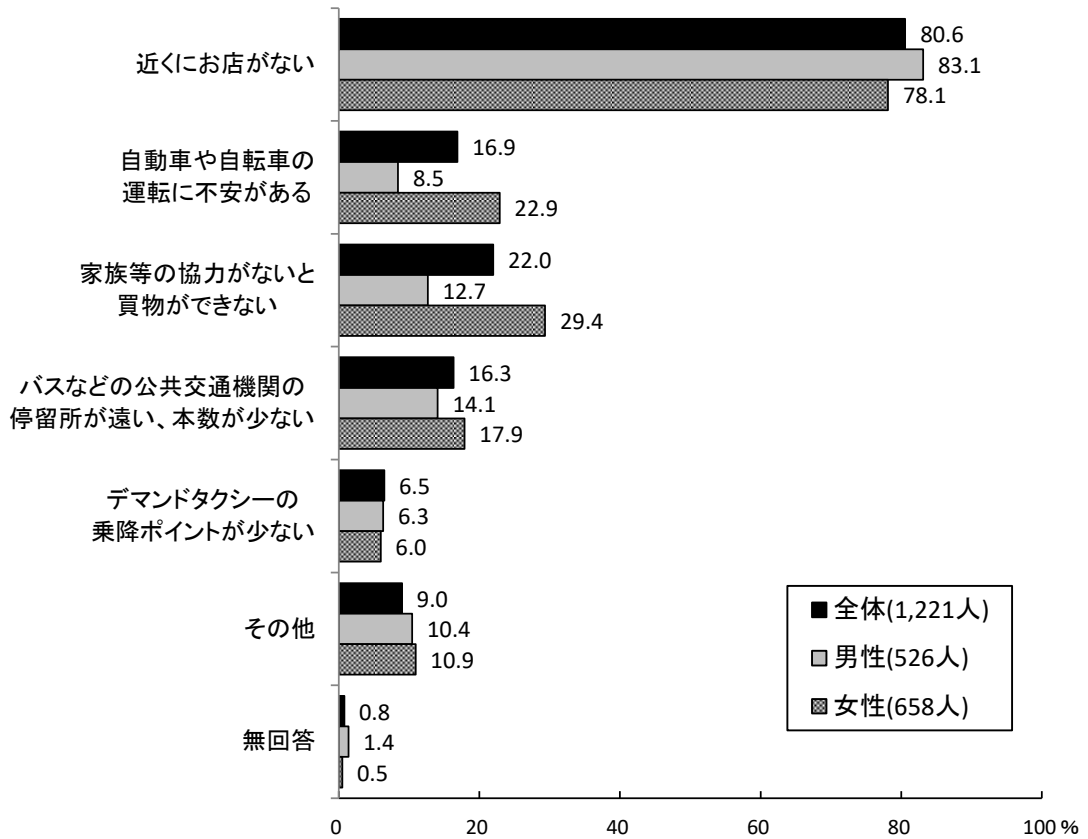
地区別でみると「不便を感じている」は大岡地区で60.0%と最も高くなっています。

7-3 買物で不便を感じる理由

◆「近くにお店がない」80.6%◆

(問 27 で「不便を感じている」とお答えの方におたずねします)
 問 27-1 どのようなことで不便を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

買物で不便を感じる理由（全体・性別）

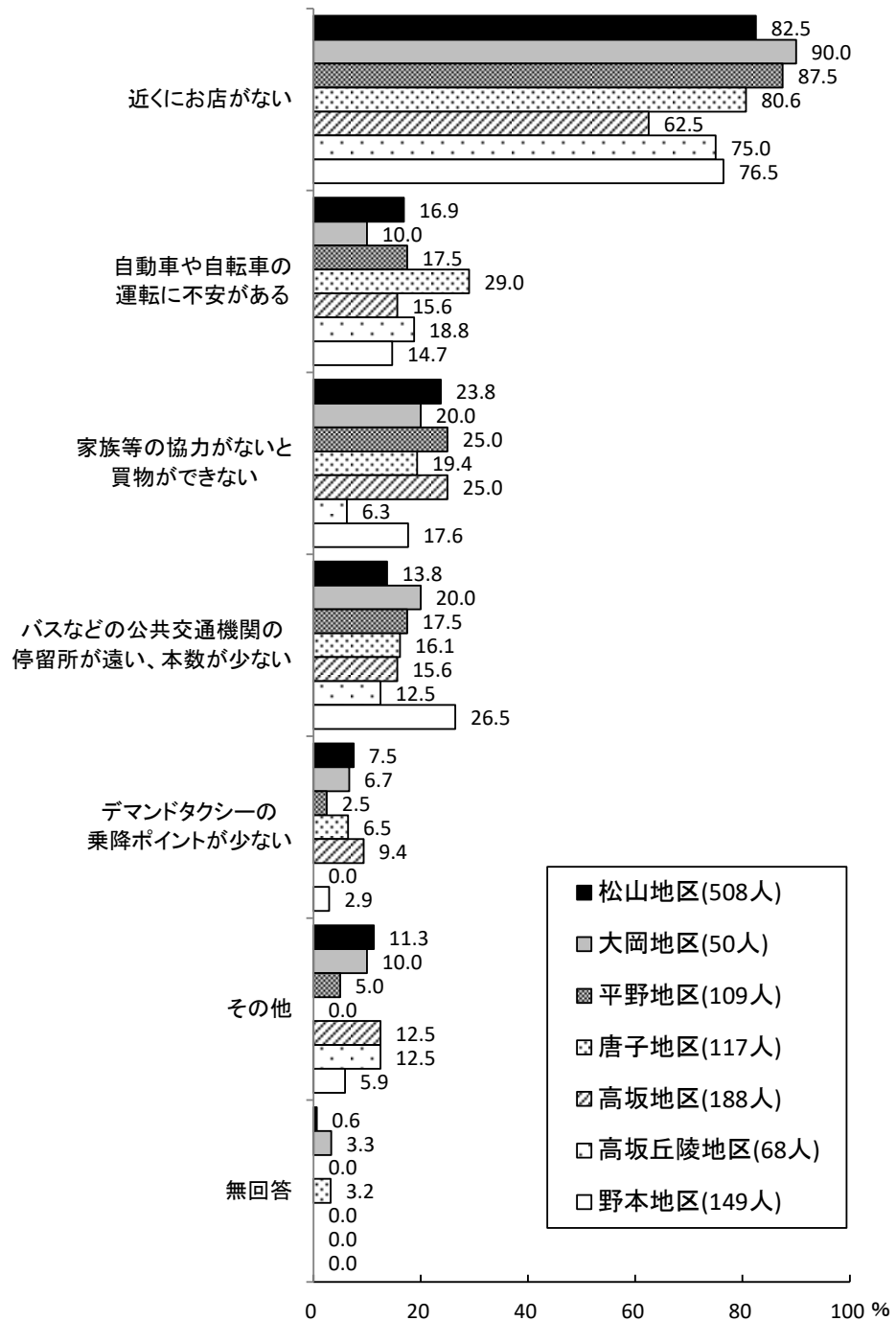


※「買物で不便を感じる理由」は新設の設問です。

全体では「近くにお店がない」が80.6%と群を抜いて高く、次いで「家族等の協力がないと買物ができない」(22.0%)、「自動車や自転車の運転に不安がある」(16.9%)となっています。

性別で見ると「家族等の協力がないと買物ができない」で女性(29.4%)が男性(12.7%)を16.7ポイント上回り、「自動車や自転車の運転に不安がある」でも女性(22.9%)が男性(8.5%)を14.4ポイント上回っています。

買物で不便を感じる理由（地区別）



※「買物で不便を感じる理由」は新設の設問です。

地区別でみると「近くにお店がない」は、大岡地区で90.0%と最も高く、他の地区でも高坂地区を除き7割以上となっています。

「自動車や自転車の運転に不安がある」は、唐子地区が29.0%と他の地区と比べ高くなっています。

「家族等の協力がないと買物ができない」は、ほとんどの地区で10%台後半から20%台半ばの範囲ですが、高坂丘陵地区のみ6.3%と低くなっています。

「その他」では、高坂地区、高坂丘陵地区がともに12.5%と最も高く、次いで松山地区が11.3%となっており、「スーパーマーケットが駅前にない」という記述が見受けられます。

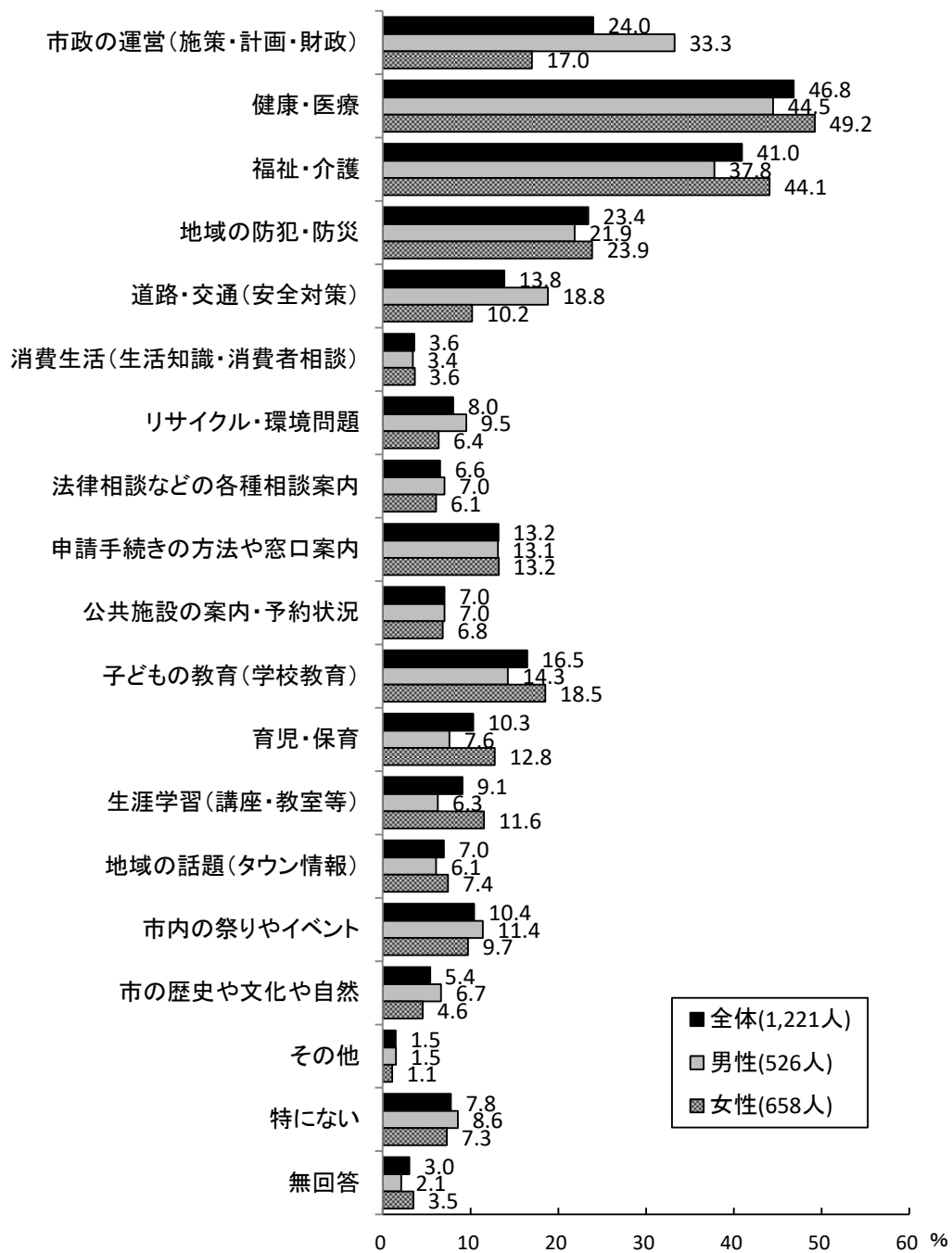
8 市政情報について

8-1 知りたいと思う市政情報

◆「健康・医療」46.8%◆

問 28 あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。3つまで選び、番号を○で囲んでください。

知りたいと思う市政情報（全体・性別）

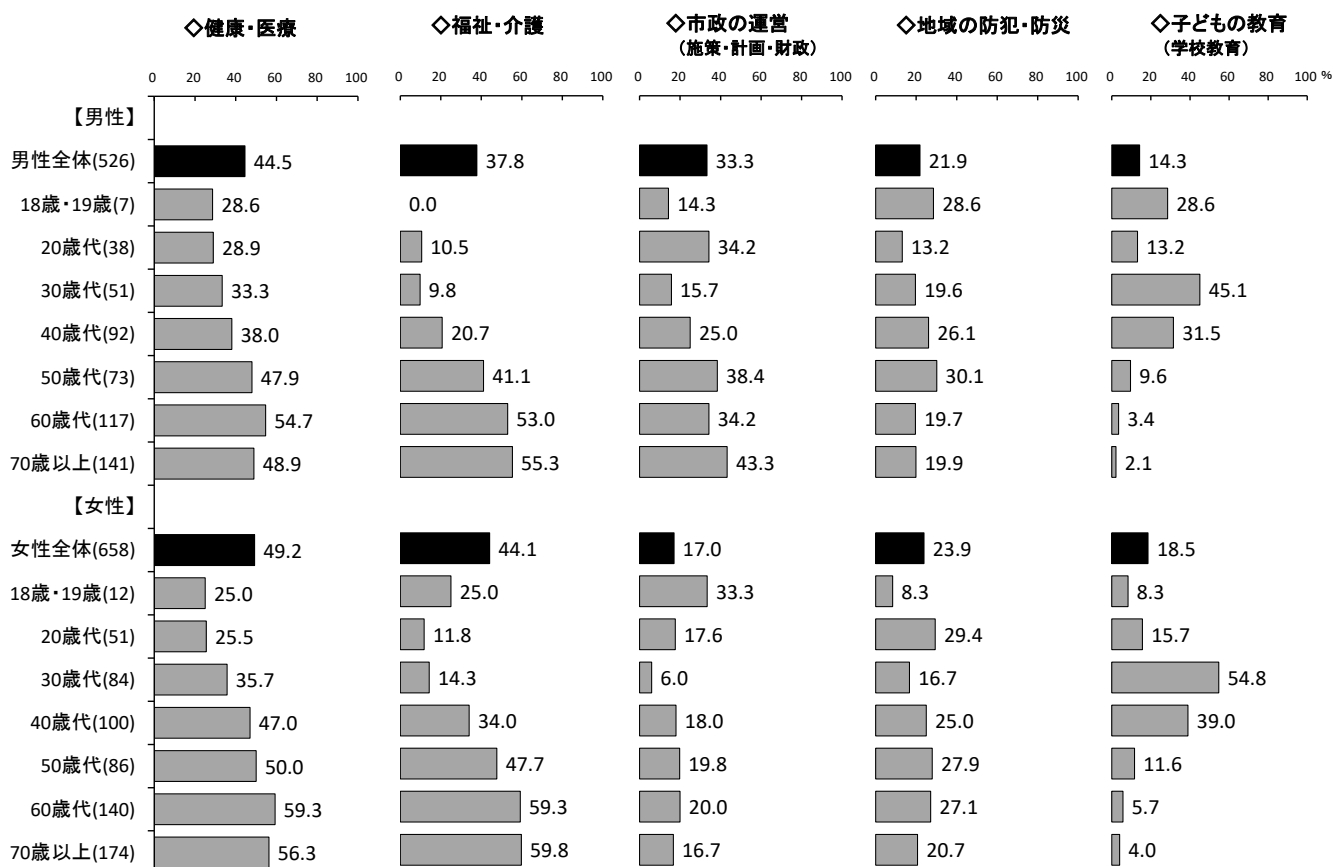


※「健康・医療」と「福祉・介護」は平成21年度まで「健康・福祉・医療・介護」でした。

全体では「健康・医療」が46.8%と最も高く、次いで「福祉・介護」(41.0%)、「市政の運営(施策・計画・財政)」(24.0%)、「地域の防犯・防災」(23.4%)、「子どもの教育(学校教育)」(16.5%)と続いています。

性別で見ると「福祉・介護」で女性(44.1%)が男性(37.8%)を6.3ポイント上回っています。一方「市政の運営(施策・計画・財政)」では男性(33.3%)が女性(17.0%)を16.3ポイント上回っています。

知りたいと思う市政情報(上位5項目 性・年代別)



性・年代別で見ると「健康・医療」は女性の50歳代、60歳代、70歳以上、男性の60歳代で5割台と高くなっています。

「福祉・介護」は男性・女性とも60歳代、70歳以上が高くなっており、男性の70歳以上は55.3%、女性の70歳以上は59.8%となっています。

「市政の運営(施策・計画・財政)」は男性の70歳以上で43.3%、50歳代、60歳代で3割台となっています。女性では18歳・19歳で33.3%と比較的高くなっています。

「地域の防犯・防災」は男性の50歳代で30.1%、女性では20歳代で29.4%と比較的高くなっています。

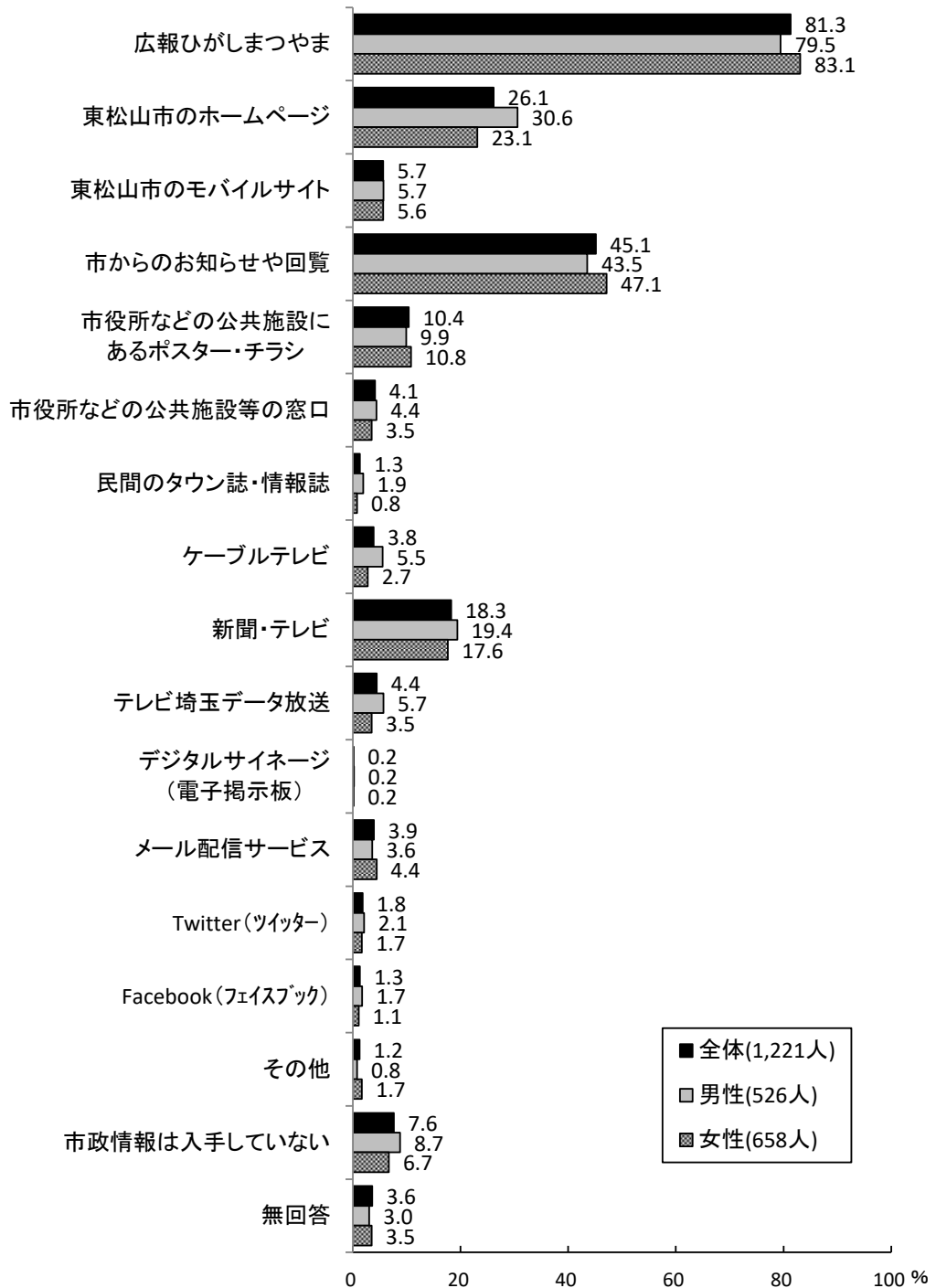
「子どもの教育(学校教育)」は男性・女性とも30歳代、40歳代で3割以上と高くなっています。なかでも女性の30歳代では54.8%と特に高くなっています。

8-2 市政情報の入手方法

◆「広報ひがしまつやま」81.3%◆

問 29 あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

市政情報の入手方法（全体・性別）

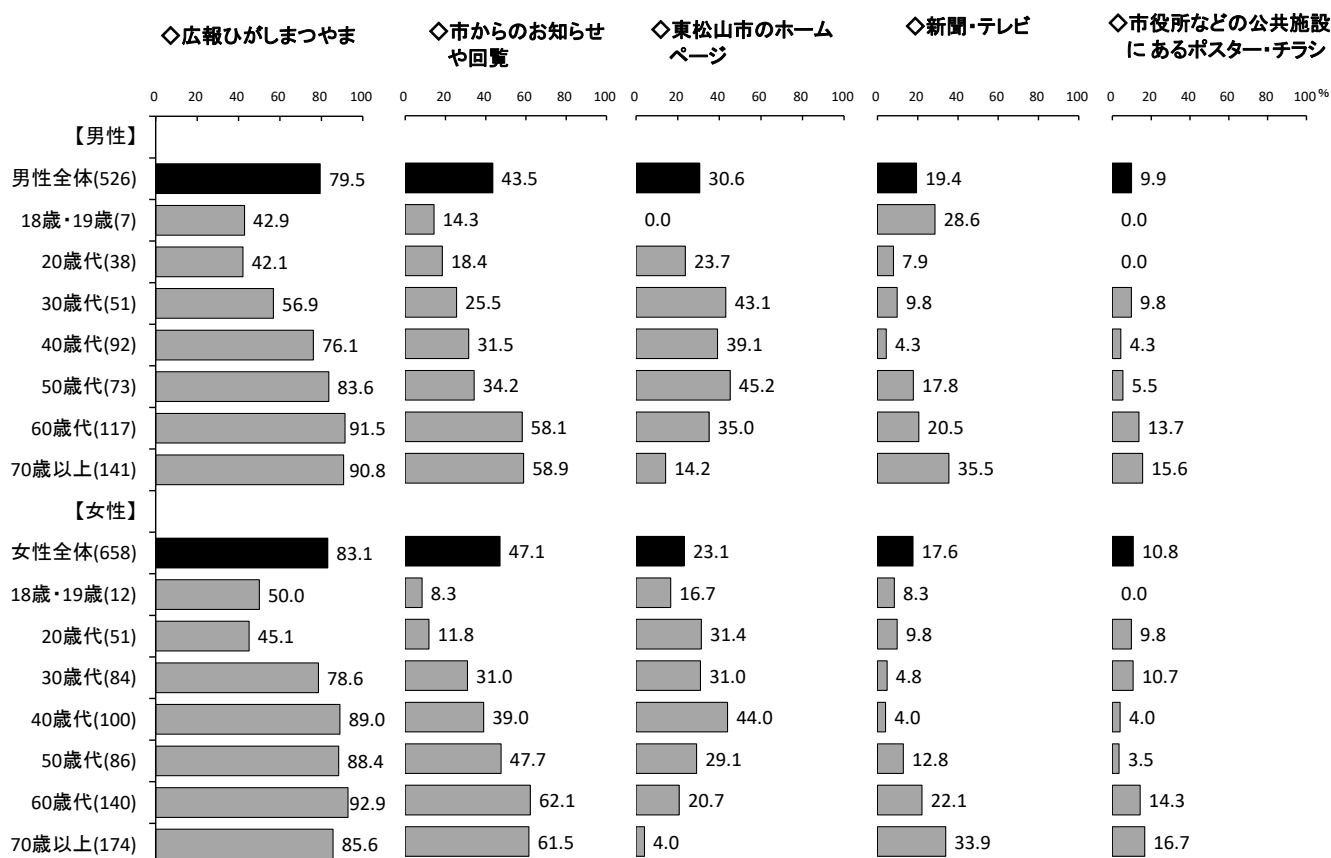


※「メール配信サービス」は平成 25 年度までは「メール配信サービス・Twitter(ツイッター)」で平成 25 年度からの選択肢となります。「テレビ埼玉データ放送」は平成 25 年度調査から、「デジタルサイネージ（電子掲示板）」「Twitter(ツイッター)」「Facebook(フェイスブック)」は平成 28 年度からの選択肢となります。

全体では「広報ひがしまつやま」が81.3%と最も高く、次いで「市からのお知らせや回覧」(45.1%)、「東松山市のホームページ」(26.1%)、「新聞・テレビ」(18.3%)、「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」(10.4%)と続いています。

性別でみると「広報ひがしまつやま」では女性(83.1%)が男性(79.5%)を3.6ポイント、「市からのお知らせや回覧」では女性(47.1%)が男性(43.5%)を3.6ポイント上回っています。一方「東松山市のホームページ」では男性(30.6%)が女性(23.1%)を7.5ポイント上回っています。

市政情報の入手方法（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「広報ひがしまつやま」は男性の50歳代、60歳代、70歳以上、女性の40歳代以降では8割以上と高い割合となっていますが、20歳代では男性は42.1%、女性は45.1%と低くなっています。

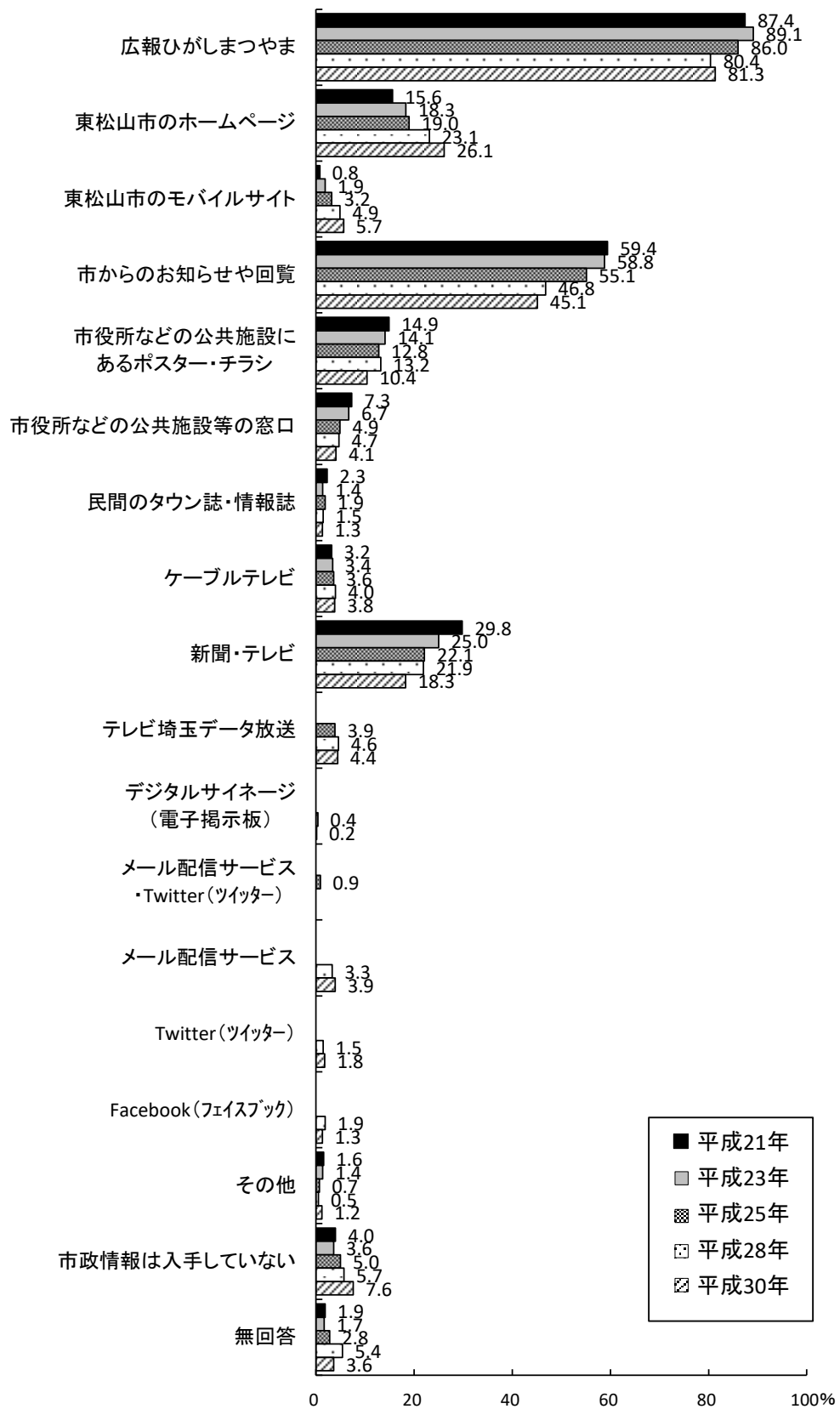
「市からのお知らせや回覧」は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性・女性ともに60歳代以降の年代では5割以上となっています。

「東松山市のホームページ」は男性では50歳代が45.2%と最も高く、女性は40歳代が44.0%と最も高くなっています。

「新聞・テレビ」は男性では70歳以上が35.5%と最も高く、女性も70歳以上が33.9%となっています。次いで18歳・19歳の男性が28.6%と高くなっています。

「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」は女性の70歳以上が最も高く16.7%、男性の70歳以上で15.6%となっています。

市政情報の入手方法（経年比較）



※「メール配信サービス」は平成25年度までは「メール配信サービス・Twitter(ツイッター)」で平成25年度からの選択肢となります。「テレビ埼玉データ放送」は平成25年度調査から、「デジタルサイネージ（電子掲示板）」「Twitter(ツイッター)」「Facebook(フェイスブック)」は平成28年度からの選択肢となります。

平成 21 年度以降の調査結果と比較すると「東松山市のホームページ」「東松山市のモバイルサイト」は増加傾向にあります。

一方、「市からのお知らせや回覧」「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」「市役所などの公共施設等の窓口」「新聞・テレビ」などは減少傾向にあります。

新しいメディアでは「メール配信サービス」「Twitter(ツイッター)」が微増傾向にあるものの、「Facebook(フェイスブック)」が平成 28 年度調査と比較すると 0.6 ポイント減少しています。

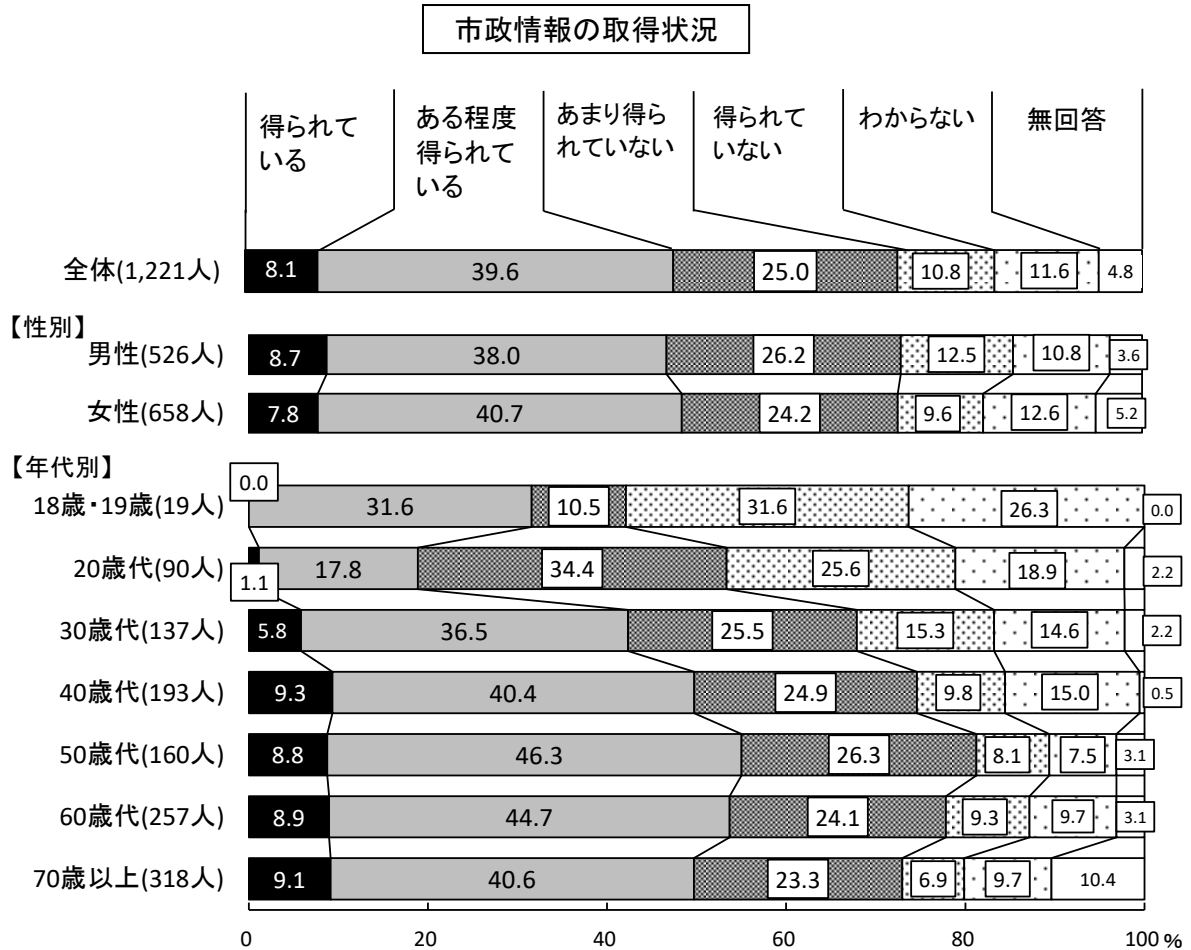
「広報ひがしまつやま」が、市政情報を得る手段として高い支持を受けています。平成 28 年度調査と比較すると 0.9 ポイントの増加に転じています。

「市政情報は入手していない」が、平成 23 年度調査以降微増傾向にあり、平成 28 年度調査と比較すると 1.9 ポイント増えています。

8-3 市政情報の取得状況

◆ “市政情報を得られている” 47.7%、“市政情報を得られていない” 35.8%◆

問 30 あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「得られている」(8.1%)、「ある程度得られている」(39.6%)を合わせた“市政情報を得られている”と回答した人は、47.7%となっています。一方「得られていない」(10.8%)、「あまり得られていない」(25.0%)を合わせた“市政情報を得られていない”は35.8%となっています。

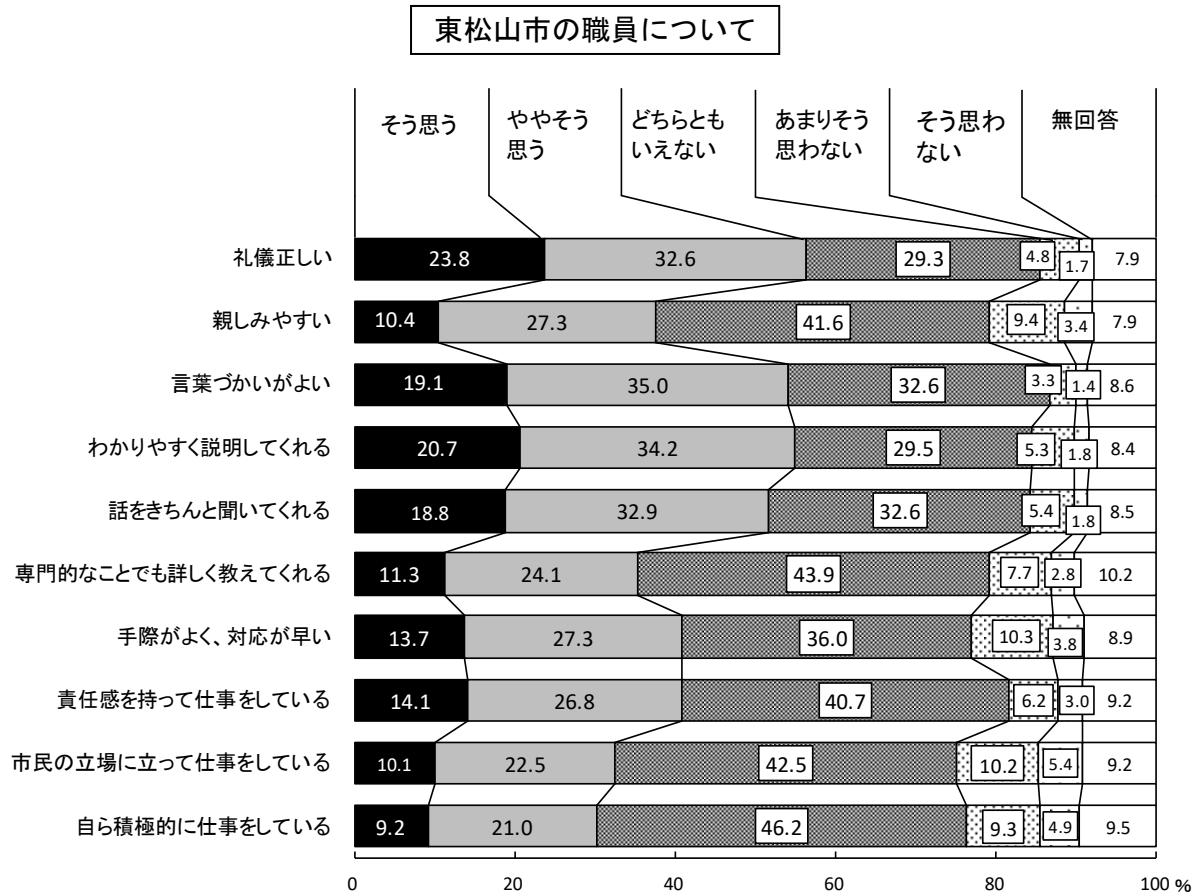
年代別で見ると、30歳代以降の年代では“市政情報を得られている”が“市政情報を得られていない”の割合を上回っていますが、18歳・19歳、20歳代では“市政情報を得られていない”の割合の方が高くなっています。“市政情報を得られている”の割合は50歳代で55.1%と最も高くなっています。一方、20歳代では“市政情報を得られていない”の割合が60.0%と高くなっています。

9 市政について

9-1 東松山市の職員について

◆礼儀正しさやわかりやすく説明してくれるなどで肯定的な評価◆

問 31 あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。



※<礼儀正しい>は、平成 21 年度調査までは<礼儀正しく親切に対応してくれる>。<親しみやすい>と<言葉づかいがよい>は、平成 21 年度調査までは<明るく親しみやすく言葉づかいがよい>。

<全体の概観と性・年代別>

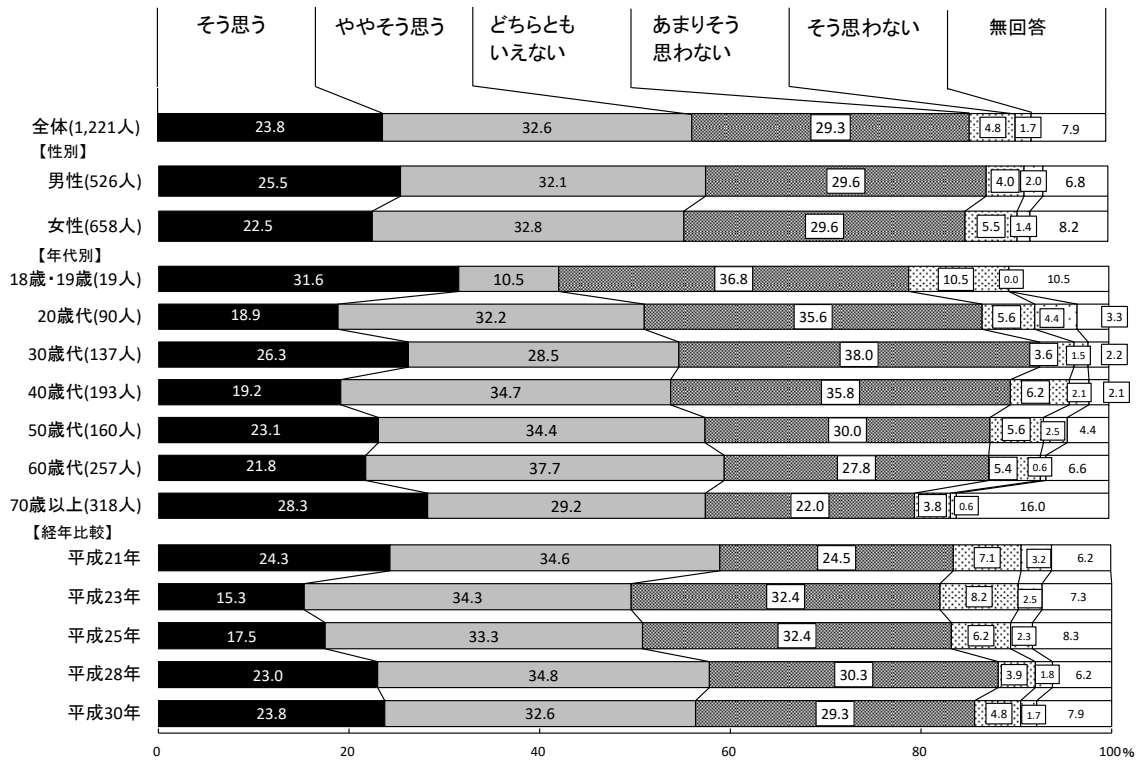
「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”は、<礼儀正しい>が 56.4%、<わかりやすく説明してくれる>が 54.9%、<言葉づかいがよい>が 54.1%、<話をきちんと聞いてくれる>が 51.7%となっており、礼儀正しさやわかりやすく説明してくれるなどに関する項目で評価が高くなっています。

性別でみると“そう思う”で男性よりも女性が高くなっているのは <わかりやすく説明してくれる> <手際がよく、対応が早い> <責任感を持って仕事をしている>の 3 項目です。

年代別でみると“そう思う”は、<礼儀正しい> <言葉づかいがよい> 以外の項目は 70 歳以上で割合が高くなっています。

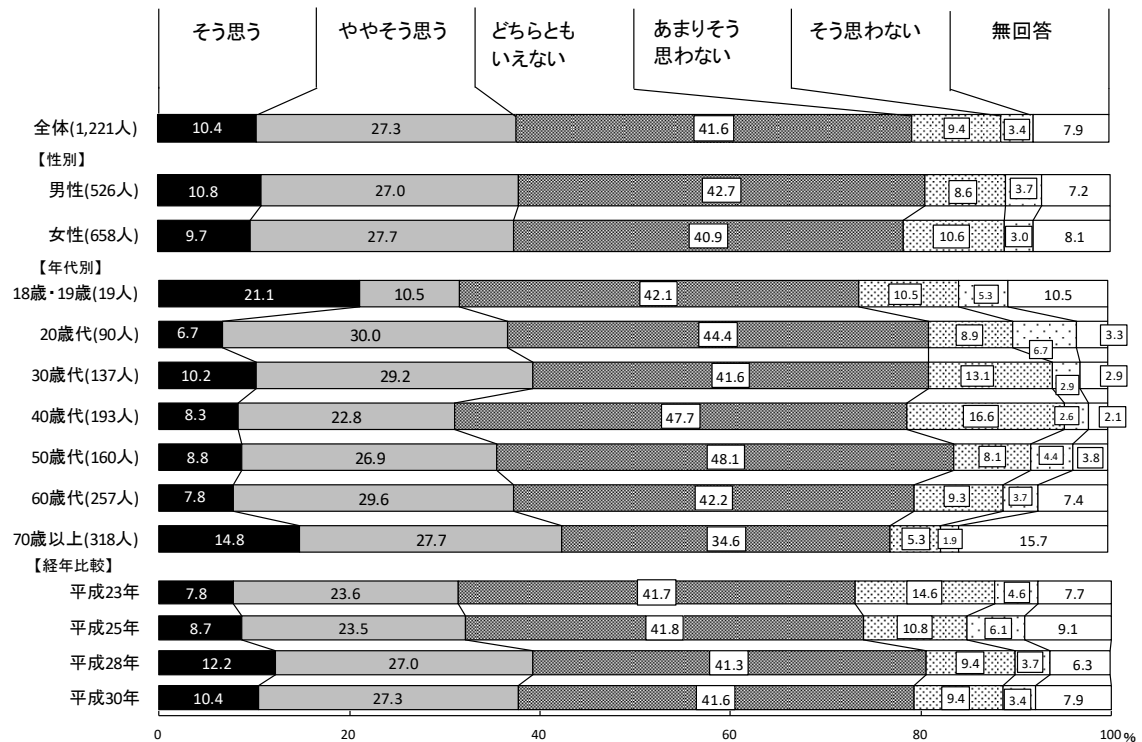
礼儀正しい ◆ “そう思う” 56.4%、“そう思わない” 6.5%◆

礼儀正しい



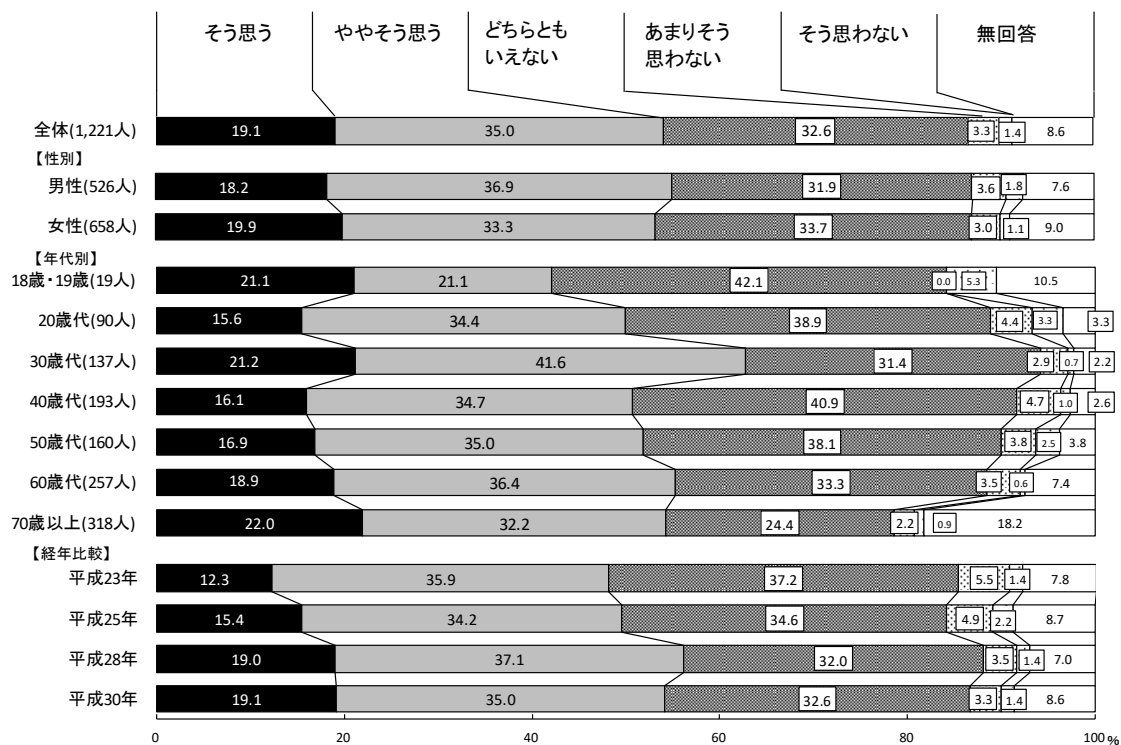
親しみやすい ◆ “そう思う” 37.7%、“そう思わない” 12.8%◆

親しみやすい



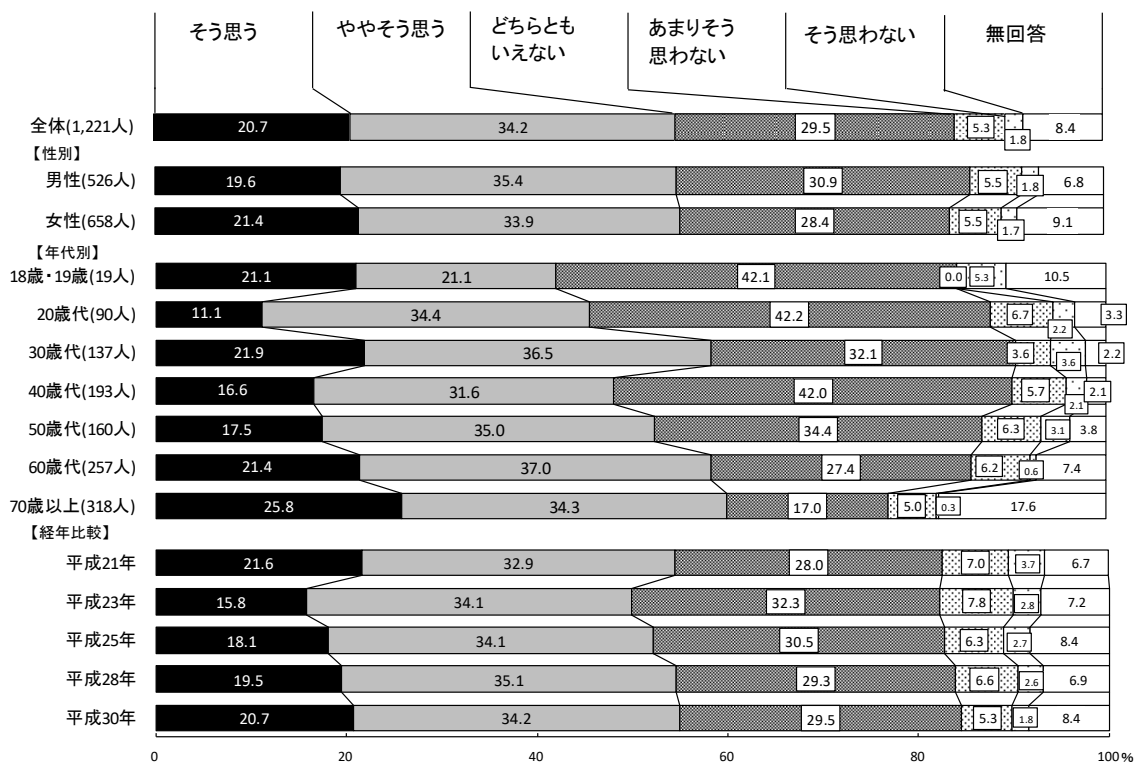
言葉づかいがよい ◆ “そう思う” 54.1%、“そう思わない” 4.7%◆

言葉づかいがよい



わかりやすく説明してくれる ◆ “そう思う” 54.9%、“そう思わない” 7.1%◆

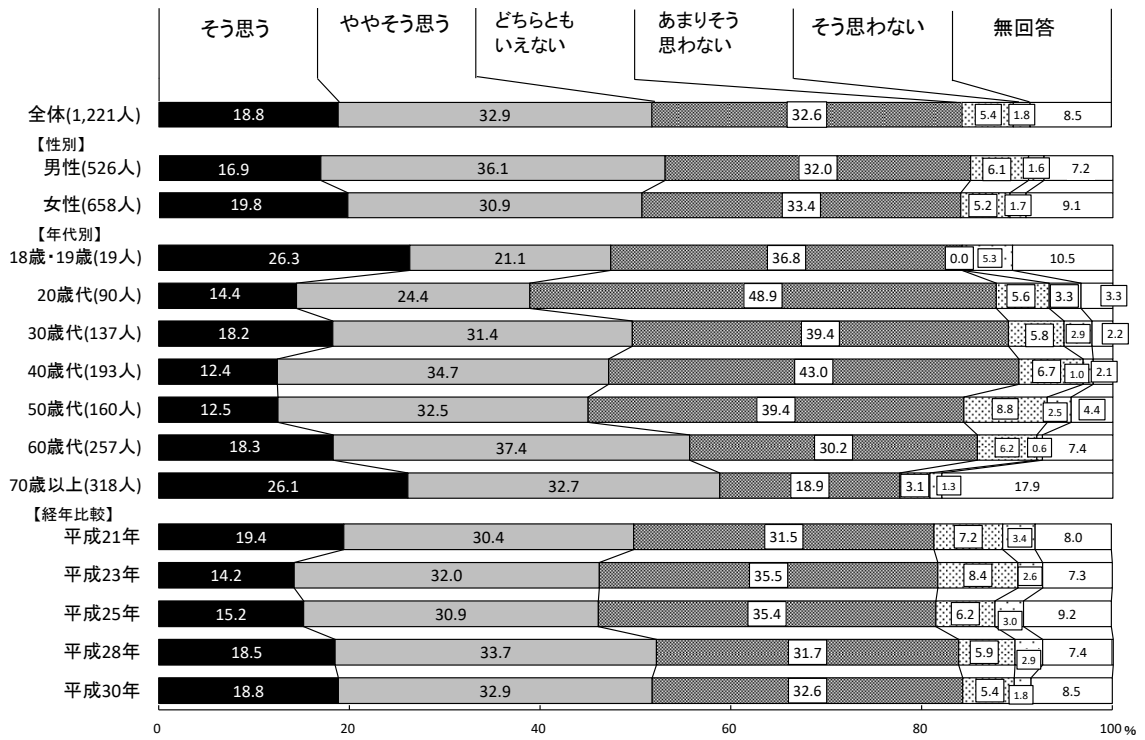
わかりやすく説明してくれる



話をきちんと聞いてくれる

◆ “そう思う” 51.7%、“そう思わない” 7.2%◆

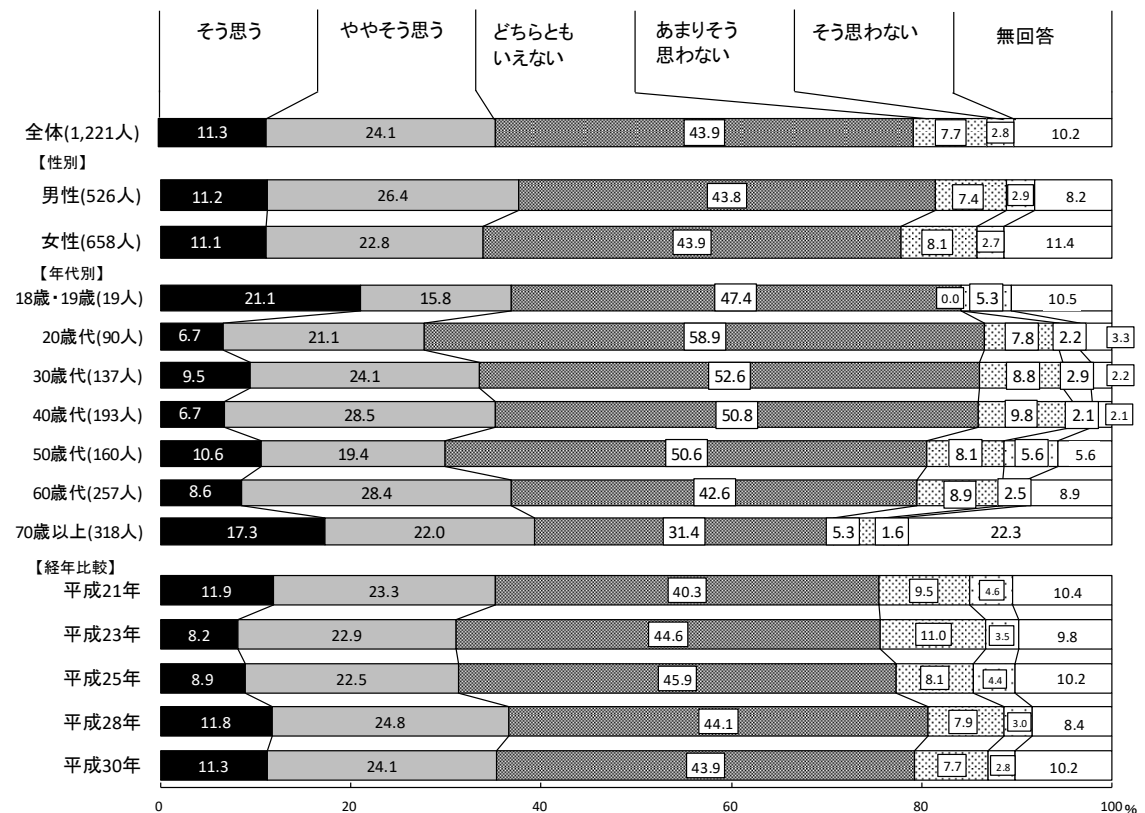
話をきちんと聞いてくれる



専門的なことでも詳しく教えてくれる

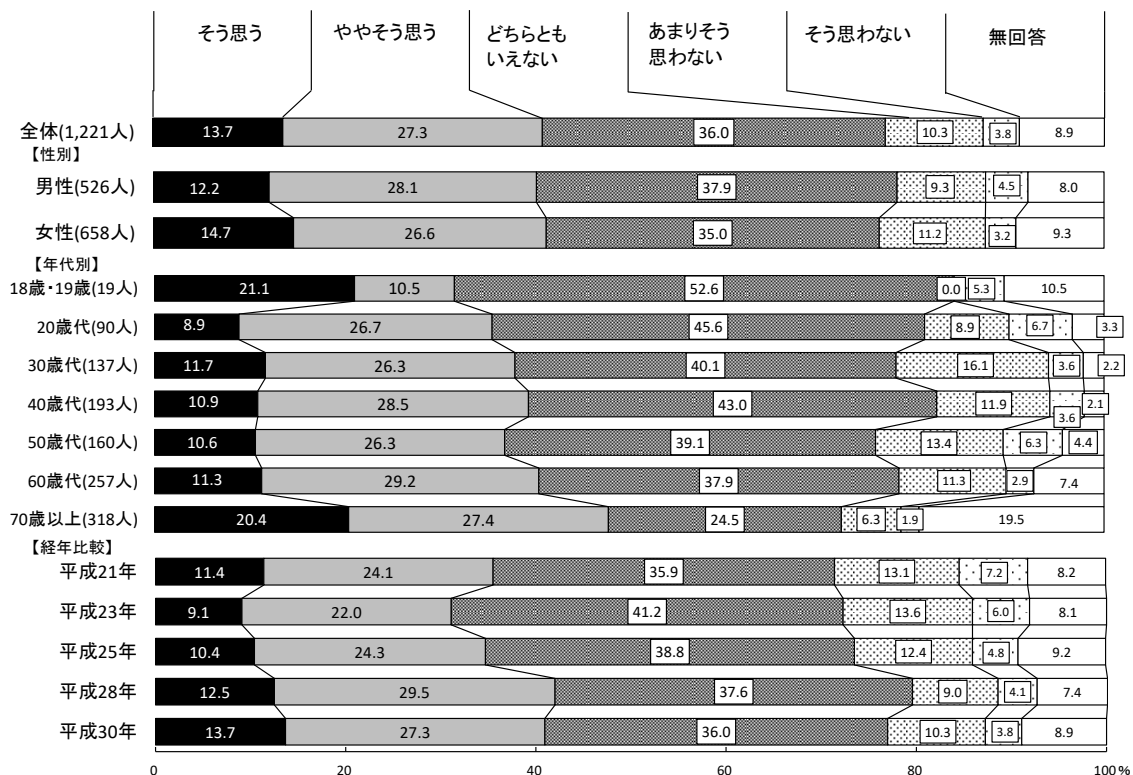
◆ “そう思う” 35.4%、“そう思わない” 10.5%◆

専門的なことでも詳しく教えてくれる



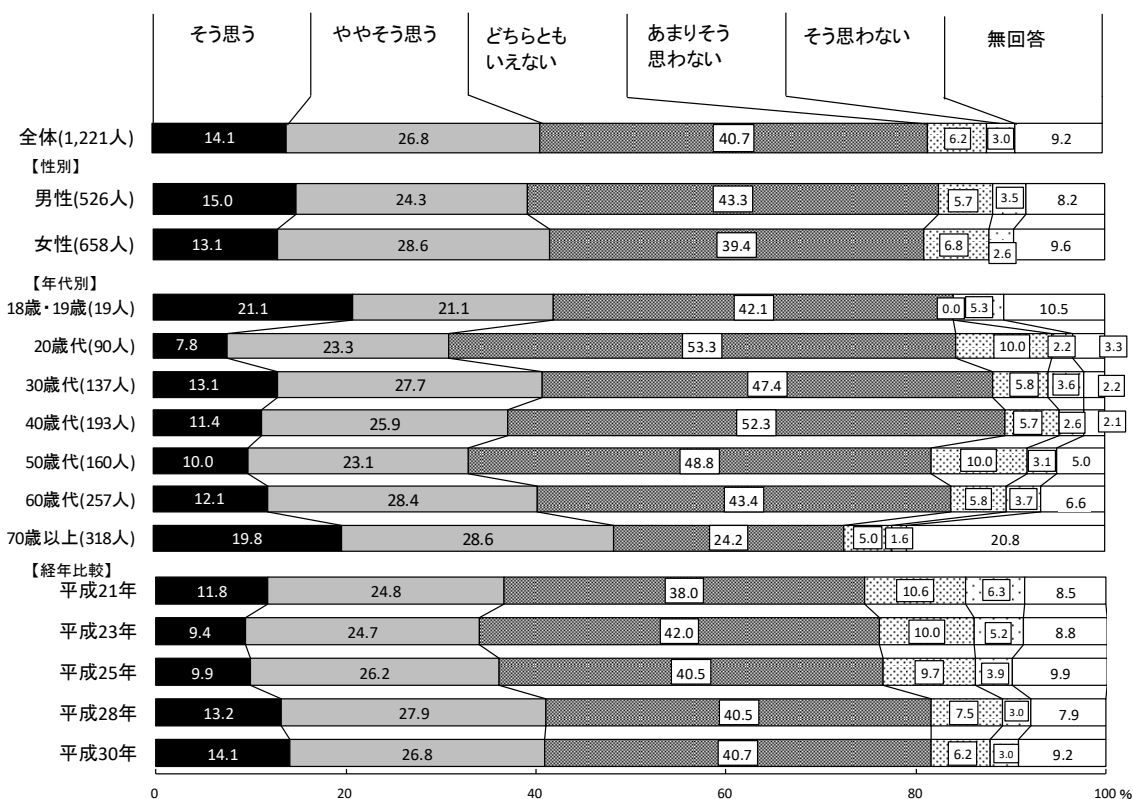
手際がよく、対応が早い ◆ “そう思う” 41.0%、“そう思わない” 14.1%◆

手際がよく、対応が早い



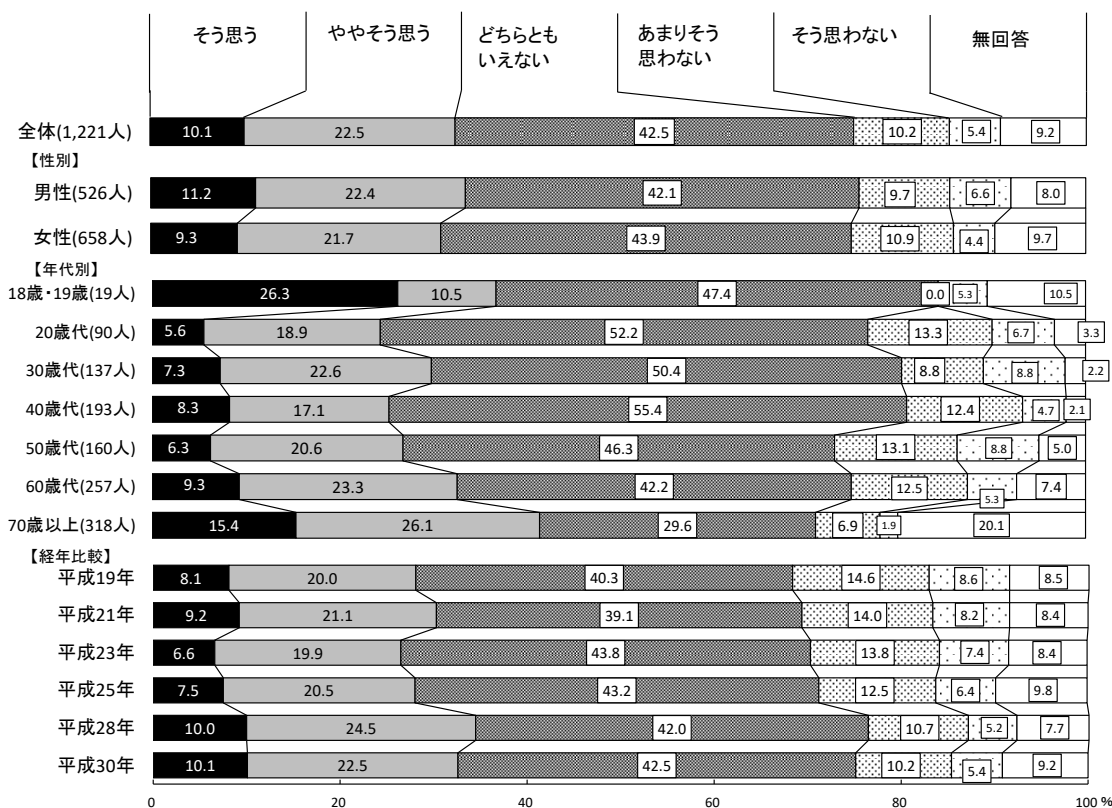
責任感を持って仕事をしている ◆ “そう思う” 40.9%、“そう思わない” 9.2%◆

責任感を持って仕事をしている



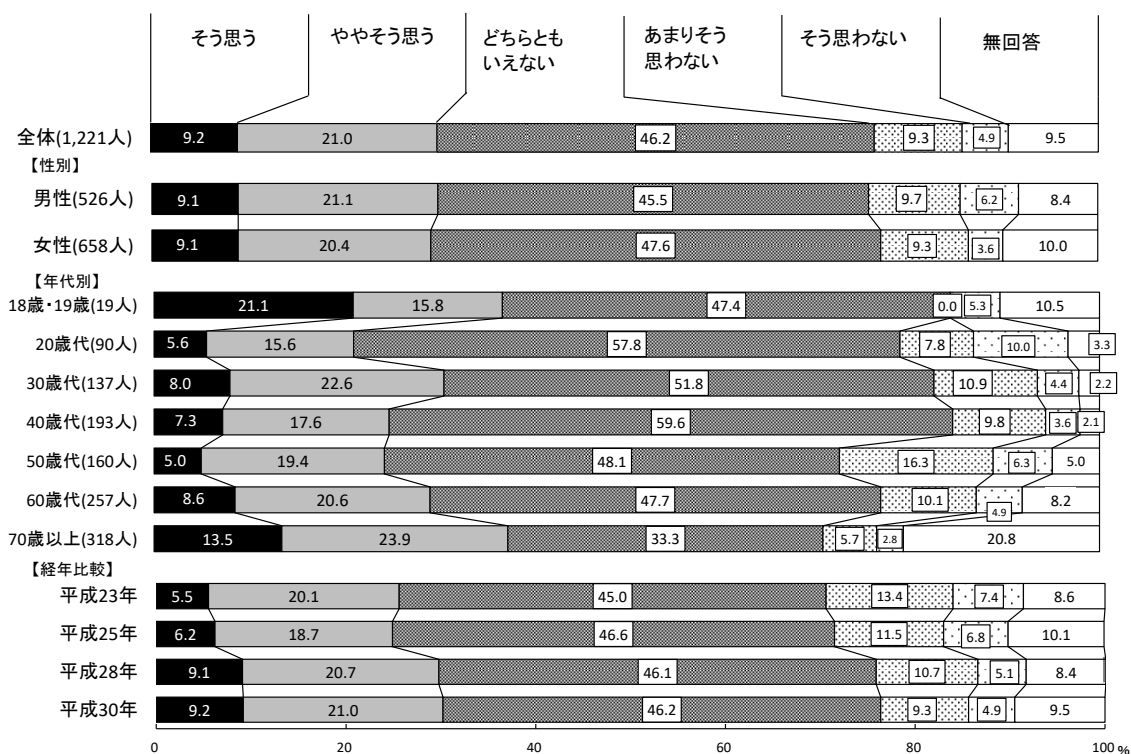
市民の立場に立って仕事をしている ◆ “そう思う” 32.6%、“そう思わない” 15.6%◆

市民の立場に立って仕事をしている



自ら積極的に仕事をしている ◆ “そう思う” 30.2%、“そう思わない” 14.2%◆

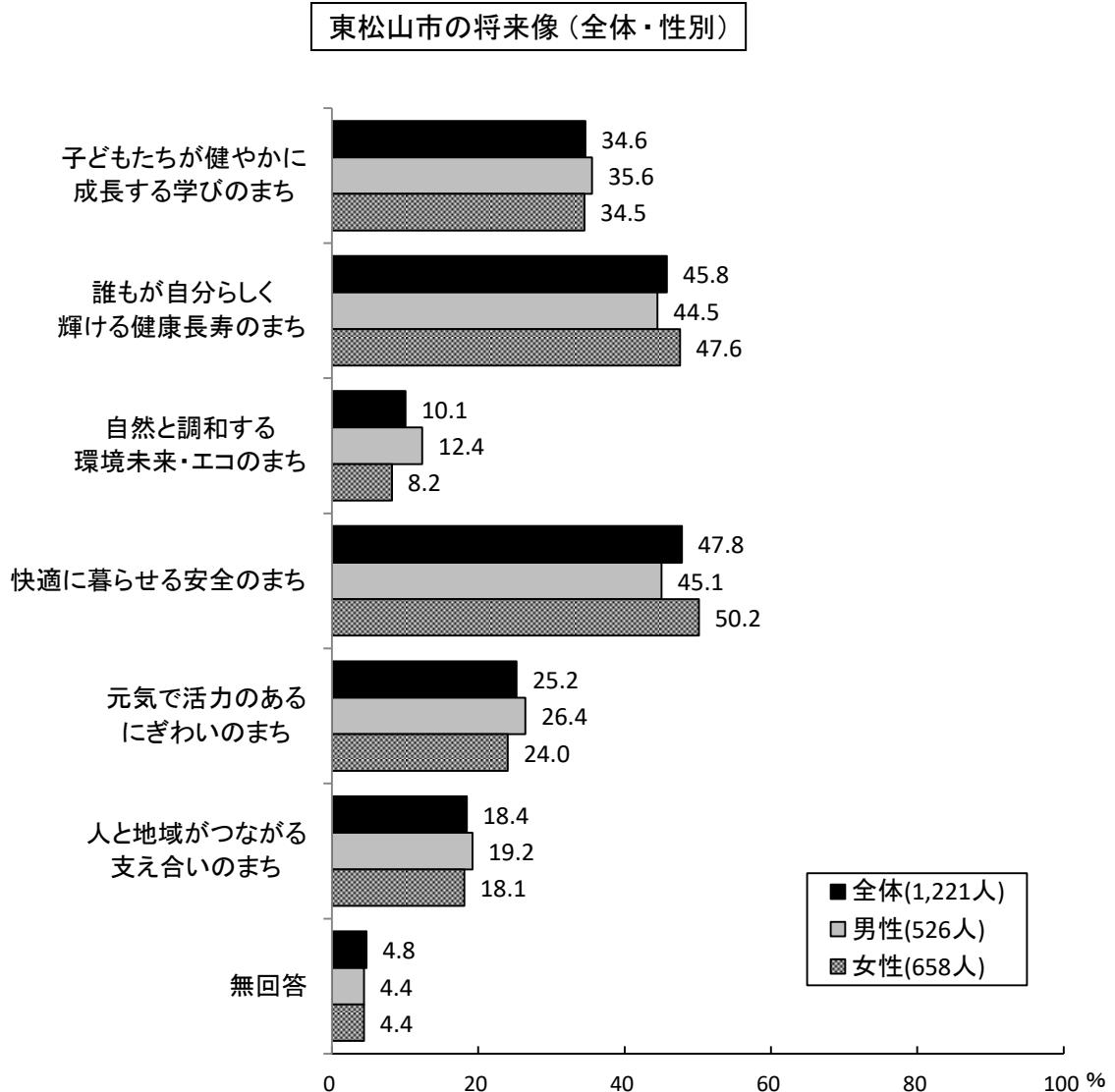
自ら積極的に仕事をしている



9-2 東松山市の将来像

◆「快適に暮らせる安全のまち」47.8%◆

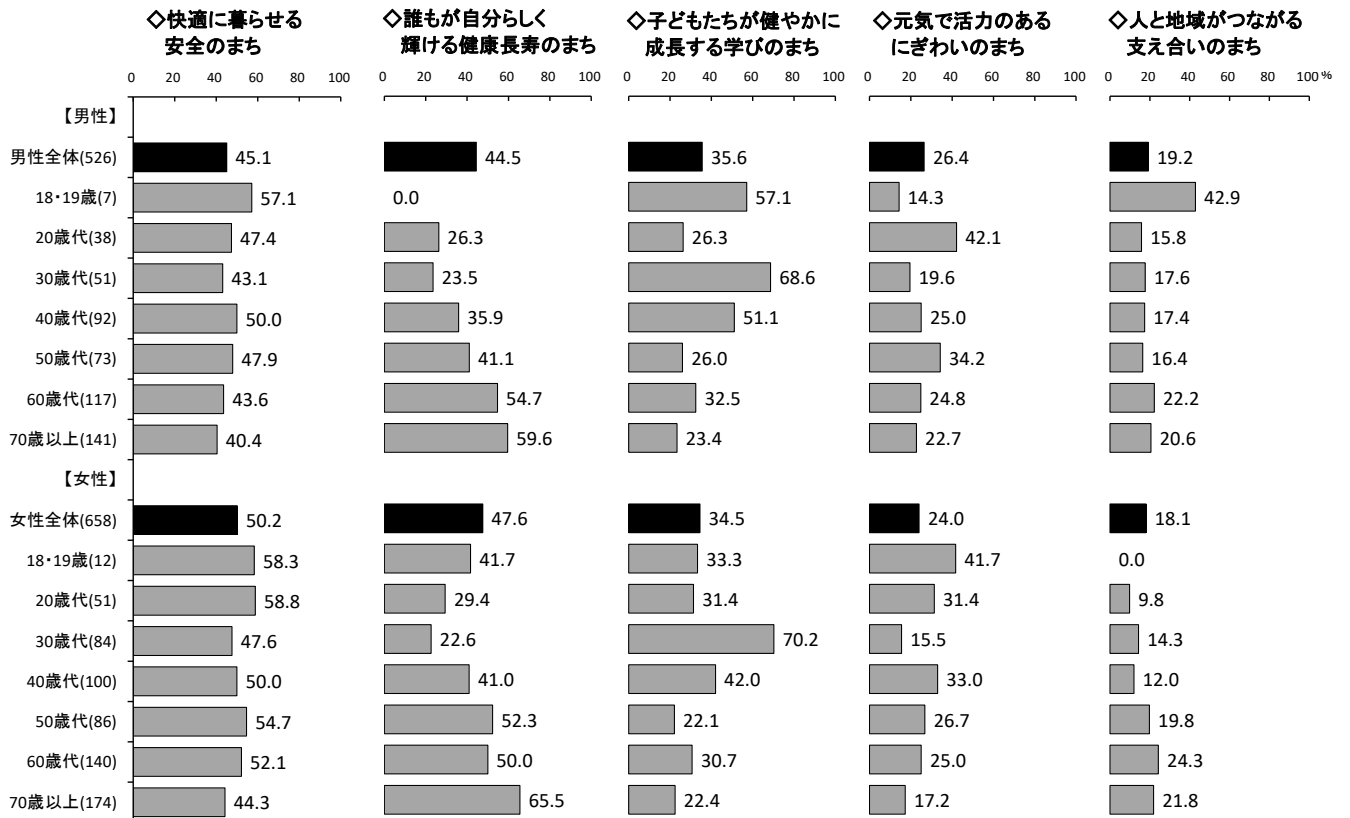
問 32 あなたは、これから東松山市がどんなまちになってほしいと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。



全体では「快適に暮らせる安全のまち」が47.8%と最も高く、次いで「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」(45.8%)、「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」(34.6%)、「元気で活力のあるにぎわいのまち」(25.2%)と続いています。

性別で見ると「快適に暮らせる安全のまち」は女性(50.2%)が男性(45.1%)を5.1ポイント上回っています。「自然と調和する環境未来・エコのまち」は男性(12.4%)が女性(8.2%)を4.2ポイント上回っています。

東松山市の将来像(上位5項目 性・年代別)



性・年代別でみると「快適に暮らせる安全のまち」は男性の18歳・19歳、40歳代、女性の18歳・19歳、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代で5割以上と高くなっています。

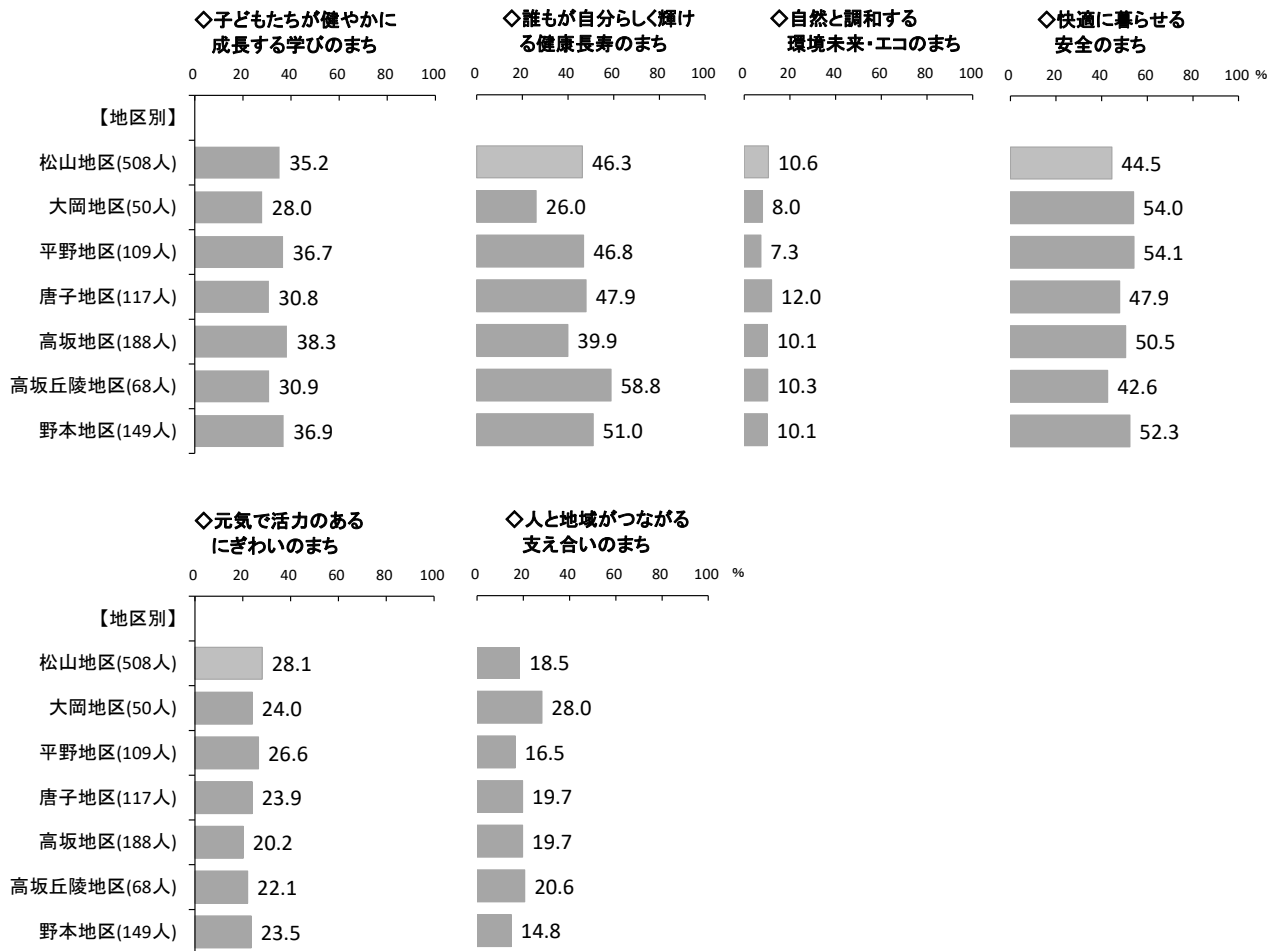
「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は男性の60歳代以降、女性の50歳代以降で5割以上と高くなっています。特に、女性の70歳以上では65.5%と最も高くなっています。

「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」は男性・女性ともに30歳代が最も高く、男性の30歳代で68.6%、女性の30歳代で70.2%となっています。

「元気で活力のあるにぎわいのまち」は男性の20歳代と女性の18歳・19歳が最も高く、男性の20歳代で42.1%、女性の18歳・19歳で41.7%となっています。

「人と地域がつながる支え合いのまち」は男性では18歳・19歳が42.9%と最も高く、女性では60歳代が24.3%と最も高くなっています。

東松山市の将来像（地区別）



地区別でみると「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」は高坂地区で38.3%、野本地区で36.9%、平野地区で36.7%と高くなっています。

「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は高坂丘陵地区、野本地区では5割以上となっており、松山地区、平野地区、唐子地区ではいずれも4割を超えています。

「自然と調和する環境未来・エコのまち」はいずれの地区でも1割前後で、最も高い唐子地区でも12.0%となっています。

「快適に暮らせる安全のまち」はいずれの地区でも4割を超え、大岡地区、平野地区、高坂地区、野本地区で5割台となっています。

「元気で活力のあるにぎわいのまち」はいずれの地区でも2割台で、最も高い松山地区で28.1%となっています。

「人と地域がつながる支え合いのまち」は大岡地区と高坂丘陵地区では2割台となっています。

9-3 よくなってきた事業／重点的に取り組むべき事業

◆よくなってきた事業「市民病院の充実」17.4%◆

問 33 あなたは、東松山市でよくなってきた事業、また、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思いますか。それぞれ3つまで選び、選択肢下の回答欄に番号を記入してください。



よくなってきた事業については「市民病院の充実」が17.4%と最も高く、次いで「子育てしやすい環境づくり」(12.9%)、「健康づくりの推進」(12.3%)、「安全で快適な道路の整備と維持管理」(11.5%)、「計画的なまちづくりの推進」(8.8%)と続いています。

よくなってきた事業（地区別 上位5項目）

属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体（1,221人）		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	健康づくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理	計画的なまちづくりの推進
		17.4%	12.9%	12.3%	11.5%	8.8%
【地区別】						
松山地区（508人）		市民病院の充実	健康づくりの推進	子育てしやすい環境づくり	安全で快適な道路の整備と維持管理	計画的なまちづくりの推進
		18.5%	14.0%	13.0%	11.0%	7.9%
大岡地区（50人）		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり、安全で快適な道路の整備と維持管理		健康づくりの推進、安全な水道水の提供、交通・防犯対策の推進	
		16.0%	12.0%		10.0%	
平野地区（109人）		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	健康づくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理、安全な水道水の提供、高齢者支援の充実、乳幼児期における支援の充実	
		20.2%	12.8%	11.9%	9.2%	
唐子地区（117人）		市民病院の充実	健康づくりの推進	河川・下水道の整備	子育てしやすい環境づくり、安全で快適な道路の整備と維持管理	
		18.8%	15.4%	10.3%	9.4%	
高坂地区（188人）		安全で快適な道路の整備と維持管理	市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	計画的なまちづくりの推進	健康づくりの推進
		19.1%	17.0%	16.0%	14.9%	9.0%
高坂丘陵地区（68人）		安全で快適な道路の整備と維持管理	計画的なまちづくりの推進	市民病院の充実、健康づくりの推進、子育てしやすい環境づくり		
		19.1%	17.6%	16.2%		
野本地区（149人）		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	健康づくりの推進	安全な水道水の提供	保健・医療体制の充実
		18.1%	12.8%	10.7%	8.1%	7.4%

上位5項目を地区別で見ると、高坂地区、高坂丘陵地区では「安全で快適な道路の整備と維持管理」が1位となっていますが、それ以外の地区では「市民病院の充実」が1位となっています。なお、高坂地区では「市民病院の充実」は2位となっています。

次いで、松山地区、唐子地区では「健康づくりの推進」が、大岡地区、平野地区では「子育てしやすい環境づくり」、高坂丘陵地区では「計画的なまちづくりの推進」が高くなっています。

大岡地区、平野地区、野本地区では「安全な水道水の提供」が、唐子地区では「河川・下水道の整備」が5位以内に入っています。

よくなってきた事業（性・年代別 上位5項目）

属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【性・年代別】						
男性（526人）	市民病院の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	子育てしやすい環境づくり	計画的なまちづくりの推進	健康づくりの推進	
	17.9%	13.7%	12.0%	11.6%	10.8%	
女性（658人）	市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	健康づくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理	乳幼児期における支援の充実	
	17.9%	14.3%	14.1%	10.3%	9.3%	
男性 18歳・19歳（7人）	安全で快適な道路の整備と維持管理	子育てしやすい環境づくり、青少年の健全育成、乳幼児期における支援の充実、学校教育の充実、保健・医療体制の充実、エコタウンの推進、癒やしの空間整備の推進、安全な水道水の提供、河川・下水道の整備、観光の振興				
	71.4%	14.3%				
20歳代（38人）	計画的なまちづくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理、防災・減災の取組と消防・救急の充実		子育てしやすい環境づくり、観光の振興、高齢者支援の充実		
	18.4%	13.2%		7.9%		
30歳代（51人）	子育てしやすい環境づくり	観光の振興	安全で快適な道路の整備と維持管理、交通・防犯対策の推進		河川・下水道の整備	
	19.6%	15.7%	13.7%		11.8%	
40歳代（92人）	安全で快適な道路の整備と維持管理	子育てしやすい環境づくり、計画的なまちづくりの推進		市民病院の充実	健康づくりの推進、学校教育の充実、教育環境の整備	
	15.2%	14.1%		9.8%	7.6%	
50歳代（73人）	安全で快適な道路の整備と維持管理	市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	計画的なまちづくりの推進	教育環境の整備	
	20.5%	19.2%	13.7%	11.0%	9.6%	
60歳代（117人）	市民病院の充実	計画的なまちづくりの推進	健康づくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理、子育てしやすい環境づくり、河川・下水道の整備		
	18.8%	16.2%	13.7%	11.1%		
70歳以上（141人）	市民病院の充実	健康づくりの推進	安全な水道水の提供	安全で快適な道路の整備と維持管理、子育てしやすい環境づくり		
	31.2%	17.7%	10.6%	9.2%		
女性 18歳・19歳（12人）	子育てしやすい環境づくり	市民病院の充実、河川・下水道の整備、高齢者支援の充実、学校教育の充実、地域福祉の推進、文化財保護、生涯スポーツの推進、癒やしの空間整備の推進、人権意識の高揚、平和意識の高揚				
	16.7%	8.3%				
20歳代（51人）	安全で快適な道路の整備と維持管理	子育てしやすい環境づくり	計画的なまちづくりの推進	乳幼児期における支援の充実、健康づくりの推進、市民病院の充実、文化・芸術の振興		
	17.6%	9.8%	7.8%	5.9%		
30歳代（84人）	子育てしやすい環境づくり	乳幼児期における支援の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	市民病院の充実、教育環境の整備		
	23.8%	20.2%	10.7%	9.5%		
40歳代（100人）	子育てしやすい環境づくり	安全で快適な道路の整備と維持管理	市民病院の充実	乳幼児期における支援の充実	教育環境の整備、計画的なまちづくりの推進	
	20.0%	16.0%	15.0%	13.0%	12.0%	
50歳代（86人）	市民病院の充実、健康づくりの推進	子育てしやすい環境づくり		安全で快適な道路の整備と維持管理、乳幼児期における支援の充実、高齢者支援の充実		
	18.6%	17.4%		9.3%		
60歳代（140人）	健康づくりの推進	市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	乳幼児期における支援の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	
	23.6%	22.9%	15.0%	10.0%	9.3%	
70歳以上（174人）	市民病院の充実	健康づくりの推進	安全な水道水の提供	高齢者支援の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	
	24.7%	14.4%	9.8%	8.0%	7.5%	

上位5項目を性別で見ると、男性・女性ともに「市民病院の充実」が1位となっています。

性・年代別で見ると、男性の60歳代以降と女性の50歳代、70歳以上で「市民病院の充実」が1位となっています。また、男性の50歳代と女性の18歳・19歳、60歳代では「市民病院の充実」が2位となっています。男性の30歳代と女性の18歳・19歳、30歳代、40歳代では「子育てしやすい環境づくり」が1位となっています。男性の18歳・19歳、40歳代と女性の20歳代では2位となっています。

「安全で快適な道路の整備と維持管理」は男性の18歳・19歳、40歳代、50歳代、女性の20歳代で1位になっており、若い世代における割合が高くなっています。また、男性の20歳代、女性の40歳代では2位となっています。

◆重点的に取り組むべき事業「子育てしやすい環境づくり」17.5%◆



重点的に取り組むべき事業については「子育てしやすい環境づくり」が17.5%と最も高く、次いで「商店街活性化の促進等の商業振興」(14.9%)、「高齢者支援の充実」(14.8%)、「保健・医療体制の充実」(13.7%)、「市民病院の充実」(12.9%)と続いています。

重点的に取り組むべき事業（地区別 上位5項目）

属性 \ 順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体（1,221人）	子育てしやすい環境づくり 17.5%	商店街活性化の促進等の商業振興 14.9%	高齢者支援の充実 14.8%	保健・医療体制の充実 13.7%	市民病院の充実 12.9%
【地区別】					
松山地区（508人）	商店街活性化の促進等の商業振興 19.9%	子育てしやすい環境づくり 18.3%	市民病院の充実 14.0%	高齢者支援の充実 13.8%	計画的なまちづくりの推進 13.4%
大岡地区（50人）	子育てしやすい環境づくり 20.0%	高齢者支援の充実 14.0%	保健・医療体制の充実、安全で快適な道路の整備と維持管理、交通・防犯対策の推進 12.0%		
平野地区（109人）	地球温暖化対策や循環型社会の構築、農業の振興 17.4%		保健・医療体制の充実 16.5%	子育てしやすい環境づくり 14.7%	河川・下水道の整備 13.8%
唐子地区（117人）	高齢者支援の充実 18.8%	安全で快適な道路の整備と維持管理 17.9%	子育てしやすい環境づくり、交通・防犯対策の推進、商店街活性化の促進等の商業振興 12.8%		
高坂地区（188人）	子育てしやすい環境づくり 21.3%	保健・医療体制の充実 15.4%	市民病院の充実 13.3%	高齢者支援の充実 12.8%	河川・下水道の整備、防災・減災の取組と消防・救急の充実 11.2%
高坂丘陵地区（68人）	高齢者支援の充実 26.5%	子育てしやすい環境づくり 19.1%	地球温暖化対策や循環型社会の構築 14.7%	保健・医療体制の充実、市民病院の充実、計画的なまちづくりの推進 13.2%	
野本地区（149人）	子育てしやすい環境づくり 15.4%	高齢者支援の充実、安全で快適な道路の整備と維持管理 14.8%		市民病院の充実、計画的なまちづくりの推進 12.8%	

上位5項目を地区別で見ると、大岡地区、高坂地区、野本地区では「子育てしやすい環境づくり」が1位となっており、唐子地区、高坂丘陵地区では「高齢者支援の充実」が1位となっています。「子育てしやすい環境づくり」は松山地区、高坂丘陵地区で2位になっており、「高齢者支援の充実」は大岡地区、野本地区で2位になっています。

「商店街活性化の促進等の商業振興」は松山地区で1位になっており、唐子地区では3位になっています。

重点的に取り組むべき事業（性・年代別 上位5項目）

属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【性・年代別】						
男性（526人）	子育てしやすい環境づくり	地域福祉の推進	エコタウンの推進	河川・下水道の整備	乳幼児期における支援の充実	
	18.8%	15.0%	14.8%	14.6%	12.7%	
女性（658人）	子育てしやすい環境づくり	エコタウンの推進	河川・下水道の整備	社会保障の充実	地域福祉の推進	
	16.6%	15.2%	14.0%	13.2%	12.8%	
男性 18歳・19歳（7人）	子育てしやすい環境づくり、計画的なまちづくりの推進、交通・防犯対策の推進、生涯スポーツの推進				学校教育の充実、教育環境の整備、地域福祉の推進、社会保障の充実、高齢者支援の充実、障害者支援の充実、エコタウンの推進、地球温暖化対策や循環型社会の構築、防災・減災の取組と消防・救急の充実、安全な水道水の提供	
	28.6%				14.3%	
20歳代（38人）	地球温暖化対策や循環型社会の構築	子育てしやすい環境づくり	学校教育の充実、観光の振興		安全な水道水の提供、保健・医療体制の充実、防災・減災の取組と消防・救急の充実	
	18.4%	15.8%	13.2%		10.5%	
30歳代（51人）	子育てしやすい環境づくり	保健・医療体制の充実	交通・防犯対策の推進、社会保障の充実		学校教育の充実、商店街活性化の促進等の商業振興、市民病院の充実	
	29.4%	21.6%	17.6%		15.7%	
40歳代（92人）	子育てしやすい環境づくり	商店街活性化の促進等の商業振興	保健・医療体制の充実	防災・減災の取組と消防・救急の充実	社会保障の充実、学校教育の充実、高齢者支援の充実	
	28.3%	16.3%	15.2%	12.0%	10.9%	
50歳代（73人）	子育てしやすい環境づくり、社会保障の充実、計画的なまちづくりの推進			保健・医療体制の充実、防災・減災の取組と消防・救急の充実、地球温暖化対策や循環型社会の構築		
	17.8%			16.4%		
60歳代（117人）	高齢者支援の充実	市民病院の充実	保健・医療体制の充実	子育てしやすい環境づくり	商店街活性化の促進等の商業振興	
	22.2%	19.7%	17.1%	16.2%	14.5%	
70歳以上（141人）	高齢者支援の充実	河川・下水道の整備	商店街活性化の促進等の商業振興	保健・医療体制の充実	子育てしやすい環境づくり	
	14.9%	14.2%	13.5%	12.8%	12.1%	
女性 18歳・19歳（12人）	交通・防犯対策の推進	観光の振興	教育環境の整備、保健・医療体制の充実、障害者支援の充実			
	33.3%	25.0%	16.7%			
20歳代（51人）	交通・防犯対策の推進	子育てしやすい環境づくり	安全で快適な道路の整備と維持管理	観光の振興、乳幼児期における支援の充実、地球温暖化対策や循環型社会の構築、生涯学習の推進		
	33.3%	23.5%	13.7%	11.8%		
30歳代（84人）	子育てしやすい環境づくり	学校教育の充実	保健・医療体制の充実	乳幼児期における支援の充実	教育環境の整備	
	41.7%	19.0%	17.9%	16.7%	15.5%	

属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【性・年代別】						
40歳代(100人)		商店街活性化の促進等の商業振興	学校教育の充実、保健・医療体制の充実		子育てしやすい環境づくり、防災・減災の取組と消防・救急の充実	
		21.0%	18.0%		16.0%	
50歳代(86人)		商店街活性化の促進等の商業振興	保健・医療体制の充実	市民病院の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	高齢者支援の充実
		22.1%	17.4%	16.3%	15.1%	14.0%
60歳代(140人)		商店街活性化の促進等の商業振興	高齢者支援の充実	市民病院の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	保健・医療体制の充実、子育てしやすい環境づくり
		17.1%	15.7%	15.0%	12.9%	12.1%
70歳以上(174人)		高齢者支援の充実	商店街活性化の促進等の商業振興	市民病院の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理、河川・下水道の整備、防災・減災の取組と消防・救急の充実	
		21.3%	15.5%	11.5%	10.3%	

上位5項目を性別で見ると、男性・女性とも「子育てしやすい環境づくり」が1位となっています。男性では「地域福祉の推進」が2位、「エコタウンの推進」が3位となっています。女性では「エコタウンの推進」が2位、「河川・下水道の整備」が3位となっています。

性・年代別で見ると「子育てしやすい環境づくり」は男性では18歳・19歳、30歳代、40歳代、50歳代で、女性では30歳代で1位となっています。女性の20歳代では「子育てしやすい環境づくり」は2位となっています。

また「高齢者支援の充実」は男性では60歳代、70歳以上、女性では70歳以上で1位となっています。

女性の40歳代、50歳代、60歳代で「商店街活性化の促進等の商業振興」が1位となっています。男性の40歳代と女性の70歳以上では2位となっています。

10 地域資源について

10-1 東松山市の地域資源

◆「やきとり（やきとん、かしら）」462件◆

問 34 あなたが、「東松山市の地域資源（名物・名所、文化財、伝統行事、植物などで特徴となるもの）」として思い浮かべるものは何ですか。具体的にお書きください。

東松山市の地域資源について、738人の市民の皆さまからご意見をいただきました。「名所（自然・建造物・歴史等）」「名物・農産物」「祭り・イベント」「植物」と分類し、集計した結果、主な地域資源に以下のようなものがあげられています。

最も多いのは「やきとり（やきとん、かしら）」（462件）、次いで「日本スリーデーマーチ」（313件）、「箭弓稲荷神社」（234件）、「ぼたん」（225件）と続いています。

■名所[自然・建造物・歴史等]（10件以上）

項目	件数
箭弓稲荷神社	234件
埼玉県こども動物自然公園 （コアラを含む）	145件
ぼたん園	109件
吉見百穴	32件
岩殿観音正法寺	29件
丸木美術館	26件
ピオニウオーク	23件
国営武蔵丘陵森林公園	19件
埼玉県平和資料館	16件
化石と自然の体験館（化石）	16件
物見山・物見山公園	14件
くらかけ清流の郷（鞍掛橋）	13件
自然・緑・田園など	12件
梶田隆章先生（ニュートリノ）	12件
将軍塚古墳	11件
関越道（高坂SA、東松山IC）	10件

■名物・農産物（上位3位）

項目	件数
やきとり（やきとん、かしら）	462件
梨	65件
みそだれ	6件

■祭り・イベント（6件以上）

項目	件数
日本スリーデーマーチ	313件
ひがしまつやま花火大会	62件
夏まつり（天王さま）	57件
ぼたんまつり	20件
各地区のお祭り	18件
夢灯路	10件
サンバカーニバル	8件
馬頭観音の絵馬市	6件

■植物（上位5位）

項目	件数
ぼたん	225件
桜	11件
なんじゃもんじゃの木	4件
松	4件
つつじ	4件

IV 自由意見

自由意見 ―― 分野別分類

今回の市民意識調査の中で、東松山市のまちづくりについて、514 人の市民の方から延べ 596 件のご意見をいただきました。分野ごとに分類すると、以下のようになります。

分 野	件 数
1 都市基盤の整備について	114
2 駅周辺や商店街の活性化について	99
3 環境について	29
4 防災・防犯・安全について	49
5 保健・医療・福祉について	54
6 教育・文化・スポーツについて	33
7 産業について	17
8 情報について	19
9 市政について	68
10 その他	114
合 計	596

次ページ以降で、主だったいくつかのご意見を紹介させていただきます。

自由意見 ―― 市民の声

■1 都市基盤の整備について

性別	年代	市民の声
男性	18歳・19歳	東上線以外の鉄道の導入。通勤・通学時のバス等の充実。
女性	20歳代	バス停が少ないので、東松山駅に行くまでが不便。交通手段の整備をしてほしい。
男性	20歳代	道路の舗装状態が悪いので改善してほしい。自分は自転車をよく使用しているのだが、悪路でタイヤを取られ転倒することがある。また、車道には自転車の走行するスペースがないが、法律上、歩道を走ることでもできないため困っている。もし運悪く、後ろからトラックなどの大型車が走ってきたときに転倒したら、どうなってしまうのだろうと不安になる。歩行者のみでなく、自転車に乗る者へも配慮してほしい。
男性	20歳代	悪い点は、市内循環バス（唐子方面）の本数が少ないこと、肝心な土日は運行していない。 良い点は、市民の森みたいに、散歩コースをつくったこと。化石と自然の体験館といった新しい観光地が増えたこと。ただし、駅から遠いので改善の余地あり。
男性	30歳代	公共交通機関（鉄道）が東上線しかなく、また熊谷、鴻巣のJR線に対するアクセスが悪いのが大きなデメリット。バスはあるものの、運賃や運行本数、所要時間、通るルートや停留所の利便性が高いとはいえ、結局は自家用車がないと交通面の利便性の悪さが、何かにつけてネックになってくるので、強く改善をお願いしたい。
女性	30歳代	車がないと不便だと感じることも多いです。高齢の方が増えているので、交通の便が簡単にわかるシステムなどを推進したらよいと思っています。
女性	30歳代	駅周辺の渋滞の緩和。
男性	30歳代	下水道処理をしてくれるのを30年以上待っています（父や母に聞きました）。まだ来ていません。あと何年待つのでしょうか。よろしくお願い致します。
女性	30歳代	下水の整備されていない地域の整備を進めてほしいです。浄化槽、大変です…。毎度毎度の点検等。できれば市内でまだのところの整備について、ぜひお願いします！
女性	30歳代	これからの水道管の維持管理（ガス、電気も）のため、住環境の集約化と緑化、住民の連携強化への真剣な取り組み。今から地域住民への意識づけと、意見交換の場を設けていくべきだ。今さら新たな公共施設を建てる必要はない。無駄遣いはやめる。
女性	30歳代	東松山市の外れの方に住んでいます。人口が少なくなっています。お店等もなくなってきていて不便です。人口の多いところだけを発展させていくだけでなく、市全体を考えていただきたいです。
女性	40歳代	自転車に乗っているので、自転車専用道路を増やしてほしいです。
男性	40歳代	六軒町に住んでいるが、とにかく道路がボコボコでまったくダメ。道路の修繕を早急にやってほしい。継ぎはぎだらけでガタガタだ。

性別	年代	市民の声
女性	40 歳代	車の運転ができないので、路線バスの本数を増やしてもらえると助かります。デマンドタクシーも便利ですが、やはりバスの方が安く済みます。時間も考えなくて良いですし…。
男性	40 歳代	毎日通勤で、東京電機大学～高坂駅間をバス利用しています。4 月より、大幅に本数が減らされ非常に影響が出ています。帰りも 20 時以降になると、本数が減っていき、駅で 20 分待ちは当たり前です。休日をもっと待ちます。これから先、老人が増え、運転しない人が増える可能性が大いにあります。運転免許を返納した場合、どうすればいいのですか？ デマンドタクシーを数回利用しましたが、予約時の対応も悪く、二度と乗りたくない。この先不安で、引っ越しも考えています。
男性	40 歳代	市民体育館を新しくしていただきたい。冷暖房を設置してほしい。屋内レジャー施設(プール、スポーツアトラクション施設など)が欲しい。
女性	50 歳代	ピオニウォーク周辺の出入口信号で道路が混み合い、事故も多い。まちづくり＝道づくりがうまくできればいいなと思います。
女性	50 歳代	デマンドタクシーの自由乗降ができるようになると、自由度が増す(例えば、駅の近くの場所で降りたいときには、100 円追加すると降りることができるとか)。
男性	50 歳代	市内には、幅の狭い道路が多い。防災上の面からも、救急や高齢者が出かけやすくするためにも、計画的に道幅を広げていくことは大切であると考えます。その際、敷地を削った人に税の優遇措置を行う。
男性	50 歳代	駅前の旧 407 号へ続く道路の整備状況、拡幅の意味がわからない。道路と歩道の段差が、車の運転に支障を与えている。
男性	60 歳代	下水道普及率が低いこと。農村部においては家屋に面する道路が狭く側溝がないため、浄化槽の処理水が土壌浸透式に頼らざるを得ない。しかし、数年おきに地中暗渠を掘らないと浸透できなくなり浄化槽があふれてしまう。せめて側溝を設置していただきたい。
女性	60 歳代	循環バスをワゴン車(7～8 人乗り)にして、地区の乗り場を多くしてください。また、農林公園の工事が始まっていますが、食品雑貨の店をぜひ入れてください。上り口は、もっとなだらかにしていただかないと、年配の人には上ることができません。
男性	60 歳代	ウォーキングの街といっているわりに、ウォーキングの歩道等の整備が不十分なところが多く見受けられる。整備されている地区(高坂地区)とされていない地区の差が大きくなっている。
女性	60 歳代	住宅街の下水道整備の立ち遅れを考えてほしい。
女性	70 歳代	市内循環バスについて いまは大谷コース、唐子コースしかありませんので、このコース以外の人なかなか利用するのは難しい。例えば、毎日同じコースではなく、月水金、火木土に分けて 4 コースぐらい考えてもらおうと大変助かります。 駅のまわりにスーパーもなくなり、毎日の買物に困っています。デマンドタクシーで行って帰って 1,000 円は、年金暮らしにはきついです。
男性	70 歳代	サスティナブルな街づくり!! その計画・進捗状況の見える化、来年もこの街に住み続けたい街へ。下水道普及率が 50%前後では、資産価値も上がらない(近代的な街といえない)。

■2 駅周辺や商店街の活性化について

性別	年代	市民の声
女性	20 歳代	駅前が閑散としているし、お店があっても飲み屋ばかりなので若者を呼び込めるような施設があれば、もっと活性化すると思う。東松山でも、わざわざ都内まで行かなくてもいいようなショッピングモールなどがあったら、若者の東京への流出は妨げると思う。
女性	20 歳代	駅前に本屋さんか文房具屋さんが欲しいのと、自習施設などができたら利用したい。
女性	20 歳代	東松山駅前にスーパーをつかってほしい。電車を利用して通勤・通学していると、買物が不便。大型のショッピングモール（ピオニ以上の）も誘致してほしい。映画館もあつたらうれしい。道路の悪いところが多く危険。歩道もよく見てほしい。
女性	20 歳代	駅前付近にご飯屋さんや商業施設がまったくない。ふらっと入れるカフェなどがあると、人が集まるのでは？ ぼたん通りに活気が出てくると良いが...
男性	30 歳代	駅前の横断歩道前に、駐停車禁止にもかかわらず、送り迎えしている車が我が物顔で駐車しています。しかも、右にウィンカーを出して、その車を抜こうとすると、死角になった場所から車を降りた高校生が飛び出してきたりすることも...。駐車できなくする方法を考えないと、問題解決にならないし、いつか、交通事故が引き起こります。
男性	30 歳代	東松山駅近辺にスーパー等がなく、非常に不便。小さい子どもがいる家庭で車がない人は、買物をするにも苦勞する。ホテル建設等、観光に力を入れるのもいいが、住民の利便性を考えないまちづくり計画は、人口の流出を招く。
男性	30 歳代	駅西口の再開発をぜひ進めていただきたいです。
女性	30 歳代	高坂地区ばかりではなく、松山地区など市内中心地の整備、発展に力を入れていただきたいです。中高年向けの衣料品店が少なすぎる（イトーヨーカドー閉店、西友衣料品部門撤退、松山地区のユニクロ閉店 etc...）。車、免許のない人にもやさしい街にしていきたい。
女性	30 歳代	駅はきれいだけど、何もなくなってしまった印象が強いです。待ち時間など過ごせる場所があると、もっと人が集まると思います。より良い街になることを楽しみにしています。いつもありがとうございます。
女性	40 歳代	高坂ばかり良くなって、肝心の東松山駅の周辺は閑古鳥が鳴いたままです。どちらが主要な街なのかわかりません。高坂も良いのですが、主要は東松山駅周辺だと誰もが思うように力を入れていただきたい。
女性	40 歳代	（昼も夜も）駅前の活気のなさがとても気になります。日曜日は歩行者天国にしてテーブルやイスを出して、各店の料理が食べることができ、フリマやイベントが行われるとか...
男性	40 歳代	駅からのバス路線が少なく、自家用車、またはタクシーに頼らざる得ない状況、もう少しバスの種類が多い方が良くと思います。
男性	40 歳代	ぼたん通りが寂しすぎる。遊園地、ボーリング場（スポーツアトラクション施設）、卸売量販店...そういった施設をつくらなければ、東松山はクールでおもしろい街になると思う...！ とにかく、今の東松山は遊ぶところもないし、つまらない。

性別	年代	市民の声
男性	50 歳代	駅前などに、文化的な施設があると良い(公共施設と商業施設を融合させるなど)。
女性	50 歳代	駅の周辺に緑が少ないと感じます。立派な駅にしても活気もなく、かといって自然も感じられず残念です。
女性	50 歳代	駅に隣接した場所に待ち合わせできるお店、お客様が快適に待っている場所があると助かる。加えて、お土産など、東松山の銘菓が買える店もあるといいです。
女性	60 歳代	駅前が寂しい。駅と一体になった大型の商業施設をつくれませんか？街の活性化につながると思う。
女性	60 歳代	高坂・ピオニウォーク近辺が元気な中、東松山駅近辺は、忘れ去られている感があります。子どもが元気にスポーツできる施設等、もう少し考えていただきたいです。
男性	60 歳代	集客能力が高く、長期的な経済効果が見込める”まちづくり”が求められます。駅周辺でシャッターを締め切ったお店などを見ますと、何とかならないものかと思えます。まさに、東松山市の活気度を象徴するものです。 駅は、その街の中心です。そこにできるだけ人を集めて（当然、文化施設などの利用も含め）繁華街を取り戻すためには、交通機関、区画整理なども含めた多角的な施策が必要です。多角的な施策によるシナジー効果を期待する。分散型では効果は望めない。
男性	70 歳代	ぼたん通り商店街を何とかしてほしい。街路樹を植える、ベンチを置くなど（魅力的な店の誘致）。
女性	70 歳代	丸広通りが車の通り道になっている。人が集まるよう工夫してほしい。日陰をつくり（木を植える）、高い場所にハンギングフラワーを取りつけ、整備は市の予算を工面し、美しい通りにしてもらいたい。見て美しければ、人が集まり、店主も店のことを少し考えるだろう。
女性	70 歳代	東松山駅近くに食品スーパーができてほしいです。歩道の凸凹が多くて危ないです。
男性	70 歳代	高坂地区の活性化に成功したようですが、市の中心部（市役所～東松山駅）の空洞化は止めようがないのでしょうか？ 今後は、エネルギーと熱意と金をかけて活性化を図ってほしい。商店個々の努力には限界があるので、複合化とネットワーク化を進めるべきでしょう。
—	無回答	駅前マンションばかりでなく、スーパー、商業施設などの充実をとにかくしてほしい。買物に高齢者が大変困っています。車に乗らないで買物へ行けるようにしてほしい。

■3 環境について

性別	年代	市民の声
男性	20歳代	都幾川がとにかく汚いし、臭う（アユかニジマスがいるくらいにしてほしい）。近くの田んぼは、20年前まではホテルがいた記憶がありますが、今はいないのが残念です。
女性	30歳代	新しい家、アパートなどが建ちすぎ。緑が減り、景観も悪くなった。いろいろなところから富士山が見えていたのに残念です。山も空も狭くなった。高坂地区に子どもが集中しすぎ。偏っていると思う。
女性	40歳代	六軒町のどぶ（下水）さらいをやってほしい。ずっとやっていないので、お願いします。以前に近所の方もお願いしているようですが、実施されていません。
女性	40歳代	温暖化対策、エコとかで太陽光発電設備を町中に置くことはしないでほしい。緑地を破壊して、太陽光発電用パネルが置かれていることがとても悲しい。「緑地維持」で美しい街、自然の再生こそ、市の魅力にもなる。
女性	50歳代	駅周辺を他の駅と同じような景観にするような開発はやめてほしい。
女性	50歳代	開発ばかりではなく、自然を残してほしい。20年前に比べカワセミ、エビガニが減り、外来種アメリカザリガニが増えた。木を切って開発するのはもうやめてほしい。
男性	50歳代	九十九川がドブ川なので下水道を整備して、水遊びのできる川にしてほしい。千年谷公園の貯水池を地獄坊池のように、魚がいる池になるよう井戸を掘り、いつも水を流してほしい。
女性	50歳代	街路樹の落葉を、一年中掃除をされていて、ゴミ袋は自分で負担しています。労力と負担をどうにかしてほしい。
男性	50歳代	企業誘致は良いこともたくさんあると思うが、私の生活では、朝の4時半頃より、大型トラックやダンプカーなど大型車による、騒音や振動が増したような気がする。住みづらくなってきている。
男性	50歳代	自分が住んでいるところは、農地地区(野本地区)ですが、開発地区にせず「この静かさが最高」と考えます。多少の不便性があっても環境の変化は受け入れられません。
女性	60歳代	松葉町に住んでいます。スーパーがないので、若い人たちは不便を感じていませんが、年寄りたちは買物がとても大変です。
男性	60歳代	市全体がエコにどう取り組むか、もっと議論が必要だと思う。エコタウン化を目指してほしい。エネルギーやごみ処理、仕事 etc. …。取り組み方はいろいろありそうですね。
男性	70歳代	東松山大橋下流、都幾川を旧都幾川に分流し、水を流し入れることで、旧都幾川がきれいになり魚が棲むようになりました。自然と調和する環境未来という言葉が調査書の中にありましたが、旧河川に水を流すことでいろいろな生き物が棲み、自然と調和するのではと思います。
男性	70歳代	「上沼」と「下沼」の水質を良くすることに心してもらいたい。
男性	70歳代	犬のフン、タバコの吸い殻など道路に捨ててあると気分が悪くなります。対策をとってください。

■4 防災・防犯・安全について

性別	年代	市民の声
女性	20 歳代	街灯が少なく、夜歩くのが怖いので、増やしていただければと思います。いつも、東松山のまちづくりに頑張ってください、ありがとうございます。
女性	20 歳代	夜間に暗い道がまだ多いので、街灯など明かりがあると不安が減ると思います。高坂周辺は道路もキレイで歩きやすいです。松山の方が車中心な生活の方が多からか、歩道が狭く、自転車で通るには不便なところが多い印象です。
男性	30 歳代	私が生活している周りは街灯も少なく、日が落ちればかなり暗くなってしまう。その影響か定かではないが、アパートの敷地内に駐輪していた自転車を盗まれてしまった。当たり前の暮らし・安全・権利、それが守られる街であれば、それ以上望むことはない。
女性	30 歳代	地域の人があまり苦痛ではない程度の、ゆるやかな距離でつながることができる、有事の際に協力できるのではないかと感じます。
女性	30 歳代	災害時などみんなで力を合わせなければならないことは、重々理解できますが、家庭に立ち入るようなご近所付き合いを求めたり求められたりすることが少し苦痛です。なかなかうまい距離感が取れません。自治会を抜けることも許されず、思いのほか住みにくく感じています。自治会とは別のシステムは考案されないでしょうか。
女性	30 歳代	道路に歩道が少なく、登下校している子どもたちが危ない。運転する方も気を遣うため、整備をしてほしい。また信号機のない大きな交差点も多く、渡れない子どもたちをよく見かける。
女性	30 歳代	和泉町内は大雨が降ると、浸水してしまう箇所が多くて困ります。家を出てすぐに、靴がびしょりになってしまう子どもがかわいそうです。我が子もそのうちの1人です。
男性	40 歳代	東松山市は河川が多く、近年豪雨による被害も全国で発生しているため、治水事業の強化をお願いします。
女性	40 歳代	高坂駅周辺はところどころ電灯がなく、危険な場所も見受けられます。十数年前、緑が豊かで犯罪がない街に惹かれ引っ越してきました。このまま、より良い環境で、この東松山で生活していきたいです。
女性	50 歳代	私の住む地域・岩殿の避難所はどこなのでしょう？ 2km以上離れた桜山小、白山中へは、災害があったときに移動は無理だと思います。岩殿会館も安全とは思えません。区長に聞いてもわからないようです。
女性	50 歳代	石橋在住ですが、夜道が怖かったですね。バスも走っていないので、駅から30分くらい歩く中、街灯が少ないため、途中走ったりしていました。ひたたくりにあったこともあるので、後ろから来るバイクにはいつも注意しています。
男性	60 歳代	大型車の通行増加で危険となった神戸大橋の通学路の安全確保。
男性	60 歳代	防災対策の充実、強化。特に独り暮らしや高齢者への対策と、地域の支え合いの支援策をさらに進めていただきたい。
男性	60 歳代	集中豪雨や台風時、行政無線の内容がほとんど聞き取れない。災害時の情報伝達方式を検証すべきと思う。

■5 保健・医療・福祉について

性別	年代	市民の声
女性	20 歳代	ニュースでどこかの市町村は、難病の人の電車賃が半額になるという制度を見ました。私は難病なので、東松山市もそういう制度ができるとうれしいです。それから難病指定機関になっているにもかかわらず、それが適用されない個人病院が多いので、難病の人が病院にかかりやすいように働きかけてほしいです。
女性	30 歳代	待機児童を気にせず、子育てと仕事のできる市になってほしいです。まだまだ保育園が不足しているので、増やしてほしいです。兄弟が同じ保育園に必ず入れるようなシステムにしてほしいです。子育て期間は短いですが、その時期はとても大変なので少しでも改善して、よりよい場所になっていくことを期待しています。
女性	30 歳代	子ども2人を育てています。保育園時代は、病気の時、実家に預かってもらい働いていました。病児保育の充実があれば、有り難かったと思います。子どもが参加できるイベントや行事があるとうれしいです。子どもが元気に過ごせるような環境があるといいと思います。
男性	30 歳代	小・中学校の給食費を市がまかなってほしい。
女性	30 歳代	ソール・マールを3歳までではなく、年齢を引き上げてほしい。また、1つを児童館にしてもらいたい（時間帯やスペースを区切ってもいいと思う）。
女性	30 歳代	私には未就学児がいますが、東松山の子育て支援センターは有料なので、ほとんど利用したことがありません。以前、住んでいた狭山市は無料だったので頻繁に利用していました。無料化を検討していただきたいです。
女性	30 歳代	滑川町のように、高校3年まで医療費が無料になると助かります。
女性	40 歳代	兄弟で別々の保育園に通わなければならない現実、子育てしながら仕事をするものにとって、どれだけ大変か検討していただきたいです。また、保育士不足の中、何とかやりくりして保育している園もあります。他の職業に比べ責任も重く、そのわりに給料がかなり低いことが原因の1つだと思います。早急に検討してください。
女性	40 歳代	保育園に通っている子どもがいます。延長保育申請を行った際、払込用紙が送られてくることありますが、コンビニで払えず、郵便局か銀行のみなので、とても不便です。窓口は15時か16時までなので、共働きだと普通は行けません。保育園が少ないことや、学童が学校と隣接していないなど、子育てにおいて不便な点が多いです。
女性	40 歳代	シニアが気軽に行けて集える場所があるといいと思います。身近にあると、いきいきとした老後を迎えられる気がします。空き家等を施設化し、カフェスペースなどをつくれば、お金をそんなにかけなくて済むと思います。
女性	50 歳代	「保健センター」が駅より遠いので、小さい子どもを持つ親、またはシニア世代はなかなか行く機会を選べません。良い方法はないでしょうか？
女性	50 歳代	介護保険が使いづらいと思います。
女性	60 歳代	子育て支援も大切だが 障害者とその家族にも目を向けてほしい...

■6 教育・文化・スポーツについて

性別	年代	市民の声
—	無回答	小・中学校、高校の熱中症対策を本格的にやっていただきたいです。
女性	20 歳代	閉鎖してしまった市民プールに替わるプールをつくってほしいです。私が小学生の頃は、夏休みに何回も遊びに行っていて、楽しい思い出をたくさんもらいました。今の子どもたちに、もっと遊べる場所をつくってあげてください。
男性	30 歳代	空き地にフットサル場、運動場（子どもが気軽に使える）をつくる。
女性	30 歳代	高坂のピオニウォーク周辺から駅周辺にかけ、住宅化が進み人口が増える一方で、高坂小学校や学童はパンクの状態であり、子どもたちの学習、生活環境がどうなっていくのか心配。開発の一方で、それにどう対応していくのか、具体的な施策を示していただきたいと感じます。
女性	30 歳代	子どもをしつけられない親が増えている。外出すると、子どもをほったらかしで大人同士が話に夢中になっており、子どもはお店などで走り回っている。ダメなことはダメと教えるのが教育です。
男性	40 歳代	ごみ焼却する熱を利用した温水プール、映画館、コンビニ、ボーリング場が必要だと思う。
女性	40 歳代	市民体育館の天井の光が入るところを直してほしい。エアコンの設置をしてほしいです。
女性	40 歳代	古い建物を有効に活用して、文化的な発展に役立ててほしい。芸術的な催しや、その支援を積極的に行ってほしい。また、緑化推進も！
女性	40 歳代	図書館の蔵書をもっと充実させてほしい。地域外の館から、手軽に所蔵のない本を相互利用で取り寄せられるようにしてほしい。
女性	40 歳代	スポーツ施設等を駅近くに集結（例えば川口スポーツセンターのような施設）してほしい。
男性	50 歳代	松山城址の遺構整備（吉見百穴とセットで観光資源化）。
女性	50 歳代	興味がある講座などは、平日や定員が少人数、親子参加のため受けることができません。仕事帰りに気軽に行ける、ちょっとした習いごとの講座があったらいいなと思っています。また、休日は図書館を利用しています。長時間利用の方のために、別室があればよいとも思っています。閉館時間をもう少し遅くしてもらえたらとも思っています。
男性	50 歳代	サッカーの指導をしているので、東松山陸上競技場や岩鼻サッカー場、昔は新郷グラウンドなど利用させていただきました。東松山には素晴らしい運動施設がありますが、唯一、サッカーの人工芝グラウンドがありません。子どもから大人まで、市民が利用できる人工芝グラウンドをつくる時期に来ていると思います。
男性	50 歳代	東松山庭球場のクラブハウス改築はとても残念でした。特にトイレが下足で利用できず、利用者のことをまったく考えていないテニス未経験の素人の計画だと思っています。全国の庭球場であのようなトイレは、私が知っている限りありません。
男性	70 歳代	将軍塚古墳を中心に古凍・高坂地区を含め、東松山は古代から遺跡の多い場所です。未発掘の遺跡も多いと思います。高坂東側の区画整備でも証明されたと思います。埋蔵文化財の保管と一般市民の入館の便を図り、関心を持たせる政策を考慮してください。

■7 産業について

性別	年代	市民の声
男性	20 歳代	空き家対策、企業誘致を積極的に行ったらどうでしょう。
女性	20 歳代	就業支援をしてほしい。できれば民間で働いていた 50 歳以下の人材。
女性	30 歳代	太陽光パネルの個人購入は高額すぎるが、日照時間の長さを有効に利用できないか。
女性	40 歳代	東西南北、どこへ行くにも便利な交通事情をたくさんアピールして、企業を誘致してほしい。
男性	40 歳代	農業振興を重点に置き、取り組んできていると思いますが、農地が転用されるケースも多くなってきている。現在、農地として利用され、元気に農業が盛り上がっている新郷地区は、末永く農業振興の中心として農地を確保してほしい。また若手農業者の中心地区であることも考えて、農地としてぜひとも残してほしい。
男性	50 歳代	東松山 IC 周辺は、鶴ヶ島 IC や花園 IC 周辺のように活気ある沿道サービス業を出店誘致し、にぎわいのある街の顔として開発が進めばいいと思う。
女性	50 歳代	長い計画が現実化され、高坂は人口が増え、小学校はパンク状態になり、希望どおりの小学校へ通えない子どもたちがいると聞きました。その子どもたちが、成人したあとも住み続けられるような魅力ある街になればいいと思います。そのためにも、東松山で働く場所が増えればと思います。人々が潤えば街が潤い、いずれ国も潤うと思います。
女性	70 歳代	いなほてらすの活性化（現在は、当初よりすたれた感じがする）。目玉となる品物の宣伝が必要では!!
男性	70 歳代	農業とは、人間が生きていくうえで必要不可欠な食の生産現場です。現状はどうでしょう...?? 食と農のイベントを企画し、農と街を元気にしていただきたいです。
男性	70 歳代	将来構想として、先端技術研究文化都市を目指したい。当地には物流として関越、圏央道が通っており、新鮮な水資源としては川があり、風水害・地震は比較的少ない環境に恵まれている地域である。このような立地条件から、IT 技術を基盤として将来の AI、ロボティクス、クラウド等の先端技術研究拠点を構築したい。 これを目指す企業を誘致し、基礎分野は埼玉大学の研究所を当地に築き、産学一体とした一大研究都市を提案する。また文化都市の中では、世界的価値のある丸木美術館を新築し、観光客誘致にも力を入れたい。他方の一般の企業誘致は、引き続き力を入れる。
男性	70 歳代	農業振興地域の見直しをすること。東松山市の旧松山と旧高坂は 2 つの町ですが、野本地区の田園が邪魔して、誰が見ても 1 つの街とは見えませんよね。農地を整備して、市街化地域を整備して...。農業継承者は減る一方であることを加味してね。
男性	80 歳代	活気のあるまちづくり、地域社会とは東松山に来る企業によって決まります。電気自動車が主流になるトレンドの中で、自動車部品はどのようなのでしょうか？ BOSCH で良いのでしょうか？ 非常に心配しています。最悪のシナリオを想定し、クイックアクションを取り、被害を最小に食い止める考え方をどこかで持ってほしいです。

■8 情報について

性別	年代	市民の声
女性	20 歳代	東松山市が残していきたい技術や工芸品、人手不足で困っているところの情報をホームページなどに載せてほしい。
男性	20 歳代	東松山市は交通の便に特化していると思います。東武東上線で1時間以内に池袋（東京）など都会へ行けますし、秩父（+関越自動車道）や群馬方面といった、世界遺産や自然遺産にあふれる場所にも行ける、架け橋的な場所だと思いますので、東松山の魅力（やきとり、スリーデーマーチ等）をもっと日本中に発信していくといいと思いますので、よろしく願い致します。
男性	30 歳代	全国的に IT リテラシーの低さが目立つ。せめて東松山市民だけでもリテラシーを高めたい。インターネット SNS の使い方を誤ると被害者になるだけでなく、加害者になってしまうこともある。昨今では、リテラシーの低さゆえに加害者になってしまうケースが目立つ。まずは広報等でコーナーを設けて、少しでもリテラシーを高めたい。
女性	30 歳代	まちゼミの情報を知るのに、とても苦労しました。もっと情報が知りやすければ、応募できるのに残念です。
男性	30 歳代	東松山夏祭りを文化財に！ 市内外を問わず、もっと発信を！
女性	30 歳代	賃貸に住んで都内に勤めていると、まったく市の情報が入ってこない。Facebook などを見るが、直前すぎて参加できなかつたり、すでに終了していたりする。どうにかならないか。これで市に愛情を持てるかという無理だと思う。
女性	40 歳代	民間の賃貸住宅に住んでいると、市報などがまったく届くことがないので市政や、行事、健康教室等が情報として入ってこない。自ら市のホームページ等を見るのは必要などきのみ、または必要な情報以外は調べることがないので、地域とつながっている感覚はないに等しい。災害時の避難場所なども、わからない人が多いと思われる。一人暮らしの人に、どのように情報を届けるかが課題だと思う。
女性	40 歳代	県内の他の市町村と比べても、知名度が低いと思う。また、東松山の有名なものは...と聞かれても“これ！”というものが無い。他県の人にも知らない人が多い（場所、地名など...）。
女性	40 歳代	まっくんとあゆみんをもっとアピール（案内板、うちわ etc.に起用）してほしいと思います。
男性	60 歳代	市政、イベント、行事、芸術、観光、文化等の情報をリアルタイムで発信し、簡単に検索できるようにしてもらいたい。
女性	60 歳代	東松山市は古墳が多く、まちづくりに紹介してください。
男性	70 歳代	庭木、垣根などで緑化に取り組んでいるが、高齢化に伴い、剪定しないで放置している家が多くなってきているので、広報 PR してほしい。
男性	70 歳代	市のホームページは不十分である。市民との接点として、常に重視して今後ますます相互性を高めてもらいたい。
男性	70 歳代	スピーカーによる市の放送が聞き取りにくいので、コンピューター等を利用して聞き取りやすい音の周波数などを調べ、文章のキーを打てば、いつでも最善の音声で広報できるよう研究してもらいたい。いまは、担当者によりムラがありすぎるようです（とくに男性の場合）。

■9 市政について

性別	年代	市民の声
男性	30 歳代	産・学・官で連携をしてほしい。特に学。若年層、未成年のための行政サービス等を増やしてほしい。市の奨学金制度を見直して、もっと充実させてほしい。また、支給のハードルを下げしてほしい。
女性	30 歳代	深夜に市役所の近くを通ると電気がついていることが多いです。残業なのか、もしそうなら、残業させすぎている気がします。事業を見直して、削減できるものは極力削減し、残業率を減らした方がよいと思います。残業代だって税金ですよ？ もっと上の人には管理をしてほしいです。
女性	30 歳代	地方活性化のためにも、東京・渋谷区や世田谷区のような「パートナーシップ制度」を取り入れることにより、埼玉県に住む LGBT の人が東松山市に引っ越してくれば、街も活性化する。ニュースで話題になることで、東松山の知名度も全国的に上がると思います。
女性	30 歳代	不妊治療の助成金を、もう少し増やしてもらえたら、とても助かり頑張ろうと思える。
男性	30 歳代	高坂にもっと行政窓口が欲しい。
女性	30 歳代	市民病院が遠い。利用しやすくなる工夫をお願いしたい。 市民農園を増やしてもらいたい。
男性	40 歳代	私は、車椅子生活で体が不自由なので、もう少し広い駐車場やエレベーター、店などのバリアフリー化をやっていただけると助かります。
女性	40 歳代	公共施設の予約が WEB でできるようになって、大変便利になったと思います。ただ、確定のために窓口へ行かねばならないのが不便です。平日仕事をしている子育て世代の母親が、PTA 活動において施設を利用するケースなど、WEB 上で完結できるよう対応してほしい。
男性	40 歳代	空き家のリノベーション政策や、I ターン増の政策、国政と関係する政策について市のホームページにアップしてほしい！
男性	40 歳代	東松山市に生まれ、結婚・子どもにも恵まれ、現在も東松山市に家庭を築いています。同学年も多く東松山に住み続けている者もいますが、多くはブルーカラー人材です。ホワイトカラー人材は東松山市内に職がなく、市外で家庭を築いている実情です。市外で活躍された人材を市役所などで受け入れ、地元の発展に尽力できる仕組みや門戸を広げていただけると有り難いです。
女性	40 歳代	生まれたときから今に至るまで、ずっと東松山市民です。住みやすく安全で自然災害等も少なく、これから先も住み続けていきたいと思っています。今後の課題は、高齢化社会だと思います。家にお年寄りがいっても、不安なく暮らしていけるまちづくりを期待したいです。
女性	50 歳代	適正なお金の使い方をしてほしい。市役所内に暇な部署をつくらず、暇なら忙しい部署のカバーに回るとか考えてほしい。職員各々の業務や休憩時間を取れるかなど確認してほしい。
女性	50 歳代	川の堰の管理など住民にやらせないでほしい。みんな高齢化している。当番がまわらない。

性別	年代	市民の声
男性	50 歳代	小動物の保護活動のさらなる充実を望みます。殺処分を減らすための仕組みを整備する。ボランティア教育の充実...等。
女性	50 歳代	田園地帯は耕作放棄地が目立ちます。若い世代に利用方法を見出していただくか、東松山市として市の政策に利用していただくことはできないのでしょうか? もったいないと思います。
男性	60 歳代	市民意識調査票がいかされるように、市民の税金を無駄にしないでください。
男性	60 歳代	パソコンやホームページ等やらない者、できない者にとって、何もかもが不便でしょうがない。
女性	60 歳代	ごみの回収について、ペットボトル・ビン・缶の回収を毎週にしてほしい。
女性	60 歳代	不燃物について、収集基準が厳しすぎると思う。
男性	60 歳代	地域を特定し“朝市”等のイベント開催。市全体を見てバランスの取れた行政の平均値・均衡化（ある地域だけを重点視するのはダメ!）。
男性	60 歳代	第5次総合計画は、様々な課題や問題を網羅していて、よくできていると思う。森田市長の下、実現に向けて取り組んでいただきたい。市民も行政に頼るだけでなく、自分たちでできることは率先してやるのが大事と思料される。
女性	60 歳代	この先、老人だけの世帯戸数が多くなります。現在、一戸建てに老夫婦だけで住んでいます。あと10年くらいしたら、賃貸マンションかアパートに住みたいと思うのですが、民間物件の場合、年寄りには断られると聞きます。市営で入居でき、1階にスーパーマーケットがある建物があるといいと思います。
女性	70 歳代	いじめや虐待等が起ころぬよう、子どもたちがのびのびと育成できる社会、少子高齢化に伴う医療体制の充実、出会いの場を多く設け、人口が増えて活性化する安全なまちづくりを望みます。これからもよろしくお願い致します。
女性	70 歳代	私たち高齢者にとって、現在のごみ捨場は不便すぎます。遠すぎますし、車椅子利用者にとって毛塚の坂道はとても不便を感じます。
女性	70 歳代	粗大ごみを申し込めないのが不便です。他の都市のように、サイズによってコンビニでシールが買えるようになると助かります。
女性	70 歳代	市職員の募集については、知的障害者と精神障害者に受験資格を早急に認めるべきです。
男性	無回答	良い市にしたいなら、公務員の枠を越え土日・祝祭日も営業するなど、慣例にとらわれない行政を目指してほしい。職員も当たり前の対応を取らないよう市民に、良いサービスを提供してほしい。普通の市役所と同じでは良くない。

■10 その他

性別	年代	市民の声
女性	18歳・19歳	ショッピングモールが、さらにあるとうれしいです。
男性	18歳・19歳	いまどき「花」と「ウォーキング」だけでは生きていけない。雇用の充実、若者が来る観光地を。東松山に気象庁の観測台を。
男性	20歳代	生まれ育った街なので、これからも住み続けたいと思います。立地や自然環境、住みやすさなど良さが多くありますので、良いところは維持・向上させる一方で、防犯、健康長寿、エコなまちづくり等について、改善させていく余地があると思うため、何をとっても「最高」といえる街になってほしいです。
男性	20歳代	都心のベッドタウンとして、不便のない都市的生活と、豊かな自然と触れ合える里山的生活の両立をより図っていくべきと考える。
女性	20歳代	ピオニウォークができて以来、その周辺に家がたくさん建てられ、人が集まり、まちの風景が変わったなと思います。工場が増え、働き口も多くなったと感じています。今後の変化を楽しみにしています。
男性	20歳代	原付きのオリジナル・ナンバープレートは、50cc 以外も欲しい。
女性	30歳代	数年前に巡業で相撲を東松山で開催されたかと思いますが、また東松山に呼んでほしいです。とても、盛り上がっているように思えました。
女性	30歳代	東松山に住みはじめて2年弱ですが、いまのところ、気持ちよく生活できています。子育て世代としたら、ピオニウォークのような大型商業施設が増えると、お店を何軒も回らず一度にいろいろな目的の買物を済ませられるので、うれしいなと思います。
男性	30歳代	独身者が生活するのは、快適な環境とはいえません。
男性	40歳代	栄え過ぎず、田舎過ぎでもなく、程良いと思います。ただ、娯楽が少ないと感じます。
女性	40歳代	東松山市は緑豊かな場所が多く、平坦な道も多いので、自転車専用道路（サイクリングロード）、ウォーキングコースができるとうれしいです。
男性	40歳代	せっかくの豊かな自然や川があるので、もっと若者や家族連れが遊びに来られるキャンプ場やアウトドア施設があればいいと思います。
男性	50歳代	407号線（曹源寺のあたり）を川越の町並みのようにしたら、すてきかもしれない。
男性	50歳代	ぼたん園はとてもすてきと思いますが、1週間の短期間だけ。ぼたんが終わったら、また次の花が咲くように工夫してもらいたいと思います。せっかくの公園が泣いています。
男性	50歳代	日本スリーデーマーチに“婚活”を取り入れてみてはいかがでしょうか？ 婚活用のゼッケンをつけて、ひと目でわかるようにされたらいいと思います。20代～30代の方の参加が増えるのではないのでしょうか。スリーデーマーチがきっかけで結婚されたら、将来、東松山の人口増加につながるかもしれませんね。
女性	60歳代	「やきとり」の街のイメージです。やきとりカフェ、ブラブラ歩きコース、路地探検コース...女性が好んで来てくれるようなまちづくりが必要だと思います。その後で、電車と食事つきクーポン発行とか、都内からの集客を募ることも視野に入ると良いと思います。

性別	年代	市民の声
男性	60歳代	些細なことですが、スーパーのビニール袋が透明性でないという理由で、市のゴミ袋として利用できません。改善していただければ、エコに役立つと思いますが...
男性	60歳代	大分以前の話ですが、東松山駅前東口に大きな鳥居がありました。初めて来たときは、結構インパクトがありました。今後もこのような観光資源の開発に力を入れていただきたいと思います。
男性	60歳代	地域における役員選出など、考え方の相違によって、大分難儀な一面が出てきているのが現状である。選出方法を、考え直したらどうだろう。
男性	60歳代	スリーデーマーチがマンネリ化しているため、参加しても楽しくない。今年、飯能ツーデーマーチに行ったら、とても活気があった。
男性	60歳代	年1回ぐらい各町民代表による話し合いを！
女性	70歳代	一市民として、住みやすい街になることを希望します。子どもから老人まで普通の生活ができる街になればいいと思います。
女性	70歳代	国際交流の場、誰もが参加しやすいウォーキングコース、皆で協力して楽しめるイベントを検討し、健康づくりに役立て、長くつながっていけたらうれしいです。
女性	70歳代	いつまでも“やきとり”が名物では困る。活動センターやその他の施設に、ピアノを設置してください。合唱団が増えて場所が確保できない。
男性	70歳代	隣の吉見町に属していますが、松山城跡や吉見百穴を両市町の広域的な観光資源として、両観光協会などが協調して整備・宣伝していくべきであろう。両市町の行政サイトが最も一体的に動くべき絶好の対象である。
女性	80歳代	ずっと住み続けたいと思える、東松山市にさせていただくことだけです。
女性	80歳代	野本、石橋周辺のウォーキングコースで、自然の減少が残念に思う。ぜひこれ以上こわさないで！ 残すのも知恵です。
—	80歳代	自治という考え方がバラバラではないかと思われてなりません。東京のベッドタウン化していますので、地域の人々のつながり方が難しいなと思っています。

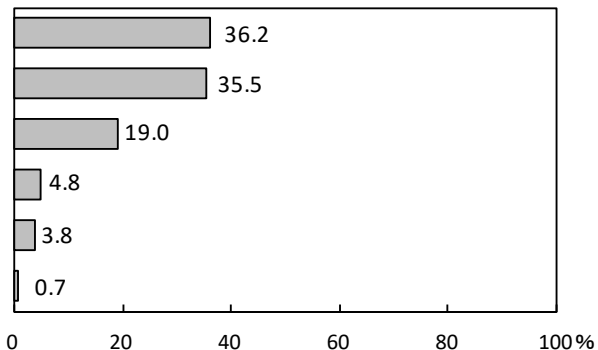
V 資料

調査への回答（単純集計結果）

<まち全体の印象について>

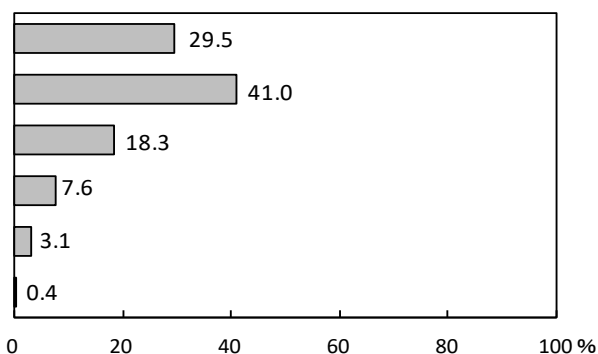
■問1. あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
愛着がある	442	36.2
どちらかといえば愛着がある	433	35.5
どちらともいえない	232	19.0
どちらかといえば愛着がない	59	4.8
愛着がない	46	3.8
無回答	9	0.7
全体	1,221	100.0



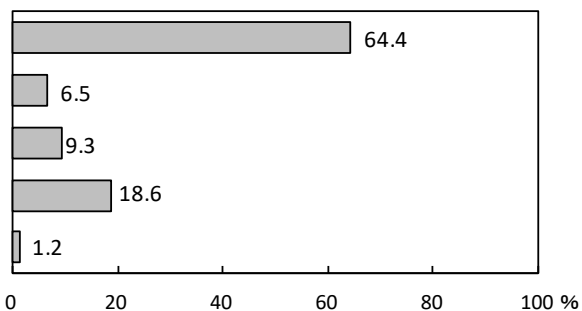
■問2. あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
住みよい	360	29.5
どちらかといえば住みよい	501	41.0
どちらともいえない	224	18.3
どちらかといえば住みにくい	93	7.6
住みにくい	38	3.1
無回答	5	0.4
全体	1,221	100.0



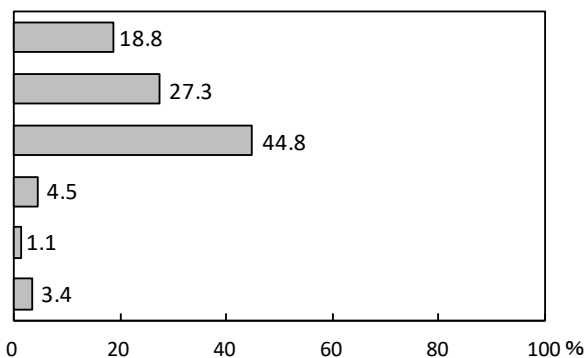
■問3. あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
現在のところに住み続けたい	786	64.4
東松山市内の別のところで住み続けたい	79	6.5
東松山市外へ移りたい	114	9.3
わからない	227	18.6
無回答	15	1.2
全体	1,221	100.0

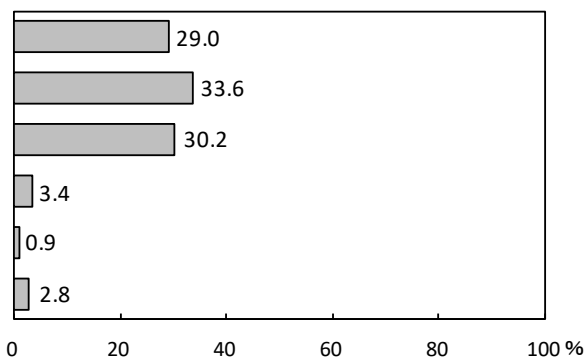


■問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。(単数回答)

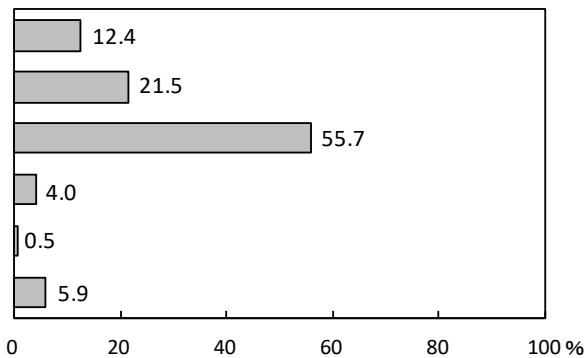
人柄・土地柄	回答数	比率(%)
よい	229.5	18.8
どちらかといえばよい	333.5	27.3
ふつう	547	44.8
どちらかといえばわるい	55	4.5
わるい	14	1.1
無回答	42	3.4
全体	1,221	100.0



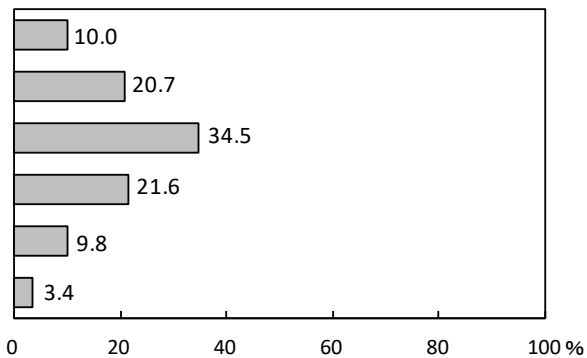
自然環境	回答数	比率(%)
よい	354.5	29.0
どちらかといえばよい	410.5	33.6
ふつう	369	30.2
どちらかといえばわるい	42	3.4
わるい	11	0.9
無回答	34	2.8
全体	1,221	100.0



歴史と伝統	回答数	比率(%)
よい	151	12.4
どちらかといえばよい	262.5	21.5
ふつう	680.5	55.7
どちらかといえばわるい	48.5	4.0
わるい	6.5	0.5
無回答	72	5.9
全体	1,221	100.0

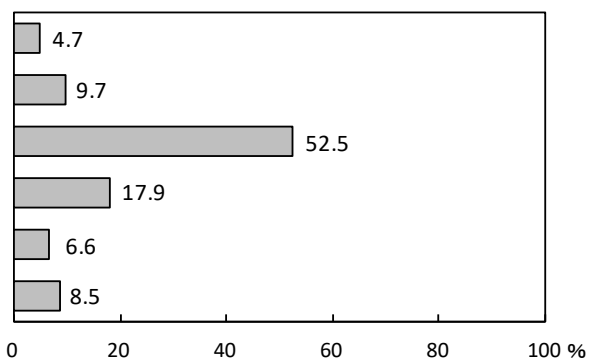


交通の利便性	回答数	比率(%)
よい	122	10.0
どちらかといえばよい	253	20.7
ふつう	421.5	34.5
どちらかといえばわるい	263.5	21.6
わるい	120	9.8
無回答	41	3.4
全体	1,221	100.0

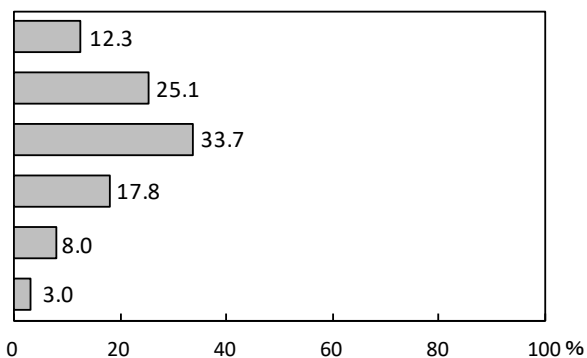


■問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。(続き)

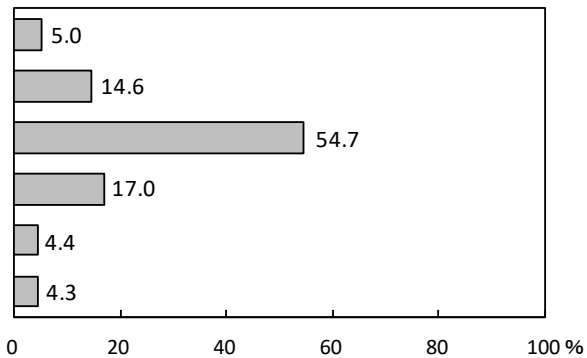
働く場	回答数	比率(%)
よい	57	4.7
どちらかといえばよい	119	9.7
ふつう	641.5	52.5
どちらかといえばわるい	218.5	17.9
わるい	81	6.6
無回答	104	8.5
全体	1,221	100.0



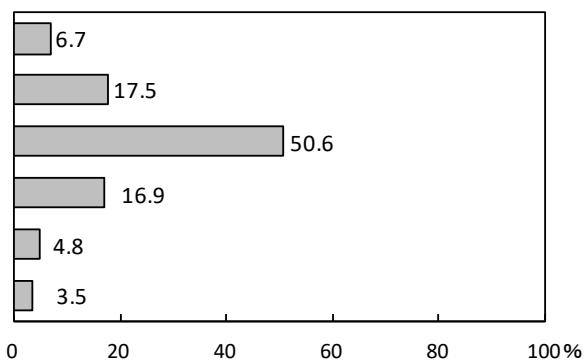
買物などの日常生活の利便性	回答数	比率(%)
よい	150	12.3
どちらかといえばよい	307	25.1
ふつう	411.5	33.7
どちらかといえばわるい	217.5	17.8
わるい	98	8.0
無回答	37	3.0
全体	1,210	100.0



教育・文化・スポーツ施設	回答数	比率(%)
よい	61.5	5.0
どちらかといえばよい	178	14.6
ふつう	667.5	54.7
どちらかといえばわるい	207	17.0
わるい	54	4.4
無回答	53	4.3
全体	1,221	100.0

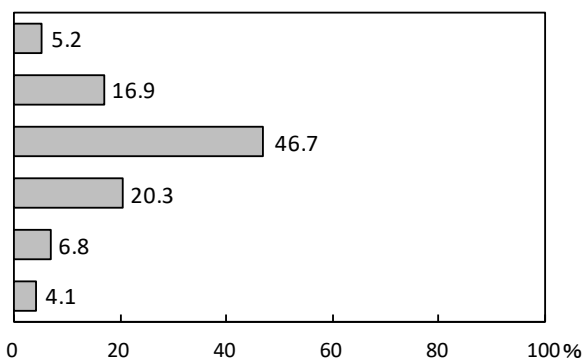


医療・福祉施設	回答数	比率(%)
よい	82	6.7
どちらかといえばよい	214	17.5
ふつう	618	50.6
どちらかといえばわるい	206	16.9
わるい	58	4.8
無回答	43	3.5
全体	1,221	100.0

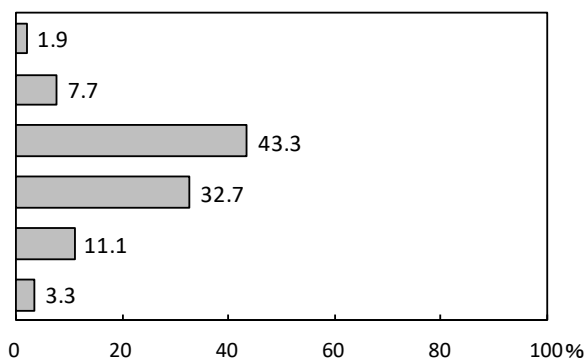


■問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。(続き)

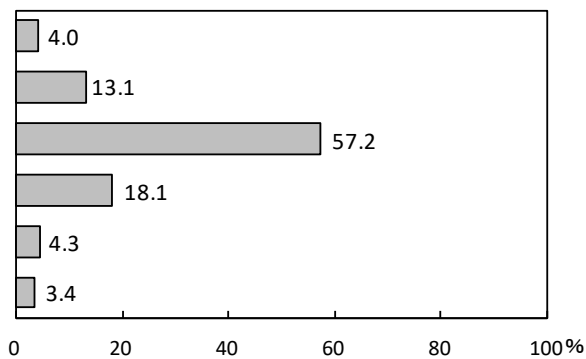
道路や公園等の生活の基盤施設	回答数	比率(%)
よい	63.5	5.2
どちらかといえばよい	206	16.9
ふつう	570.5	46.7
どちらかといえばわるい	247.5	20.3
わるい	83.5	6.8
無回答	50	4.1
全体	1,221	100.0



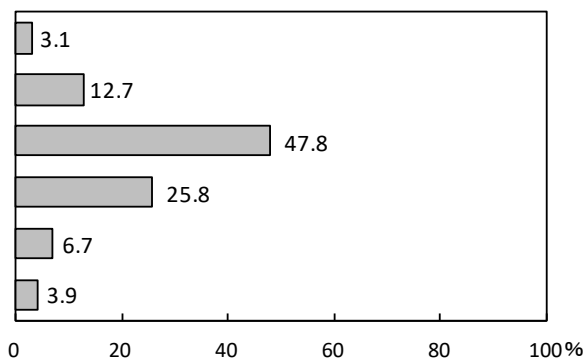
活気とにぎわい	回答数	比率(%)
よい	23	1.9
どちらかといえばよい	94	7.7
ふつう	529	43.3
どちらかといえばわるい	399.5	32.7
わるい	135.5	11.1
無回答	40	3.3
全体	1,221	100.0



街並みの美しさ	回答数	比率(%)
よい	49	4.0
どちらかといえばよい	160	13.1
ふつう	698.5	57.2
どちらかといえばわるい	220.5	18.1
わるい	52	4.3
無回答	41	3.4
全体	1,221	100.0

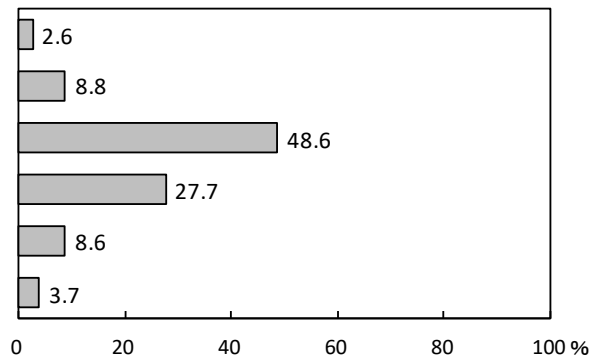


市の発展性	回答数	比率(%)
よい	38	3.1
どちらかといえばよい	155	12.7
ふつう	583.5	47.8
どちらかといえばわるい	314.5	25.8
わるい	82	6.7
無回答	48	3.9
全体	1,221	100.0

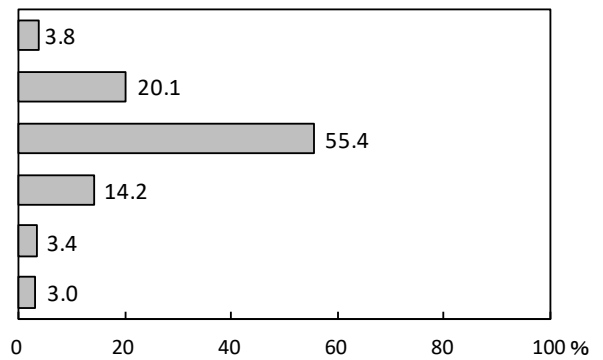


■問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。(続き)

都市としての個性や魅力	回答数	比率(%)
よい	32	2.6
どちらかといえばよい	107	8.8
ふつう	594	48.6
どちらかといえばわるい	338	27.7
わるい	105	8.6
無回答	45	3.7
全体	1,221	100.0



総合的に見て	回答数	比率(%)
よい	46	3.8
どちらかといえばよい	246	20.1
ふつう	677	55.4
どちらかといえばわるい	173	14.2
わるい	42	3.4
無回答	37	3.0
全体	1,221	100.0

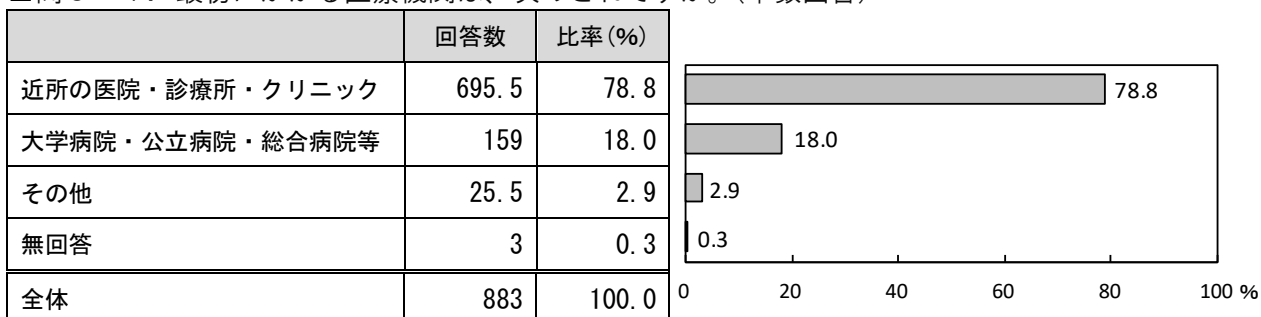


<健康や医療・福祉について>

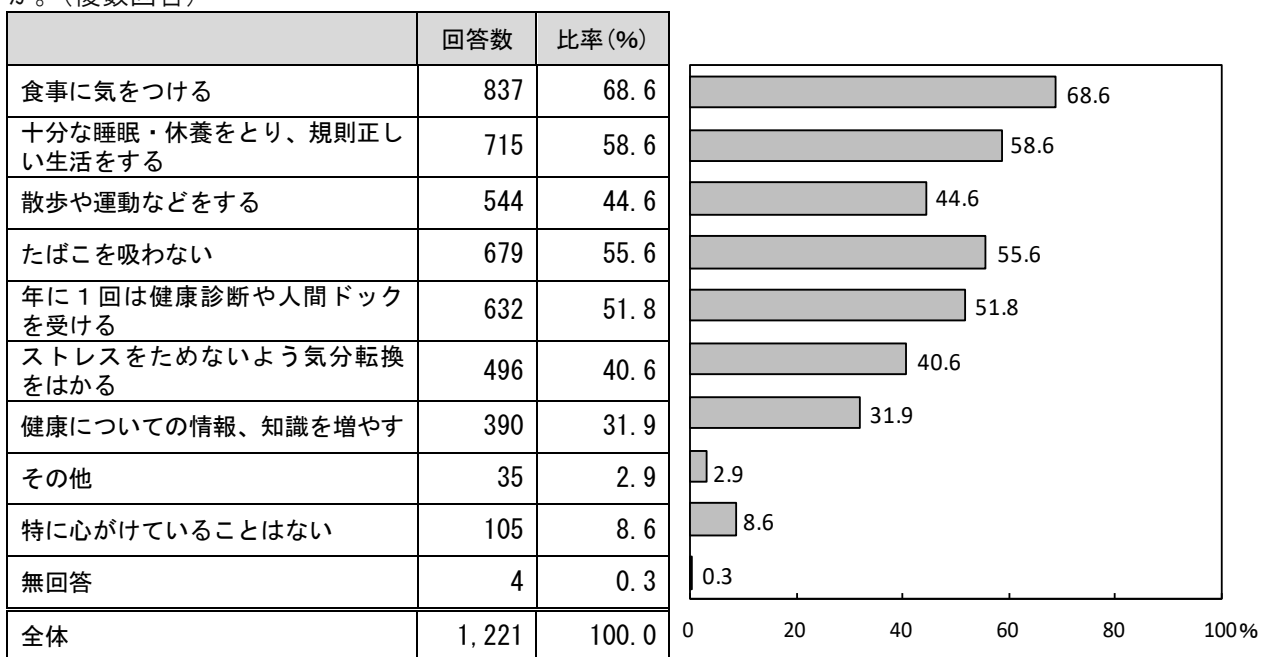
■問5. あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。(単数回答)



■問5-1. 最初にかかる医療機関は、次のどれですか。(単数回答)

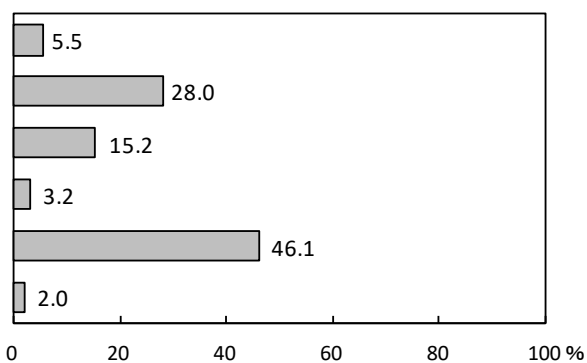


■問6. あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。(複数回答)



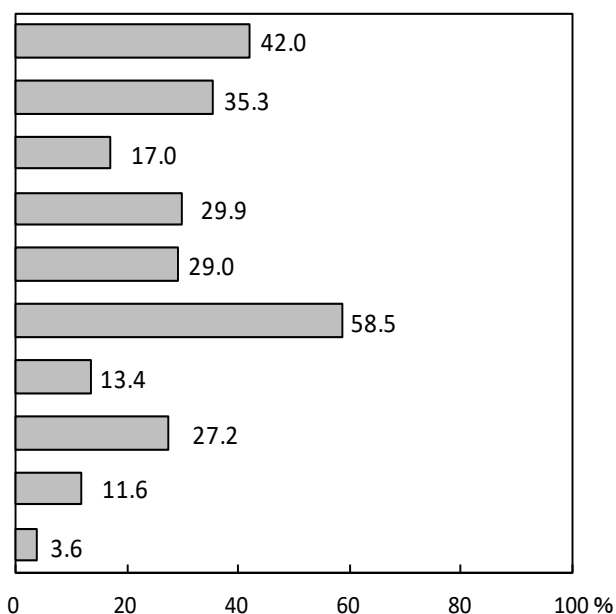
■問7. あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
整っている	67	5.5
どちらかといえば整っている	342	28.0
どちらかといえば整っていない	185.5	15.2
整っていない	38.5	3.2
わからない	563	46.1
無回答	25	2.0
全体	1,221	100.0



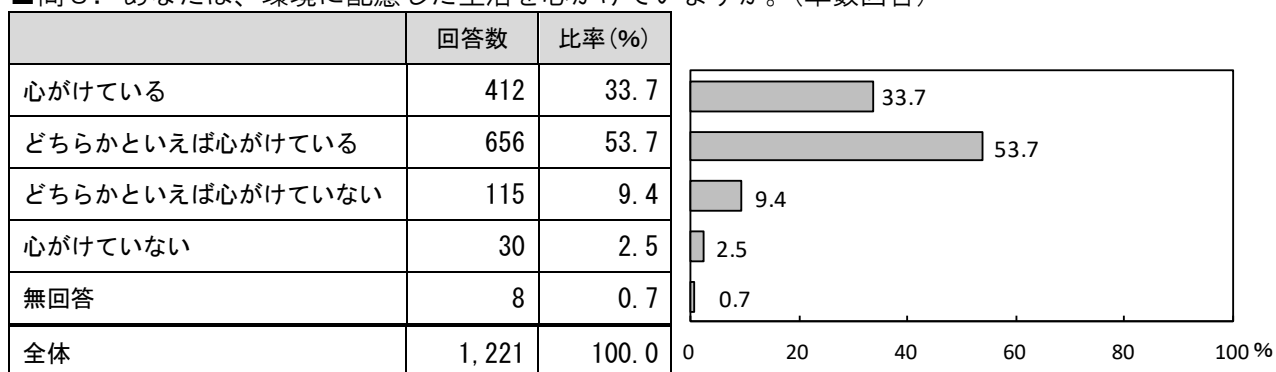
■問7-1. “環境は整っていない”と思う理由は何ですか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
保育所などの整備が不十分	94	42.0
働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分	79	35.3
子育ての情報や相談できる場が少ない	38	17.0
小児医療体制が不十分	67	29.9
学童保育など放課後の児童対策が不十分	65	29.0
子どもが安心して遊べる場が少ない	131	58.5
子育てする親同士の交流の場が少ない	30	13.4
子どもを連れて人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分	62	27.2
その他	26	11.6
無回答	8	3.6
全体	224	100.0

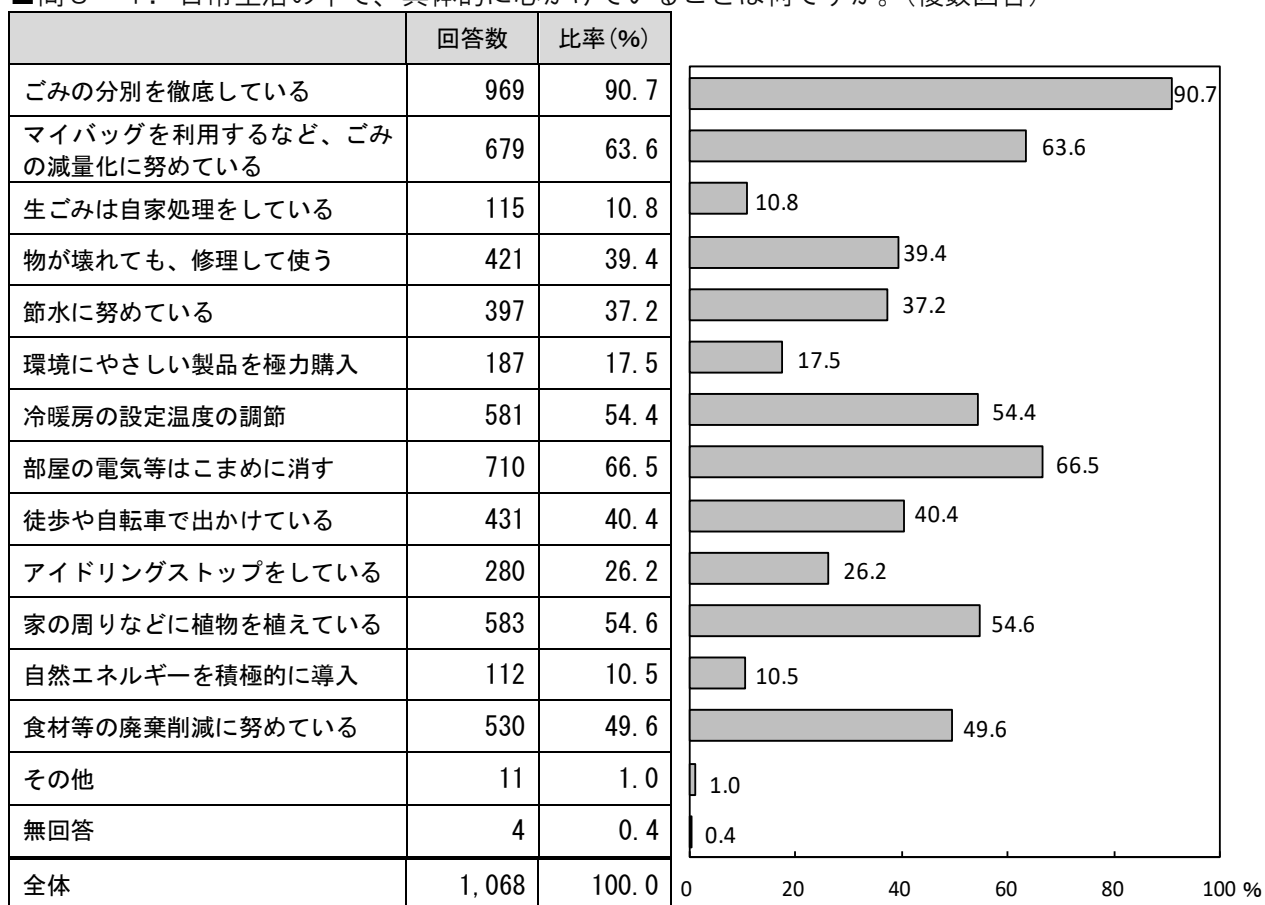


<環境について>

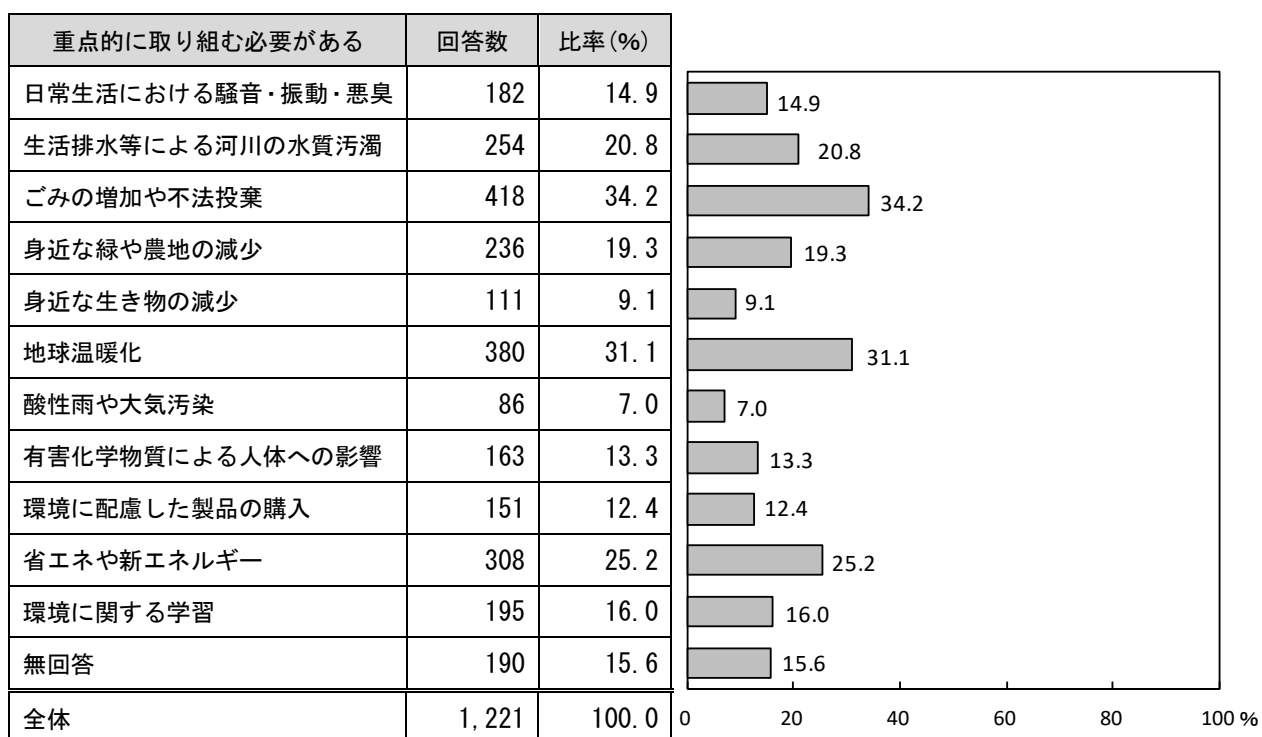
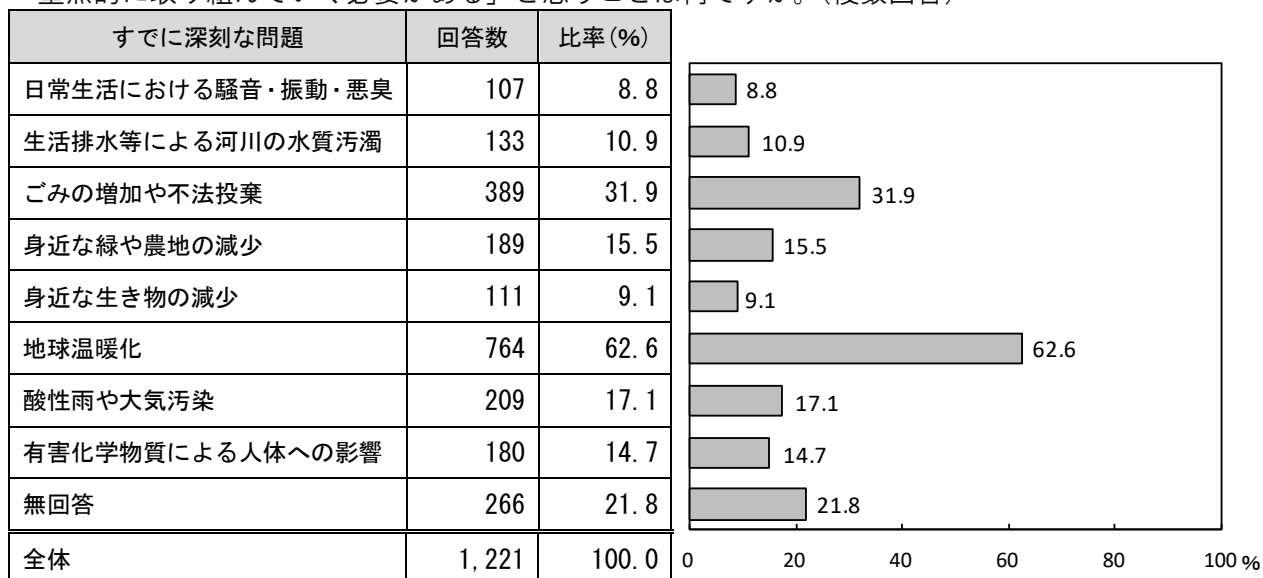
■問8. あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。(単数回答)



■問8-1. 日常生活の中で、具体的に心がけていることは何ですか。(複数回答)

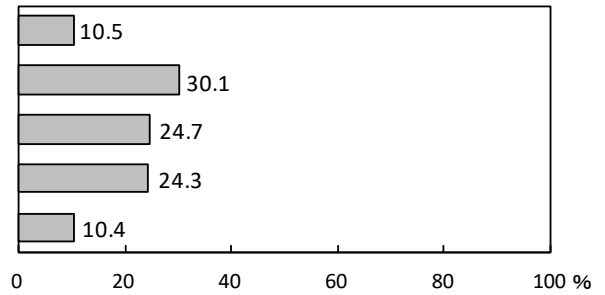


■問9. 環境問題について、「すでに深刻な問題である」と思うこと、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」と思うことは何ですか。(複数回答)

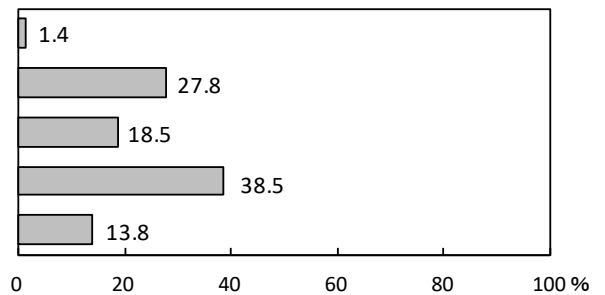


■問 10. あなたは、省エネ設備や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用していますか。(単数回答)

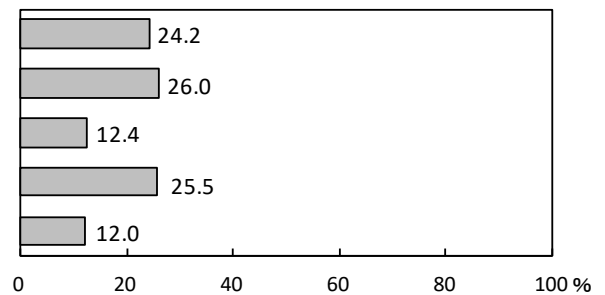
太陽光発電システム	回答数	比率(%)
利用している	128	10.5
利用していないが今後利用したい	367	30.1
利用したいとは思わない	302	24.7
わからない	297	24.3
無回答	127	10.4
全体	1,221	100.0



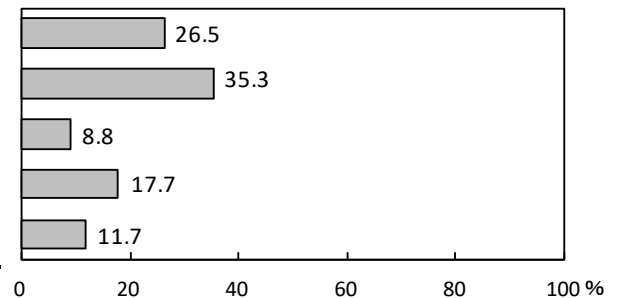
家庭用燃料電池システム	回答数	比率(%)
利用している	17	1.4
利用していないが今後利用したい	339	27.8
利用したいとは思わない	226	18.5
わからない	470	38.5
無回答	169	13.8
全体	1,221	100.0



高効率給湯器	回答数	比率(%)
利用している	295	24.2
利用していないが今後利用したい	317	26.0
利用したいとは思わない	151	12.4
わからない	311	25.5
無回答	147	12.0
全体	1,221	100.0

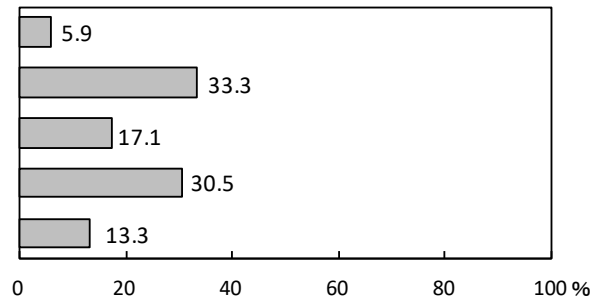


建物の断熱化	回答数	比率(%)
利用している	323	26.5
利用していないが今後利用したい	430.5	35.3
利用したいとは思わない	108	8.8
わからない	216.5	17.7
無回答	143	11.7
全体	1,221	100.0

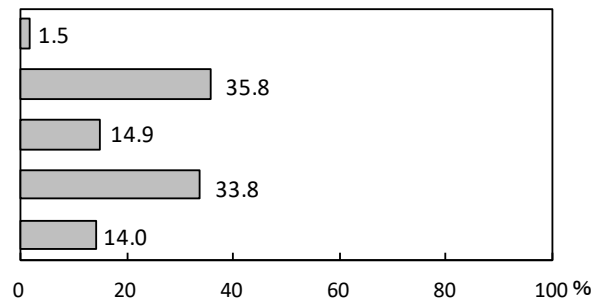


■問 10. あなたは、省エネ設備や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用していますか。(続き)

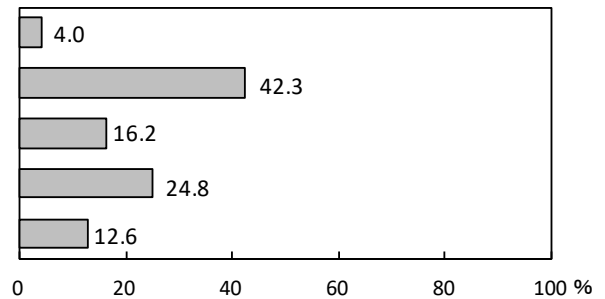
家庭の電気使用状況が 一目わかる機器	回答数	比率 (%)
利用している	72	5.9
利用していないが今後利用したい	406	33.3
利用したいとは思わない	209	17.1
わからない	372	30.5
無回答	162	13.3
全体	1,221	100.0



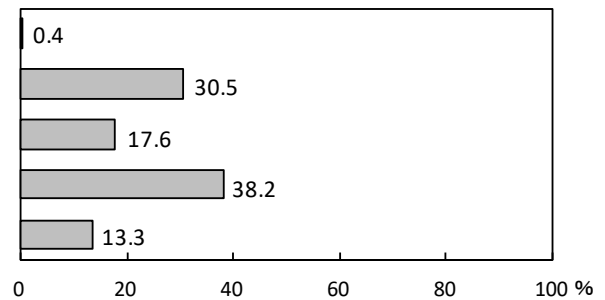
家庭用蓄電池	回答数	比率 (%)
利用している	18	1.5
利用していないが今後利用したい	437.5	35.8
利用したいとは思わない	182	14.9
わからない	412.5	33.8
無回答	171	14.0
全体	1,221	100.0



EVやPHV、燃料電池車	回答数	比率 (%)
利用している	49	4.0
利用していないが今後利用したい	517	42.3
利用したいとは思わない	198	16.2
わからない	303	24.8
無回答	154	12.6
全体	1,221	100.0



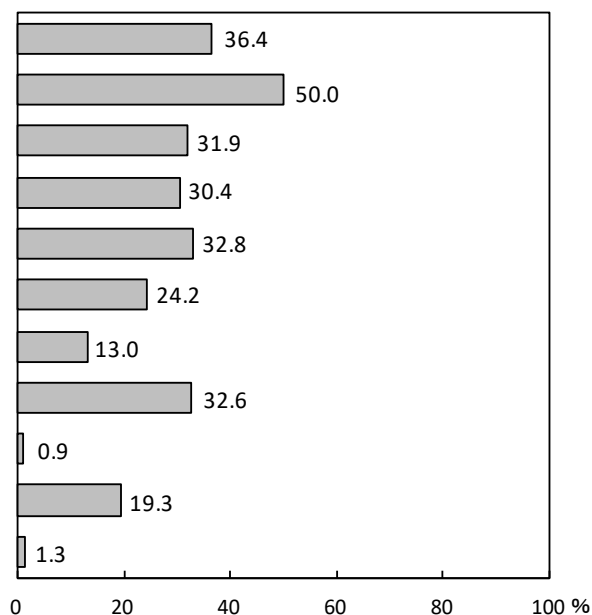
EVやPHVに蓄えた電気を使う機器	回答数	比率 (%)
利用している	5	0.4
利用していないが今後利用したい	372	30.5
利用したいとは思わない	214.5	17.6
わからない	466.5	38.2
無回答	163	13.3
全体	1,221	100.0



<防災・防犯・交通について>

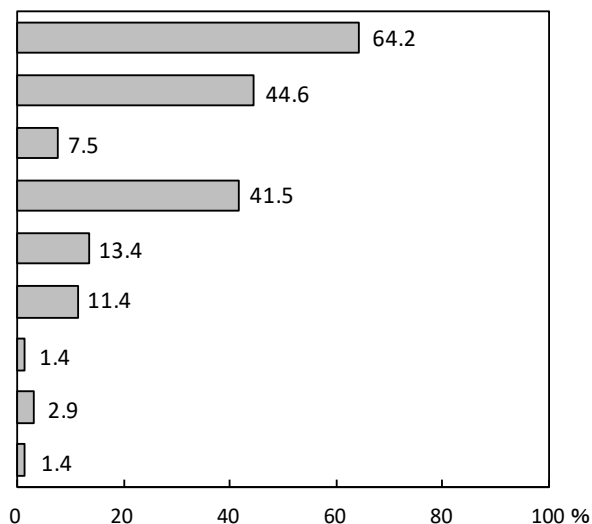
■問 11. あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
家族等との連絡方法を決めている	445	36.4
保存飲料水・食料品を準備している	611	50.0
非常用持ち出し袋を用意している	389	31.9
家財や家具の補強等を行っている	371	30.4
避難場所や経路を確認している	400	32.8
防災訓練に参加している	295	24.2
応急手当等の研修に参加している	159	13.0
消火器を準備している	398	32.6
その他	11	0.9
特に行っていない	236	19.3
無回答	16	1.3
全体	1,221	100.0

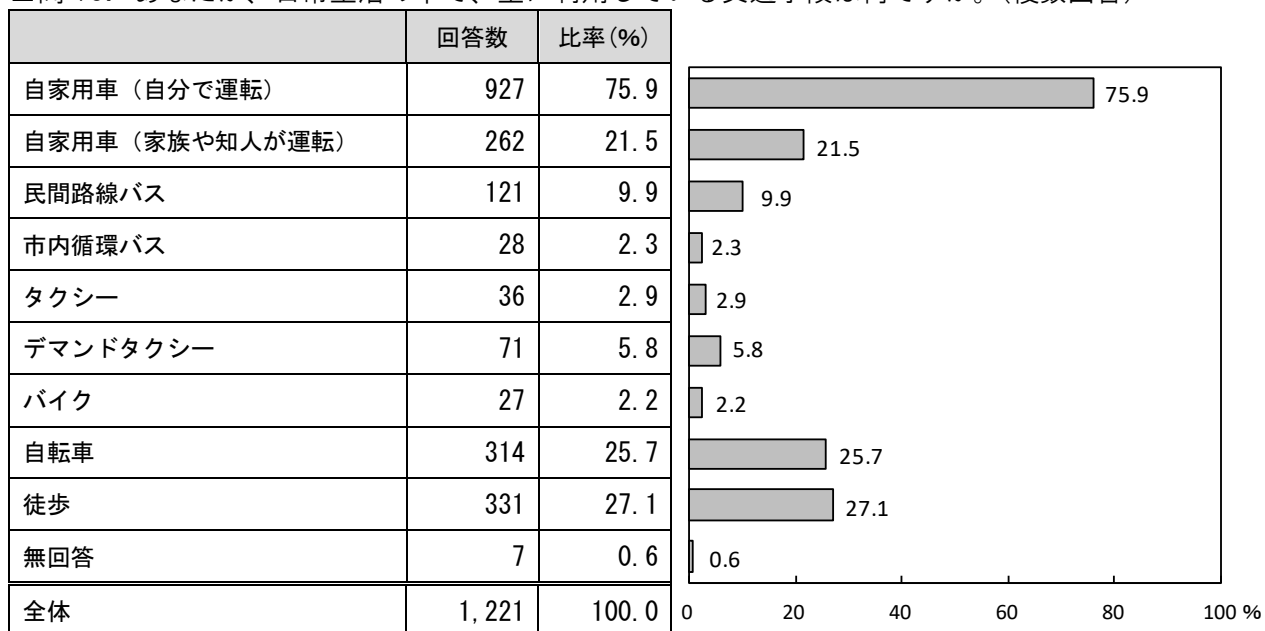


■問 12. あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政としてどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

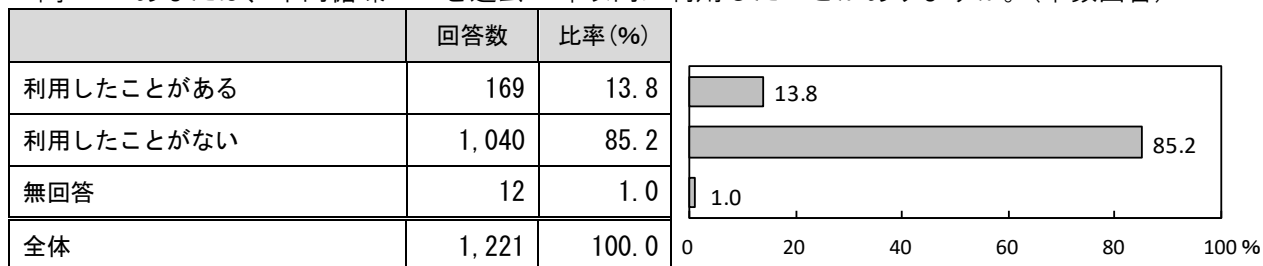
	回答数	比率(%)
防犯灯や街灯の数を増やす	784	64.2
商店街などに防犯カメラ	544	44.6
住民によるパトロールを行う	91	7.5
近所の人とのつながりや助け合いを深める	507	41.5
防犯協会や防犯団体活動の活発化	164	13.4
警察官の数を増やす	139	11.4
その他	17	1.4
特にない	36	2.9
無回答	17	1.4
全体	1,221	100.0



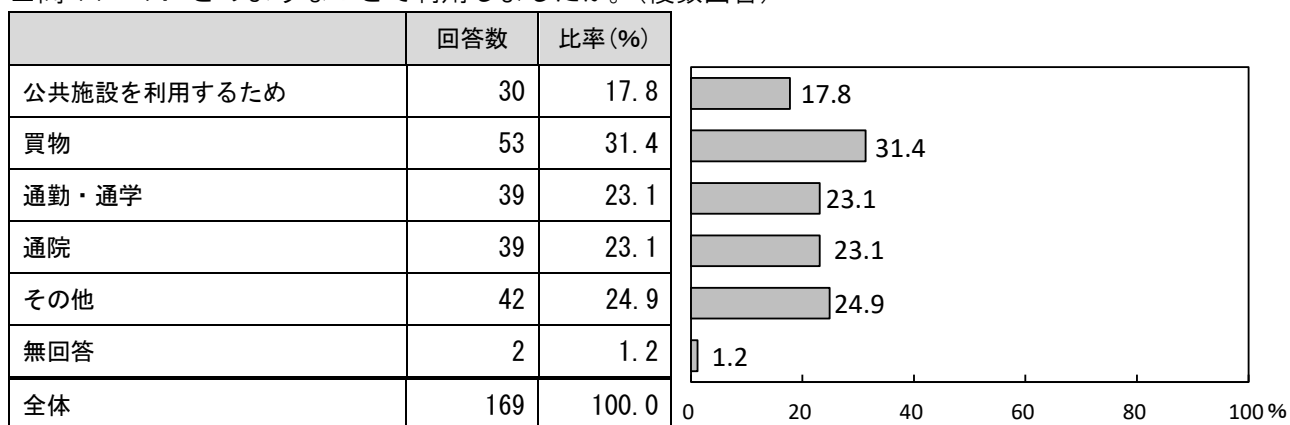
■問 13. あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。(複数回答)



■問 14. あなたは、市内循環バスを過去1年以内に利用したことがありますか。(単数回答)

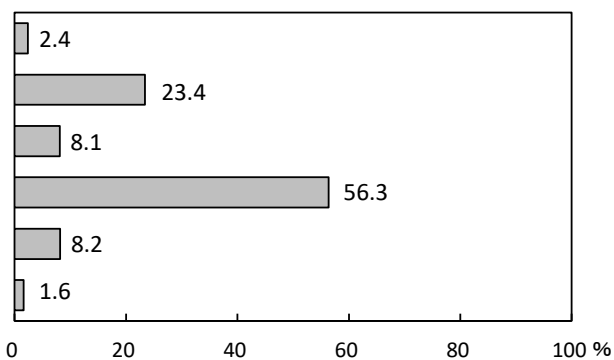


■問 14-1. どのようなことで利用しましたか。(複数回答)



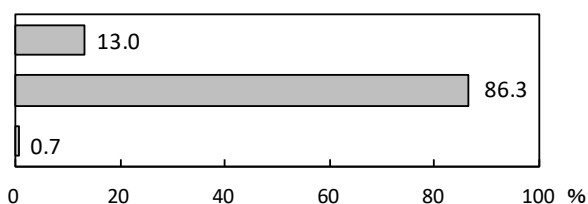
■問 14-2. 利用したことがないのはなぜですか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
市内循環バスを知らなかったから	24.7	2.4
近くに停留所がないから	243	23.4
本数が少ないから	84.5	8.1
ほかの交通手段を利用しているから	586	56.3
その他	85.2	8.2
無回答	17	1.6
全体	1,040	100.0



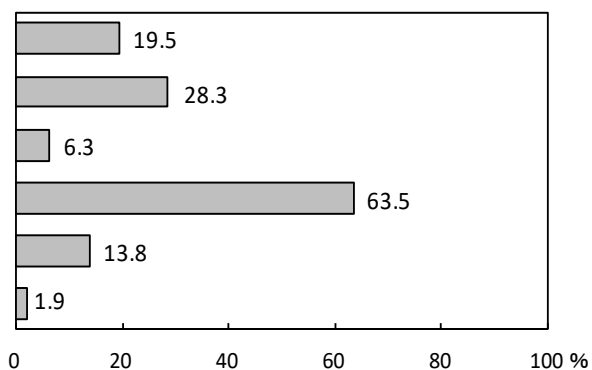
■問 15. あなたは、デマンドタクシーを利用したことがありますか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
利用したことがある	159	13.0
利用したことがない	1,054	86.3
無回答	8	0.7
全体	1,210	100.0



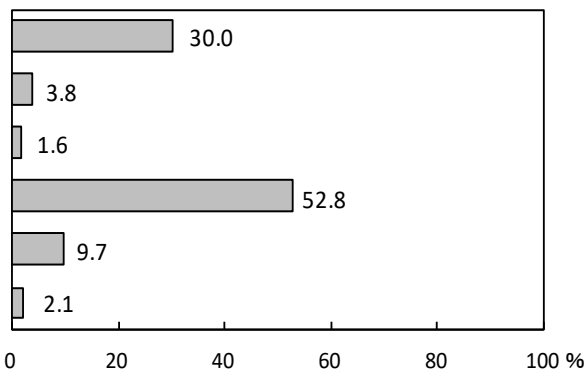
■問 15-1. どのようなことで利用しましたか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
公共施設を利用するため	31	19.5
買物	45	28.3
通勤・通学	10	6.3
通院	101	63.5
その他	22	13.8
無回答	3	1.9
全体	159	100.0



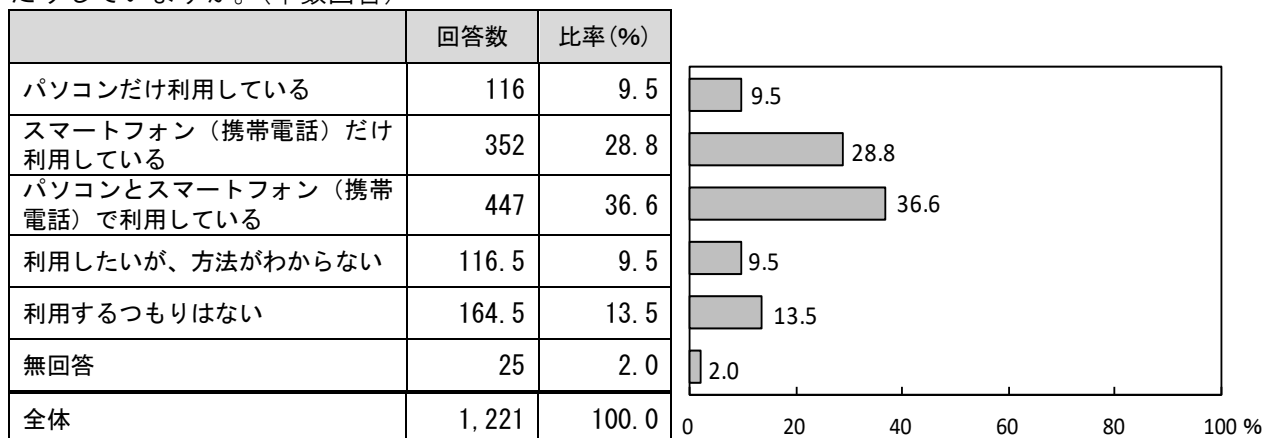
■問 15-2. 利用したことがないのはなぜですか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
デマンドタクシーを知らなかった	316.5	30.0
利用したい乗降ポイントがない	40	3.8
利用料金が高いから	16.5	1.6
ほかの交通手段を利用している	557	52.8
その他	102	9.7
無回答	22	2.1
全体	1,054	100.0

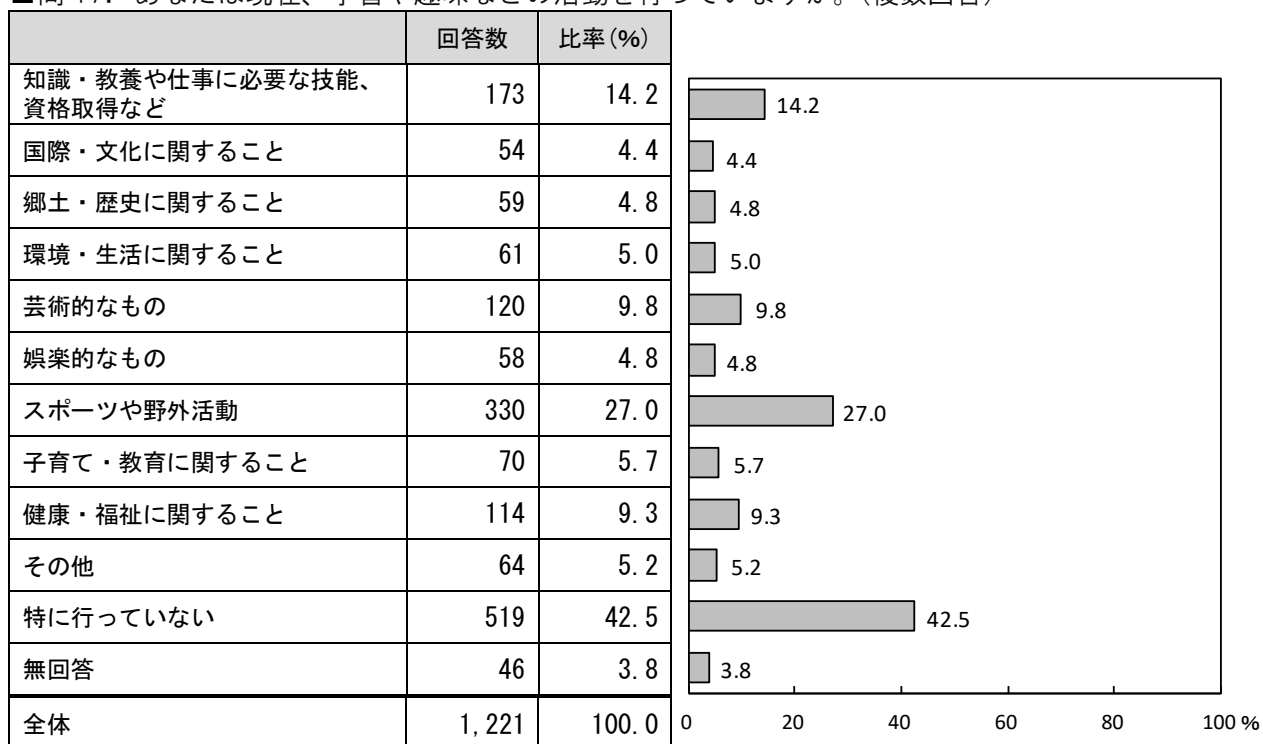


＜市民生活について＞

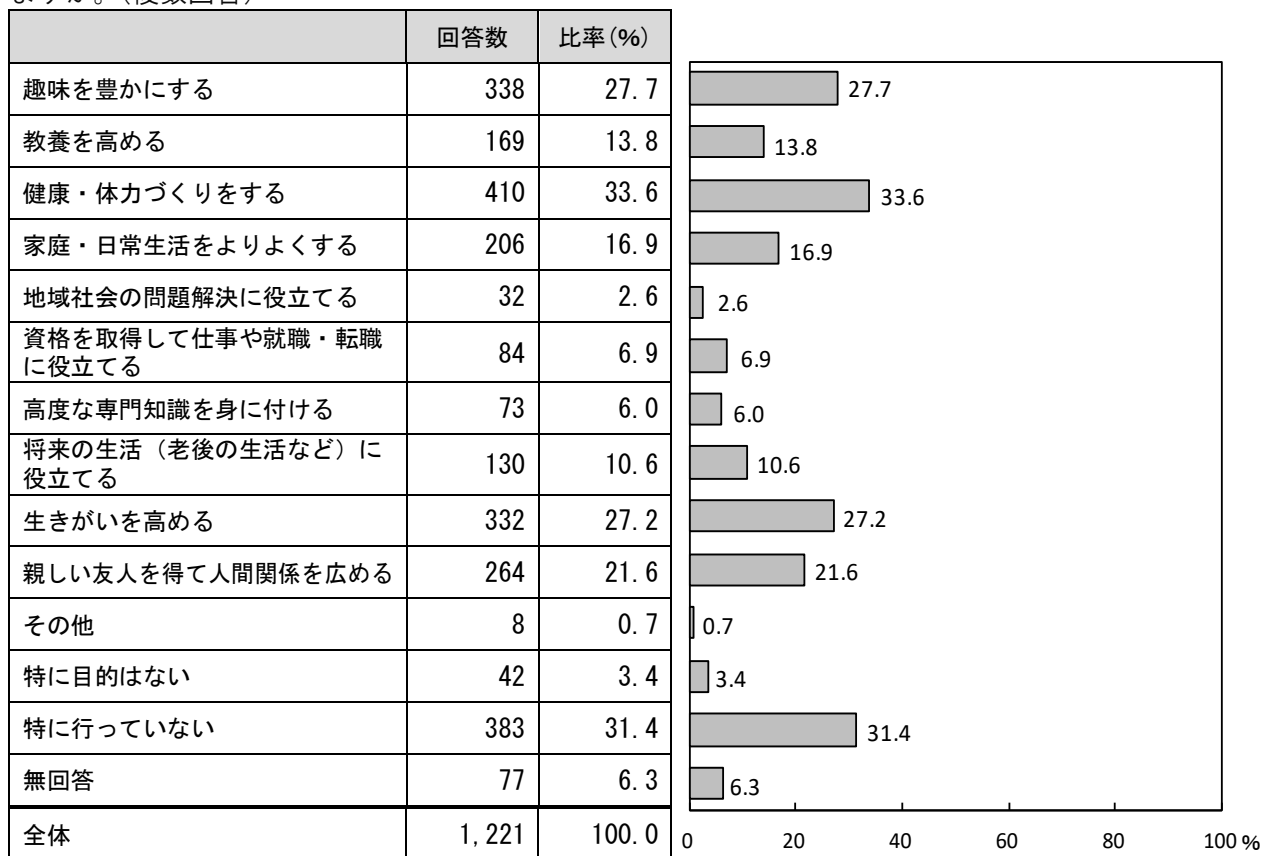
■問 16. あなたは、ホームページ（モバイルサイトを含む）を見たり、インターネットを利用したりしていますか。（単数回答）



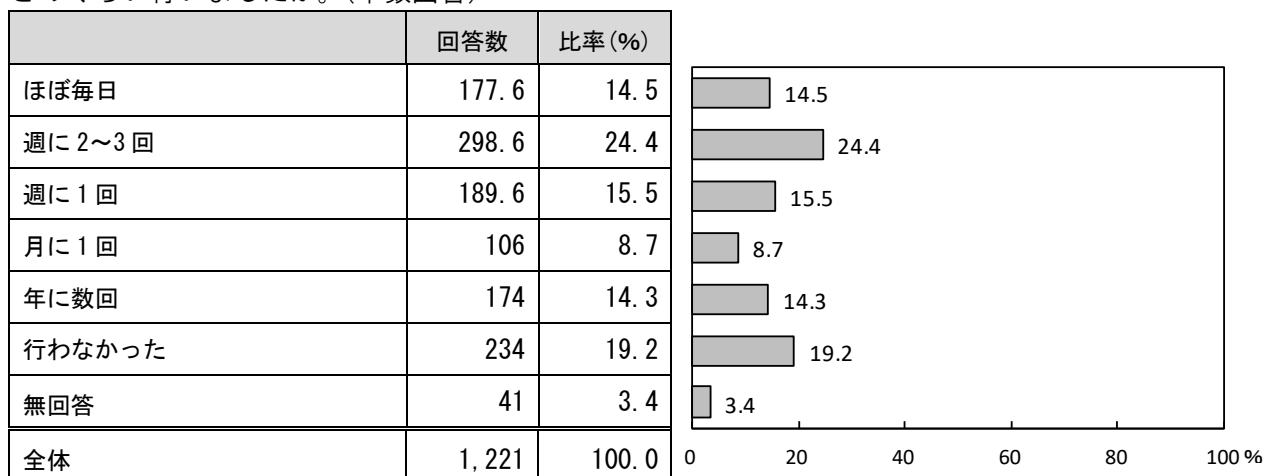
■問 17. あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。（複数回答）



■問 18. あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。(複数回答)

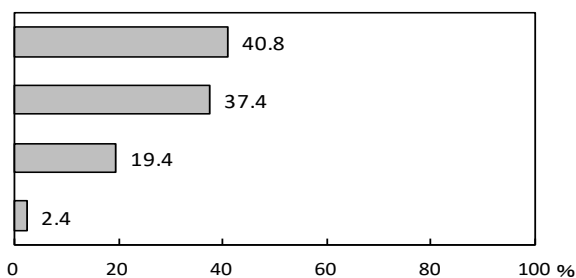


■問 19. あなたは、過去1年間に運動(スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など)を平均してどのくらい行いましたか。(単数回答)



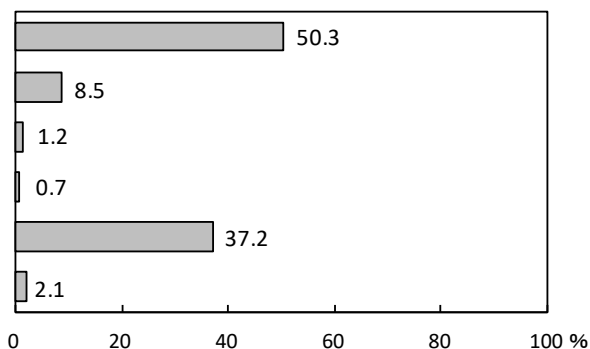
■問 19-1. 1回にどのくらいの時間行いましたか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
60分以上	272	40.8
30分以上	249	37.4
30分未満	129	19.4
無回答	16	2.4
全体	666	100.0



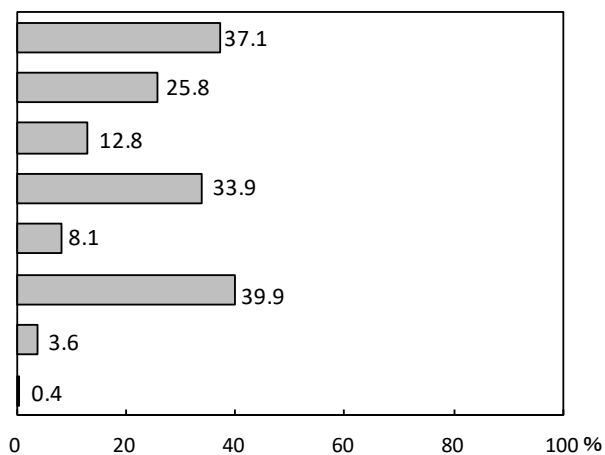
■問 20. あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
参加したことがある(1~10回)	614	50.3
参加したことがある(11~20回)	104	8.5
参加したことがある(21~30回)	15	1.2
参加したことがある(31~40回)	8	0.7
参加したことはない	454	37.2
無回答	26	2.1
全体	1,221	100.0



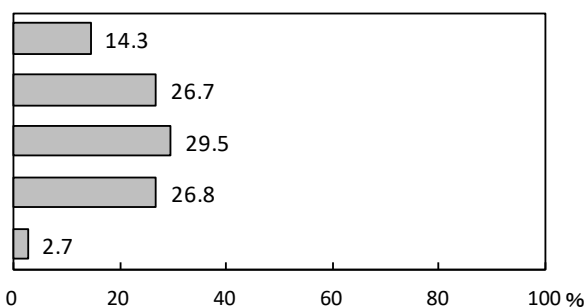
■問 20-1. 日本スリーデーマーチに参加した理由はなんですか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
市の代表的なイベントだから	275	37.1
健康のため	191	25.8
歩くことが好きだから	95	12.8
家族や友人・知人と交流するため	251	33.9
自分への挑戦のため	60	8.1
学校行事だったから	296	39.9
その他	27	3.6
無回答	3	0.4
全体	741	100.0



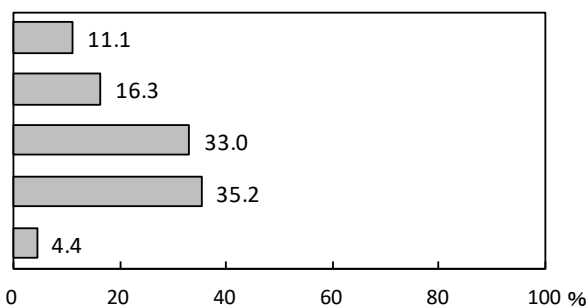
■問 21. あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
よく参加している	175	14.3
ときどき参加している	326	26.7
あまり参加していない	360	29.5
参加したことはない	327	26.8
無回答	33	2.7
全体	1,221	100.0



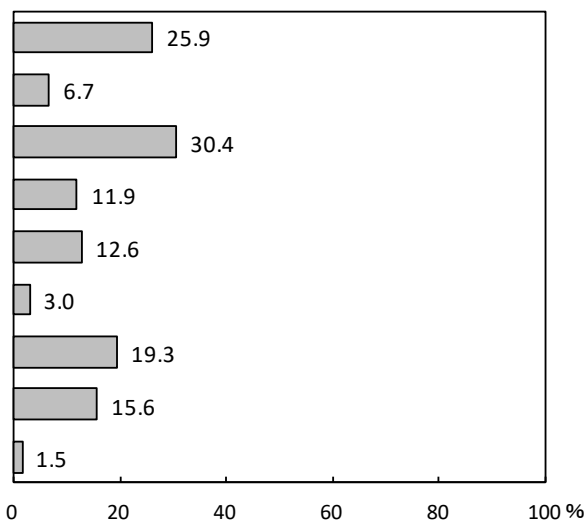
■問 22. あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア（社会貢献）活動をしていますか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
現在活動している	135	11.1
以前活動していたが現在はしていない	199	16.3
将来活動してみたいと思っている	403	33.0
今後も活動するつもりはない	430	35.2
無回答	54	4.4
全体	1,221	100.0



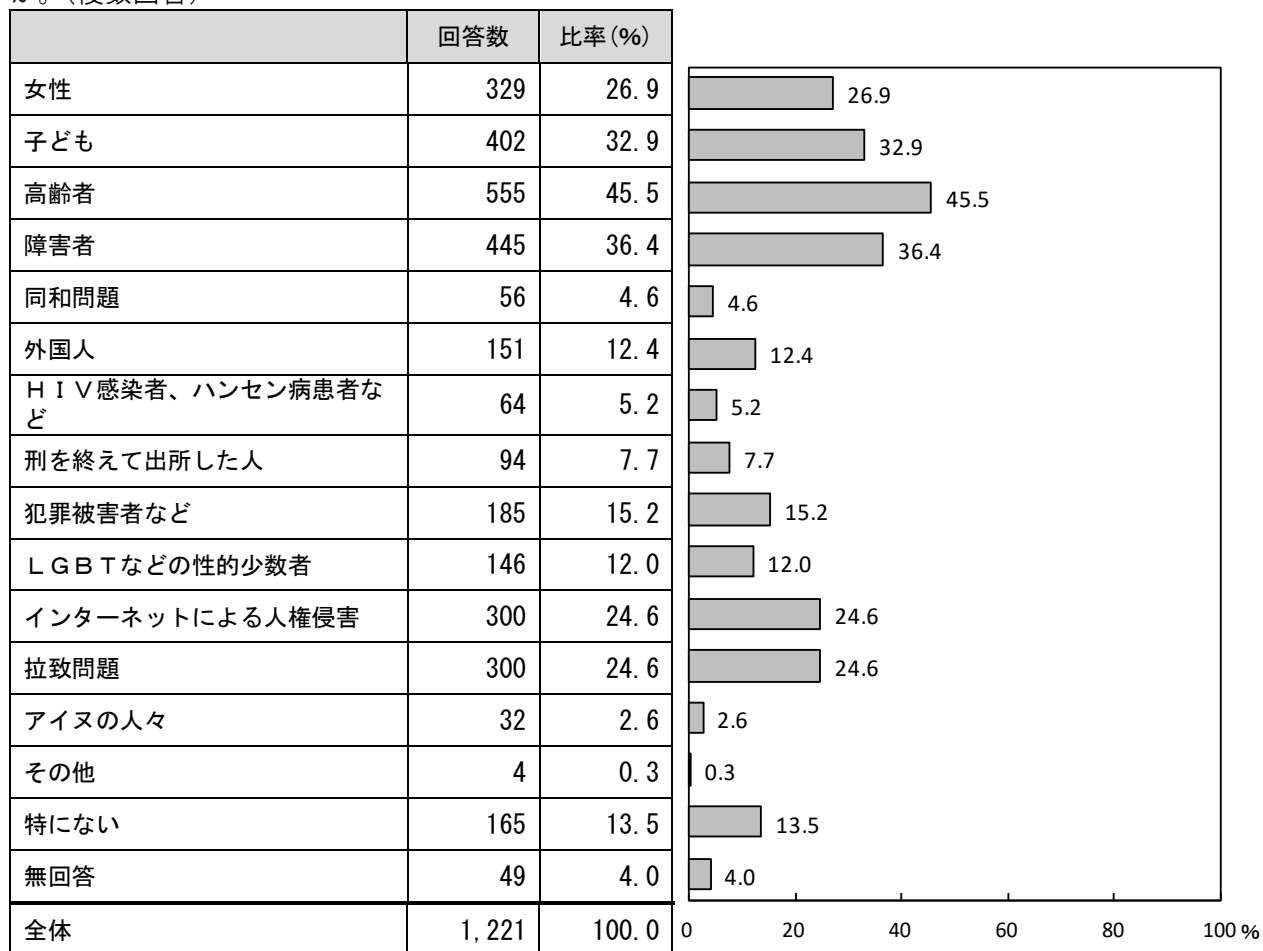
■問 22-1. 活動しているのはどの分野ですか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
保健・医療・福祉	35	25.9
生涯学習	9	6.7
スポーツ	41	30.4
環境保全	16	11.9
地域安全	17	12.6
国際交流	4	3.0
子どもの健全育成	26	19.3
その他	21	15.6
無回答	2	1.5
全体	135	100.0

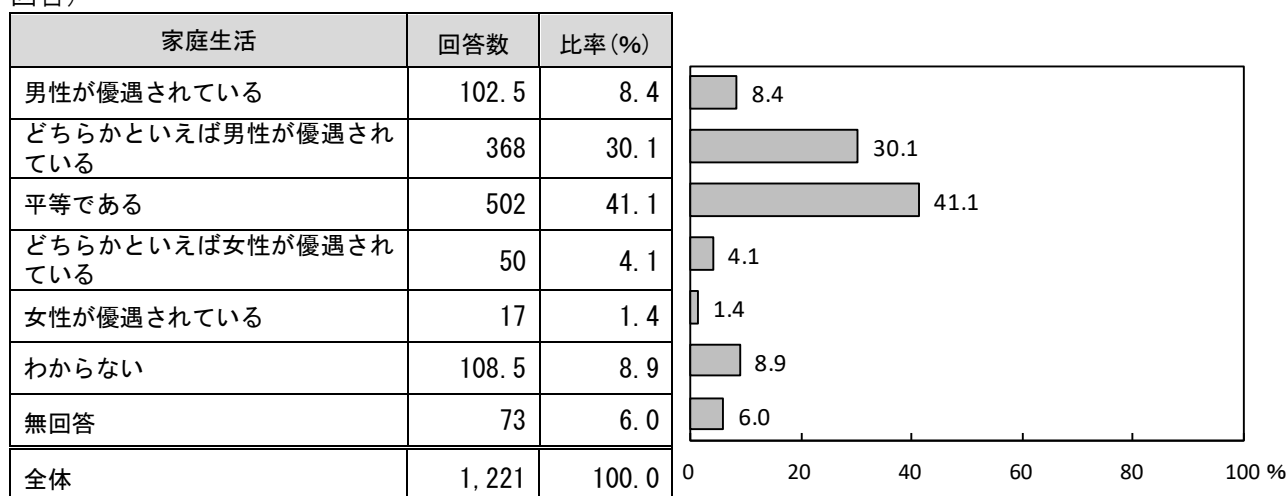


<人権・男女平等について>

■問 23. 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。(複数回答)

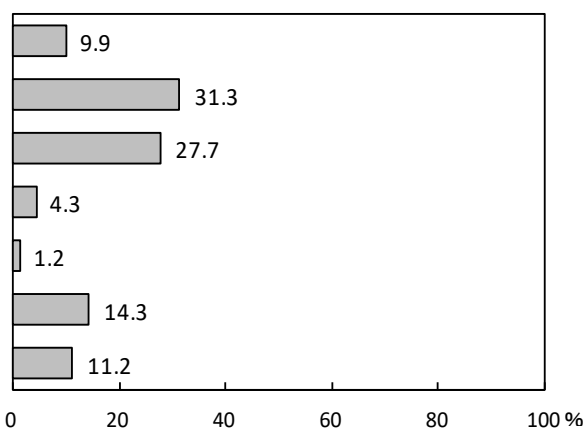


■問 24. あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

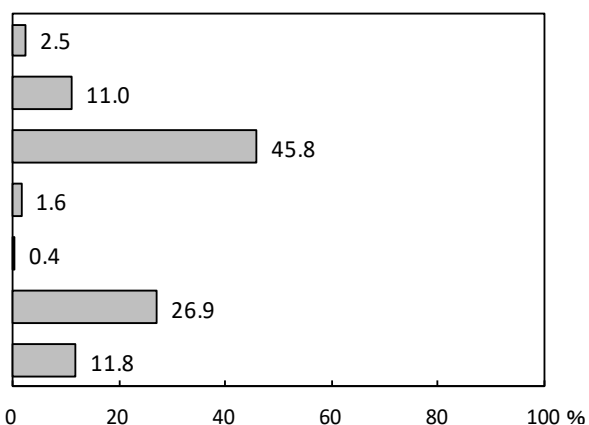


■問 24. あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。(続き)

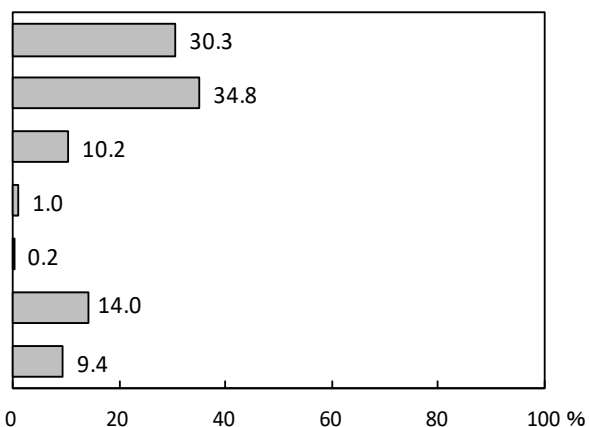
職場	回答数	比率 (%)
男性が優遇されている	121	9.9
どちらかといえば男性が優遇されている	382.5	31.3
平等である	338.5	27.7
どちらかといえば女性が優遇されている	52	4.3
女性が優遇されている	15	1.2
わからない	175	14.3
無回答	137	11.2
全体	1,221	100.0



学校教育の場	回答数	比率 (%)
男性が優遇されている	30	2.5
どちらかといえば男性が優遇されている	134	11.0
平等である	559	45.8
どちらかといえば女性が優遇されている	20	1.6
女性が優遇されている	5	0.4
わからない	329	26.9
無回答	144	11.8
全体	1,221	100.0

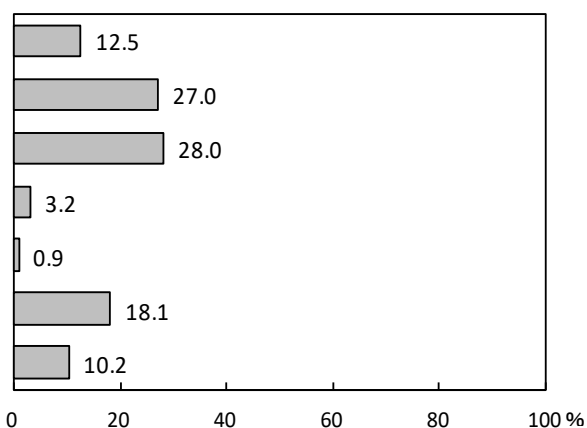


政治の場	回答数	比率 (%)
男性が優遇されている	370.5	30.3
どちらかといえば男性が優遇されている	425.5	34.8
平等である	124.5	10.2
どちらかといえば女性が優遇されている	12	1.0
女性が優遇されている	2	0.2
わからない	171.5	14.0
無回答	115	9.4
全体	1,221	100.0

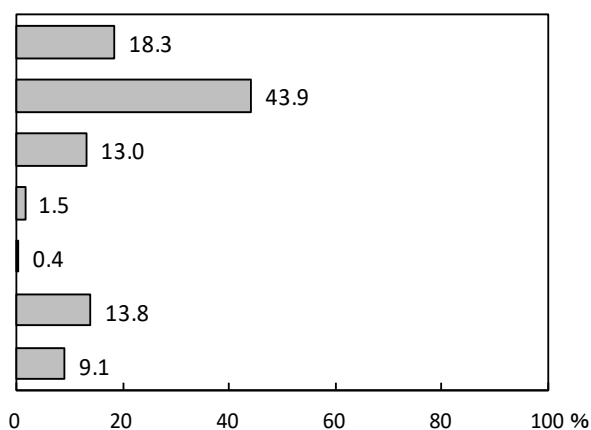


■問 24. あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。(続き)

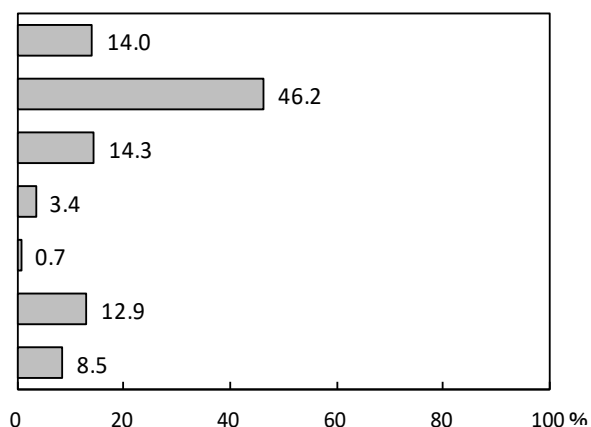
法律や制度の上で	回答数	比率(%)
男性が優遇されている	153	12.5
どちらかといえば男性が優遇されている	330	27.0
平等である	342	28.0
どちらかといえば女性が優遇されている	39	3.2
女性が優遇されている	11	0.9
わからない	221	18.1
無回答	125	10.2
全体	1,221	100.0



社会通念・慣習・しきたりなど	回答数	比率(%)
男性が優遇されている	223	18.3
どちらかといえば男性が優遇されている	536	43.9
平等である	159	13.0
どちらかといえば女性が優遇されている	18	1.5
女性が優遇されている	5	0.4
わからない	169	13.8
無回答	111	9.1
全体	1,221	100.0

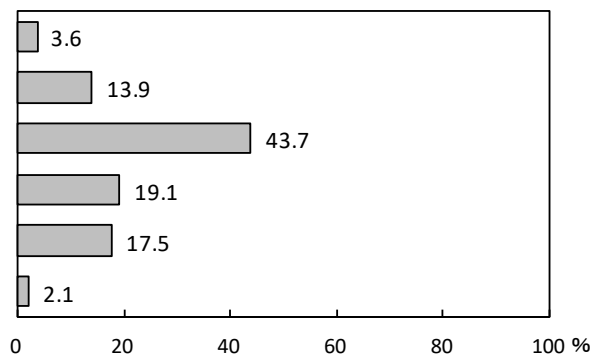


社会全体	回答数	比率(%)
男性が優遇されている	171.5	14.0
どちらかといえば男性が優遇されている	563.5	46.2
平等である	175	14.3
どちらかといえば女性が優遇されている	41	3.4
女性が優遇されている	8	0.7
わからない	158	12.9
無回答	104	8.5
全体	1,221	100.0



■問 25. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。(単数回答)

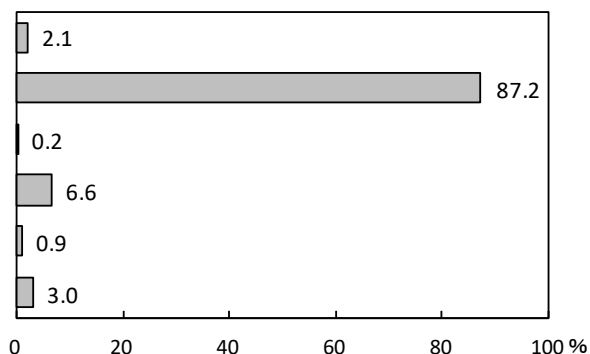
	回答数	比率 (%)
賛成	43.5	3.6
どちらかといえば賛成	170	13.9
どちらともいえない	534	43.7
どちらかといえば反対	233.5	19.1
反対	214	17.5
無回答	26	2.1
全体	1,221	100.0



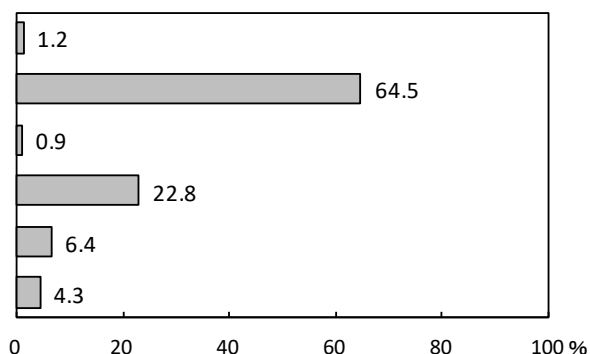
<購買行動について>

■問 26. あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。(単数回答)

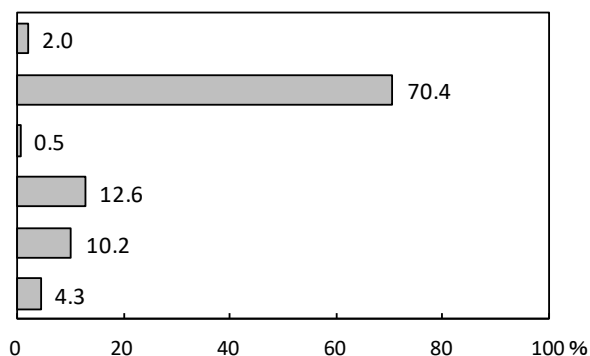
食料品	回答数	比率 (%)
市内の個人商店	25.5	2.1
市内の大型店・チェーン店	1,065	87.2
市外の個人商店	2	0.2
市外の大型店・チェーン店	80	6.6
通信販売 (テレビ、ネットなど)	11.5	0.9
無回答	37	3.0
全体	1,221	100.0



衣服・服飾品	回答数	比率 (%)
市内の個人商店	14.5	1.2
市内の大型店・チェーン店	787.3	64.5
市外の個人商店	11	0.9
市外の大型店・チェーン店	277.8	22.8
通信販売 (テレビ、ネットなど)	78.3	6.4
無回答	52	4.3
全体	1,221	100.0

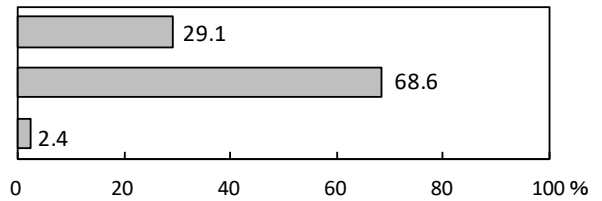


家具・家電	回答数	比率 (%)
市内の個人商店	24.5	2.0
市内の大型店・チェーン店	859.5	70.4
市外の個人商店	6	0.5
市外の大型店・チェーン店	154	12.6
通信販売 (テレビ、ネットなど)	124	10.2
無回答	53	4.3
全体	1,221	100.0



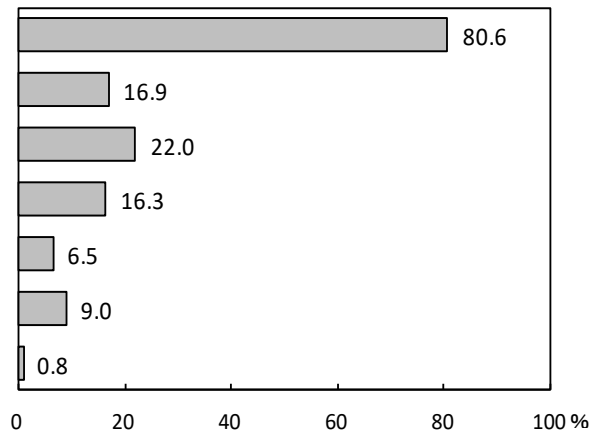
■問 27. あなたは、食料品などの日用品の買物で不便を感じていますか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
不便を感じている	355	29.1
不便は感じていない	837	68.6
無回答	29	2.4
全体	1,210	100.0



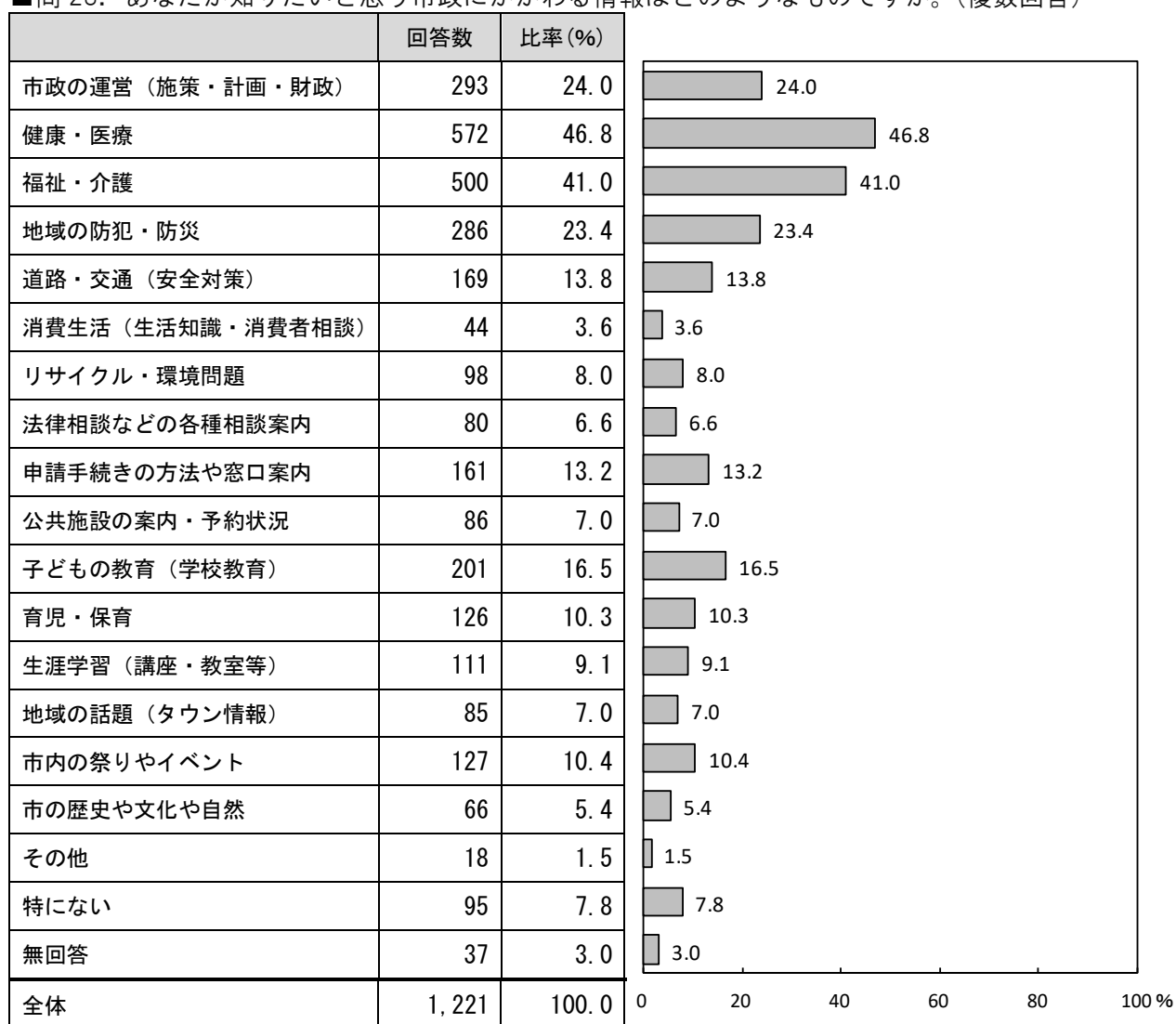
■問 27-1. どのようなことで不便を感じていますか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
近くにお店がない	286	80.6
自動車や自転車の運転が不安	60	16.9
家族等の協力がないと買物ができない	78	22.0
バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない	58	16.3
デマンドタクシーの乗降ポイントが少ない	23	6.5
その他	32	9.0
無回答	3	0.8
全体	355	100.0

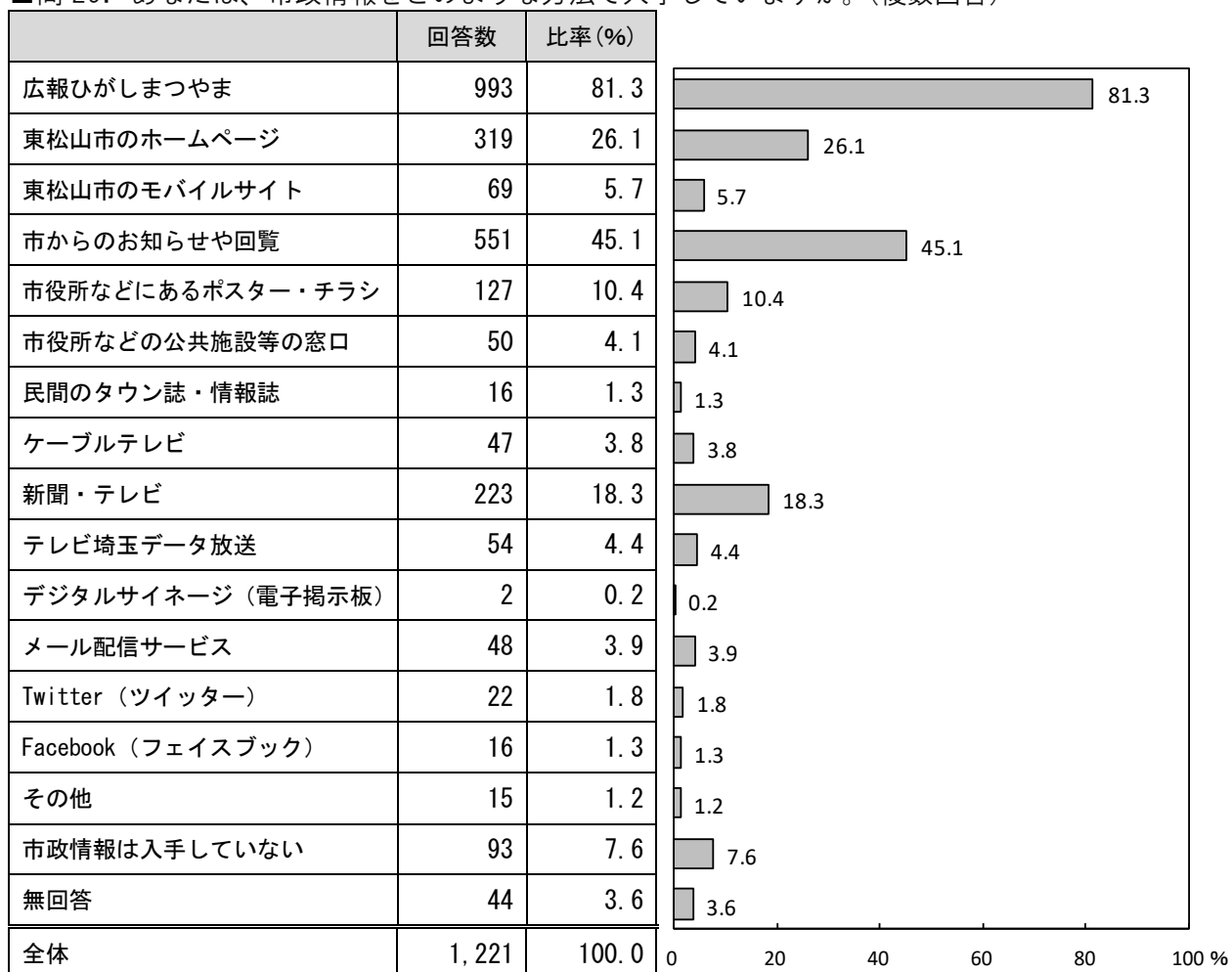


<市政情報について>

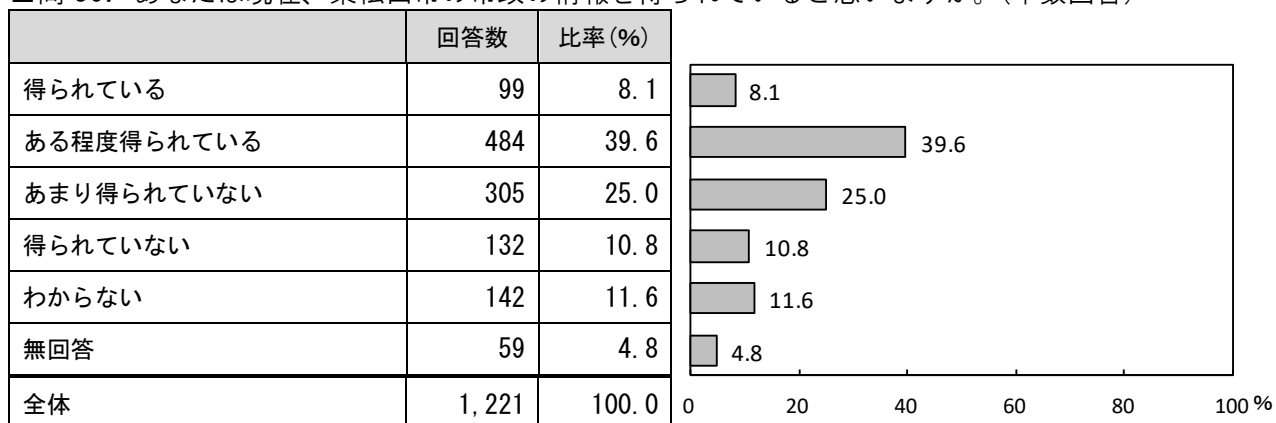
■問 28. あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。(複数回答)



■問 29. あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。(複数回答)



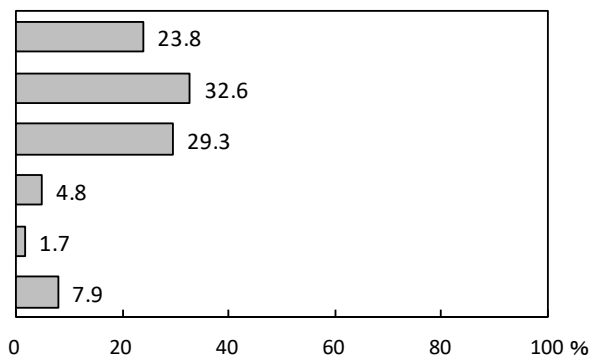
■問 30. あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。(単数回答)



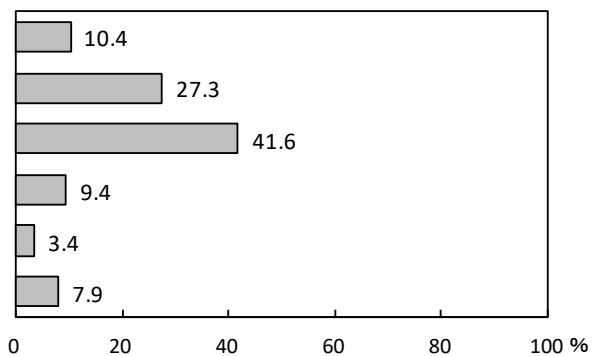
<市政について>

■問 31. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。(単数回答)

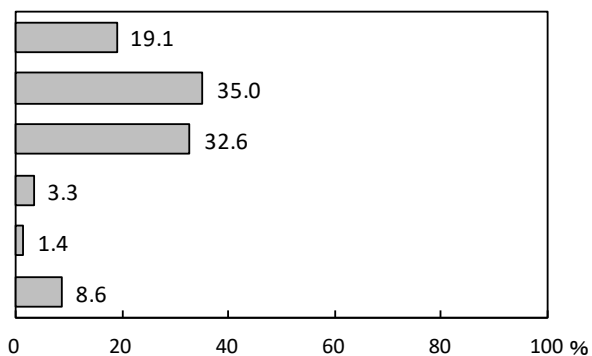
礼儀正しい	回答数	比率(%)
そう思う	290	23.8
ややそう思う	398	32.6
どちらともいえない	357.5	29.3
あまりそう思わない	59	4.8
そう思わない	20.5	1.7
無回答	96	7.9
全体	1,221	100.0



親しみやすい	回答数	比率(%)
そう思う	127	10.4
ややそう思う	333	27.3
どちらともいえない	507.5	41.6
あまりそう思わない	115	9.4
そう思わない	41.5	3.4
無回答	97	7.9
全体	1,221	100.0

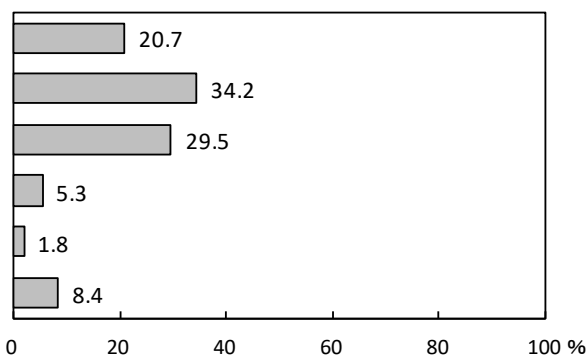


言葉づかいがよい	回答数	比率(%)
そう思う	233.5	19.1
ややそう思う	427	35.0
どちらともいえない	398	32.6
あまりそう思わない	40	3.3
そう思わない	17.5	1.4
無回答	105	8.6
全体	1,221	100.0

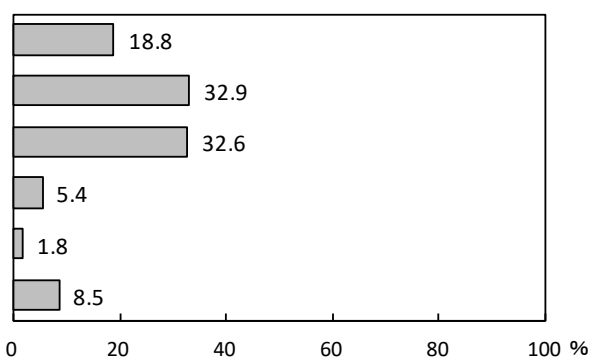


■問 31. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。(続き)

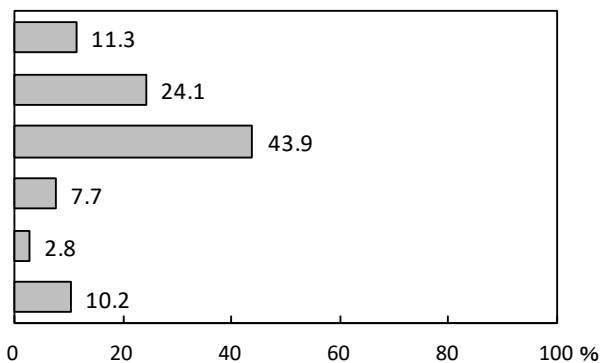
わかりやすく説明してくれる	回答数	比率(%)
そう思う	253	20.7
ややそう思う	418	34.2
どちらともいえない	360.5	29.5
あまりそう思わない	65	5.3
そう思わない	22.5	1.8
無回答	102	8.4
全体	1,221	100.0



話をきちんと聞いてくれる	回答数	比率(%)
そう思う	230	18.8
ややそう思う	402	32.9
どちらともいえない	397.5	32.6
あまりそう思わない	66	5.4
そう思わない	21.5	1.8
無回答	104	8.5
全体	1,221	100.0

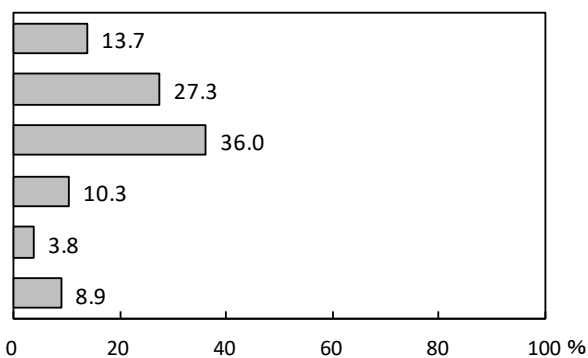


専門的なことでも詳しく教えてくれる	回答数	比率(%)
そう思う	138	11.3
ややそう思う	294	24.1
どちらともいえない	535.5	43.9
あまりそう思わない	94	7.7
そう思わない	34.5	2.8
無回答	125	10.2
全体	1,221	100.0

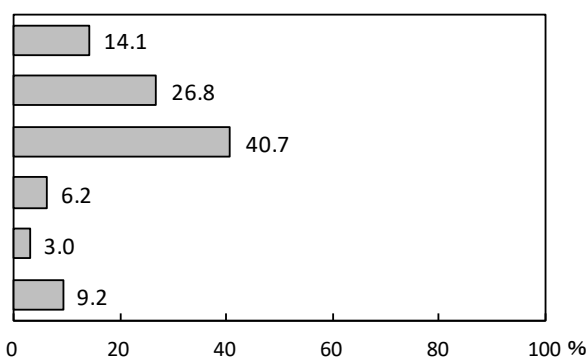


■問 31. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。(続き)

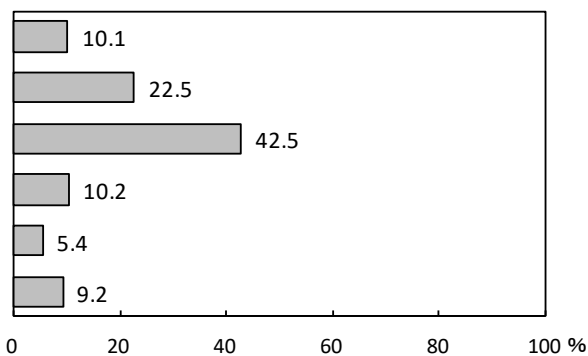
手際がよく、対応が早い	回答数	比率(%)
そう思う	167	13.7
ややそう思う	333	27.3
どちらともいえない	440	36.0
あまりそう思わない	125.5	10.3
そう思わない	46.5	3.8
無回答	109	8.9
全体	1,221	100.0



責任感を持って仕事をしている	回答数	比率(%)
そう思う	172	14.1
ややそう思う	327	26.8
どちらともいえない	497.5	40.7
あまりそう思わない	76	6.2
そう思わない	36.5	3.0
無回答	112	9.2
全体	1,221	100.0

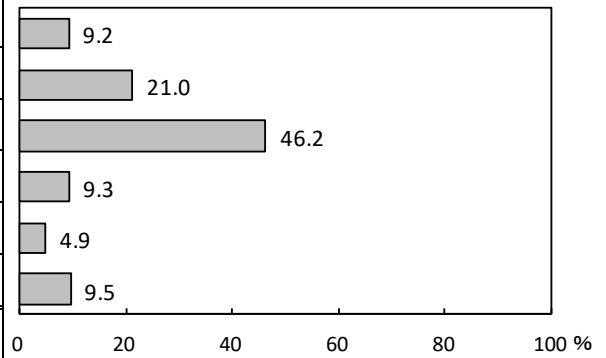


市民の立場に立ち仕事をしている	回答数	比率(%)
そう思う	123	10.1
ややそう思う	275	22.5
どちらともいえない	519.5	42.5
あまりそう思わない	125	10.2
そう思わない	66.5	5.4
無回答	112	9.2
全体	1,221	100.0



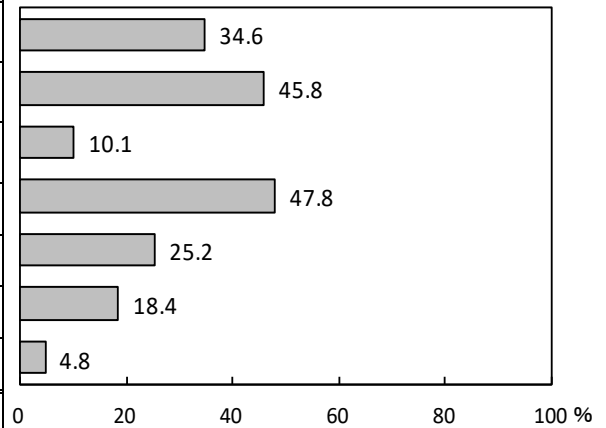
■問 31. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。(続き)

自ら積極的に仕事をしている	回答数	比率(%)
そう思う	112	9.2
ややそう思う	257	21.0
どちらともいえない	563.5	46.2
あまりそう思わない	113	9.3
そう思わない	59.5	4.9
無回答	116	9.5
全体	1,221	100.0

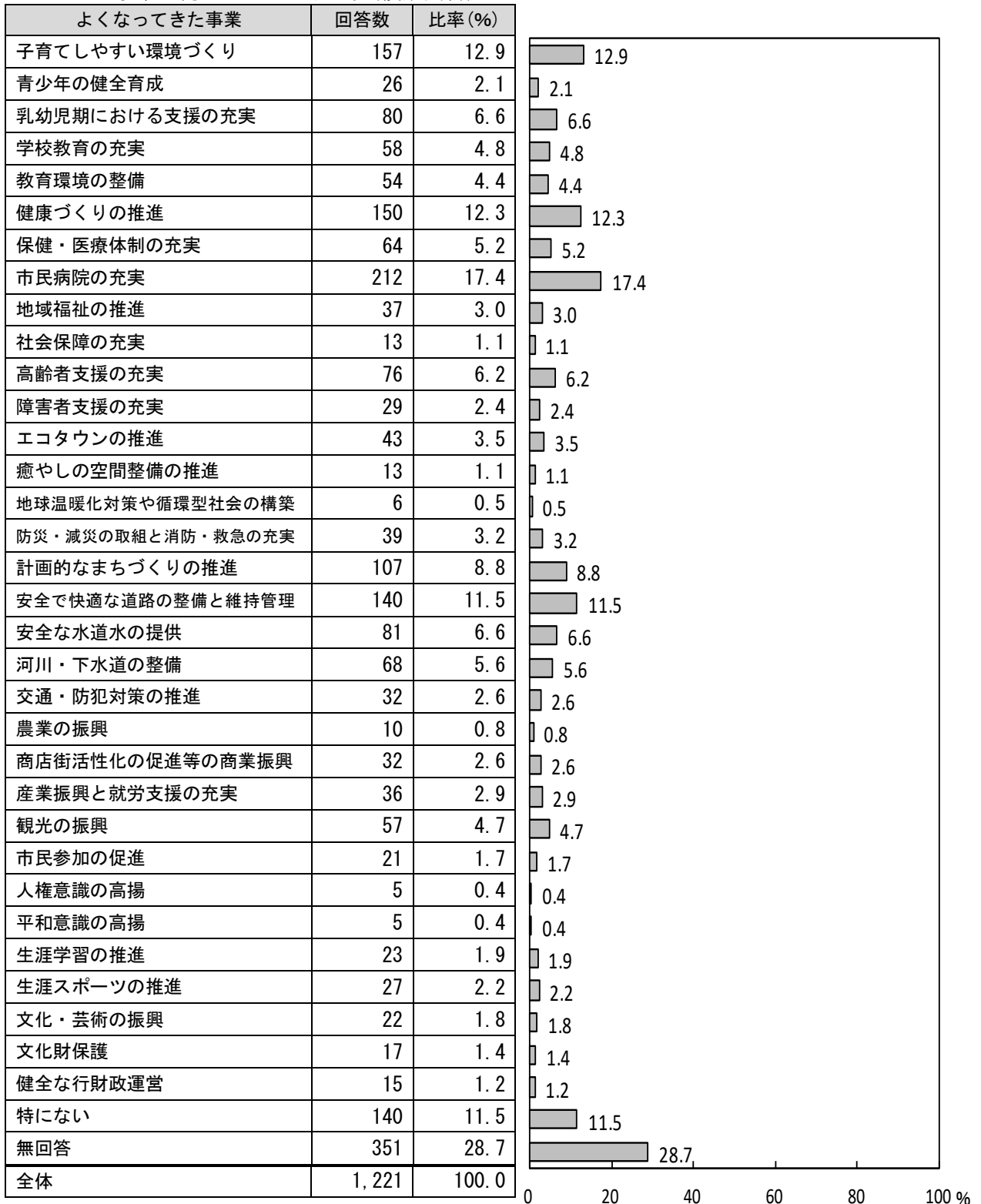


■問 32. あなたは、これから東松山市がどんなまちになってほしいと思いますか。

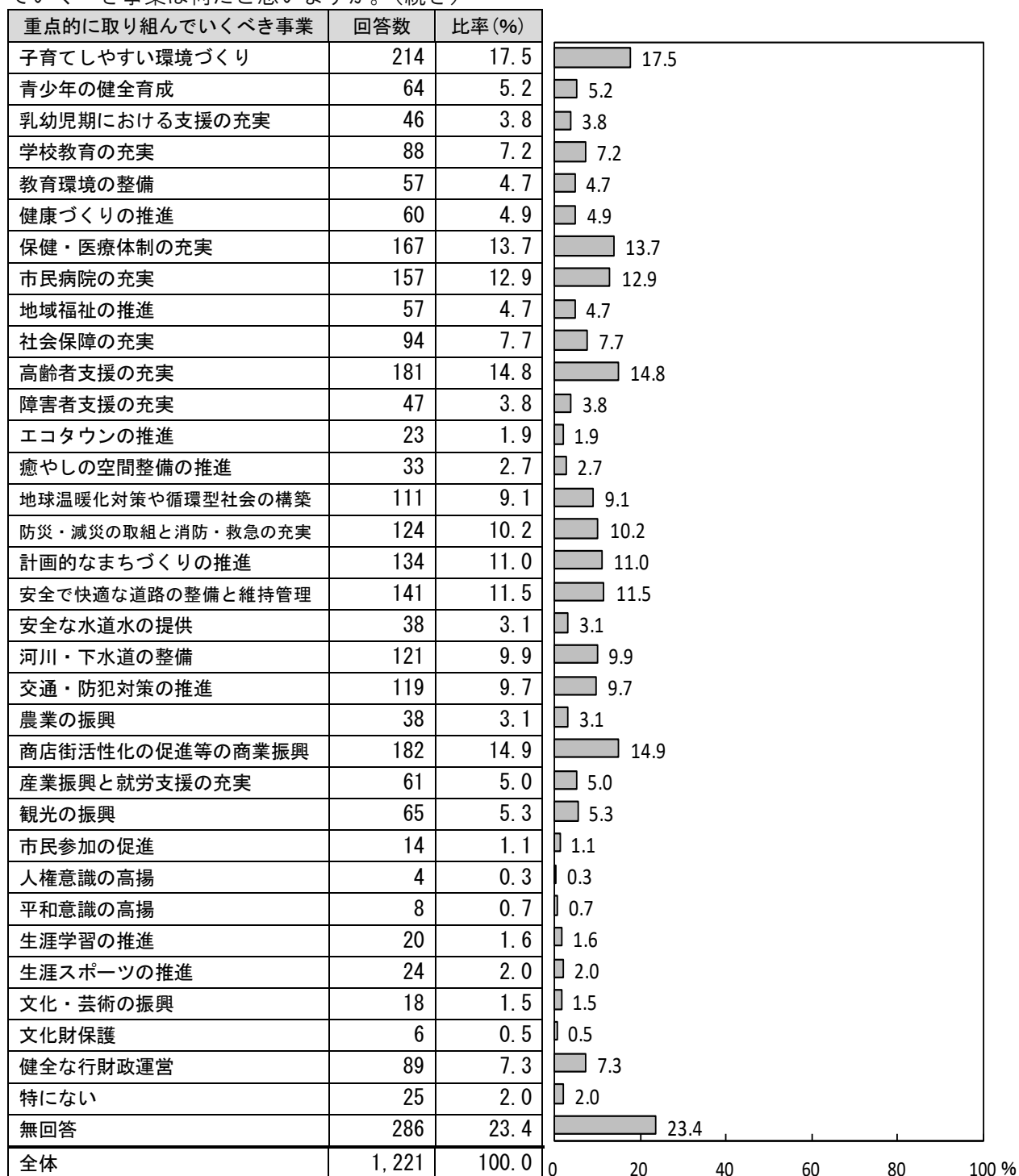
	回答数	比率(%)
子どもたちが健やかに成長する学びのまち	423	34.6
誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち	559	45.8
自然と調和する環境未来・エコのまち	123	10.1
快適に暮らせる安全のまち	584	47.8
元気で活力のあるにぎわいのまち	308	25.2
人と地域がつながる支え合いのまち	225	18.4
無回答	58	4.8
全体	1,221	100.0



■問 33. あなたは、東松山市でよくなってきた事業、また、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思えますか。(複数回答)



■問 33. あなたは、東松山市でよくなってきた事業、また、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思えますか。(続き)



東松山市市民意識調査

《調査ご協力のお願い》

市民のみなさまには日頃より市政に対してご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、東松山市では、市の施策や事業の基本的な方針を定める第五次東松山市総合計画を策定し、この計画に基づく施策を推進しております。今回お願いいたします「東松山市市民意識調査」は、市民のみなさまから市政に対するご意見を幅広くお伺いし、これからの「まちづくり」に役立てていくために実施するものです。

調査の実施にあたり、市内にお住まいの満18歳以上の方2,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただいた結果、あなた様に調査をお願いすることとなりました。調査結果は、全てコンピューターにより統計的に処理をいたしますので、調査票にお名前を書く必要はなく、ご回答いただきました方にご迷惑をおかけすることはございません。

ご多忙の折恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年7月 東松山市長 森田 光一

記入についてのお願い

- 1 あて名のご本人がお答えください。お名前は記入しないでください。
- 2 黒のボールペン、又は、鉛筆でご記入ください。
- 3 お答えは、設問ごとに「1つ選び」、「2つまで選び」などと指定されていますので、あてはまる番号を○で囲んでください。（問33は番号をご記入ください）
- 4 「その他」を選択した場合と、F2、問34のお答えは、具体的にご記入ください。

ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて

8月10日（金）までに ご投函ください。

この調査票についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

東松山市松葉町一丁目1番58号 東松山市役所 秘書室 広報広聴課

電話 23-2221（代表）

FAX 22-7799

Eメール HMY003@city.higashimatsuyama.lg.jp

あなたご自身のことについておたずねします

F 1. あなたの性別は。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2. あなたの年齢は。

_____ 歳（平成30年7月1日現在でご記入ください）

F 3. あなたのご職業は。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 農林業	4. 公務員	7. 学生
2. 自営業	5. パート・アルバイト	8. その他（具体的に：_____）
3. 会社員	6. 契約社員・派遣社員	9. 家事・育児・介護に専業
		10. 無職

→（F 3で1、2、3、4、5、6、7、8とお答えの方におたずねします。）

F 3-1. 職場（学校）までの通勤（通学）時間は何分ですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 0分（自宅勤務）	5. 60分以上90分未満
2. 15分未満	6. 90分以上120分未満
3. 15分以上30分未満	7. 120分以上
4. 30分以上60分未満	

F 4. あなたのお住まいの地区は。1つ選び、番号を○で囲んでください。

松山地区	1. 本町	6. 日吉町	11. 市ノ川	16. 新宿町	21. 美土里町
	2. 神明町	7. 加美町	12. 御茶山町	17. 山崎町	22. 和泉町
	3. 箭弓町	8. 松本町	13. 六反町	18. 小松原町	23. 幸町
	4. 材木町	9. 松山	14. 六軒町	19. 砂田町	
	5. 松葉町	10. 松山町	15. 五領町	20. 仲田町	
大岡地区	24. 大谷	25. 岡			
平野地区	26. 東平	27. 野田	28. 沢口町	29. 殿山町	
唐子地区	30. 下唐子	32. 葛袋	34. 上唐子	36. 坂東山	
	31. 石橋	33. 神戸	35. 新郷		
高坂地区	37. 高坂	40. 宮鼻	43. 岩殿	46. 元宿	
	38. 早俣	41. 毛塚	44. 西本宿	47. あずま町	
	39. 正代	42. 田木	45. 大黒部		
高坂丘陵地区	48. 桜山台	49. 白山台	50. 旗立台	51. 松風台	
野本地区	52. 上野本	54. 上押垂	56. 今泉	58. 柏崎	60. 下野本
	53. 下青鳥	55. 下押垂	57. 古凍	59. 若松町	

F 5. あなたは、東松山市に住んで何年経ちましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 2年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 2. 2年以上5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5年以上10年未満 | |

F 6. あなたの（同居している）世帯の状況は次のどれにあたりますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|---------|
| 1. 三世代世帯（祖父母、父母、子どもなど） | 3. 夫婦のみ |
| 2. 二世帯世帯（夫婦と子どもなど） | 4. 単身世帯 |
| | 5. その他 |

→(F 6で1または2とお答えの方におたずねします。)

F 6-1. 同居者に次の方がいますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 就学前（0～6歳） | 3. 65歳以上 |
| 2. 小学生・中学生 | 4. いずれもない |

F 7. お住まいの形態は次のどれにあたりますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 一戸建て持ち家 |
| 2. 一戸建て借家 |
| 3. 共同持ち家（分譲マンション等） |
| 4. 公営の賃貸住宅 |
| 5. 民間の賃貸住宅（マンション・アパート等） |
| 6. 社宅・寮 |
| 7. その他（具体的に： _____) |

まち全体の印象についておたずねします

問1. あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 愛着がある | 4. どちらかといえば愛着がない |
| 2. どちらかといえば愛着がある | 5. 愛着がない |
| 3. どちらともいえない | |

問2. あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 住みよい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みよい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問3. あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 現在のところに住み続けたい |
| 2. 東松山市内の別のところで住み続けたい |
| 3. 東松山市外へ移りたい |
| 4. わからない |

問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。次の(ア)～(セ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	よい	どちらか といえば よい	ふつう	どちらか といえば わるい	わるい
(ア) 人柄・土地柄	1	2	3	4	5
(イ) 自然環境	1	2	3	4	5
(ウ) 歴史と伝統	1	2	3	4	5
(エ) 交通の利便性	1	2	3	4	5
(オ) 働く場	1	2	3	4	5
(カ) 買物などの日常生活の利便性	1	2	3	4	5
(キ) 教育・文化・スポーツ施設	1	2	3	4	5
(ク) 医療・福祉施設	1	2	3	4	5
(ケ) 道路や公園等の生活の基盤施設	1	2	3	4	5
(コ) 活気とにぎわい	1	2	3	4	5
(サ) 街並みの美しさ	1	2	3	4	5
(シ) 市の発展性	1	2	3	4	5
(ス) 都市としての個性や魅力	1	2	3	4	5
(セ) 総合的に見て	1	2	3	4	5

健康や医療・福祉についておたずねします

問5. あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 決めている

2. 決めていない

→(問5で1とお答えの方におたずねします。)

問5-1. それは、次のどれですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 近所の医院・診療所・クリニック

2. 大学病院・公立病院・総合病院等

3. その他(具体的に:)

問6. あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 食事に気をつける

2. 十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする

3. 散歩や運動などをする

4. たばこを吸わない

5. 年に1回は健康診断や人間ドックを受ける

6. ストレスをためないよう気分転換をはかる

7. 健康についての情報、知識を増やす

8. その他(具体的に:)

9. 特に心がけていることはない

問7. あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 整っている

3. どちらかといえば整っていない

5. わからない

2. どちらかといえば整っている

4. 整っていない

→(問7で3または4とお答えの方におたずねします。)

問7-1. その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分

2. 延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分

3. 子育てについての情報提供や相談できる場が少ない

4. 小児医療体制が不十分

5. 学童保育など放課後の児童対策が不十分

6. 公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない

7. 子育てする親同士の交流の場が少ない

8. 子どもを連れた人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分

9. その他(具体的に:)

環境についておたずねします

問8. あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 心がけている | 3. どちらかといえば心がけていない |
| 2. どちらかといえば心がけている | 4. 心がけていない |

→(問8で1または2とお答えの方におたずねします。)

問8-1. 日常生活の中で、具体的に心がけていることは何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|-------------------------------------------|
| 1. 決められたとおりにごみの分別を徹底している |
| 2. マイバッグを利用したり、余分な包装を断ったりするなどごみの減量化に努めている |
| 3. 生ごみは自家処理をしている |
| 4. 物が壊れても、可能な限り修理して長く使うようにしている |
| 5. 風呂の残り湯を洗濯に使うなど、節水に努めている |
| 6. 環境にやさしい製品を積極的に購入している |
| 7. 冷暖房の設定温度を、夏は高めに、冬は低めにしている |
| 8. 部屋の電気やテレビのスイッチはこまめに消している |
| 9. 近いところへは、徒歩や自転車で出かけている |
| 10. わずかな間でもアイドリングストップをしている |
| 11. 家の周りなどに植物を植えている |
| 12. 太陽光発電などの自然エネルギーの利用を積極的に導入している |
| 13. 調理の際に食材を使い切るように、外食は食べきるように努めている |
| 14. その他(具体的に: _____) |

問9. 環境問題について、次にあげる(ア)～(サ)で、「すでに深刻な問題である」ということ、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」ということについて、それぞれ3つまで選び、番号を○で囲んでください。

	すでに深刻な 問題である	重点的に取り 組んでいく 必要がある
(ア) 日常生活における騒音・振動・悪臭	1	1
(イ) 生活排水や工場排水による河川の水質汚濁	2	2
(ウ) ごみの増加や不法投棄	3	3
(エ) 身近な緑や農地の減少	4	4
(オ) 身近な生き物の減少	5	5
(カ) 地球温暖化	6	6
(キ) 酸性雨や大気汚染	7	7
(ク) 有害化学物質による人体への影響	8	8
(ケ) グリーン購入、詰め替え商品等、環境に配慮した製品の購入	/	9
(コ) 省エネや新エネルギー(太陽光発電や風力発電、バイオ燃料の利用)	/	10
(サ) 環境に関する学習	/	11

問10. あなたは、省エネ設備や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用していますか。次の（ア）～（ク）について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	利用している	利用していないが今後利用したい	利用したいとは思わない	わからない
（ア）太陽光発電システム（太陽電池を使って電気をつくる）	1	2	3	4
（イ）家庭用燃料電池システム（エネファーム等）	1	2	3	4
（ウ）高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ等）	1	2	3	4
（エ）建物の断熱化（二重ガラスや壁の断熱化等）	1	2	3	4
（オ）家庭の電気使用状況が一目でわかる機器（HEMS：ホームエネルギーマネジメントシステム）	1	2	3	4
（カ）家庭用蓄電池	1	2	3	4
（キ）電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車	1	2	3	4
（ク）電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に蓄えた電気を家で使う機器（V2H：ビークルトウホーム）	1	2	3	4

防災・防犯・交通についておたずねします

問11. あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 家族や親族との連絡方法を決めている
2. 保存飲料水・食料品を準備している
3. 非常用持ち出し袋を用意している
4. 家財や家具を倒れにくくしたり、補強したりしている
5. 避難場所や経路を確認している
6. 防災訓練に参加している
7. 応急手当等の研修に参加している
8. 消火器を準備している
9. その他（具体的に： _____）
10. 特に行っていない

問12. あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政としてどのようなことが必要だと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 防犯灯や街灯の数を増やす | |
| 2. 商店街などに防犯カメラを取り付ける | |
| 3. 住民によるパトロールを行う | |
| 4. 近所の人とのつながりや助け合いを深める | |
| 5. 防犯協会や防犯団体の活動を活発にする | |
| 6. 警察官の数を増やす | |
| 7. その他（具体的に：_____） | |
| 8. 特にない | |

問13. あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 自家用車（自分で運転） | 6. デマンドタクシー |
| 2. 自家用車（家族や知人が運転） | 7. バイク |
| 3. 民間路線バス | 8. 自転車 |
| 4. 市内循環バス | 9. 徒歩 |
| 5. タクシー | |

問14. あなたは、市内循環バスを過去1年以内に利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことがない |
|--------------|--------------|

→(問14で1とお答えの方におたずねします。)

問14-1. どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 公共施設を利用するため（施設名：_____） | |
| 2. 買物 | |
| 3. 通勤・通学 | |
| 4. 通院 | |
| 5. その他（具体的に：_____） | |

→(問14で2とお答えの方におたずねします。)

問14-2. 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 市内循環バスを知らなかったから | |
| 2. 近くに停留所がないから | |
| 3. 本数が少ないから | |
| 4. ほかの交通手段を利用しているから | |
| 5. その他（具体的に：_____） | |

問15. あなたは、デマンドタクシーを利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 利用したことがある

2. 利用したことがない

→(問15で1とお答えの方におたずねします。)

問15-1. どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- 1. 公共施設を利用するため(施設名:)
- 2. 買物
- 3. 通勤・通学
- 4. 通院
- 5. その他(具体的に:)

→(問15で2とお答えの方におたずねします。)

問15-2. 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- 1. デマンドタクシーを知らなかったから
- 2. 利用したい乗降ポイントがないから
- 3. 利用料金が高いから
- 4. ほかの交通手段を利用しているから
- 5. その他(具体的に:)

市民生活についておたずねします

問16. あなたは、ホームページ(モバイルサイトを含む)を見たり、インターネットを利用したりしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- 1. パソコンだけ利用している
- 2. スマートフォン(携帯電話)だけ利用している
- 3. パソコンとスマートフォン(携帯電話)で利用している
- 4. 利用したいが、方法がわからない
- 5. 利用するつもりはない

問17. あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など | |
| 2. 国際・文化に関すること（華道、茶道、外国の文化・生活など） | |
| 3. 郷土・歴史に関すること（市の歴史、お祭り、郷土芸能など） | |
| 4. 環境・生活に関すること（自然環境、食生活など） | |
| 5. 芸術的なもの（絵画、陶芸、写真など） | |
| 6. 娯楽的なもの（囲碁、将棋、手品など） | |
| 7. スポーツや野外活動（軽スポーツ、ハイキングなど） | |
| 8. 子育て・教育に関すること | |
| 9. 健康・福祉に関すること | |
| 10. その他（具体的に：_____） |) |
| 11. 特に行っていない | |

問18. あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 趣味を豊かにする | 7. 高度な専門知識を身に付ける |
| 2. 教養を高める | 8. 将来の生活（老後の生活など）に役立てる |
| 3. 健康・体力づくりをする | 9. 生きがいを高める |
| 4. 家庭・日常生活をよりよくする | 10. 親しい友人を得て人間関係を広める |
| 5. 地域社会の問題解決に役立てる | 11. その他（具体的に：_____） |
| 6. 資格を取得して仕事や就職・転職に役立てる | 12. 特に目的はない |
| | 13. 特に行っていない |

問19. あなたは、過去1年間に運動（スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など）を平均してどのくらい行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に1回 |
| 2. 週に2～3回 | 5. 年に数回 |
| 3. 週に1回 | 6. 行わなかった |

→(問19で1、2、3とお答えの方におたずねします。)

問19-1. 1回にどのくらいの時間行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|----------|
| 1. 60分以上 |
| 2. 30分以上 |
| 3. 30分未満 |

問20. あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 参加したことがある (1～10回) | 5. 参加したことはない |
| 2. 参加したことがある (11～20回) | |
| 3. 参加したことがある (21～30回) | |
| 4. 参加したことがある (31～40回) | |

→(問20で1、2、3、4とお答えの方におたずねします。)

問20-1. 日本スリーデーマーチに参加した理由はなんですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 市の代表的なイベントだから | 5. 自分への挑戦のため |
| 2. 健康のため | 6. 学校行事だったから |
| 3. 歩くことが好きだから | 7. その他(具体的に:) |
| 4. 家族や友人・知人と交流するため | |

問21. あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加していない |
| 2. ときどき参加している | 4. 参加したことはない |

問22. あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア(社会貢献)活動をしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 現在活動している | 3. 将来活動してみたいと思っている |
| 2. 以前活動していたが現在はしていない | 4. 今後も活動するつもりはない |

→(問22で1とお答えの方におたずねします。)

問22-1. 活動しているのはどの分野ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|----------------|
| 1. 保健・医療・福祉 |
| 2. 生涯学習 |
| 3. スポーツ |
| 4. 環境保全 |
| 5. 地域安全 |
| 6. 国際交流 |
| 7. 子どもの健全育成 |
| 8. その他(具体的に:) |

※「災害ボランティア」は、8を○で囲みカッコ内に記入してください。

人権・男女平等についておたずねします

問23. 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたに関心のあるものはどれですか。

あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 女性	9. 犯罪被害者など
2. 子ども	10. L G B T (※) などの性的少数者
3. 高齢者	11. インターネットによる人権侵害
4. 障害者	12. 拉致問題
5. 同和問題	13. アイヌの人々
6. 外国人	14. その他(具体的に: _____)
7. HIV感染者、ハンセン病患者など	15. 特になし
8. 刑を終えて出所した人	

※レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーを指す

問24. あなたのまわりでは、次の(ア)～(キ)の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	男性が 優遇され ている	どちらか といえば 男性が 優遇され ている	平等で ある	どちらか といえば 女性が 優遇され ている	女性が 優遇され ている	わから ない
(ア) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(イ) 職場	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(エ) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(オ) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(カ) 社会通念・慣習・ しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(キ) 社会全体	1	2	3	4	5	6

問25. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。1つ
選び、番号を○で囲んでください。

1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば反対 5. 反対

購買行動についておたずねします

問26. あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。次の（ア）～（ウ）について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	市内の		市外の		通信販売 (テレビ、インターネット、雑誌など)
	個人商店	大型店・チェーン店	個人商店	大型店・チェーン店	
(ア) 食料品	1	2	3	4	5
(イ) 衣服・服飾品	1	2	3	4	5
(ウ) 家具・家電	1	2	3	4	5

問27. あなたは、食料品などの日用品の買物で不便を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 不便を感じている

2. 不便は感じていない

→(問27で1とお答えの方におたずねします。)

問27-1. どのようなことで不便を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 近くにお店がない
2. 自動車や自転車の運転に不安がある
3. 家族等の協力がないと買物ができない
4. バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない
5. デマンドタクシーの乗降ポイントが少ない
6. その他（具体的に： _____)

市政情報についておたずねします

問28. あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。3つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 市政の運営（施策・計画・財政） | 11. 子どもの教育（学校教育） |
| 2. 健康・医療 | 12. 育児・保育 |
| 3. 福祉・介護 | 13. 生涯学習（講座・教室等） |
| 4. 地域の防犯・防災 | 14. 地域の話（タウン情報） |
| 5. 道路・交通（安全対策） | 15. 市内の祭りやイベント |
| 6. 消費生活（生活知識・消費者相談） | 16. 市の歴史や文化や自然 |
| 7. リサイクル・環境問題 | 17. その他 |
| 8. 法律相談などの各種相談案内 | （具体的に： _____) |
| 9. 申請手続きの方法や窓口案内 | 18. 特になし |
| 10. 公共施設の案内・予約状況 | |

問32. あなたは、これから東松山市がどんなまちになってほしいと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|------------------------------------------------------------------|
| 1. 子どもたちが健やかに成長する学びのまち（子育て支援、学校教育の充実） |
| 2. 誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち（健康づくり、保健・医療、地域福祉、社会保障、高齢者福祉、障害者福祉） |
| 3. 自然と調和する環境未来・エコのまち（エコタウン、癒やしの空間づくり、資源循環） |
| 4. 快適に暮らせる安全のまち（防災、防犯、都市基盤整備） |
| 5. 元気で活力のあるにぎわいのまち（農業・商業・工業・観光の活性化） |
| 6. 人と地域がつながる支え合いのまち（市民と行政の協働、人権・平和意識、生涯学習・生涯スポーツ、文化・芸術、健全な行財政運営） |

問33. あなたは、東松山市でよくなってきた事業、また、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思いますか。それぞれ3つまで選び、選択肢下の回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 子育てしやすい環境づくり | 18. 安全で快適な道路の整備と維持管理 |
| 2. 青少年の健全育成 | 19. 安全な水道水の提供 |
| 3. 乳幼児期における支援の充実 | 20. 河川・下水道の整備 |
| 4. 学校教育の充実 | 21. 交通・防犯対策の推進 |
| 5. 教育環境の整備 | 22. 農業の振興 |
| 6. 健康づくりの推進 | 23. 商店街活性化の促進等の商業振興 |
| 7. 保健・医療体制の充実 | 24. 産業振興と就労支援の充実 |
| 8. 市民病院の充実 | 25. 観光の振興 |
| 9. 地域福祉の推進 | 26. 市民参加の促進 |
| 10. 社会保障の充実 | 27. 人権意識の高揚 |
| 11. 高齢者支援の充実 | 28. 平和意識の高揚 |
| 12. 障害者支援の充実 | 29. 生涯学習の推進 |
| 13. エコタウンの推進 | 30. 生涯スポーツの推進 |
| 14. 癒やしの空間整備の推進 | 31. 文化・芸術の振興 |
| 15. 地球温暖化対策や循環型社会の構築 | 32. 文化財保護 |
| 16. 防災・減災の取組と消防・救急の充実 | 33. 健全な行財政運営 |
| 17. 計画的なまちづくりの推進 | 34. 特になし |

回答欄（重複可）

よくなってきた事業			
重点的に取り組んでいくべき事業			

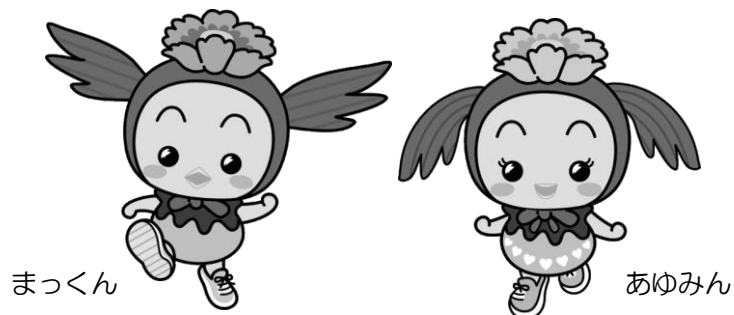
問34. あなたが、「東松山市の地域資源（名物・名所、文化財、伝統行事、植物などで特徴となるもの）」として思い浮かべるものは何ですか。具体的にお書きください。

最後に、東松山市のまちづくりについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。回答は、同封の返信用封筒に入れ、

8月10日（金）までにご投函ください。

東松山市マスコットキャラクター
まっくん・あゆみんをよろしくお願ひします。



平成 30 年度
東松山市市民意識調査報告書

発行日／平成 30 年 12 月
発 行／東松山市
編集／東松山市秘書室広報広聴課
埼玉県東松山市松葉町 1-1-58
0493-23-2221（代表）

* 禁無断転載・複製
©東松山市
